

平成 29 年度 博士学位論文

東北地方の外国人住民の日常生活における
方言理解問題の解決を目指した社会言語学的研究

首都大学東京大学院

人文科学研究科 人間科学専攻 日本語教育学教室

齋藤 敬太

主査：首都大学東京 ダニエル・ロング 教授

副査：専修大学 阿部 貴人 准教授

副査：首都大学東京 西郡 仁朗 教授

目次

第1部 序論

第1章 はじめに	2
1.1. 東北地方とは	2
1.1.1. 対象地域	2
1.1.2. 方言区分	3
1.2. 外国人住民の推移	4
1.3. 方言問題の所在	4
1.4. 方言使用か方言理解か	7
1.5. 本研究の目的	7
1.6. 本研究における「外国人住民」「外国人」及び「日本人住民」「日本人」の定義	7
1.7. 調査の流れ	8
1.8. 本研究の構成	10

第2章 先行研究	12
2.1. 他地方出身者と方言	12
2.1.1. 東北地方以外	12
2.1.2. 東北地方	12
2.2. 外国人住民と方言	12
2.2.1. 東北地方以外	12
2.2.2. 東北地方	13
2.3. 方言教材	13
2.4. 本研究の位置付け	14

第2部 方言理解支援ツール

第3章 言語環境調査	17
3.1. 言語環境としての言語景観	17
3.2. 東北地方各地に見られる方言景観	17
3.3. 方言景観が見られない地域	18
3.4. 観光都市・会津若松市及びその周辺	20
3.5. 会津の観光と方言景観	21
3.6. 会津地方と会津方言	21
3.7. 大河ドラマと方言景観	21
3.8. 方言分布の変化	25
3.9. 待遇表現の減少・固定化	29
3.10. まとめ	32

第4章 日本人の方言使用調査	33
4.1. はじめに	33
4.2. 予備的調査	33
4.2.1. 概要	33

4.2.2. 方言リストの必要性	33
4.2.3. 標準語と同語形のもの	33
4.2.4. 県・地域にこだわらない	34
4.2.5. 他地方出身者が覚えた方言	34
4.3. 本調査	35
4.4. 方言区分	36
4.5. 東北地方全体で広く用いられていたもの	37
4.6. 意味論的分析	38
4.6.1. 意味拡張	38
4.6.2. 意味推移	39
4.7. 特定の地域で用いられていたもの	40
4.8. 外国人住民に対する調査	41
4.9. まとめ	42
第5章 外国人の方言理解調査	43
5.1. はじめに	43
5.2. 調査概要	43
5.2.1. 方言の録音	43
5.2.2. インフォーマント探し	44
5.2.3. インフォーマントの概要	44
5.2.4. 方言理解調査	45
5.3. 結果	46
5.4. 知っていた方言	46
5.4.1. よく知られていたもの	46
5.4.2. 間違えて覚えていたもの	47
5.4.3. 方言だと気付いていなかったもの	48
5.5. 推測	49
5.5.1. 標準語からの推測	49
5.5.2. 標準語から派生させた推測	49
5.5.3. 共起表現からの推測	49
5.5.4. 文脈からの推測	50
5.5.5. パラ言語からの推測	50
5.5.6. 推測による誤答	51
5.6. 無視の可能性	51
5.7. まとめ	52
資料 1 秋田県秋田方言 (録音スクリプト)	53
資料 2 秋田県秋田方言 (標準語訳)	54
資料 3 岩手県伊達方言 (録音スクリプト)	55
資料 4 岩手県伊達方言 (標準語訳)	56
資料 5 福島県会津方言 (録音スクリプト)	57
資料 6 福島県会津方言 (標準語訳)	58
第6章 方言理解支援ツールの作成	59
6.1. 掲載項目の採用基準	59
6.1.1. 日本人の使用度数	59

6.1.2. 外国人の理解度	59
6.1.3. 東北地方全体で広く用いられるもの	60
6.1.4. 特定の地域で用いられているもの	60
6.1.5. 急を要する際に用いられる可能性のあるもの	60
6.2. 掲載項目の除外基準	60
6.2.1. 推測可能なもの	61
6.2.2. 無視してもコミュニケーションが成立するもの	61
6.2.3. ジェスチャー・指差しなどで指示可能なもの	61
6.3. 小冊子『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』	61
6.3.1. 見出し語の表記	62
6.3.2. 多言語による解説	63
6.3.3. 分布図	64
6.3.4. 例文	64
6.3.5. イラスト	64
6.3.6. CD	64
6.4. ウェブサイト	64
6.4.1. 方言集の設置・配布機関の掲載	64
6.4.2. 方言集のPDF版	65
6.4.3. 例文翻訳	65
6.4.4. 小冊子版にはなかった項目	65
6.4.5. 方言音声	65
第7章 方言理解支援ツールの評価	66
7.1. 方言集の設置・配布	66
7.2. 方言集の利用・反応	67
7.3. 方言集の評価	68
7.3.1. 日本人住民の評価	68
7.3.2. 外国人住民の評価	70
7.4. まとめ	71
第3部 対照研究	
第8章 翻訳上の問題点の所在	73
8.1. 標準語よりも諸言語のほうが理解しやすい場合	73
8.2. 英語よりもその他の言語のほうが理解しやすい場合	74
8.3. 意味論的問題	74
第9章 英語への翻訳上の問題点	77
9.1. 方言のほうが英語より意味範疇が広い場合	77
9.2. 方言のほうが英語より意味範疇が狭い場合	79
9.3. 英語に適切な語がなく説明的になる場合	81
9.4. 意味論以外の問題	82
9.4.1. 発音規則	82
9.4.2. 語順	83
9.4.3. テンス・アスペクト	83

9.4.4. 人称	84
9.4.5. 表現の対象	85
9.4.6. ムード	85
9.5. まとめ	85
資料 7 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（英語）	87
第 10 章 中国語への翻訳上の問題点	105
10.1. 方言のほうが中国語より意味範疇が広い場合	105
10.2. 方言のほうが中国語より意味範疇が狭い場合	108
10.3. 中国語に適切な語がなく説明的になる場合	110
10.4. 意味論以外の問題	111
10.4.1. 発音規則	111
10.4.2. 語順	111
10.4.3. テンス・アスペクト	112
10.4.4. 表現の対象	112
10.4.5. 印象	112
10.4.6. 敬意	112
10.5. まとめ	113
資料 8 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（中国語）	114
第 11 章 韓国語への翻訳上の問題点	131
11.1. 方言のほうが韓国語より意味範疇が広い場合	131
11.2. 方言のほうが韓国語より意味範疇が狭い場合	134
11.3. 韓国語に適切な語がなく説明的になる場合	136
11.4. 意味論以外の問題	138
11.4.1. 発音規則	138
11.4.2. テンス・アスペクト	138
11.4.3. 人称	138
11.4.4. 表現の対象	139
11.4.5. ムード	139
11.4.6. 敬意	139
11.4.7. 言い回し	140
11.5. まとめ	140
資料 9 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（韓国語）	142
第 12 章 インドネシア語への翻訳上の問題点	160
12.1. 方言のほうがインドネシア語より意味範疇が広い場合	160
12.2. 方言のほうがインドネシア語より意味範疇が狭い場合	162
12.3. インドネシア語に適切な語がなく説明的になる場合	164
12.4. 意味論以外の問題	165
12.4.1. 発音規則	165
12.4.2. 人称	165
12.4.3. 表現の対象	166
12.5. まとめ	166

資料 10 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト (インドネシア語)	168
--	-----

第 13 章 ポルトガル語への翻訳上の問題点	187
13.1. 方言のほうポルトガル語より意味範疇が広い場合	188
13.2. 方言のほうポルトガル語より意味範疇が狭い場合	191
13.3. ポルトガル語に適切な語がなく説明的になる場合	194
13.4. 意味論以外の問題	197
13.4.1. 発音規則	197
13.4.2. 語順	197
13.4.3. テンス・アスペクト	198
13.4.4. 人称	199
13.4.5. 表現の対象	199
13.4.6. 言い回し	199
13.5. まとめ	200

資料 11 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト (ポルトガル語)	202
--	-----

第 4 部 終論

第 14 章 おわりに	221
14.1. 結論	221
14.2. 本研究の意義	223
14.3. 課題と展望	223

参考文献	224
----------------	-----

本研究における既発表論文・学会発表との関連	228
---------------------------------	-----

巻末資料

資料 12 方言調査ご協力のお願ひ (方言使用調査の趣旨及び調査方法を記した配付プリント)	231
資料 13 謝礼の受け取りに関する署名 (方言使用調査・方言理解調査・翻訳作業共通)	232
資料 14 方言調査項目リスト	233
資料 15 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』 (HP 掲載用改訂版)	(258)
資料 16 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』 付属 CD デザイン	336
資料 17 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』 付属 CD トラックリスト	337
謝辞	348

第1部 序論

第1章 はじめに

第2章 先行研究

第1章 はじめに

日本国内には2016年6月現在で2,307,388人の外国人が居住しているが、少子高齢化なども考えると、看護や福祉の分野も含めて、就労などのために日本でくらす外国人が今後ますます増加することが予想される。外国人が日本へやって来る際に大きな壁となるものの一つが「ことばの問題」であるが、その中でもとりわけ「方言の問題」というものが大きい。標準語を学習していれば日本では問題なく生活が可能だと思われがちであるが、年代を問わず方言話者が比較的多く存在するような地域では、話す分には標準語で通じても、地元住民が必ずしも標準語で話すとは限らず、方言で話された際に理解できるか否かがコミュニケーションに関わってくるということも少なくない。そこには、方言の持つ独特な語彙・音声・文法などの様々な要因が存在するが、それについては後述する。本研究ではくらしの中でよく聞きそうな方言について提示し、外国人住民を対象とした最低限必要な方言理解の一助となる支援ツールを作成することを目指す。そのような地域のひとつとして、本研究では東北地方について取り上げる。

1.1. 東北地方とは

東北地方とは、文字通り日本の東北部に位置する地域で、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県（総務省の全国地方公共団体コードの順）の6県を指す。青森県が東北地方の北端であり、北には北海道が位置する。東北地方の南端は福島県で、その南には関東地方である茨城県、栃木県、群馬県が位置し、西には北陸地方の新潟県が位置している。

明治時代の廃藩置県までは長らく陸奥国（青森県、岩手県、宮城県、福島県に相当）及び出羽国（秋田県、山形県に相当）が置かれ、そこは仙台藩（宮城県全域及び岩手県や福島県の一部など）、会津藩（福島県会津地方及び新潟県の一部など）、盛岡藩（岩手県中北部・青森県東部及び秋田県の一部など）といった諸藩が各地を統治していた。この東北諸藩による統治が250年以上続いていたため、東北地方の諸方言の分布を見ると、現在の県境よりもむしろ当時の藩境のほうが近い（加藤 1969）。東北諸藩の藩域が現在の東北地方に必ずしも当てはまらない場合があり、その方言についても同様のことが言える。そこで、本研究における「東北方言」とはこの方言のことを指すのかを考えなければならない。

1.1.1. 対象地域

方言を扱うに当たり、諸方言の言語学的な特徴を考慮すれば、厳密には新潟県北部あるいは群馬県、栃木県、茨城県といった関東地方北部の方言と連続体をなしており（加藤 1969）、東北地方ではない地域に東北的な方言がある、あるいは東北地方に関東的な方言がある、ともいえる地域が存在する。しかし、本研究では東北方言の厳密な区分を主な目的としているわけではない。したがって、本研究における対象地域としては、先に述べた青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県の6県（以下「東北6県」）に限定することにした。

¹ 総務省(2016)「全国地方公共団体コード」の「都道府県コード及び市区町村コード」より

1.1.2. 方言区分

前述したとおり、東北地方の方言は新潟県北部や関東地方北部と連続体をなしているため、どこまでを東北方言とするかについてこれまでいくつかの区分がなされてきた（日本方言研究会編 1964、本堂 1967、飯豊・日野編 1982 など）。本研究では、あくまでも東北 6 県を対象としており、また、方言区分に関しては外国人住民の方言理解支援ツールの中でおよその方言分布を示す際に用いるものであるため、これまでの研究を参考にしつつ、得られた協力者の地域等の様々な要因を勘案し、かつ非専門家にもわかりやすいように以下の 14 区分にした。各県別に見ると以下の通り。

青森県…津軽方言（青森県西部）、南部方言（青森県東部）

岩手県…南部方言（岩手県中部～北部、青森県の南部方言と同じ）、伊達方言（岩手県南部）、気仙方言（岩手県南東部）

宮城県…仙台方言

秋田県…秋田方言、鹿角方言（秋田県北東部）

山形県…村山方言（山形県中部）、置賜方言（山形県南部）、最上方言（山形県北部）、庄内方言（山形県西部）

福島県…会津方言（福島県西部）、中通り方言（福島県中部）、浜通り方言（福島県東部）

これら 14 の区分を、東北 6 県を範囲とする図に示すと以下の図 1 のようになる。なお、図 1 は方言区分図であるため、その境界は県境とは必ずしも一致しない。

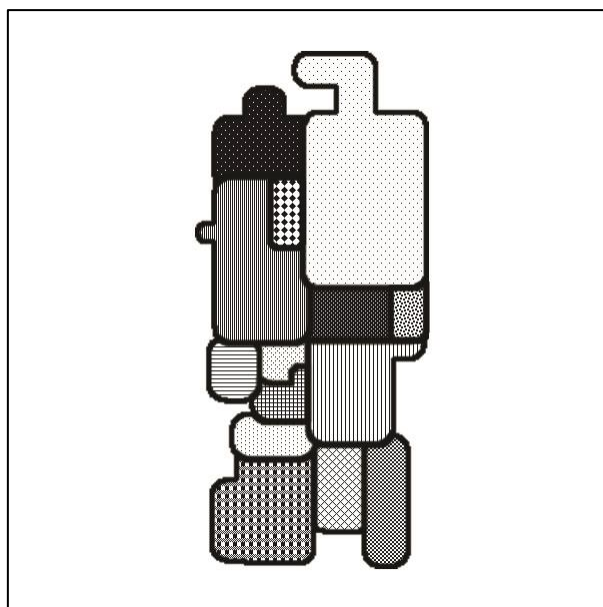


図1. 東北方言区分図

1.2. 外国人住民の推移

前述の通り、日本には約 230 万人を超える外国人が暮らしている。東北地方では、2011 年の東日本大震災によって一時は約 6,000 人の外国人が去ったが、その後再び増加し、2016 年 6 月現在でその数は 2010 年のそれを上回った。(図 2)

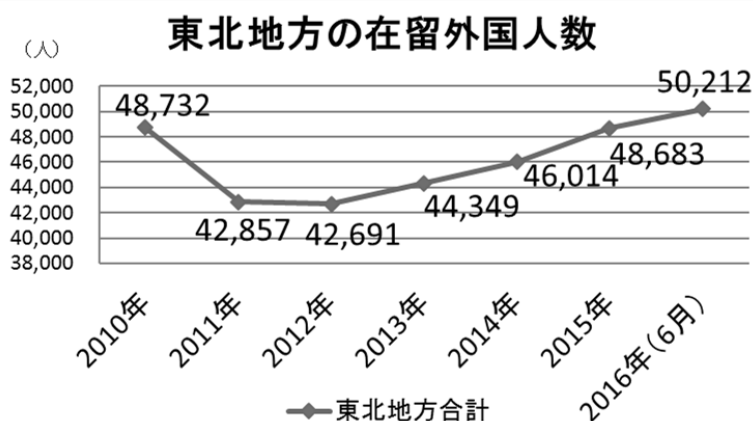


図2. 東北地方の在留外国人数の推移

東北地方の在留外国人 50,212 人のうち、上位 5 ヶ国は中国 16,326 人、韓国 8,560 人、フィリピン 6,640 人、ベトナム 5,115 人、ネパール 1,956 人と続く。

2016 年 6 月現在の各県の在留外国人数及び上位 5 ヶ国は以下の通り。

青森県…4,528 人 (中国 1,264、韓国 762、ベトナム 609、フィリピン 558、アメリカ 370)
岩手県…6,054 人 (中国 2,181、フィリピン 1,079、ベトナム 803、韓国 789、アメリカ 181)
宮城県…18,197 人 (中国 5,882、韓国 3,367、ベトナム 1,874、フィリピン 1,200、ネパール 1,172)
秋田県…3,731 人 (中国 1,188、フィリピン 703、韓国 568、アメリカ 233、ベトナム 198)
山形県…6,246 人 (中国 2,209、韓国 1,624、フィリピン 700、ベトナム 593、アメリカ 139)
福島県…11,456 人 (中国 3,602、フィリピン 2,400、韓国 1,450、ベトナム 1,038、ネパール 467)

東北地方全体にしても各県にしても中国、韓国、フィリピンが上位であることが目立つ。また、ベトナムとネパールについて、統計上は上位 5 ヶ国に現れることが多いが、これについては外国人留学生についても考慮したい。ここで示している総務省の統計による在留外国人数は、日本に定住・永住している者だけではなく外国人留学生もカウントされている。外国人留学生については、近年ベトナム人とネパール人が増えており、2016 年度においては 2015 年度に比べベトナム人は約 38.4%、ネパール人は約 19.8%増加している (日本学生支援機構 2017)。本研究では、外国人住民と外国人留学生では方言理解に関する必要性等に違いがあると考え、外国人住民を主な対象として取り扱っていくが、詳細は後述する。

1.3. 方言問題の所在

東北地方で話される方言は、標準語と異なる特徴を多く持ち、かつ年代を問わず話者が多く存在するため、方言問題は外国人住民にとって顕著なものとなる。このような地域で日本人と会話をする際、標準語の知識だけでは不十分である可能性がある。一見、標準語を学習していれば日本のどこでも問題なく暮らせると思われるかもしれないが、必ずしもそうではない。話す分には

標準語で通じるだろうが、地元の日本人住民が話す方言を理解できるかという「方言理解問題」を考えなければならない。実際に、第5章において扱う調査でインフォーマントとなった外国人住民からも「(日本人である夫の) お義母さんが何を言っているのか、(結婚当初は) よくわからなかった」「職場の日本人が方言を言う時があってわからない時がある」といった声が出た。

方言理解問題と一口に言っても、そこには「方言語彙の問題」、「方言音声の問題」、そして「方言文法の問題」が存在する。以下、それら諸問題について東北方言の一つである福島県会津方言を例にすると、図3のようになる。

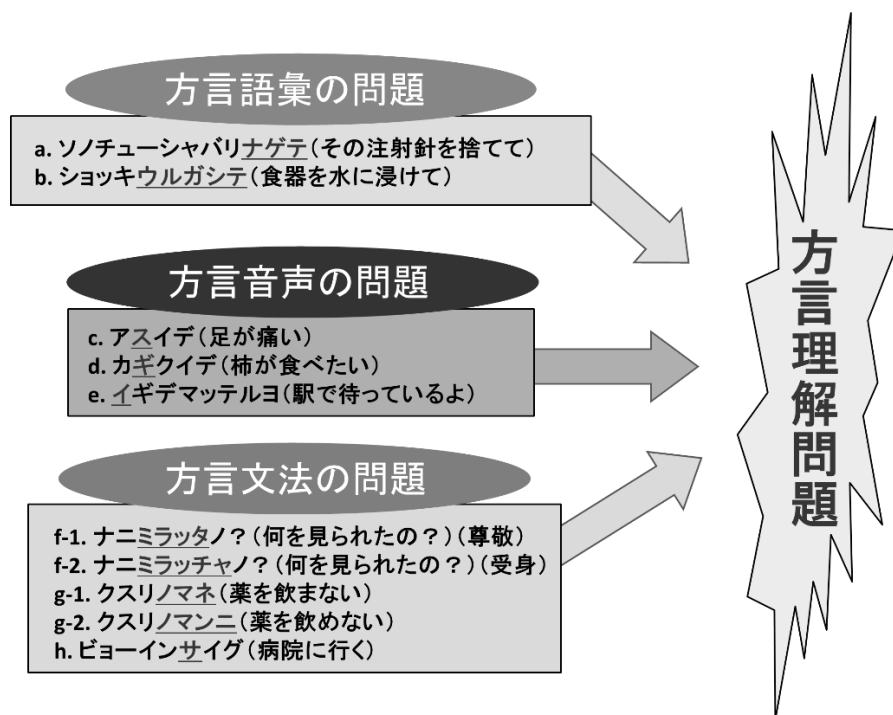


図3. 方言理解に潜む諸問題

aの「ナゲル」(捨てる)のように標準語と同じ語形で意味が異なるものや、bの「ウルガス」(水に浸けておく)のような標準語に相当する語形が存在しないものがある。これらは方言語彙の問題であり、方言話者がこれらを用いた時に外国人住民は標準語の語彙の知識では適切な解釈ができない。

また図4は、福島県会津地方にある芦ノ牧温泉の外国人観光客向けパンフレットで、現地で使える日本語会話を示したものである。



図4. 標準語形の中に混じる方言形

「気持ち良かったです」「おはようございます」といった標準語形の中に、「おばんです」が並べられている。標準語で統一するならば「こんばんは」とするべきところだが、「おばんです」を他の標準語形の表現同様に並べ、わざわざ外国人観光客が発音可能なように各言語で読み方まで記されている。また、このパンフレットの作成者は、日本語教室や翻訳事業等を請け負う会津若松国際交流協会であることから、温泉の旅館組合が独自で作成した物ではないことがわかる。つまり、この地では晩の挨拶として「おばんです」がより自然に広く使用されているという判断から、この方言形を掲載したものと考えられる。これは外国人観光客向けのものではあるが、このような方言の中でも普段の会話で使用されているものこそ外国人住民の方言理解にかかわるものとする。

cは中舌母音、dはカ行有声化、eはイとエの無区別といった方言音声の問題である。この特徴的な方言音声を理解できないと、方言話者は標準語の際でも方言音声の特徴を残したままで話すことがあり、このような場合は外国人住民にとってそれらが標準語の何に相当するかも想像がつかなくなってしまう。

fは標準語なら区別の無い尊敬と受身が別の活用をするということ、gは標準語であれば単純変化でも可能でも否定は未然形に「～ナイ」を付ければよいところ「～ネ」「～ンニ」と別の形式になること、hは標準語にはない助詞「サ」を用いることといった方言文法の問題である。これらのような問題に関しても、標準語の文法規則の知識のみでは理解することは容易ではない。

このように、東北地方の中の一地域の方言を取り上げただけでも標準語の知識のみではカバー

できない問題が数多く存在することは明らかである。外国人がその地域で暮らすということは、老若男女問わず様々な層の方言話者と接する機会が生まれるということになり、医療福祉関係の従事者であればなおのこと老年層の方言話者との接触がある。外国人住民が方言を使用するだけでなく、相手から言われた方言をうまく理解できるかどうか、その地域での暮らしにおいて重要な知識であると考えられる。

1.4. 方言使用か方言理解か

方言問題といっても、そこには方言の使用までを目的とする考え方と、方言の使用までは求めず、あくまでも理解にとどめる考え方がある。介護福祉士や看護師、その他就労などを目的としてやって来る外国人住民と、勉学を目的としてやって来る外国人留学生とでは、ことばの学習に使える時間的余裕が大きく異なる。これまでの研究（第2章で詳述）は、外国人に対する方言使用に言及する研究もあったが、筆者としては生活上必ずしも方言使用までを求める必要はないと考える。外国人住民自身が方言使用を望む場合はこの限りではないが、本研究では、外国人住民にとって生活するための「必要最低限の方言理解」というものに重点を置くことにする。

1.5. 本研究の目的

本研究の目的は、東北地方の外国人住民向け方言理解支援ツールを作成することで、東北地方の外国人住民の最低限の方言理解に資すると同時に、作成までの方法論を示すことで、今後他地域において同様の研究を行う者へのテンプレートを提示するというにある。また、本研究では作成した方言理解支援ツールで翻訳言語として用いた標準語・英語・中国語・韓国語・インドネシア語・ポルトガル語と東北方言との対照研究も行っているが、これによって東北地方でくらす外国人の方言習得・方言学習において、どのような問題が起こり得るのか、東北方言から各言語への翻訳上の問題点を通して示すことも目的としている。

1.6. 本研究における「外国人住民」「外国人」及び「日本人住民」「日本人」の定義

本研究では、「外国人住民」「外国人」や「日本人住民」「日本人」という用語をしばしば用いる。ここでそれらの用語の定義をしておく。

まず「外国人住民」「外国人」については、「外国籍の住民」という捉え方が可能であるのだが、この場合は「帰化した元外国籍の住民」が含まれなくなる。本研究では、「帰化した元外国籍の住民」についても研究対象としており、実際に研究に協力していただいた方の多くは現在日本国籍であった。したがって、本研究における「外国人住民」「外国人」という用語については、現在外国籍かどうかではなく、帰化者も含めた「日本語を母語としない住民」という意味で用いる。

同様に、「日本人住民」「日本人」という用語についても、「日本国籍の住民」とすると日本国籍を取得した帰化者も含まれるため、本研究における「日本人住民」「日本人」という用語については、日本国籍かどうかではなく、「日本語を母語とする住民」という意味で用いる。

1.7. 調査の流れ

本研究では、東北地方の外国人住民を対象とした方言理解支援ツールを作成するために、以下の流れで調査を行う。

①言語環境調査

東北地方の外国人住民の言語環境を形成する一つの要因として言語景観を取り上げ、その中でも特に方言の書かれた方言景観を中心に、外国人住民が目にする可能性のある方言景観の特徴について明らかにする。

②日本人の方言使用調査

筆者が予め用意した方言リストを東北6県の日本人に見てもらい、実際に使用したり聞いたりする方言について回答してもらうことで、外国人住民が普段の生活で耳にする可能性のある方言を明らかにする。

③-1 方言の録音

②の方言使用調査において日本人が「使う」あるいは「聞く」と回答した項目を中心に用いた短い会話を作成・録音する。会話は主に「標準語で地元住民に質問をし、地元住民が方言で返答する」という形式をとる。これについては③-2の調査において外国人住民に文脈を与える意味があるが、詳細は第5章で述べる。

③-2 外国人の方言理解調査

東北地方の外国人住民に聞いてもらうことで、どのような方言を理解しているのかを明らかにする。

④方言理解支援ツールの作成

②及び③の調査結果を踏まえ、外国人住民向け方言理解支援ツールを作成する。

特に、日本人に対する方言使用調査(②)と外国人に対する方言理解調査(③-1、③-2)は一つの連続した調査とも捉えることができる。②で得られた結果から③-1の録音する項目が決まり、③-1で録音した項目が③-2で外国人住民に聞いてもらうものとなる。この流れを簡単に図に示すと図5のようになる。

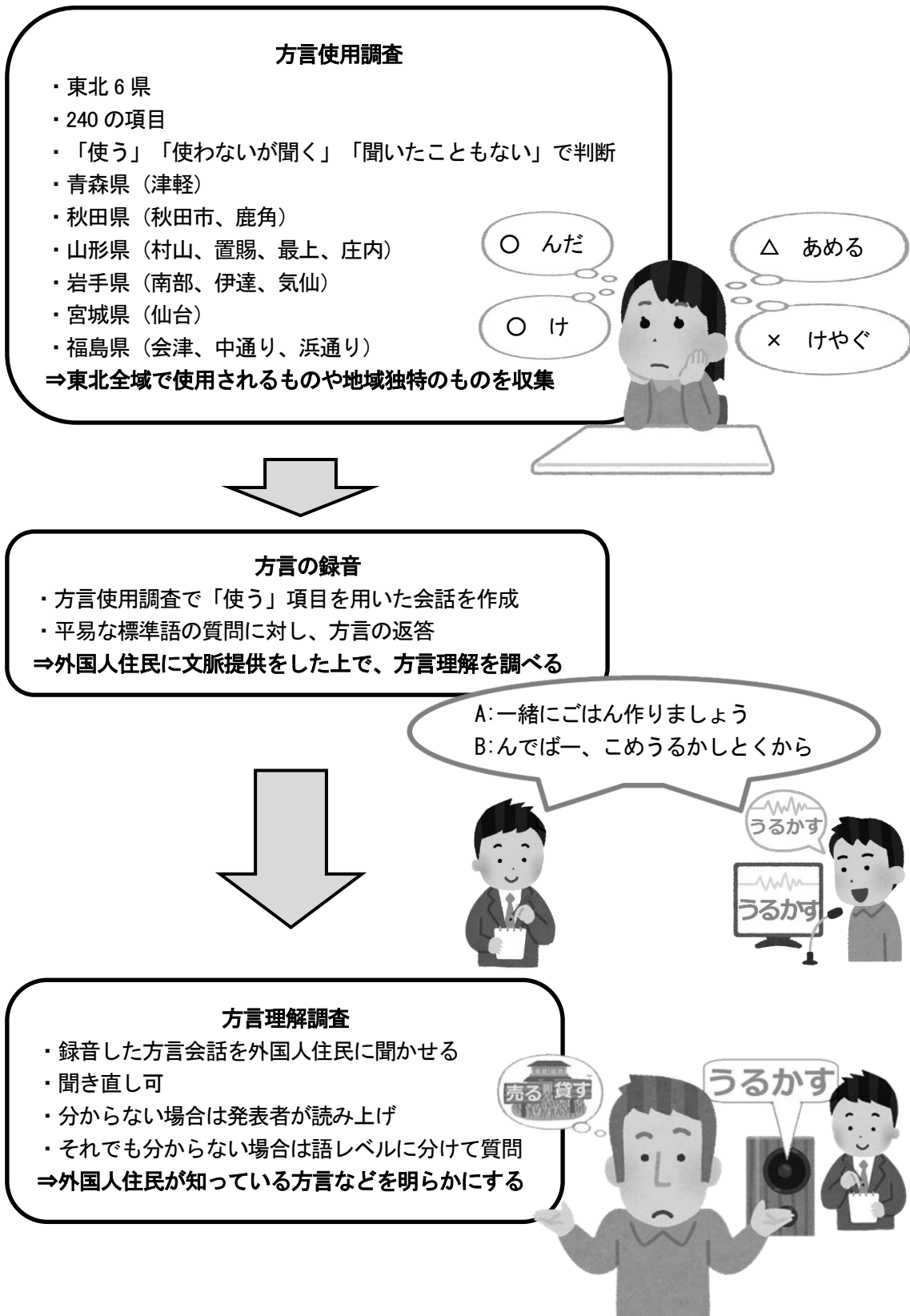


図5. 方言使用調査から方言理解調査までの流れ

1.8. 本研究の構成

本研究は、以下の構成で成り立っている。

「第1部 序論」には、「第1章 はじめに」(本章)及び「第2章 先行研究」が含まれる。ここは、本研究の位置付けを示す部である。

「第2部 方言理解支援ツール」には、「第3章 言語環境調査」「第4章 日本人の方言使用調査」「第5章 外国人の方言理解調査」「第6章 方言理解支援ツールの作成」「第7章 方言理解支援ツールの評価」が含まれる。第3章では外国人住民の言語環境としての言語景観を取り上げ、東北地方で普段目にする看板に方言が見られることを示す。第4章では、東北地方の日本人が実際にどのような方言を使用しているのかを調査した。その中で、各項目の使用域だけでなく、方言の意味論的な各事象についても述べた。第5章では、東北地方の外国人がどの程度方言を理解できているのかを調査した。その中で、理解している方言だけでなく、知らなくても推測で分かってしまう方言についても明らかにした。第6章では、前章までの結果を踏まえて、『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』を作成した際の語彙選定方法等について述べた。また、方言集の構成や特色についても記した。第7章では、前章で作成した方言集を設置・配布してくださった東北地方各地の国際交流協会の協力を得て、実際に方言集を使用した上でいただいた評価について記した。

「第3部 対照研究」には、「第8章 翻訳上の問題点の所在」「第9章 英語への翻訳上の問題点」「第10章 中国語への翻訳上の問題点」「第11章 韓国語への翻訳上の問題点」「第12章 インドネシア語への翻訳上の問題点」「第13章 ポルトガル語への翻訳上の問題点」が含まれる。東北方言の解説・例文翻訳をするに当たり、標準語を含めた各言語との間で様々な意味論・あるいはそれ以外の問題点が明るみになった。まず第8章で問題点の所在について概説し、第9章以降でそれぞれの言語と東北方言との対照研究を行い、各言語のどのような方言項目でどのような問題が起こり得るかについて詳細に述べた。

「第4部 終論」には、「第14章 おわりに」が含まれる。ここは、本研究の総合的な結論、及び今後の課題について示す部である。

以下に本研究の構成をマップにしたものを示す(図6)。なお、これは本研究全体の流れを示したものであり、マップ内の各項目は必ずしも本稿の章及び節のタイトルとは一致していない。

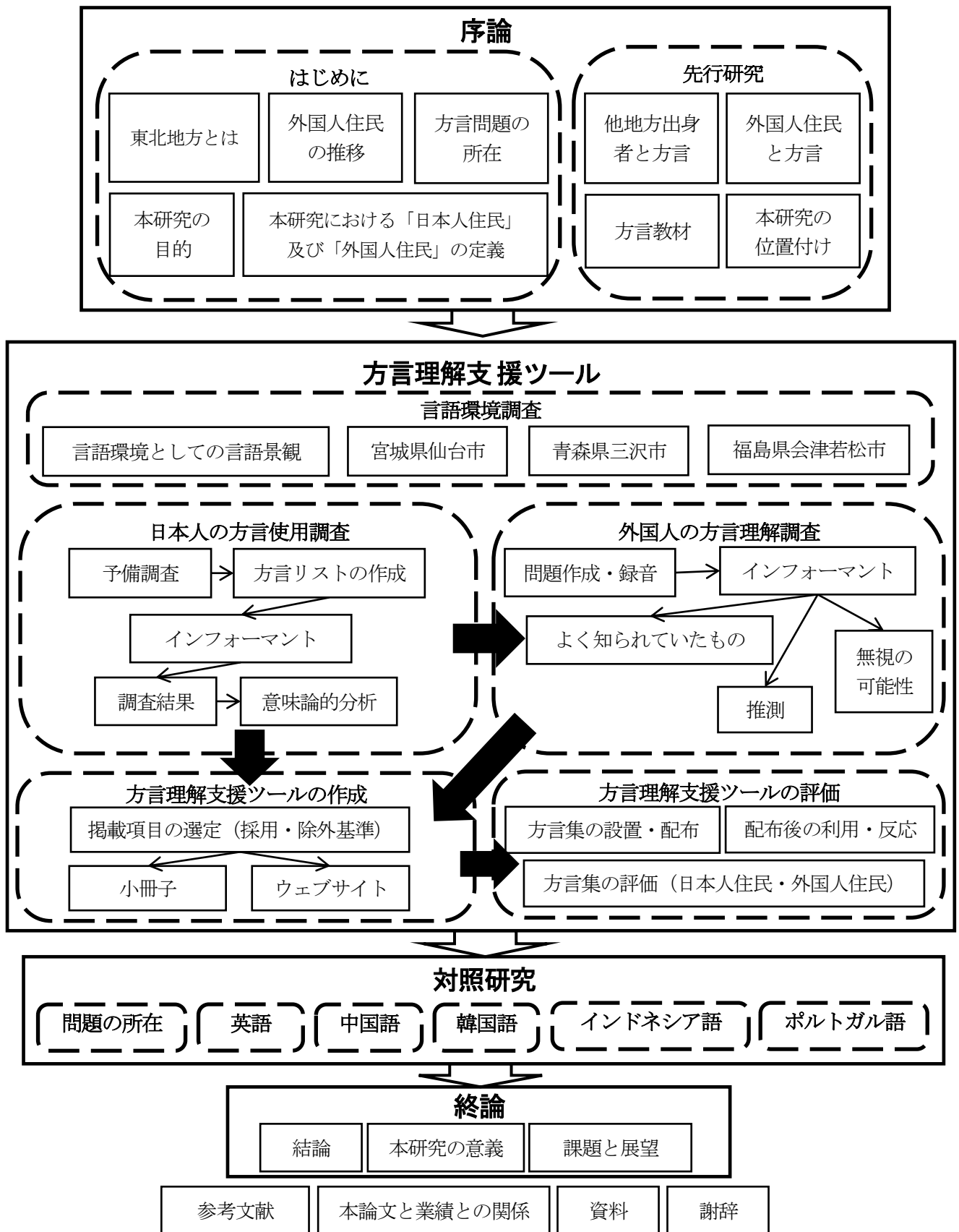


図6. 本研究の構成マップ

第2章 先行研究

これまで、地元民ではない人々と方言に関する研究がいくつかなされてきた。本章では、これまでの方言と他地方出身者・外国人に関する先行研究を見ていく。

2.1. 他地方出身者と方言

2.1.1. 東北地方以外

まずは他地方出身者の日本人に関する研究としては、まず移住者に関する研究が見られる。不二門(1988)では、関西在住の生え抜きと東京在住の関西出身者に対して、方言イメージや方言の使い分けについて調べたものである。ここでは、他地方よりも方言をよく残すとされてきた関西出身者も、「東京に移住することによって東京では標準語で話すべきだという意見は高まり、実際にことばもその意見以上に標準語に近づく」と結論付けた。荻野(1995)でも大阪在住の生え抜きと東京・埼玉在住の大阪出身者について、方言や標準語に対する意識や方言使用などについて調べている。ここでもやはり大阪方言話者でも移住により「大阪方言は忘れるほうに変容し、共通語はより完全なものに変容する」としている。一方、場面差による「量的な共通語化」と「質的な共通語化」の区別についても言及している。また、ロング(1989、1990)などでは、大阪及び京都への移住者にとって、それぞれ方言意識や方言受容が異なるということを示している。岩城(2008)は富山県内での看護実習生と対象として、体調を示す語彙について調査している。

2.1.2. 東北地方

東北地方を取り上げたものとしては、竹田(2012)や今村編(2015)などが挙げられる。竹田(2012)は、2011年の東日本大震災での他地域からやって来た医療従事者を対象とした「方言オノマトペ」の用例集である。地元住民である患者から症状を聞く際に、このような方言オノマトペがしばしば現れるため、それを理解しておかないと患者の症状を理解することが難しい。そういう場合に使用可能な支援ツールである。今村編(2015)も東日本大震災における医療従事者の方言に関する諸問題について取り上げている。このように、東北地方の方言問題は東日本大震災に端を発したのが見られ、比較的取り上げて来られなかったように思われる。その一方で、東北出身者が上京した際などに感じる方言に対する劣等感、いわゆる「方言コンプレックス」については柴田(1958)、大石(1970)、加藤(1983)などで取り上げられている。

2.2. 外国人住民と方言

2.2.1. 東北地方以外

外国人と方言に関する研究としては、伴(1985)まで遡ることができる。これは名古屋の留学生が普段耳にするであろう「生活語」(本研究でいう「方言」に相当)をどれほど知っているかを調査したものである。しかし、当時の留学生の方言知識を確認するものであり、その後新たにやってくる外国人のためのツールを作成したわけではない。また、ロング(1992)では、大阪において、外国人に対して日本人がどの程度方言を用いるか、また、外国人留学生がどれほど関西弁を推測できるかを調査した。ただし、これらは本研究で対象としている外国人住民ではなく、留学生を対象としたものである。当時は現在ほど外国人住民も多くはなく、外国人住民自体があまり取り上げられてこなかったと思われる。名古屋や大阪といった大都市で、当時では比較的多くの外国人(留学生)がいたからこそ対象として取り上げられたのではないだろうか。ただ、ロング

(1992)では、大阪で道尋ねをしたところ、外国人であるロングに対して37人中19人が何らかの形で方言を用いたとしており、(大阪ではあるが)相手が外国人だからといって方言を用いないわけではないということがよく示されていて興味深い。また、熊本県熊本市在住の外国人留学生を対象とした吉里他(2013)もあるが、これは中上級レベルを想定しており、また、外国人の方言理解よりも方言使用を主な目的としている。

2.2.2. 東北地方

東北地方を扱ったものとしては後藤他(2010)や後藤(2015)がある。これらは介護福祉士を目指す山形の留学生を対象とした方言理解に関する研究である。この研究では留学生向け方言教材『聞いてわかる 介護の山形ことば』(後藤 2012)が作成されている。また、山下(2014)にかかわる一連の研究では、東北地方の外国人住民向けに、災害時に用いる語彙や表現を、たたむと名刺サイズになる『災害時命綱カード』にまとめ、そこに標準語や外国語訳以外にも岩手方言・宮城方言・福島方言の方言訳を付したバージョンもある。しかし、これはこのカードを用いての方言使用が主な目的とされている。今村・中島(2015)では、EPAによる外国人看護師・介護福祉士候補者に対し、方言の問題の所在、あるいはどのように対処しているかなどについて、東北地方に限らず日本全国を対象として調査をしている。これらの研究は医療・介護現場や災害時といった特定の場面を設定しているのだが、外国人住民の生活を考えた場合、方言を耳にするのはそのような場面には限らず、むしろ普通の生活のほうが多いと思われる。本研究では特定の場面を設定せず、普通の生活で耳にしそうな方言を取り扱うことにする。

2.3. 方言教材

方言を取り扱った日本語教材には、方言のみを扱ったものとして山形地域語研究会(2001)があるが、これは小学生など日本語母語話者を対象としたものである。また、東北地方ではないがJTM研究会(1999)や全国語学教育学会山口支部日本語教育部会(2002)などいくつかの日本語教材も方言を取り扱っている。しかしその多くは標準語がメインで、方言はコラムで紹介するに留まっている。高木・丸山(2007)によると、「方言は当初、留学生のために必要な生活語として位置づけられた」(高木・丸山 2007:69)ものの、「地域の日本語教育が盛んになり、「生活語としての方言」という認識も広まって」(高木・丸山 2007:69)きたとされ、留学生のみでなく日本語を自然習得する外国人住民に目を向けられるようになったとあるが、その一方「これまでの日本語教師は共通語を教えることは訓練されていても、方言を教えることは訓練されていなかった」(高木・丸山 2007:70)とし、そのために「視聴覚的にもアプローチできる教材が必要」(高木・丸山 2007:70)であることも記している。

社会福祉法人大阪ボランティア協会「多文化子育て支援ガイドブック」企画委員会編(2013)では、外国人保護者が大阪の方言を標準語の似通った語句と誤解した失敗談と併せて、外国人保護者と接する子育て支援関係者に「方言の使用はなるべく避ける」ことをコミュニケーションのコツの一つとして提示している。しかし、仮に支援関係者がそのような点に気を付けたとして、外国人住民は近所に住む一般の日本人にも日々接するわけであり、その人たちまでもがそのようなことを容易に行えるとは言えない。前述のロング(1992)のように、方言を知らずのうちに使用することは避け難いのである。

方言に関する先行研究、及び本研究をまとめると以下の表1のような位置付けになる。

表1. 先行研究と本研究の位置付け

	東北地方対象	外国人対象	方言理解 主体	日常場面	その場で使える
伴 (1985)		△ (留学生)	○	○	
ロング (1992)		△ (留学生)	○	○	
岩城 (2008)			○		
後藤他 (2010) 後藤 (2015)	△ (山形県山形 市)	△ (留学生)	○		
竹田 (2012)	△ (青森・岩手・ 宮城・福島)		○		○ (用例集)
吉里他 (2013)		△ (留学生)		○	
山下 (2014)	△ (岩手・宮城・ 福島)	○			○ (語彙集)
今村・中島 (2015)	○ (東北以外も)	○	○		○ (語彙図等)
本研究	○	○	○	○	○

2.4. 本研究の位置付け

外国人住民が方言に触れる場面とは、介護福祉士や看護師の場合では、施設の利用者や病院の患者など、職場で方言に触れるということは想像に難くない。しかし、先にも述べたように、根本的なところ、つまり近所に住む日本人住民との会話や買い物など、普段の生活場面で方言に触れることが十分あり得る。そのため、そのような日常場面で触れる方言に関する知識が有用なのではないか。

また、方言で分からないことが起きた時、すぐに見て使えるものがあると便利である。これまで方言を知るツールとして上述の竹田(2012)のような用例集や山下(2014)の語彙カードなどが作られている。方言教材は、困った時その場で使うことはあまり考慮されていない。主に就労を目的とする外国人住民は留学生と異なり方言学習に費やす時間は多くない。それにもかかわらず、留学生よりも地元住民と触れ合う場面が多く、当然方言に触れる場面も多い。方言は外国人住民自身が使用しなくても、地元住民の使用する方言を理解さえすればコミュニケーションは可能と

なるので、彼らに最低限必要な方言理解を支援するツールが求められる。

すなわち、表1における本研究の位置付けのように、東北地方の外国人住民を対象とした、日常生活場面で方言理解に困った時にその場で使えるようなツールこそ、本研究が目指すものである。

具体的には、第6章で記していくが、外国人住民が東北地方で普段耳にしそうな方言を、方言に触れた際に確認できるような小冊子やウェブコンテンツにまとめる。ひらがなによる見出し、標準語訳、諸言語による訳などを付すことで、外国人住民自身が独学で方言学習に使う、あるいは地域日本語教師が外国人住民に使用するのにも適した方言理解支援ツールを作成する。また、方言音声はCDに収録することで、聴き取りの練習が可能な形にする。それにより、現在東北地方に住む、そしてこれからやってくる外国人介護福祉士・看護師といった就労などを目的とした外国人住民の方言理解問題の軽減に資するとともに地元のことばを外国人に教えたいが何を教えればよいのか悩んでいる地域日本語教師への一つの答えを示すことを目的とする。また、これらは外国人住民だけでなく、他地方から東北地方へやって来る日本人にも利用可能であると考え。

第2部 方言理解支援ツール

第3章 言語環境調査

第4章 日本人の方言使用調査

第5章 外国人の方言理解調査

第6章 方言理解支援ツールの作成

第7章 方言理解支援ツールの評価

第3章 言語景観調査

3.1. 言語環境としての言語景観

本章では、外国人住民の言語環境の一つとして、言語景観を取り上げる。言語景観とは、簡単に言ってしまうと看板などといった「文字で書かれている表示」である。ではなぜこれが外国人住民の言語環境になりうるのか。言語景観は、観光客向けであれ地元住民向けであれ、住民にとっては普段町を歩くと様々な場所で目にするという点で、彼らの言語環境を形作る要素の一つとなる。言語環境としての言語景観については、外国人集住地域で見られる多言語景観を取り上げたものとして斎藤・志喜屋(2014、2015)、斎藤(2015a)がある。また、言語環境としての観光を取り上げた中で、観光と言語景観との関連について述べたものには斎藤(2015c)がある。

そして、言語景観の中でも本章では特に方言景観について扱っていく。方言景観とは、方言が書かれた言語景観のことである。本研究で取り上げる東北方言については、最終的には地元の日本人住民が実際に使っている、話しているものを方言理解支援ツールに収録する、というものであり、看板に書いてある方言が、本当に話している方言なのか、という点に関しては疑問を抱かれるかもしれない。しかし、そのような地元の言語環境を作り上げる方言景観は、多くの場合は地元日本人住民によって作られたものである。彼らのことばを考える時、まずは彼らの周りにある言語環境から見えるものを頼りにしていくという手法は有効であると考えられる。

3.2. 東北地方各地に見られる方言景観

東北地方各地を訪問すると、実に多くの方言景観を目にする。例えば、図7は青森県八戸市の八戸駅にある方言景観である。「よぐ八戸さおんであんした」(よく八戸にいらっしやいました)と書かれている。これは八戸に来た観光客向けの方言景観であるが、当然ながら地元住民、もちろん外国人住民も八戸駅を利用すれば毎日のように目にすることになる。外国人住民がひらがなと「八戸」という漢字を知っていれば、おそらく、どんな意味なのかと不思議に思いながら見るだろう。



図7. よぐ八戸さおんであんした (八戸市)

図7の例もそうであるが、方言は、漢字で表記できないことが非常に多く、そのため、方言景観はひらがな、あるいはカタカナといった仮名表記で書かれることが多い。たとえば、図8は秋田県秋田市の秋田駅で販売されていたとうもろこしに「やまだのきみ」と書いてあった。「きみ」は秋田など北東北で用いられる表現で、写真から見て分かるように「とうもろこし」を指す。こ

のように、ひらがなで書かれることの多い方言景観は、むしろ外国人住民（特に非漢字圏）にとって読みやすく、むしろ標準語の言語景観よりも興味を引きやすいものであると考える。



図8. きみ（秋田市）

そして、興味を引くからこそ、東北方言の理解に関してはこういうところでも必要とされていると考える。

3.3. 方言景観が見られない地域

一方、上記と同じ東北地方ではあるものの、筆者が現地調査を実施した限りではほとんど方言景観が見られない地域があった。

一つは、東北一の大都市である宮城県仙台市である。仙台駅内の商店や、仙台駅周辺を調査してみたが、先の八戸のような歓迎の方言景観も見られず、「ずんだ餅」の「ずんだ」くらいしか見ることができなかった。仙台市であまり方言景観が見られない理由として考えられるのは、東北一の大都市であるがゆえに、他地方出身者も多く居住していることが考えられる。当然ながら仙台市に方言がないわけではないのだが、他地方出身者が多くなると、地元生まれの住民が仙台方言を話していたとしても、当然ながら仙台方言を話す人数は全体としては少なくなる。筆者の親戚や知人のことを考えても、東北地方の他県からはもちろんのこと、東北地方以外からも多くやってきている。このように「他地方出身者が多い」という要素から、仙台方言の方言景観がほぼないという状況が生まれたのではないだろうか。実際に、仙台市在住である埼玉県出身の20代男性に話を聞いたところ、彼は大学院生という属性も関係あるだろうが、普段の生活で方言はほとんど聞かないという。彼の周辺の人物がそもそも他地方出身者であり、地元出身者との接点がほとんどないとのことだ。このことから、方言景観があまり見られない地域では方言そのものもあまり話されていないのではないかという予想が生まれる。

方言景観が見られなかったもう一つの地として、青森県三沢市がある。三沢市は、米軍基地のある町で、観光政策としてもアメリカを前面に押し出している。三沢駅に着くと、地元の方言ではなく、英語と標準語が書かれ、そして星条旗に彩られた顔出し看板が出迎える（図9）。



図9. 星条旗の描かれた顔出し看板

三沢市は、当然ながら米軍及び軍関係者が多く暮らしており、基地周辺はアメリカンバーに限らずインド料理店やフィリピン料理店、タイ料理店といったエスニックレストランを中心に多くの外国人住民が生活している。筆者は基地周辺を調査したが、ほとんどの言語景観は標準語のみの表示を除くと、ほとんどが標準語・英語の2言語表記か、あるいは英語のみの1言語表記であった。標準語と英語の表示であれば、東京などでもよく見かけるが、表示の内容が東京のそれとは異なっている。例えば、図10は犬のフンの後始末を促す表示であるが、東京周辺では標準語のみのものがほとんどで、英語が併記されているものはあまり見かけない。また、図11のように英語のみの表示も見られた。



図10. 標準語と英語の2言語表記の犬のフンの後始末を促す表示



図11. 英語のみの表示

筆者はこのような地域においても外国人住民が方言を耳にする機会があるのか、実際に三沢市でレストランを経営するタイ人女性及びフィリピン人女性に簡単な聞き取り調査を実施した。タイ人女性は標準語で調査に応じ、レストランの客には日本人も外国人も多いとのこと。方言はたまに聞いたことはあるがそれで困ったことはないという。また、タイ人女性を含めて基地周辺の住民は外国人も日本人も英語がある程度話せるようだ。また、タイ人女性の夫は三沢市出身の日本人であるが基地で働いており、英語も、またタイ語も話せるというので彼女にとって方言はほぼ問題にはなっていないようだった。また、フィリピン人女性については、方言及び標準語を含め日本語があまり話せず、筆者は英語で「方言を聞いたことはあるか」と尋ねたところ、彼女も日本人客からたまに聞いたことがあるとのことである。しかし、日本語があまり話せなくても生活できているという点においても、基地周辺ではやはり方言理解に関する問題はあまり感じられなかった。

以上、方言景観の見られなかった2つの地域について見てきたが、このような地域では方言を聞く機会もあまりない、あるいは聞くことはあってもさほど問題になっていないのではないかと考えることができる。しかしながら、このような地域においても第4章で扱う方言使用調査では、地元の日本人住民が方言を用いているということが確認できており、やはりこのような地域においても「絶対に問題ない」とは言い切れない。

3.4. 観光都市・会津若松市及びその周辺

さて、次は観光都市として栄えている会津若松市を中心とした会津地方について見ていく。会津地方は、東北地方の中でも2011年の東日本大震災による直接的な被害はあまりなく、復興を目指す東北の観光地としても早いうちからPRされた。そのため、今まで以上に盛り上がった観光事業により多くの方言景観を目にするようになった。ここからは、震災後の会津地方に見られる方言景観を見ていくことにより、会津方言の変容について考察していく。

筆者は、2013年7月～2016年12月にかけて、10回にわたる会津地方での方言景観調査を実施した。本章ではその際に撮影した方言景観に見られる会津方言を中心に、会津方言話者への聞き取りなども併せて考察していく。

3.5. 会津の観光と方言景観

会津地方は鶴ヶ城、喜多方ラーメン、猪苗代湖、磐梯山のある北部から、大内宿や尾瀬などのある南部まで観光資源が豊富なため、震災以前から観光地として賑わってきた。

震災後、会津の観光産業を盛り上げたのは 2013 年の NHK 大河ドラマ『八重の桜』と言える。これは幕末の会津藩士の娘である山本八重（後の新島八重）を主人公としており、物語前半の舞台は会津となっている。放送前後から福島県としても会津観光の大々的な PR 活動をした。会津は震災後、風評被害などで観光客の足が遠のいてしまった時期があったが、そのような経緯もあり観光客は戻っていった。

そんな会津地方では、他の地方（ロング 2009、中井 2011、ロング・今村 2012、井上他 2013、ロング・斎藤 2016 など）でも見られるような方言で書かれた看板やのぼりなどが多く存在する。ここでは、そのような方言景観、特に観光客向けのものを中心に、会津方言の変容について見ていきたいと思う。

3.6. 会津地方と会津方言

まず、本章で扱う「会津地方」と「会津方言」について述べる。

本章の「会津地方」は、福島県の慣習的な地域区分である 3 地方（「浜通り」「中通り」「会津地方」）のうちの一つで、おおよそ奥羽山脈以西の一带を指す（図 12）。

「会津方言」に関しては、一般に会津地方一帯で使用される方言の総称として用いられ、第 1 章で述べた本研究における方言区分でもその意味で使用している。しかしながら本章では、主に会津地方の中心都市である会津若松市が位置する会津盆地（会津平）一帯で使用される「会津平方言」²（菅野 1982 の^会①に当たる）と^会②の方言を別の方言として区別して扱う部分がある。そのため、本章に限っては^会①の「会津平方言」を「会津方言」、^会②の方言を「南会津方言」とする（図 13）。

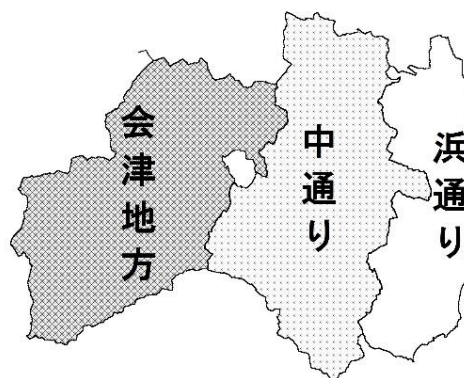


図12. 会津地方の位置

3.7. 大河ドラマと方言景観

2013 年 7 月の調査では、『八重の桜』が放送中の時期であり、至るところで『八重の桜』の主人公である八重をモチーフにしたキャラクター「八重たん」が見られた。そしてドラマで八重は終始会津方言を話すという設定も相まってか八重たんには会津方言のセリフが添えられることがほとんどであった。

郡山市と会津若松市を結ぶ JR 磐越西線の車両の外側には、八重たん与会津方言「よく来らったなし！」（よくいらっしやいました！）がプリントされていた（図 14）。



図13. 福島県の方言区画（菅野 1982:367 より）

² 菅野(1982) p.367



図14. よく来らったなし (2013年)

なお、「来らった」の読みについては、「きらった」とする場合と「こらった」とする場合の両形が見られる(図15)。両者ともに会津若松市内で撮影したものである。左は商店の入り口の暖簾、右は観光地である飯盛山の土産店にあった。

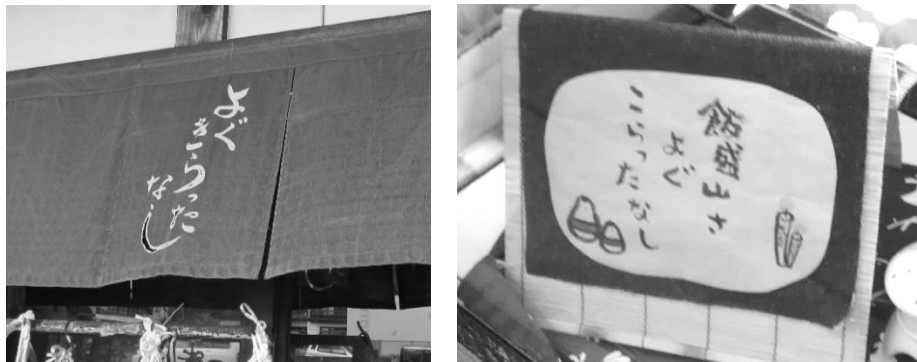


図15. 「よくきらったなし」と「よくこらったなし」 (2016年)

しかしながら、児玉(1974)や龍川・佐藤(1983)を見ると、共に「キラッタ」の項目があるものの、「コラッタ」に関しては存在していない。これに関連して、会津方言話者の50代女性(以下A氏)、50代男性(以下B氏)、80代男性(以下C氏)に対して「きらった」「こらった」についての聞き取り調査を実施した。A氏は20代から関東地方に移住したがそれまでは会津地方に居住しており、移住後も定期的に会津地方に行き来している。A氏は、「きらった」「こらった」両語形とも聞いたことがあるが、どちらかと言うと「きらった」がよく使われていると語った。B氏もA氏と同じく20代から関東地方に移住しているが、彼に関しては「きらった」は聞いたことがあるが「こらった」は聞いたことがないとした。また、会津地方の生え抜きであるC氏は図15左の暖簾の設置者である。C氏は「きらった」「こらった」両方聞くが、C氏自身は「きらった」をよく使うと話した。

以上より、「きらった」が会津方言における従来の語形で、「こらった」が比較的新しく現れた語形である可能性が浮上する。会津方言の動詞については可能形・受身形・尊敬形の語幹が共通しており³、1979～1982年に調査した国立国語研究所編(1999)及び国立国語研究所編(2006)では、

³ 菅野(1982) p.389

「ここに来ますか」（一般動詞・尊敬動詞共に）の図で会津地方は会津若松市の“kirahak-kasi”など“ki-”から始まる語形のみで、会津地方全体を見ても“ko-”から始まるものが分布していない⁴。また、「来ることができる[状況可能]」として会津地方では“kirareru”系のみ、あるいは“kirareru”系と“korareru”系が併存していることになっている⁵。しかし、上記インフォーマントへの聞き取りの際、「来る」の可能形及び受身形について語幹が“ko-”であることを確認し、“ki-”は聞いたことがない、“ki-”にしてしまうと「着る」の意味になってしまう、との話もあった。

これらをまとめると、従来可能形・受身形・尊敬形の語幹は全て“ki-”であったが、先に可能形・受身形の語幹が“ko-”に取って代われ、その後尊敬形の語幹としても“ko-”が使われつつあるのではないかという推測を立てることができる（表2）。可能性としては命令形“ko(:)”あるいは標準語の可能形・受身形・尊敬形の語幹“ko-”の影響も考えられるが、当然ながら本章の調査のみでは断言できるものではなく、今後これについての本格的な調査が必要であると考えられる。

表2. 「来る」の可能形・受身形・尊敬形の語幹の変化

会津方言	買う	見る	来る
可能形・受身形語幹	kaw-	mi-	ki- ⇒ ko-（早い段階で）
尊敬形語幹	kaw-	mi-	ki- ⇒ ki-, ko-

また、図15は両者共に「よく」と記されているが、これは会津方言における語中語尾のカ行子音有声化を再現したもので、図14の「よく」と同じものを指す。会津方言以外の諸方言にも言えることだが、特に正書法はない。そのため語中語尾のカ行やガ行についてはしばしば表記のゆれが見られるが、それについてはここでは触れない。

2013年7月の時点では、会津若松駅内の改札脇の通路に「会津弁特集!!」と題した方言クイズが設置されており、標準語訳を併記した解答も配布されていた（図16）。

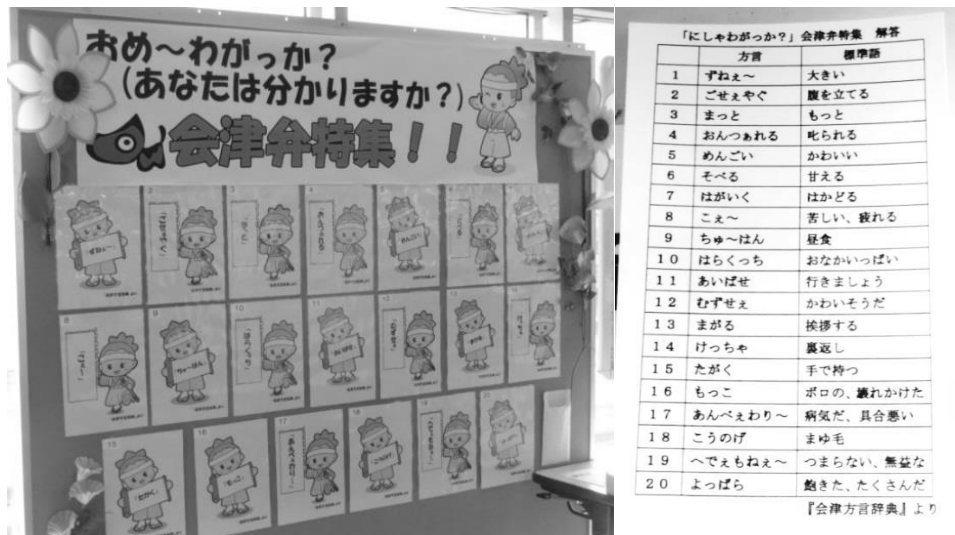


図16. 会津方言のクイズ（2013年）

⁴ 国立国語研究所編(2006) 第278図、第279図

⁵ 国立国語研究所編(1999) 第178図

通路を挟んで図 16 のクイズの反対側には図 17 の「八重のふるさとさ よく来らったなし！」（八重のふるさとに よくいらっしやいました！）と書かれた記念撮影用のボードも確認された。こちらでは、八重たんが俵を担いで「さすけねえ！」（大丈夫！）と発言している。



図17. 八重のふるさとさ よく来らったなし！（2013年）

会津若松駅を出ると、出入り口に「よく来らったなし！」と大きく書かれた横断幕が掲げられていた（図 18）。このような横断幕は、会津若松駅に限らず喜多方駅など会津地方の他の駅でも見られた。このように、大河ドラマに絡めた方言景観は、会津地方の至る所で目にすることができた。



図18. 会津若松駅前の「よく来らったなし！」の横断幕（2013年）

上述のように 2013 年時点では会津地方の様々な場所で見られた大河ドラマの方言景観であったが、このような形で増えた方言景観は長続きはしないようである。図 16 の方言クイズに関しては、2014 年 2 月に調査した際には既に撤去されていた。また、図 18 の横断幕に関しても 2016 年 2 月の時点では撤去されていた。つまり、これらに関しては『八重の桜』放送終了後、次第に撤去されてしまった流行的な方言景観であったと考えられる。図 17 のボードに関しては 2016 年 12 月の時点でも設置されていた。

このように、大河ドラマの影響で多くの方言景観が設置されたとしても、一時的な流行の一つとなってしまう場合は、早い段階で消えてしまうことが確認できた。

3.8. 方言分布の変化

観光客向けの看板などを見ると、そこに書かれた方言が従来からその地域で使われる方言ではない場合もある。図 19 の看板には八重たんの発言として「八重さんのふるさと 会津さよく来らったなし ありがとなし まだ きてくなんしよ」（八重さんのふるさと 会津によくいらっしやいました ありがとうございます また 来てください）と、方言が書かれている。

八重たんのモデルである新島八重（『八重の桜』の主人公）は、現在の会津若松市にあたる地域の生まれであるため、ここに記されているのは会津若松市を中心に会津北部（図 13 の㊦①）で話される「会津方言」であると思われる。しかし、この看板が設置されていたのは旧田島町（現南会津町）の駅のホームであり、「南会津方言」が話される地域（図 13 の㊦②）である。飯豊(1964a)によると、この旧田島町では丁寧を表す助詞として「ナン」（図 19 に 2 回現れる「なし」に相当する）が用いられているとされるが、当時の時点で「南会津の各地で「シ」「ナシ」「ゾシ」などの言い方が聞かれるが、これは新しい形であり、若松市などのことばの影響によると意識されている。文化・経済・政治などの面で優位に立つ若松市のことばの影響は大きいものがあると思われる」とあり、会津若松市からの影響で「ナシ」も用いられ始めていたことが分かる。会津若松市が会津地方の中心であることは現在も同じであり、この場合は南会津町が「会津地方」であることを観光客誘致に活かす際、会津の中心である会津若松市に関係のある八重たんが（本来は南会津にはあまり関係がないにも関わらず）会津方言と共に観光客向けの看板に採用されていると考えられる。



図19. 南会津町（南会津方言域）に見られる八重たんと会津方言（2014年）

図 19 は大河ドラマに関係する方言景観のため、一時的なものではないのかという指摘が予想される。たしかに 2016 年 11 月に再び南会津町を訪れた際に撤去されていたが、このように南会津方言域に会津方言の方言形式が入り込んだ可能性のある例は他にも確認された。同じく南会津方言域に位置する下郷町の観光名所である大内宿にあるそば屋では「よらんしよ」（寄ってください）「こらんしよ」（いらしてください）と書かれた表示がみられるが、菅野(1982)によると、これらも会津方言で用いられる尊敬命令形“-*(ra)Nsjo*”（本章では“-*aNsjo*”系⁶とする）であり、下郷町で従来用いられる尊敬命令形ではない⁷（図 20）。

⁶ 「系」となっているのは、“-*aNsjo*”であると考え一部について例外的なものが含まれるためである。その例外については 3.9. で“-*ahaNsjo*”系⁶の話題の際に述べる。

⁷ 菅野(1982) p.390



図20. 下郷町（南会津方言域）に見られる会津方言（2013年）

なお、下郷町で従来用いられる尊敬命令形は“-*(ra)Qsje*”とされており、大内宿には従来の方言形式を用いた「よってがっしえ」（寄ってってください）と書かれた暖簾を出した土産店も存在していた（図21）。



図21. 南会津方言の尊敬命令形「よってがっしえ」（2013年）

図20の「よらんしょ」「こらんしょ」に関しては、インターネット上の旅行記にあった写真から少なくとも2006年の時点で設置されていたことが確認できた⁸ので、震災前から使用されていることが分かった。また、下郷町は南会津方言域とはいえ会津若松市などの会津方言域と隣接しているため上述の飯豊(1964a)にあるような会津若松市からのことばの影響は容易に受けやすい地域であるともいえ、それによって“-*aNsjo*”系も持ち込まれた可能性が考えられる。

また、図22を見てみる。これは会津方言域にある磐梯町の土産売り場で見られた表示で、南会津のそばを販売していた。

⁸ こなん（ペンネーム）(2007)



図22. 会津地方で見られた「がんぱっぺ」 (2013年)

そこには「がんぱっぺ南会津」(がんばろう南会津)という方言エール(田中 2016)が書いてある。これまで見てきた観光客向けのものに地名がある場合「南会津へようこそ!」のようにその場所への来訪者(つまり観光客)が対象となるが、方言エールの場合は「南会津のみんな、がんばろう!」のようにそこに書かれた地名の住民向けのものとなる。この方言エールが、商品を生産している「南会津」の視点からエールを送っているのか販売場所(表示の設置場所)である「会津」(南会津ではない)として南会津にエールを送っているのかははっきりしないが、飯豊(1964b)や菅野(1982)によると、従来の会津方言では意志や勧誘の意味合いで“-Qpe”は使用しないとされる。会津方言では“(N)be”、すなわち「がんばんべ」となる。それでは会津方言では“-Qpe”は全く用いられないのだろうか。

そこで、前述のA氏、B氏、C氏には、「がんばんべ」と「がんぱっぺ」の使用についても質問した。B氏、C氏共に「がんばんべ」を使う、「がんぱっぺ」は郡山や浜通りのことばであって使ったことはない、といった意見が出た中、A氏は「がんばんべ」のほうがより会津らしくよく使うが「がんぱっぺ」も使う、と語ったのである。ただし“-Qpe”については全ての動詞ではなく、例えば「起きる」について「おぎっぺ」は聞いたことがなく、「おぎんべ」しか使わないと付け加えた。更に、会津方言話者の20代女性(以下D氏)についても同様の質問を行った。D氏は会津地方の生え抜きで他地方への移住経験もない。D氏は、「がんぱっぺ」も「がんばんべ」も両方使うとし、「がんぱっぺ」は大勢の人に使うようなイメージ、「がんばんべ」は仲間内で軽く使うイメージであると語った。「がんぱっぺ」を先に挙げたことから分かるように、他のインフォーマントのような「がんばんべ」が会津らしいとか「がんぱっぺ」が他地方の方言だといったイメージがないことが窺える。つまり、会津地方では全ての動詞とは言い難いが、会津方言域でも南会津方言域でも“-Qpe”が使われていることになる。

しかしながら、A氏、B氏、C氏の回答から、「がんばんべ」のほうがより「会津らしい」という意識があることは間違いなさそうである。D氏についてはそのような意識はないものの、「がんぱっぺ」は大勢に、「がんばんべ」は仲間内で、というあたりは後者の方がより地元で使いやすいという感覚の表れではないだろうか。図23は会津若松市内のホテルにあったバス会社の広告であるが、ここには「がんばろう福島!」と「がんばんべ会津!」の二つが書かれている。福島(ここでは福島県を指すと考えられる)に向かっては標準語でエールを送っている⁹が、地元であ

⁹ 福島県に向かって「がんぱっぺ」を用いずに標準語を用いていることが気になるが、ここでは触れない。

る会津に向かっては「がんばんべ」と記している。これは福島県と会津を区別しているため、会津には「会津らしい」形式を用いていると考えられる。

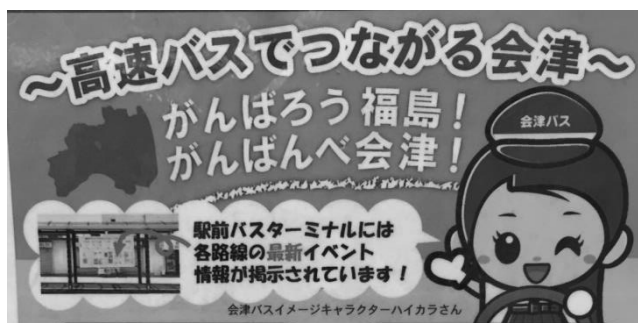


図23. がんばんべ会津！（2016年）

一方、福島県全体に対する方言エールは「がんばっぺ福島」となる（図24）。これは会津若松市内の日本料理店で出されたおしぼりの袋である。



図24. がんばっぺ！福島（2014年）

“-Qpe”を従来より使用するのには県庁所在地の福島市や県内最大の都市である郡山市がある中通り、あるいは東日本大震災で大きな被害を受けた太平洋岸の地域である浜通りと福島県の中でも分布域が広い。震災復興を福島県として一丸となってがんばろうという意味で使用されている方言エールでは、県内で共通性が高く、かつ政治や経済の中心である中通りの方言を中核とした一種の「福島県共通語」が用いられているのではないかと考えられる。これらに関しても、図19や図20が「会津地方」で優位に立つ会津方言を用いたのと同様に、図22や図24では「福島県」での「福島県共通語」を用いているとみられるのだ。

このように、観光客向けの方言景観では、従来の方言分布域を越えて、会津方言が南会津方言域にまで入り込んでいることや、福島県全体としての震災復興の動きで県内の共通語的な表現が用いられている実態が明らかになった。南会津における各方言の関係を図25のように示すことができる。



図25. 南会津の方言関係図

図のように、従来南会津方言を使用する場合でも、「会津地方」としての観光客向けの方言、すなわち「観光方言」としては会津の中心である会津若松市周辺の会津方言が入り込む。さらに「福島県」としての震災復興に対する方言、すなわち「復興方言」としては福島県の中心である福島市や郡山市の中通りの方言を中核とした一種の「福島県共通語」が、「観光方言」として会津地方全域で用いられる会津方言を使用する地域でさえも入り込むという構図が見られる。

3.9. 待遇表現の減少・固定化

会津方言は、福島県内の中でも他の方言と比較して敬語の発達した方言とされている。観光客向けの方言によく見られるものとして図13などで見られた「来らったなし」のような丁寧の助詞「し」以外にも、尊敬語にあたる待遇表現が存在する¹⁰。その中でも方言景観として会津若松市内でよく見られたものが、「よってがんしょ」（寄ってってください）や「飲まんしょ」（飲んでください）、「やすまんしょ」（休んでください）などの“-aNsjō”系の形式である（図26）。それぞれ店頭などに設置されていた。



図26. 会津若松市内で見られる待遇表現“-aNsjō”系（2016年）

“-aNsjō”系は「～してください」という尊敬命令形であり、これらの方言景観はこれから店に寄るであろう通行人や、あるいは買い物中の購買客に向けられたもので、待遇度としては高いものである。しかし、従来は最も高い待遇度ではない。

菅野(1982)によると、“-nahaNsjō”と“-haNsjō”という形式が“-(-ra)Nsjō”（本章の“-aNsjō”系）の上位とされているが、生え抜きの会津方言話者である70代女性（以下E氏）に「来て」に相当する方

¹⁰ 実際には「来らった」（いらした）自体が標準語に直訳すれば「来られた」に対応する尊敬語であるが、ここでは尊敬命令形に着目したいため、触れないことにする。

言を、待遇度の高い順に言ってもらったところ、「こらはんしょ」「こらんしょ」「きっせ」「こー」と挙げ、「こなはんしょ」「きなはんしょ」「こはんしょ」「きはんしょ」などのような表現はないとした。つまり「来る」の場合、語幹“ko-”に“-rahaNsjo”を接続した“ko-rahaNsjo”であると考えられる¹¹。なお、「飲む」の場合は“nom-ahaNsjo”となる。菅野(1982)にある“-nahaNsjo”については、標準語に直訳するなら「お入りください」となる「おわいなはんしょ／おあいなはんしょ」（いらっしやいませ）のような「接頭辞お+動詞連用形」や行為を示す名詞に接続する場合に用いられ、“owai-nahaNsjo”という形になる。しかし、“-nahaNsjo”という形式は上述の場合にしか用いられず、かつ待遇度は“-(r)ahaNsjo”と同じため、菅野(1982)にならって別形式として挙げるのは適切ではない。“-aNsjjo”系でも同様に「おわいなんしょ」「ごめんなんしょ」など“-naNsjo”があるが、これも“-(r)ahaNsjo”と同じ待遇度にあるものであり、かつ“-nahaNsjo”同様に「接頭辞お+動詞連用形」や行為を示す名詞に接続する場合以外には使われない。そのため、本章ではそれぞれまとめて“-ahaNsjo”系、“-aNsjjo”系としている。

ところがこの“-ahaNsjo”系であるが、これまでの方言景観調査においてこの形式を用いていたものは「おわいなはんしょ／おあいなはんしょ」（いらっしやいませ）のみしか見つけることができなかった（図 27）。これらは、外からの観光客というよりは、地元住民が主な購買客であると思われる店にあった。左は会津若松市内の酒蔵の入り口、中は図 15 左と同一の暖簾として商店の入り口に、右はテナントショップ内に設置されていた。特に左と中は古くからある店であり、本来は地元住民向けである可能性が高い。

これには、実生活の話しことばにおいて“-ahaNsjo”系の使用者が減りつつあることや、方言景観への“-aNsjjo”系の多用などが関係していると思われる。

話しことばでは“-ahaNsjo”系が消えたわけではなく、実際に、筆者が 2016 年 2 月に会津若松市で調査した際、E 氏は「おわいなはんしょ」に限らず「こらはんしょ」（来てください）や「おいでんならはんしょ」（おいでになってください）のように“-ahaNsjo”系を頻繁に用いていた。ただし、E 氏はこれまで数多くの会津方言話者と接してきた筆者¹²にとって初めての“-ahaNsjo”系の使用者であった。また、成人後の関東地方での数年間の移住を除いては生まれてから現在まで会津地方で過ごしている会津方言話者の 50 代男性（以下 F 氏）に聞いたところ、「おわいなはんしょ」は高年層の一部からしか聞かないとした。また、前述の A 氏については、“-ahaNsjo”系は聞いたこともないということである。両者とも“-aNsjjo”系についてはよく聞かれるとした。“-ahaNsjo”系が“-aNsjjo”系と比較して耳にする機会が少ないという意味では方言景観の状況と似ていると言えよう。

また、そのような背景もあつてか観光客向けに会津方言を使用する際、図 26 のように尊敬命令形としては“-aNsjjo”系が多用されている。方言景観として“-aNsjjo”系を頻繁に目にするようになると、新たに設置する際にますます“-ahaNsjo”系よりも“-aNsjjo”系の使用が定着するのではないだろうか。

¹¹ 一段動詞や変格活用動詞の際には接辞“r”が付加されてから、“-ahaNsjo”や“-aNsjjo”に接続する。

¹² 筆者の両親は会津地方出身者であるため、会津地方生え抜きの親族が来客に対して用いた方言形式などをこれまで観察してきた。



図27. おわいなはんしょ／おあいなはんしょ (2016年)

つまり、会津方言の方言景観において、観光客向けのものが増加し、尊敬命令表現の表示が多く見られるようになったが、詳しく見ると“-aNsjō”系の表示が多く見られる一方、“-ahaNsjō”系は生産性が失われ「おわいなはんしょ」一つが定型化して、例外のようになってしまったのである。従来の会津方言では菅野(1982)や前述のE氏への聞き取り調査より、“-ahaNsjō”系からφ形（待遇表現のない命令形）まで4つのバリエーションが存在していることが分かるが、方言景観においては「おわいなはんしょ」を除くと“-aNsjō”系、“-(Q)se”、φ形の3つに集約されていると言える（表3）。

表3. 方言景観の会津方言に見られる尊敬命令形

従来の会津方言	方言景観の会津方言
“-ahaNsjō”系	“-aNsjō”系
“-aNsjō”系	
“-(Q)se	“-(Q)se
φ	φ

なお、“-(Q)se”については、待遇度がそれほど高くないためか、観光客向けにはあまり見られなかったが、テナントショップの店名に「アイバッセ」（行きましょう）¹³というものが見られた（図28）。

¹³ 「あいば（っ）せ」は「あいぶ」（行く）に“-（Q）se”が接続したものであり、標準語に直訳すれば「行きなさい」となるが、実際には勧誘に似た意味合いを含んでおり、「行きましょう」の意味で発話者自身も一緒に行く場合に使われる。“-(Q)se”の中でも少々珍しい例である。



図28. アイバッセ (2016年)

方言景観では、このような待遇表現の減少が見られ、また、“-aNsjō”系ばかりが見られることによる待遇表現の固定化が考えられるのだ。ロング・斎藤(2016)では、中通りの福島市で待遇表現のバリエーションが減り、「らんしょ」(本章の“-aNsjō”系と同形式)が拡大しているという本章と同様の現象が報告されている。会津地方でも福島市周辺でも“-aNsjō”系が残ったという点は、前述の「福島県共通語」に似たものを感じざるを得ない。

3.10. まとめ

以上、震災後の会津地方に見られる方言景観を中心に、東北地方に見られる方言景観について見てきた。

その結果、

- ①方言景観は仮名表記が多く、外国人住民にとって読みやすい
- ②東北地方でも方言景観がほとんど見られない地域が存在し、そのような地域では話し言葉としてもあまり方言が聞かれないか、あるいは聞いていてもさほど問題になっていない可能性がある

また、会津地方では、

- ③大河ドラマによる方言景観の増加は一時的・流行的なもので終わってしまうこと
- ④観光事業のキーワードとして「会津」を押し出すことで南会津方言域でも観光方言としての会津方言の方言景観が進出していたり、「福島県」が一体となった方言エールを発する際は復興方言として一種の「福島県共通語」が使用されたりしていること
- ⑤方言景観の会津方言に見られる尊敬命令形としては、従来最も待遇度の高い“-ahaNsjō”系が「おわいなはんしょ」を例外的に残すのみで使用されず、その次に高い“-aNsjō”系がほとんどを占めていること

が明らかとなった。

本章では、方言景観を出発点に、実際に話されていることばにまで踏み込んで調査をした。このように、東北地方では、外国人住民が目にする方言景観が、一部の地域を除いて彼らの言語環境を形成しており、そしてその方言景観は、実は彼らが耳にする方言とも関連があるということが確認できた。

第4章 日本人の方言使用調査

4.1. はじめに

本章では、東北出身者あるいは東北在住の他地方出身者（以下「東北在住者」）から、「使う方言」や「聞いたことがある方言」について聞くことで、日本語を母語としない人（外国人住民）が普段の生活の中で耳にする可能性の高い方言を収集することを目的とした「方言使用調査」について考察する。

4.2. 予備的調査

4.2.1. 概要

本章の調査としては、「予備的調査」と「本調査」に大きく分かれ、また、その調査方法も異なる。本調査の調査方法を確立するために実施したのがこの予備的調査である。

予備調査では、現在は埼玉県在住で山形県置賜地方出身（18歳まで居住）の50代男性（以下「O氏」）と、福島県中通り地方に4年間居住歴のある埼玉県出身の20代男性（以下「S氏」）を対象に、半構造化インタビューを実施し、前者には置賜方言、後者には中通り方言について聞き取り調査を行った。この2名を対象とした理由は、東北出身者と他地方出身の東北居住（経験）者という東北方言に異なる環境で触れる両者を比較することで、本調査のための課題を明らかにすることにあつた。

O氏には2015年6月に、S氏には2015年9月に調査を実施した。

両者に対する調査の結果、以下の点において明らかとなり、これらが本調査では活かされることになった。

4.2.2. 方言リストの必要性

筆者は当初、調査で方言リストを用いることについては否定的であった。方言リストを見ることで、「リストにある＝地域で使っている」と思い込み、実際は使ったり聞いたりしたことがないものまで「使う」「聞く」と答える可能性を含んでいると考えたからである。O氏への調査の際、最初のうちはあくまでも「地元を離れてから、他の地域で使って通じなかった方言は何か」などと質問でその回答を得ようとしていた。しかし、そのように質問すると「あまりない」という回答になってしまった。そこで、話題提供のために用意しておいた置賜方言のリストを見せると、多くの項目について「これは使う」「これは祖母が使っていたのを聞いたことがある」「これは聞いたこともない」と次々と回答していただけた。たしかにリストにつられて思い込みで回答する可能性が払拭できるわけではないが、「使う」「聞くけど使わない」「聞いたこともない」の判断はほとんどの場合で瞬時にでき、方言項目を提供せずに聞き出すだけの場合とは圧倒的に量的な面でも効率的な面でも差が感じられた。

4.2.3. 標準語と同語形のもの

O氏への調査において、「おちる」（降りる）、「こわい」（疲れた）、「なげる」（捨てる）、「やなさって」（明々後日）など、標準語と同語形でありながら意味が異なるものが見られた。この問題については第1章で述べたが、予備的調査において再確認することができた。

4.2.4. 県・地域にこだわらない

○氏は先に述べた通り、山形県置賜地方出身であるが、そこは福島県会津地方と隣接している(図29)。○氏の回答の中で、「うるかす」(水に浸ける)、「おだる」(折る)、「おっかね」(怖い)、「おちる」(降りる)、「がおる」(体調を崩す)、「かつちゃぐ」(搔く)、「がなる」(怒鳴る)、「くたびっちゃ」(くたびれた)、「ごしゃげる」(腹が立つ)、「こわい」(疲れた)、「さすけね」(大丈夫)、「たがぐ」(持つ)、「なげる」(捨てる)、「はらくっち」(お腹いっぱい)、「むずる」(曲がる)、「むぐす」(漏らす)、「んだ」(そうだ[肯定])など、非常に多くの方言項目が会津方言と同一あるいは非常に近い形式と意味を持っていることが明らかとなった。このことから、他の地域においても、複数の地域を跨いで分布する方言項目の存在が予想され、本調査においては、県や地域ごとに分けて方言リストを用意しないことを決定するに行った。また、県ごと・地域ごとに分けてリストを提示することで、他県・他地域の方言項目として用意していたものが、実は他でも使用されていた、という漏れを防ぐ役割も果たす。さらに、東北地方全域の諸方言項目を本調査で示す方言リストに入れると、「このリストには東北地方の他の地域の方言もありますから、全部があなたの地域で使われているわけではありません」と事前に告げることができ、これにより先に述べた「リストにつられて思い込みで回答する」危険性を少しでも軽減することができる。この「県・地域にこだわらない」方針は、第6章で述べる方言理解支援ツールの方言項目の掲載方法においても踏襲している。

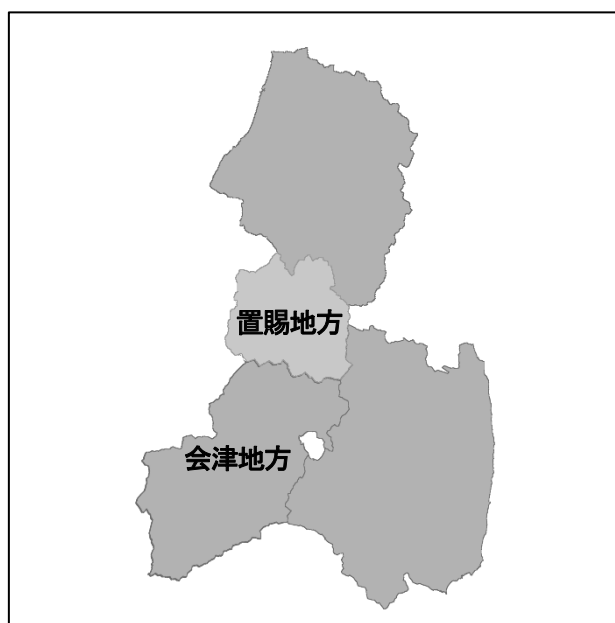


図29. 山形県置賜地方と福島県会津地方の位置関係

4.2.5. 他地方出身者が覚えた方言

S氏への調査において、S氏自身は埼玉県出身者であり、福島県中通り地方での居住期間も大学在学中の4年間であったということもあり、○氏の時の調査に比べて、出てきた方言項目は多くなかった。しかしながら、他地方出身者でかつ限られた期間に居住していた中で覚えた方言項目は、実際によく使われているものである可能性が高い。事実、S氏の回答した「なげる」(捨てる)、「ひゃっこい」(冷たい)、「だから」(同意を示す語)、「あるって」(歩いて)などの方言項目は後に本調査で多くの福島県のインフォーマントが「使う」としたものと一致しており、結果と

して第6章で述べる方言理解支援ツールにはS氏の回答のほぼ全てが掲載することになった。このことから、他地方出身が身に付けた方言は、現在実際に使用されているものが多い可能性があることが明らかとなった。

4.3. 本調査

上記の予備的調査で明らかとなった課題などを鑑みて、本調査では、予め方言リストを作成して、それらの項目について「使う」「聞く」「聞いたこともない」などを判断してもらう方法をとることにした。

調査のため、まずは東北諸方言の辞典、東北諸方言に関する書籍やホームページ（秋田県教育委員会編 2000、江端他編 1998、久米田 2007、児玉 1974、篠崎・東京女子大学篠崎ゼミ 2011、平山他編 2003、日高 2011、龍川・佐藤 1983 など）、また筆者の内省などから予め調査用の方言リストを作成した（図 30）。筆者が用意したリストには青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県（以下「東北6県」）の全域・あるいはいずれかの地域で用いられるとされる 240 の方言項目（219 の方言語彙および 21 の文法事項）を掲載した。

判定	表現	※使う／聞く語形	標準語	コメント
35	あるって(例: 駅まであるって)		歩いて	
36	あんじやら(あじやら)		みっともない	
37	あんべわり		具合が悪い、病気だ	
38	いいあんべ		ちょうどいい、心地いい	
39	いきなり(例: いきなりうまい!)		とても	
40	いたましい		もったいない	
41	うがえ		多い	
42	うすらかすらする		ぶらぶらする、うろうろする	
43	うだで(例: うだでぐなった)		気持ちが悪い	
44	うつつあし		うるさい	
45	うらからする		ぶらぶらする、うろうろする	
46	うるかす		水に浸ける	
47	えがらもがら		よろよろ	
48	えずい(いずい)		目のごみがごろごろする、違和感がある、居心地が悪い	
49	えつつに(いっつめい)		とっくに	
50	えづめ		ゆりかご(糞などで糺んだもの)	
51	えんっこ		ゆりかご	
52	おが		たくさん	
53	おがる		生長する	

図30. 方言リストの一部

このリストを東北6県の出身者や在住者に提示し、使用状況を調査した。

方言リストを用いた面接調査、電話調査、あるいは質問紙調査によってインフォーマントに方言を確認してもらい、リストの方言項目について「使う」「使わないが聞く」「聞いたこともない」のいずれかを判断してもらった。面接調査の場合はまずはリストに記入をしてもらい、その後共にリストを見ながら再確認をしてもらった。電話調査の場合は、予めメールでリストを送って調査中に共に見ながら確認する場合と、筆者がリストを見て方言項目を読み上げ、インフォーマントに判断をしてもらう場合があった。面接調査および電話調査の実施が難しいインフォーマントについては、フェイスシートと方言リストを合わせて配付し、質問紙調査の形式をとることにし、後日回収した。

なお、方言項目については当初 240 であったが、インフォーマントからリストに掲載されていないが「使う」あるいは「聞く」語形について提示された場合に随時追加していった。

インフォーマントは 10 代～90 代の東北出身者及び東北在住者計 26 名である。

また、インフォーマントの各県別の内訳は以下の通りである。括弧内は、県内の地域（方言域）別の内訳を示しているが、これは第 1 章で述べた筆者の方言区分によるものである。なお、宮城県のインフォーマント 5 名については、岩手県出身者 2 名、山形県出身者 1 名を含んでおり、その 3 名には出身地と在住地（あるいは在住していた地域）の方言について調査したため、重複していることを予め断っておく。多くの地域に関しては 2016 年 5 月～8 月の間に調査を行ったが、山形県の最上及び庄内に関しては 2017 年 2 月に実施した。

青森県…1 名（津軽 1）

岩手県…4 名（南部 1、伊達 2、気仙 1）

宮城県…5 名（仙台 5）

秋田県…3 名（秋田 2、鹿角 1）

山形県…6 名（村山 2、置賜 1、最上 1、庄内 2）

福島県…10 名（会津 8、中通り 1、浜通り 1）

また、秋田県に 30 年以上在住しているポルトガル語母語話者 1 名と、宮城県に 20 年以上在住している韓国語母語話者 1 名にも同様のリストを用いた調査を実施した。両者はもともと留学生として来日したのち日本に定住しており、日本語の読み書きに堪能である。長年住む彼らにこの調査を実施することで、東北出身者や東北在住者が「使う」「聞く」とする方言項目を外国人住民が実際に聞き、覚えているのかを確認する。

4.4. 方言区分

第 1 章でも述べたが、本研究では以下のように東北方言を区分している。

青森県…津軽方言（青森県西部）、南部方言（青森県東部）

岩手県…南部方言（岩手県中部～北部、青森県の南部方言と同じ）、伊達方言（岩手県南部）、気仙方言（岩手県南東部）

宮城県…仙台方言

秋田県…秋田方言、鹿角方言（秋田県北東部）

山形県…村山方言（山形県中部）、置賜方言（山形県南部）、最上方言（山形県北部）、庄内方言（山形県西部）

福島県…会津方言（福島県西部）、中通り方言（福島県中部）、浜通り方言（福島県東部）

そして、この方言区分を図にしたものを図 31 として以下に再掲する。

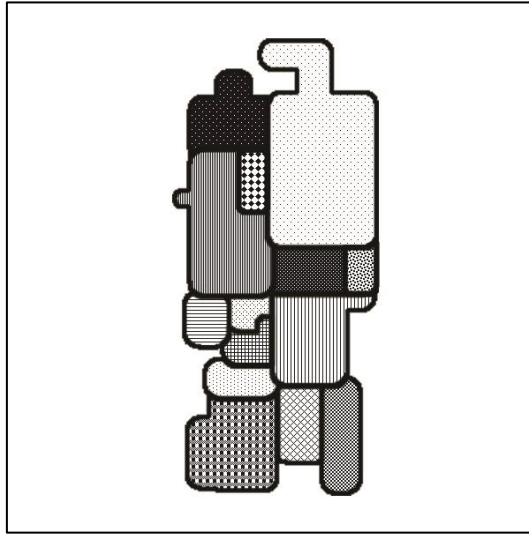


図31. 東北方言の区分図（再掲）

なお、本章で扱う日本人の方言使用調査の結果及び次章で述べる外国人の方言理解調査の結果を踏まえて、第6章で述べるように方言理解支援ツール（方言集）を作成したのだが、山形県の最上方言及び庄内方言の調査については方言集作成後に実施する機会を得たため、それらのデータは方言集には反映されていない。しかし、本章では最上方言及び庄内方言の調査データも含めたいので、方言使用調査について考察する。

4.5. 東北地方全域で広く用いられていたもの

次に調査結果を示す。まずは東北6県全域で広く「使う」あるいは「聞く」と回答された項目である。なお、各県でいずれかの地域に使用が認められていれば、14方言全てで使用されていなくても以下に並べることにした。方言項目のあとに「」内に代表的な標準語訳を示す。

- ・～がね? 「～かない?」
- ・～こ 「名詞のあとに付ける指小辞」
- ・あんべわり 「具合が悪い」
- ・いたましい 「もったいない」
- ・うるかす (うるがす) 「(米や豆などを) 水に浸ける」
- ・きかねー 「気が強い、言うことを聞かない」
- ・け 「食べる、くれ、かゆい」
- ・この! 「怒った時に言うことば」
- ・しじゃかぶ (ひざかぶ、ひじゃかぶ、へじゃかぶ) 「膝」
- ・しゃっこい (しゃっけ、ひゃっこい、ひゃっけ) 「冷たい」
- ・すっぱね (しっぱね) 「泥はね」
- ・せつね (へずね) 「つらい」
- ・たがぐ (たなぐ) 「持つ、持ち上げる」
- ・ちゃっちゃと 「さっさと、早く」
- ・でかす 「完成させる、終わらせる」
- ・なげる 「捨てる」
- ・なにしたの? 「どうしたの?」
- ・なんも 「どうってことない (お礼に対する返事)」
- ・はかい 「はかどる」
- ・ばんかた 「夕方」
- ・ばんげ 「夜」
- ・まなぐ 「目」
- ・みったぐね 「みっともない、憎たらしい」
- ・めぐせ (みぐせ) 「みっともない」
- ・めぐい (めんこい) 「かわいい」
- ・やっこい 「やわらかい」
- ・やむ 「病気になる、痛む」
- ・んだ 「はい、そうだ」

・んにゃ「いや」

次は、6 県ではないものの、5 県というほとんどの県で使用が確認されたものを記す。

- ・～さる（～さいる）「うっかり～する、自然に～する、たまたま～する」
- ・～す「～です（丁寧）」
- ・～はー「～（だ）よ（強調）」
- ・～はんで（～はで、～あんで）「～（だ）から」
- ・～らせる（～らへる）「～させる」
- ・あやー「あれまあ」
- ・おがる「成長する、大きくなる」
- ・おずけ「味噌汁」
- ・おぼんです「こんばんは」
- ・がおった「疲れた」
- ・かでの「仲間に入れる」
- ・こわい（こえー）「疲れた」
- ・ずっこい（ずっけー）「ずるい」
- ・ぞうさね（じょさね）「どうってことない」
- ・ちょす「触る」
- ・つかかけ「サンダル」
- ・なんでかんで「どうしても」
- ・ねまる「座る、休む」
- ・のたばる（ぬたばる、のったばる）「横になる」
- ・はかほか「どきどき、はらはら」
- ・ばっち（ばっちこ、ばっつ、ばっつこ）「末っ子」
- ・はめる「仲間に入れる」
- ・ひとめわり「みっともない、はずかしい」
- ・ひまだれ「時間の無駄」
- ・ほろぐ（ほろく、ほろう）「払い落とす」
- ・まぜる「仲間に入れる」
- ・むつける「すねる、いじける」
- ・やんだおら（おらやんだ）「嫌だ」
- ・わんつか（わずか、わんずが）「少し、ちょっと」
- ・んだから「そうでしょう（同意）」
- ・んめ（んめあ）「おいしい」

これらは、東北地方全域、あるいはほとんどの地域で使用されることから、外国人住民にとっては普段の生活で耳にする可能性が高いと考えられる。このようなものは、方言理解支援ツールに掲載する方言項目を考える際にまず優先的に掲載を検討する必要があるものであると言える。実際に第 6 章で述べる方言理解支援ツールには、上記のほとんどの語を収録した。

4.6. 意味論的分析

4.6.1. 意味拡張

しかしながら、共通の語が東北全域で使われているとはいえ、注意しなければならない。例えば、「うるかす（うるがす）」の全域共通の意味は「(米や豆などの乾燥した物を) 水に浸ける (そして一定時間放置しておく)」というものであり、「米うるかしとく」のように用いる。ところが、宮城県や福島県においては「水に浸ける」対象が広くなり「食後の食器等に (汚れが落としやすくなるように) 水を張る」という意味にも用いられ、「茶碗うるかせよ」のようにも使われるようになった¹⁴。また、秋田県においては「一定時間放置しておく」という意味から「話を保留にする」

¹⁴ 本研究の調査では福島県・宮城県以外のインフォーマントからはこの意味で用いるという回答は得ず、かつ岩手県伊達方言のインフォーマントからは明確に「その意味では用いない」と回答を得た。ところが後日、上記 2 県以外でもこの意味で用いているという情報も得た。しかし、筆者の調査で「この意味で用いない」と回答したインフォーマントが存在する以上、少なくともこの意味が地域差のある拡張用法であるといえる。本研究では調査で明確に「この意味で使用す」と回答を得た宮城県及び福島県における用法であるとして考察する。

という意味も持つようになり、「その話うるかしとけ」のように使われるようになった。つまり、「うるかす（うるがす）」は地域によって異なる意味拡張を起こしているということになる。これを図に示すと図 32 のようになる。

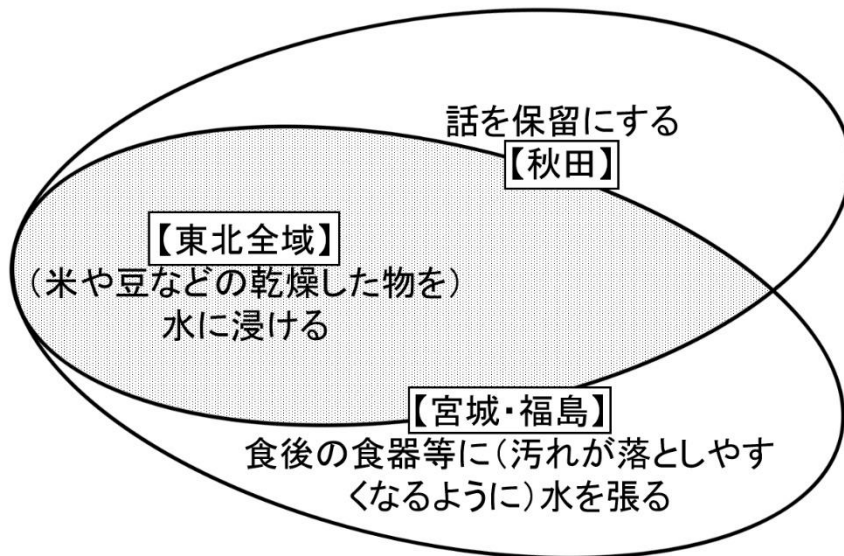
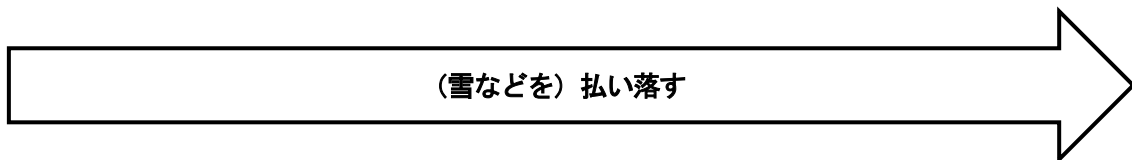


図32. うるかす（うるがす）の地域による意味拡張

4.6.2. 意味推移

また、岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県で使われる「ほろぐ（ほろく、ほろう）」については、岩手・秋田・山形では「(雪などを) 払い落す」という意味で用いられ「雪ほろえ」のように使われるが、宮城・福島では専ら「(財布など) 身に着けているものを落として失くす」という意味で用いられ、「財布ほろった」といった感じで用いられる。「体についているものを落とす」という意味では共通しており、おそらく宮城や福島では元来「払い落とす」意味で用いられていたものが、「落として失くす」意味にも拡張し、次第にその意味だけで用いられるように意味推移を起こしていったと思われる（図 33）。

【岩手・秋田・山形】



【宮城・福島】

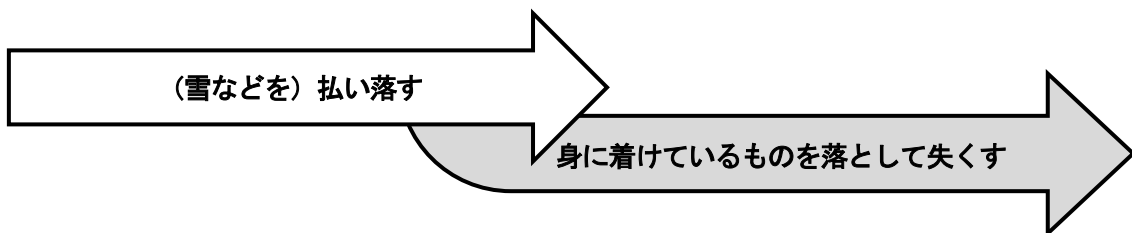


図33. ほろぐ（ほろく、ほろう）の意味推移

このように同一の語が地域によって異なる意味を持つという点に関しては、方言理解支援ツール作成の際に意味の地域差を明示するなどに対応する必要がある。

4.7. 特定の地域で用いられていたもの

全域で用いられるものもあれば、当然特定の地域でのみ「使う」「聞く」とされたものも多く存在した。以下に各県ごとに示す。県内で複数地域を調査した場合は各方言項目にどの地域で用いられているかを示す。

青森県（津軽）

- ・～びょん「～だろうね」
- ・あぎた「顎」
- ・あさぐ「歩く」
- ・おたる「疲れる」
- ・かちゃぺね「しっかりしていない、壊れやすい、軽率だ」
- ・かまりっこ「臭い、香り」
- ・けやぐ「友達」
- ・じゃんぼ「髪」
- ・たんげ…「すごく」
- ・なじき（なずき）「額」
- ・にやにやする「お腹や胃に違和感がある、お腹や胃の調子が悪い」
- ・ぼのご「後頭部」
- ・まね「だめだ、いけない、（～しないと）いけない」
- ・みんばいくね「みっともない」
- ・もちよこちえ「くすぐったい」
- ・よで「末っ子」
- ・よろた「太もも」
- ・わらはんど「子どもたち」

岩手県

- ・あじゃら「いい加減」…伊達
- ・うらからする「うろろうする」…南部
- ・おっけある「倒れる、ひっくりかえる、転ぶ」…南部
- ・おんであもず「お金、代金」…南部
- ・おんである「おいでになる」…南部
- ・がっぱり「たくさん」…南部
- ・きやきやする「腹部に違和感がある」…南部
- ・こちよびてあ「くすぐったい」…南部
- ・ごろじる「ご覧になる」…気仙
- ・しゃりむり「むりやり」…南部
- ・ずっぱり「たくさん」…南部
- ・せっこぎ「骨惜しみ」…南部
- ・そざす「破く」…南部
- ・そばえる「甘える」…南部
- ・でんび「額」…南部
- ・まで「けち」…南部
- ・もごせあ「見ていられない、かわいそうだ」…南部
- ・わにる「人見知りする」…南部
- ・んだば「では」…伊達

宮城県

- ・おっぴさん「曾祖父（曾祖母）」
- ・おみよーにち「おやすみなさい、さようなら、では明日」
- ・ジャス「ジャージ」
- ・ずごねる「だだをこねる」

秋田県

- ・～ぎゃ？「～ですか？（疑い）」…秋田
- ・がっこ「つけもの」…秋田
- ・がりがり「むりやり」…秋田
- ・じゅつぶが「飽き飽き」…秋田

- ・とじえね「さみしい」…鹿角、秋田
- ・とっくりがえす「ひっくり返す」…秋田
- ・どぶで「ずるい」…鹿角、秋田

- ・むったり「一心に、集中して」…鹿角、秋田
- ・もぞ「寝言」…秋田
- ・わっぱがにする「終わらせる」…秋田

山形県

- ・～あんね「～だろよ」…庄内
- ・～さげ「～(だ)から」…庄内
- ・～のー「～(だ)ね」…庄内
- ・うがえ「多い」…村山
- ・うだる「捨てる」…庄内
- ・えぶ「歩く」…庄内
- ・えっぺ「たくさん」…庄内
- ・えんで「歩いて」…庄内
- ・おしょうしな「ありがとう」…村山、置賜

- ・さま「障子」…村山
- ・だんだい「もうじき、そろそろ」…庄内
- ・てしよずらすえ(てしよずらしい)「干渉されてうるさい、手間がかかる」…村山、置賜
- ・はだす「始める」…村山
- ・はっこい「冷たい」…庄内
- ・ぶずぐず「壊す」…村山
- ・もっかえる「倒れる」…最上
- ・わりわり「むりやり」…庄内

福島県

- ・うすらかすらする「ぶらぶらする、うろろうする」…浜通り、会津
- ・うつつあし(うっちゃし)「うるさい」…浜通り、会津
- ・かせる「(漆などに)かぶれる」…会津
- ・かめこ(かめっこ)「すねる、いじける」…会津
- ・かんかち「やけど」…浜通り

- ・ずだらながい「長い」…会津
- ・ずねー「大きい」…会津
- ・どじよなし「臆病者」…浜通り
- ・のぜる「吐きそうになる(オエツとなる)、のどにつまる」…会津
- ・はなだんぼ「鼻にティッシュを詰めること」…会津
- ・んだらば「では」…会津

以上が各県独自で「使う」あるいは「聞く」と回答されたものである。これらの方言項目については、東北全域で用いられているものとは異なる性質を持つ。特定の地域のみで用いられているということは、ある意味「地域色」があるものとも言える。これらを方言理解支援ツールに掲載する場合は、どの程度よく使われているか(回答数の多さや生活場面での使用頻度)などを考慮したうえで、重要度の高そうなものを掲載する必要があると考える。

4.8. 外国人住民に対する調査

ここまでの結果は東北地方出身あるいは在住の日本人を対象にして行った調査の結果であった。本章で述べている方言使用調査の目的は「日本語を母語としない人が普段の生活の中で耳にする可能性の高い方言を収集するために、日本人が使っている方言を明らかにすること」であるが、これまでの結果が果たして本当にこの目的に沿っているものなのかを検証する必要がある。

そこで、秋田県秋田市に30年以上在住するポルトガル語母語話者女性1名(以下AB)及び宮城県仙台市に20年以上在住する韓国語母語話者男性1名(以下MK)に、上記と同様の調査を実施した。なお、この調査はあくまでも「方言使用調査」の中に位置づけられるものであり、外国人住民に対して行っているものの、次章で扱う「方言理解調査」とは全く異なる。

その結果、ABについては52項目について「使う」「聞く」と回答し、MKは26項目を「使う」「聞く」とした。これらの結果を秋田県及び宮城県の日本人の回答とそれぞれ比較してみたところ、ABの回答した52項目のうち48項目が秋田県秋田市の日本人が「使う」「聞く」とした回答

と一致、秋田県鹿角市の日本人の回答も含めると 52 項目中 51 項目が秋田県の日本人が「使う」「聞く」と回答した方言項目と一致することになった。

同様に、MK 氏の回答した 26 項目についても、25 項目が宮城県仙台市の日本人が「使う」「聞く」とした回答と一致した。このことから、日本語を母語としない外国人住民が今回の調査で「使う」「聞く」としたものは、日本人も「使う」「聞く」と回答しており、これらが実際に話され、外国人住民も耳にしているということが明らかとなった。この検証により、方言使用調査の「日本語を母語としない人が普段の生活の中で耳にする可能性の高い方言を収集する」という目的に対する妥当性が一定程度証明できたと考える。

4.9. まとめ

以上、本章では、東北地方でくらす外国人住民が普段の生活で耳にしそうな方言を収集するため、日本人に対する方言使用実態の調査を行った。その結果、

- ①東北全域に広く用いられている方言項目が多く存在すること
- ②広く用いられていても地域によって意味が異なる場合もあること
- ③各地域のみで用いられている方言項目も存在すること
- ④外国人住民は日本人が「使う」「聞く」とした方言項目を実際に耳にしていること

が明らかとなった。

第5章 外国人の方言理解調査

5.1. はじめに

前章の方言使用調査で日本人に「使う」「聞く」と回答された項目を、現在東北地方に暮らしている外国人住民がどの程度理解できているのか。それを明らかにするのが本章の方言理解調査である。

先の方言使用調査で日本人が「使う」「聞く」とした項目に着目し、それらを含んだ短い会話を東北地方の外国人住民に聞いてもらい、内容を理解できるかを問う、という方法をとった。なお、これは前章の AB と MK に協力して頂いた調査とは全く異なるものである。

5.2. 調査概要

5.2.1. 方言の録音

調査のため、まずは方言を含む短い会話の録音を実施した。方言使用実態調査での協力者から、秋田県秋田市の協力者 1 名（以下「AJ」）、岩手県奥州市の協力者 1 名（以下「IJ」）、福島県喜多方市の協力者 1 名（以下「FJ」）に方言による発話の録音を依頼した。いずれもその地域の出身者で、現在居住している。但し、IJ に関しては宮城県仙台市への移住経験がある。

方言リストでそれぞれ本人が「使っている」とした方言事項を含めた短い文を作成し、筆者と会話している形式をとった。例えば、AJ は「すっぱね（泥はね）」という語を使っていると回答したので、それを含めた以下の会話を作成・録音した。R は筆者の発話である。

R: ズボンどうしたんですか？

AJ: あーすっぱねかかった。

方言を用いるのは協力者のみで、筆者は常に標準語のみを用いた。これは、外国人住民が普段の生活で方言に遭遇する場面を想定したため、筆者の部分を外国人住民と置き換えられるようにしたからである。外国人住民が何かを地元住民に話しかける際、自らの発話は当然ながら理解しており、そこに付随する文脈も理解できる。そのような状況下で地元住民の方言による返答をどこまで理解できるかを見るのがこの調査の目的である。そのため会話の作成に関しては、外国人住民に置き換えうる筆者の部分は方言知識に左右されない標準語にし、かつ極力難しい表現や複雑な場面設定は避け、文脈を分かりやすく、方言以外の部分で悩むことのないように最大限配慮した。また、外国人住民が話しかけるような形式を想定したため、一部の例外を除いて標準語の発話（R の発話）が最初になるようにした。

2016 年 10 月に AJ の 89、IJ の 75、同 11 月に FJ の 82 の方言を含む会話を作成・録音した。録音は、それぞれ AJ の自宅、IJ の自宅、FJ の自宅 IC レコーダーを用いて実施した（図 34）。

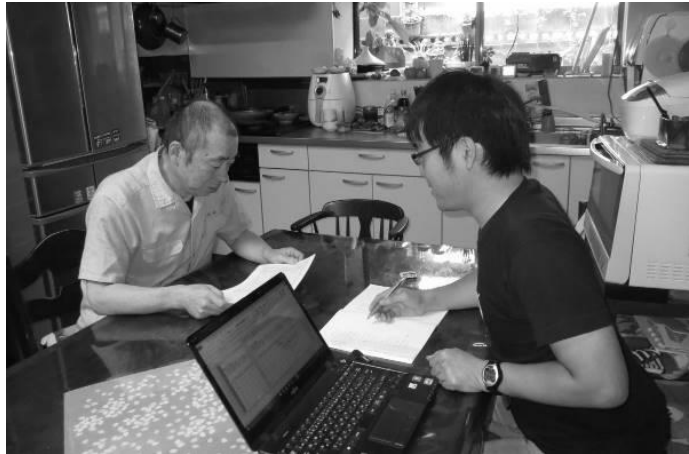


図34.方言の録音の様子

なお、各地域で録音した方言の全スクリプト及び標準語訳については、章末の「資料 1 秋田県秋田方言（録音スクリプト）」、「資料 2 秋田県秋田方言（標準語訳）」、「資料 3 岩手県伊達方言（録音スクリプト）」、「資料 4 岩手県伊達方言（標準語訳）」、「資料 5 福島県会津方言（録音スクリプト）」、「資料 6 福島県会津方言（標準語訳）」を参照のこと。

5.2.2. インフォーマント探し

上記の手法で録音した方言を含む会話を、秋田県秋田市、岩手県金ケ崎町、福島県会津若松市の外国人住民に聞いてもらう方言理解調査を後日行った。秋田市と金ケ崎町については、それぞれの地域で（公財）秋田県国際交流協会及び金ケ崎町国際交流協会が主催した外国人住民が集まるイベントに参加し、両協会の協力のもと調査に協力可能な外国人住民を募り、調査実施日を決めて後日実施した。会津若松市に関しては会津若松市国際交流協会に協力可能な外国人住民を紹介して頂き、後日調査を実施した。

なお、奥州市と金ケ崎町は隣接しており、かつ岩手県方言のうちともに「南部方言地域」（本研究の「伊達方言」に等しい）に属する（本堂 1967、1982）ため、奥州市の II の方言は金ケ崎町の外国人住民が普段耳にするとと思われる方言と変わらないと判断し、方言理解調査に使用した。同様に、喜多方市と会津若松市も隣接しており同一の「会津平方言」（本研究の「会津方言」に含まれる）に属する（菅野 1982）ため、FJ の方言を会津若松市の外国人住民に対する調査に用いた。

5.2.3. インフォーマントの概要

秋田市ではインドネシア人女性 1 名（以下「AID」）、フィリピン人女性 1 名（以下「APH」）、金ケ崎町ではアメリカ人男性 1 名（以下「IUS」）、中国人女性 1 名（以下「ICN」）、福島県ではアメリカ人男性 1 名（以下「FUS」）、オーストラリア人男性 1 名（以下「FAU」）、フィリピン人女性 1 名（以下「FPH」）が調査に協力してくれた（表 4）。

なお、日本語学習歴としては、以下の通り。なお、いずれも地域のボランティア日本語教室への参加はある。AID は来日するまで学習歴はなく、来日してからは自然習得によって日本語を覚えた。APH に関しても来日前の学習歴はなく、やはり来日後に自然習得をしている。IUS は英語教師として来日した当時に 1 ヶ月間会社で日本語のトレーニングを受けたが、それ以降は基本的には自然習得である。ICN については最初は東京などで暮らしていたようだが、特に日本語を学習していたわけではなさそうで、自然習得が基本である。FUS に関しては、大学生時代に一度大

学のプログラムで岩手県へ来日したことをきっかけに、帰国語は大学院で日本語を専攻した。なお、方言ではなくあくまでも標準語の日本語である。その後JETプログラムを通じて再来日するが、普段は英語教師である関係上、同僚の日本人教師とは英語で話すことが多いという。FAUは、学習歴は特になく、また在日歴も浅いため標準語でもコミュニケーションをとることがまだ難しい。FPHは、来日前の学習歴はなく、最初は群馬県で暮らし、3年後に会津地方出身者と結婚したため会津若松市に移住したが、その間自然習得が基本である。

表4.方言理解調査のインフォーマント一覧

インフォーマント	調査地	出身国（性別）	在日歴／現居住地での居住歴
AID	秋田県秋田市	インドネシア（女性）	16年／2年
APH		フィリピン（女性）	17年／17年
IUS	岩手県金ケ崎町	アメリカ（男性）	17年／4年
ICH		中国（女性）	20年以上／17～18年
FUS	福島県会津若松市	アメリカ（男性）	15年／6年
FAU		オーストラリア（男性）	3年／3年
FPH		フィリピン（女性）	16年／13年

なお、AIDは秋田市居住以前の14年間は秋田県由利本荘市に居住していた。由利本荘市は、秋田市と隣接してはいるものの、異なる方言圏に属しているため（佐藤1982、2000）、「現居住地での居住歴」には含めないこととした。

5.2.4. 方言理解調査

方言理解調査は、2016年10月に秋田県国際交流協会の一室、金ケ崎町中央生涯教育センターのロビー、12月に会津若松市国際交流協会の一室において実施した（図35）。



図35.方言理解調査の様子

録音した方言を聞いてもらい、意味を説明してもらった。ほとんどの場合、インフォーマントは標準語で訳して説明をしたが、標準語で説明できない場合は英語による説明、あるいはジェスチャーによる説明も行われた。

調査では、録音を何度でも聞くことができるが、何度か聞いても分からない場合（録音が聞き取れない場合も含む）は筆者がその場で会話をゆっくりはっきりと言い直す、それでも分からない

い場合は文節や語レベルまで分けて発音し、文では理解できなくても語なら理解できるかなどを調べた。また、語レベルまで分けても知らないということが分かっても、意味を推測できるかについても調べた。

5.3. 結果

まず、各インフォーマントの正答数を表5に示す。なお、調査に使用した会話は秋田は89、岩手は75、福島は82であるが、注目した項目を2つ含む会話がいくつかあったため、表中の問題数としては秋田は95、岩手は76、福島は84になっている。なお、福島のFAUに関しては、調査時間の都合上、問題数を減らして69問について質問したため、他の福島のインフォーマントとは質問数が異なる。

表5.各インフォーマントの正答数及び推測による正答数

インフォーマント	正答数	第1段階正答数	第1段階正答数のうち推測で当てた数
AID	52/95	41/52	1/41
APH	65/95	49/65	22/49
IUS	20/76	19/20	7/19
ICN	42/76	37/42	12/37
FUS	38/84	28/38	21/28
FAU	20/69	15/20	7/15
FPH	44/84	38/44	5/38

正答数は、全質問のうち「録音を聞いて分かる」（第1段階）、「筆者がゆっくり言って分かる」（第2段階）、「語レベルに分けて分かる」（第3段階）のいずれの段階かで正答した数を示している。「第1段階正答数」は、第1段階、つまり録音を聞く段階（聞いた回数は考慮しない）で正答した数を示している。「第1段階正答数のうち推測で当てた数」については名前の通りであるが、先の「第1段階正答数」のうち推測で正答した数を示している。

その結果、外国人住民が共通してよく理解している方言、あるいは理解できていない方言が明らかとなった。

5.4. 知っていた方言

5.4.1. よく知られていたもの

例えば、「おぼんです」（こんばんは）、「なげる」（捨てる）、「めんけ、めんこい、めごい」（かわいい）、「んだ」（はい）、「んだから」（そうでしょう（同意））、「んめ」（おいしい）のようなものは、全調査地域において、正答数の少なかった者を含めた多くのインフォーマントが理解していた。これらの共通点としては、前章の方言使用調査で「東北地方全域で広く用いられていたもの」に相当する項目であるということである。

また、秋田県のAIDとAPHはどちらも秋田のみで用いられている「がっこ」（つけもの）を知っており、福島県のFUSやFAUに関しては、福島県と山形県で用いられている「さすけね」（大丈夫だ）について「（日本語教室の授業などで）教えてもらっていたので知っていた」と答えており、やはり各地の代表的な方言についても習得したり教わったりすることもあるようだ。

上記の全調査地域で知られていたもの以外に、各調査地域で2名以上知っていた方言について以下に記す。但し、以下に記すものは必ずしも各調査地域独特の方言というわけではなく、東北

地方全域で用いられているものの、特定の地域のインフォーマントしか知らなかった場合も含まれる。

秋田県

「〜ぎゃ？」(疑い)、「かへる」(食べさせる)、「がっこ」(つけもの)、「きかねー」(気が強い)、「け」(食べ)、「け」(来い)、「け」(かゆい)、「しゃっけ」(冷たい)、「でかす」(終わらせる)、「なんも」(いいえ)、「まぜる」(仲間に入れる)、「げつつ」(尻)、「ながまる」(横になる)、「んだす」(そうです(丁寧))

岩手県

「かかさんね」(書けない)、「あるって」(歩いて)、「んでね」(いいえ)

福島県

「〜べした」(〜でしょう、〜よね)、「んだなす」(そうですね(丁寧))、「うるかす」((米や豆などの乾燥した物を)水に浸けておく、食後の食器に(汚れが取れやすくなるように)水を張っておく)、「さすけね」(大丈夫だ)、「まぜる」(仲間に入れる)

5.4.2. 間違えて覚えていたもの

一方、方言は知っていたものの、その意味を正確には覚えていなかったものもあった。例えば、「うるかす」に関しては「(米や豆などの乾燥した物を)水に浸けておく」という意味や、宮城県や福島県では「食べ終わった食器に水を張っておく」という意味がある。AID、ICN、FUS、FPHは「うるかす」を知っているとされたのだが、AIDは「お米をきれいにする」、ICNは「水につける」、FUSは「水をかける」、FPHは「(茶碗を)洗う」と回答し、AIDとFPHは「うるかす」の意味としては間違えて覚えていた。AID、ICN、FPHは日本人男性の家に嫁いでおり、いずれも一定期間夫の母、つまり姑と生活していた経験がある。日々の家事の一つとして「炊飯」や「食器洗い」という作業があり、それらについて姑から指示された際に「うるかす」を習得したとのことである。炊飯では「米を洗う」→「米を水に浸けておく」→「米を炊く」、食器洗いでは「食器に水を張っておく」→「食器を洗う」→「食器を拭く」という手順で作業を行うわけなので、「米うるかしとけ」「食器うるかしとけ」と言われたら、その前後の過程としてAIDの回答した「お米をきれいにする」やFPHの回答した「茶碗を洗う」があり、通常これらは連続して行われる。そのため、姑が「うるかせと言ったのに何で洗うのか」などと言うことも当然なく、間違えて覚えたとしても訂正される機会はほとんどないと思われる。そのため、このように間違えて覚えたまま定着したと考えられる(図36)。

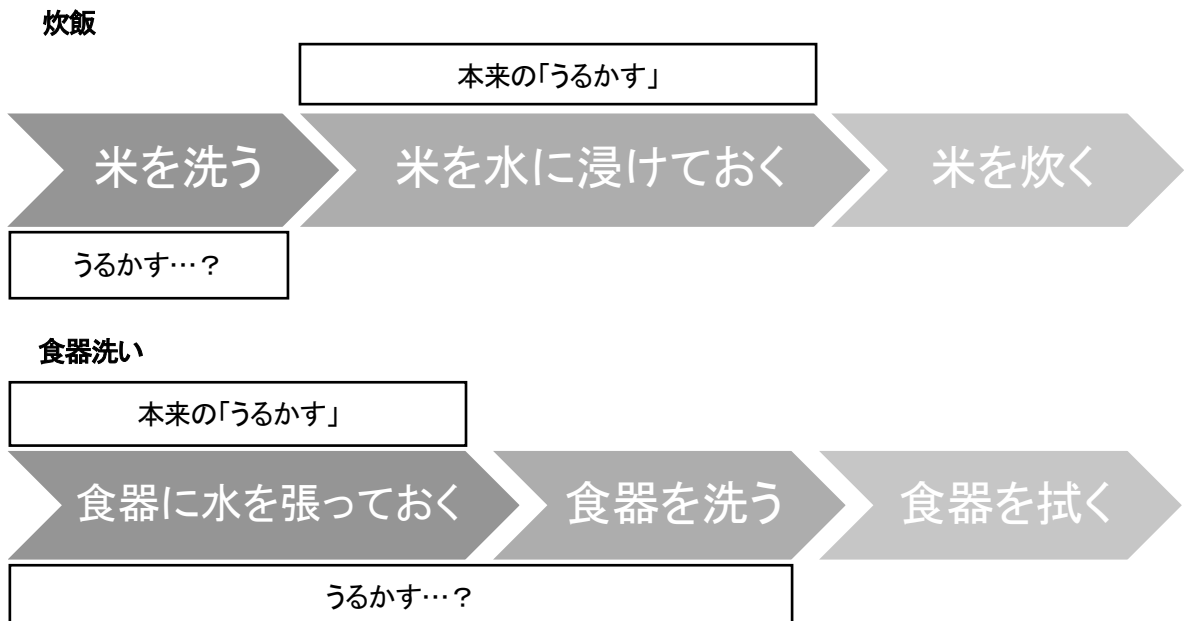


図36.間違えて覚えた「うるかす」

また、FPHが「んだな（そうだな）」に丁寧の助詞「～す」を下接した丁寧形に当たる「んだなす（そうですね）」について、今まで何度も聞いたことがあり、意味としては相手に「そうだね」のように同意で用いることを知っていたが、今回の調査で筆者に本来の意味を伝えられるまで「んだ（はい）」に野菜の「なす」をくっ付けた冗談かとずっと思っていたという。つまり、本来は相手に対して丁寧さを示すために用いられている「んだなす」を、今まで冗談を言われていると勘違いしていたことになる。

5.4.3. 方言だと気付いていなかったもの

さらに、いくつかの項目に関しては方言とは気付かなかったというものもあった。岩手県のICNは「きみ（とうもろこし）」の項目に対して「とうもろこし」と答えたものの、「「きみ」は岩手のことばですか？」「日本語（＝標準語）と思った」と、どうやら「きみ」が「とうもろこし」と同様に標準語で用いられていると思っていたようだ。おそらくICNの周囲ではよく聞いていたことが推察される。

また、福島県のFUSは、筆者が「うるかす」は方言だと伝えると、大変驚いていた。彼に関しては「まぜる」についても方言だと気付いていなかったようで、これも方言だと知るとやはり驚いていた。「うるかす」は標準語では適切な訳語が存在せず、東北出身者も気付かない方言として「うるかす」をしばしば用いる。そのため、FUSは「うるかす」を標準語だと考えていたと考えられる。「まぜる」に関しては、関東地方の諸方言でも「仲間に入れる」意味で用いられており、また、標準語にも同語形の「まぜる」が存在し、東北方言「まぜる」でも標準語の「まぜる」の意味も含むことから、「仲間に入れる」意味は標準語では用いられないことに気付かなかった可能性が高い。

同じく福島県のFPHは「あるって（歩いて）」について方言だと気付かなかったとした。なお、FPHについては、福島県に居住する前は群馬県に居住しており、群馬県を含む関東地方の諸方言では「歩いて」を福島県同様「あるって」と表現するため、今まで方言だと気付かなかった可能性が高い。このように、移住歴があっても、ある方言の表現が他地域の方言と共通する場合は方

言だと気付かないことが起こり得るのである。

5.5. 推測

本章で特筆すべきは、方言を推測で答えたものが各インフォーマントに少なからず存在したことである。例えば、秋田県の AID は 95 問中 41 問、APH は 95 問中 49 問について第 1 段階で正答しており、どちらも半数以上の方言項目について正答していることになる。しかし、「第 1 段階正答数のうち推測で当てた数」を見てみると、AID は 1 問なのに対し、APH に至っては 22 問が推測による正解であった。また、福島県の FUS に関しては 84 問中 28 問が第 1 段階での正解であったが、うち 21 問、つまり 7 割以上は推測によるものだった。このように、質問された方言項目を知らなくても、推測によって正解を導き出すことが可能な場合があるのだ。

それでは、推測にはどのようなものがあるのか。以下に具体例を示しながら考察する。なお、以下の種類に示す例は、全て実際にインフォーマントが推測で正答したもので、正答後に方言を知らなかったということを確認したうえで、どうして正答できたのかを聞きとったものである。但し、以下に挙げられたからと言って、全てのインフォーマントが推測で正答したというわけではなく、推測で正答した者もいたということの意味する。

推測には a「標準語からの推測」、b「標準語から派生させた推測」、c「共起表現からの推測」、d「文脈からの推測」、e「パラ言語からの推測」などが確認された。

5.5.1. 標準語からの推測

「標準語からの推測」は、方言形式が標準語と類似している場合に、標準語形から推測することである。例えば、「ひざかぶ」(膝)は標準語「ひざ」と類似しており、秋田、岩手、福島のほぼすべてのインフォーマントは「ひざ」が聞こえたところで意味を理解したという。つまり「ひざかぶ」の「かぶ」は何か分からないが、「ひざ」が聞こえたからおそらく膝のことだろう、というプロセスを経て回答していたのである。このように、標準語からの推測によって正答が出た表現としては、この他「あるって」(歩いて)(福島)、「きかねー」(言うことを聞かない)(福島)、「ちゃっちょど」(さっさと)(秋田)、「なんも」(どうってことない(≒何(で)も(ない))) (福島)、「ひまだれ」(時間の無駄(≒暇な時間))(秋田、岩手)、「ももた」(太もも)(岩手)、などがあつた。

5.5.2. 標準語から派生させた推測

また、標準語を用いた推測には、前述の標準語形そのものからの推測もあったが、標準語の意味を派生させたうえで推測したものも見られた。例えば、「みったぐね」は秋田県などで「醜い」の意味を持っている。インフォーマントは「みったぐね」を「見たくない」という標準語から、「醜い、不細工」を推測し、正答した。

5.5.3. 共起表現からの推測

「共起表現からの推測」は、方言形式自体を聞いても何か分からないが、共起する別の表現から推測することである。例えば、「むずる」は主に福島県で「(道などを)曲がる」意味で用いられる表現であるが、聞かせた音声では道尋ねの場面で、質問の返答として「ひだりさ むずった ところに あるよ」(左に曲がったところにあるよ)と「左」という語が共起した。これにより、左と言えば曲がるだろうか、というプロセスで推測をしたのである。同様に、主に福島県で用いられる「がな」は「(人物)のもの」という意味を指すが、録音では目の前にある食べ物を食べていか尋ねた際の返答として「あ、これ おれがな」(あ、これは私の)というように「おれ」と

共起した。インフォーマントには「がな」を知らなくても「食べていいか」の質問に対し「おれ」と返したことから、「がな」は「～のもの」であるのだろう、と推測した者が存在した。このように共起表現から推測できたものとして、「えっつに すぎてらやー」（とつくに過ぎてるよ）で「すぎてらや」と共起した「えっつに」（とつくに）（秋田）、「よくおざったつすなー」（よくいらっしやいましたね）で「よく」と共起した「おざる」（いらっしやる）（秋田）、「なんで おれに かんずけるの?」（なんで俺のせいにするの?）で「なんで」や「おれに」と共起した「かんずける」（人のせいにする）（福島）、「なんでかんで やんなんねだ」（どうしてもやらないといけないんだ）で「やんなんね」と共起した「なんでかんで」（どうしても）（福島）、「なんか さいふ どっかに ほろったみてだな」（なんだか財布をどこかに落として失くしてしまったみたいだな）で「さいふ」や「どっかに」と共起した「ほろぐ（ほろう）（落として失くす）」（福島）などが見られた。

5.5.4. 文脈からの推測

「文脈からの推測」は、その方言会話が話されている文脈から推測するものである。例えば、主に秋田県などで用いられる「がりがり」は「むりやり」という意味だが、音声では「このバッグ小さいですねー」と言われた返答として「がりがりど つめでぐれ」（むりやり詰めてくれ）と発言している。バッグが小さくて相手が困っているという文脈から、インフォーマントは「がりがり」は「むりやり」「ぎゅうぎゅうに」という意味ではないか、と推測した。岩手県で同様の意味の「ぎりぎり」に関しても、同じバッグが小さいという話に対し「ぎりぎりど つめろ」（むりやり詰める）という返答なのだが、こちらもインフォーマントが「ぎりぎり」を知らなくても「むりやり」であると推測した。また、「おちる（おずる）」は主に岩手県南部や宮城県、山形県、福島県などで「下車する」の意味で用いられるが、岩手県の録音ではバスの中で目的地までの行き方を尋ねた返答として「おずでから きけ」（下車してから聞いて）と発言している。インフォーマントは、「おずる」自体の意味はよく知らなかったようだが、バスにいて道尋ねをしていることと、「～てからきけ」と言われているという前後の文脈から、「バスを降りる」という意味を推測した。この他、列を割り込んだ人物について発した「ずっけー やつだな」（ずるいやつだな）の「ずっけー」（ずるい）（岩手）や同じ文脈の「どぶでなー」（ずるいな）の「どぶで」（ずるい）（秋田）、手伝いを申し出た返答としての「その いす たがいでける」（その椅子持って）の「たがく」（持つ持ち上げる）（岩手）、残った仕事は明日までもいいか質問した返答としての「はやぐでがせよ」（はやく終わらせてよ）の「でかす」（終わらせる）（岩手）、ずっと本を読んでいる人物について発した「むったり ほん よんでるな」（集中して本を読んでいるね）の「むったり」（集中して）（秋田）、しつこく話しかけてくる相手に対して発した「うつつあすな、おめ あっちゃ いってろ」（うるさいな、お前あっちに行ってる）の「うつつあす」（うるさい）（福島）などが文脈から推測して正答したものとして挙げられる。

5.5.5. パラ言語からの推測

「パラ言語からの推測」は、方言や前後の文脈などではなく、方言話者の声のトーンや大きさなどといったパラ言語から推測するものである。例えば、主に秋田県などで用いられる「しよし」は、「はずかしい」の意味であるが、今回調査で用いた音声では相手に「歌を歌ってください」と促され、「しよしなー」（はずかしいな）と発言している。推測で「はずかしい」と正答したインフォーマントにどうしてわかったか尋ねたところ、「だって、はずかしそうに言っていましたよ」と返された。つまり、語形や文脈からではなく、録音した音声の質そのものから推測したということである。同様に秋田県で用いられる「とじえね」は「さみしい」の意味であるが、録音では「これから一人暮らしなんですよ」という相手に対し「とじえねなー」（さみしいね）と発言して

いる。これを聞いたインフォーマントは、「とじえね」を知らなかったが、話の雰囲気では悲しい感じだと答えた。このように、語の形式や文脈などではなく、パラ言語から推測して正答したものが見られた。

5.5.6. 推測による誤答

推測で正答したものは上述のように多く存在したが、同じように推測によって誤答したものもいくつか存在した。例えば、「こえー」(疲れた)の文「いやー、こえくてやー」(いやー、疲れてねー)(岩手)を聞いたインフォーマントは「怖い」と回答した。これは、標準語「怖い」からの推測の失敗例と言える。同様に、「かんじる(かんずる)」は「とても寒い」を示す方言で、主に福島県で用いられるが、これについて「感じる」と回答したインフォーマントが存在した。これも標準語の同音異義語「感じる」から推測したことによる誤答と言える。また、「ひとめわり」(みっともない、はずかしい)を用いた録音の文「ひとめわりー」(はずかしい)(秋田)や「いやー、ひとめわがったねー」(いやー、はずかしかったね)(岩手)について、「(あなたの)目が悪い」という回答が出た。これも標準語「人」「目」「悪い」から推測したものの正答に至らなかった例である。

また、「あめる」(料理が腐る)の文「おやおや、これ あめでらや」(おやおや、これ腐ってるよ)(秋田)を聞いたインフォーマントが、「あめ」の部分方言「あめ」(甘い)と結びつけ、「甘いですよ」と回答した。これは既知の方言を活用して推測したことによる誤答と考えられる。

また、秋田で用いられる「ほろだぐ」(払い落とす)を用いた録音文は、外出から帰ってきて外の雪がすごかったと言っている相手に対して発言した「まず ゆぎ ほろだげ」(とりあえず雪を払い落とさない)であるが、これを聞いたインフォーマントに「雪かきする」と回答した者がいた。これは、外の雪がすごかったとの文脈から「雪かきする」を推測したと考えられ、文脈からの推測の失敗例と言える。

他に、「おとげ」(下あご)と「まんま」(ごはん、炊いた米)を用いた「おとげさ まんま ついてらや」(秋田)や「おとげさ まんま ついてっぞ」(福島)の文については、「仏様は亡くなった人？」と回答する者が両地域で存在した。これは本来「おとげ/さ/まんま/ついてらや」や「おとげ/さ/まんま/ついてっぞ」と分節すべきところを、「おとげさま」で一語であると勘違いし、「ほとけさま」に聞こえてしまったという例である。余談だが、「仏様」と誤答したインフォーマントはAID、APH、FPHであり、いずれも地元の日本人男性に嫁いで男性の親と同居した経験を持つ。いずれも仏教徒というわけではないが、嫁いだ家に仏壇があり、位牌があり、そして墓参りなどがあるため、「仏様」という語を自然習得したと考えられる。

「やっこい」(やわらかい)と「んめ」(おいしい)を用いた「これ やっこぐて んめ」(これ柔らかくておいしい)(福島)については、これを聞いたインフォーマントに「焼いておいしい」と回答した者がいた。これは、「やっこくて」を「やいて」と聞き取ったことから起こった誤答である。このように聞き間違いによる誤答も見られた。

5.6. 無視の可能性

これは推測とは異なるが、方言そのものが聞き流され認識されなかった可能性があるものもあった。様々な名詞に付けることが可能な指小辞「〜こ」は、指小辞とはいうもののそれ自体には特に意味を持たない。秋田では「へば ここさ ある さらこ もってっけれ」(じゃあここにある皿を持って行ってちょうだい)、岩手では「んだでば、そこの ほんこ もってっくんねか？」(じゃあ、そこの本を持って行ってくれない?)という録音にそれぞれ「さらこ」「ほんこ」と「〜こ」を付加した名詞を含めてあるのだが、当然意味上は「〜こ」がない場合と変わらない。

そのため、秋田県と岩手県の4名のインフォーマント全員はそれぞれ「皿」「本」の部分の正しく理解したのだが、それは「～こ」を除いた「さら」「ほん」がまさに標準語のそれなので、「～こ」について認識しなくても回答が可能である。そのため、この問題に関しては、「～こ」が「意味は変わらないが名詞に付けるもの」であることをどこまで理解していたかは疑問である。ただし、回答後にその旨を説明すると、「～こ」は聞いたことがあるなどの回答も得たので、問題の時点で認識したかはともかく、普段の生活で聞いていることは確かなようだ。同様にその他「～ぎゃ?」(疑い)、「～す」(丁寧)、「～ず」(強調)、「～べした」(～でしょう、～よね)など、意味を的確に正答できた者もいた項目でも、他のインフォーマントについては文の大意としては正答であったがこれらの表現の果たしでどこまで理解していたのか、あるいは、無視していたのか不明なものが見られた。また、このことから、これらの表現は無くても文のおおよその意味としては通じるため、コミュニケーションにはさほど影響がないともいえる。

5.7. まとめ

このように、外国人住民に対する方言理解調査から、外国人住民がどのような方言を知っているのか、そして、どのような場合に推測によって正答することができるのかなどについて見てきた。その結果、

- ①東北地方全域で用いられている方言や地域の代表的な方言は知られている
- ②意味を間違えて覚えていた方言がある
- ③方言だと気付いていなかったものがある
- ④推測で正答したものにはa「標準語からの推測」、b「標準語から派生させた推測」、c「共起表現からの推測」、d「文脈からの推測」、e「パラ言語からの推測」が見られた
- ⑤推測をしても必ずしも正答とはならず、a'「標準語からの推測による誤答」、b'「既知の方言の活用による誤答」、c'「文脈からの推測による誤答」、d'「分節の誤りによる誤答」、e'「聞き間違いによる誤答」なども見られた
- ⑥質問となった方言項目そのものを無視された可能性のある場合がある

といったことが明らかとなった。

文字だけを見たり、単語だけを聞いたりしたとしたらおそらく正答できなかったと思われる方言項目が、実際の会話を想定した音声で質問したところ、数の多少はあるものの全てのインフォーマントにおいて推測で正答したものが現れた。外国人住民が実生活において遭遇する方言は単語だけでいきなり出てくるというよりは、文で出てくるものがほとんどであろうし、それ以外にも会話相手がいる以上前後の文脈や、パラ言語など様々な推測を促す要素が隠れている。

次章で述べる方言理解支援ツールに掲載する方言項目は、この方言理解調査における外国人住民の既知の知識としての正答と、推測による正答を分けて、選定基準に組み込んだ。

資料1 秋田県秋田方言(録音スクリプト)

1	A: あ、すみません、ちょっと話があるんですけど大丈夫ですか？ B: あ、へば おらえさ よってがねか？	31	A: あ、この間の話なんですけれど…。 B: あー、じゅつぷがだ。	61	A: 準備が終わるまで、2時間ぐらい待ってくれませんか？ B: ひまだれだなー。
2	A: 小学生のきつぷ1枚ください。 B: あんた ほんとに そだぎや？	32	A: ちょっと、いつものあの、上手な歌を歌ってくださいよー。 B: はずかしいなー。	62	A: みんなで一緒に遊ばない？ B: (話し相手とは別の人が)あ、おれもまぜれでや。
3	A: なにかお手伝いしましょうか？ B: あー へば ここさ ある さらこ もっててくれ。	33	A: ズボンどうしたんですか？ B: あー すっぱね かがった。	63	A: あ、手紙が来てますよ。 B: まなぐ わるくて よめね。
4	A: ちょっと外行きませんか？ B: あめ ふってらやー？	34	A: あのおばあちゃん、病気になったみたいですね。 B: あー、へずねべなー。	64	A: あそこに犬がいるね。 B: わー、みったぐねー かお してること。
5	A: ごはんができましたよ。 B: おい へば あかちゃんさ まんま かへる。	35	A: この延長コード、ちょっと長いですね。 B: あー、すこし たごめ。	65	A: えー、この前約束したのに、明日だめなの？！ B: そう むつけるな まず。
6	A: おかず食べますか？ B: おやおや… これ あめでらや。	36	A: 転んでけがしちゃったよ。 B: あー、すったもの たんべ つければ なおる。	66	A: あの人本読んでますね。 B: ああ、さっきから むったり ほん よんでるな。
7	A: あ、どうしたんですか？ B: あんべわりー。	37	A: お手伝いしましょうか？ B: あー、テーブル たないでけれ。	67	A: これ、うちの子どもの写真です。 B: わー、めんけーごどー！
8	A: もうこれ、いらないから捨てましょう。 B: わー、いただきますなー。	38	A: あの人も来たけんかしてましたよ。 B: たんばら だがらなー。	68	A: ごはんができましたよ。 B: うわ、これ めっこまんまじやねーが。
9	A: さっきあそこに虫がいつぱいいましたね。 B: あー、んだ、うだでがったなー。	39	A: 出かけるもうちょっとかかるから待ってて。 B: ちゃっちゃど せー。	69	A: あそこで誰か寝てますね。 B: わ、もぞ こいでら。
10	A: 一緒にごはん作りませんか？ B: あー、へば おれ、こめ うるがしとぐ。	40	A: このお皿高そうですね。 B: あー、ちよすなよ。	70	A: このお肉どうですか？ B: あ、やっけて んめごど。
11	A: すみません、この書類って、いつまで出すんですか？ B: えつつめ すぎでらやー。	41	A: ちょっと出かかります。 B: つっかけ はいでげ。	71	A: このパソコンうまく動かないよ。 B: やっちゃげねーなー。
12	A: おじさん、お久しぶりです。 B: おやおや、おがったごどー。	42	A: 明日から始まりますね。 B: しゅくだい でしたか？	72	A: (食べ物を食べていて)あ、て やばつく になった。 B: あ、ティッシュをどうぞ。
13	A: (玄関で)あ、ごめんとください。 B: おやおや、よく おざったすなー。	43	A: これから一人暮らしなんですよ。 B: とじえねなー。	73	A: 最近あのおばあさん見ないですね。 B: やんでらんでねーかー？
14	A: 今日のおかず、なんですか？ B: きょうのおかずは、おずげっごど がっこだけ。	44	A: あ、お皿洗いましたよ。 B: とつくりがえておけ。	74	A: あ、写真撮ってくださいませんか？ B: わずか みぎさ よってけれ。
15	A: お、久しぶり。 B: おー、おど、まめでらがー？	45	A: お父さん、あれなに？ B: あー、とつと いたなー。	75	A: えー、すみません、小林さんですか？ B: んだ。
16	A: え、さっきから(私を)見てるけど、なんか変ですか？ B: おとげさ まんま ついでらや。	46	A: 昨日隣のうち火事だったんですって？ B: どでしたやー。	76	A: あの人とってもいい人だね。 B: んだからー。
17	A: 今度このプロジェクトをやろうと思います。 B: おどげでねーやー。	47	A: あ、みんな並んでるのに、あの人、並ばないで前に行っちゃった。 B: どぶでなー。	77	A: 昨日釣りに行ったんですね。 B: いやー、かっぱ とつてすまてや。
18	A: あ、小林さん。 B: おぼんです。	48	A: このお皿割れちゃいましたね。 B: なげれ。	78	A: ただいま。外、雪すごかったよ。 B: まず ゆき ほろだけ。
19	A: 昨日山登りしたんですってね？ B: いやー、がおった がおった。	49	A: あ、どうしましたか？ B: なずき ぶつめた。	79	A: ちょっとこれ運ぶの手伝ってくださいませんか？ B: あー、じよさね ごどだ。
20	A: これから飲みに行こう。 B: (話し相手とは別の人が)あー、おいどごもかでれー。	50	A: いやーこの間はどうぞありがとうございました。 B: やー、なんも なんも。	80	A: 今日はどうぞありがとうございました。 B: へば まんずな。
21	A: このバッグ小さいですねー。 B: あ、がりりがりど つめでぐれ。	51	A: あ、おじゃまします。 B: あ、そこさ まず ねまれ。	81	A: あの子、お母さんが入院しちゃったんだって。 B: つらますねーなー。
22	A: あの子、さっきからずっと泣いてるよ。 B: ああ、かずけでもんなー。	52	A: すみません、またお金貸してくださいませんか？ B: のさばるなやー。	82	A: このコロッケどうぞ。 B: あ、きみ はいってら。
23	A: あの子、いつも男の子とけんかしてますねー。 B: きかねーものなー。	53	A: あ、太郎はどこにいるの？ B: あそこさ のたばってら また。	83	A: あー、じゃあまずお座りください。 B: わー、いま ちょっと げつつ いでくて。
24	A: おなかすいた。 B: まんま け、まんま け。	54	A: 見て、あんな高いところに人が立ってるよ！ B: うわー、はかほかでやー！	84	A: あ一つかれたー。 B: あ、そこさ ながまれ。
25	A: 呼びましたか？ B: あー、こつちや け、こつちや け。	55	A: このてんぶらなんですか？ B: ぱっけ。	85	A: あそこに誰か座ってる。 B: あー、やっこだべ。
26	A: どうしたんですか？ B: あー、かに さされで へなか けでや。	56	A: 兄弟はたくさんいるんですか？ B: おい ばっち。	86	A: ちょっとマッサージしてあげますよ。 B: わー、もちよけー！
27	A: やーい、ばーかばーか。 B: このー！	57	A: みんなで旅行に行くんですけど、一人足りないんですよー。 B: (話し相手とは別の人が)あー おれも はまる。	87	A: あ、小林さんですか？ B: んだす。
28	A: 今日はずっと仕事だったんですか？ B: こえー。	58	A: 今度一緒に、ごはん食べましょうよ。 B: あー、あしたの ぼんげ なんとだ？	88	A: え、小林さん嬉しそうですけど、どうしました？ B: あー、ぼっこ うまれたもの。
29	A: このおもちゃがほしい！ B: ごんぼほるな。	59	A: どうしたんですか？ B: ひじやかぶ ぶつめた。	89	A: 兄弟はたくさんいるんですか？ B: おい へな。
30	A: 水をどうぞ。 B: おー、しゃっけごどー。	60	A: 昨日駅でさ、お父さんがいると思って、大きな声で呼んだら、全然知らない人だったよ。 B: ひとめわりー。		

資料2 秋田県秋田方言(標準語訳)

1	A: あ、すみません、ちょっと話があるんですけど大丈夫ですか？ B: あ、じゃあ私の家に寄っていかない？	31	A: あ、この間の話なんですけれど…。 B: あー、もううんざりだ(＝聞き飽きた)。	61	A: 準備が終わるまで、2時間ぐらい待っててくださいませんか？ B: 時間の無駄だなー。
2	A: 小学生のきつぷが1枚ください。 B: あなた本当にそうですか？	32	A: ちょっと、いつものあの、上手な歌を歌ってくださいよー。 B: はずかしいなー。	62	A: みんなで一緒に遊ばない？ B: (話し相手とは別の人が)あ、俺も仲間に入れてよ。
3	A: なにかお手伝いしましょうか？ B: あーじゃあここにあるお皿を持っていて。	33	A: ズボンどうしたんですか？ B: あー泥がはねた。	63	A: あ、手紙が来てますよ。 B: 目が悪くて読めないな。
4	A: ちょっと外行きませんか？ B: 雨が降ってるよ？	34	A: あのおばあちゃん、病気になったみたいですね。 B: あー、つらいだろうなー。	64	A: あそこに犬がいるね。 B: わー、ぶさいくな顔してるなあ。
5	A: ごはんができましたよ。 B: 俺じゃあ赤ちゃんにごはん食べさせるよ。	35	A: この延長コード、ちょっと長いですね。 B: あー、少し束ねて。	65	A: えー、この前約束したのに、明日だめなの？！ B: そうすねないよ、まあまあ。
6	A: おかず食べますか？ B: おやおや…これ悪くなってるよ。	36	A: 転んでけがしちゃったよ。 B: あー、そんなものはつばを付ければ治るよ。	66	A: あの人本読んでますね。 B: ああ、さつきからひたすら集中して本を読んでいるね。
7	A: あ、どうしたんですか？ B: 具合が悪いなー。	37	A: お手伝いしましょうか？ B: あー、テーブル持ち上げて。	67	A: これ、うちの子どもの写真です。 B: わー、かわいいなー！
8	A: もうこれ、いらないから捨てましょう。 B: わー、もったいないなー。	38	A: あの人またけんかしてましたよ。 B: 短気だからなー。	68	A: ごはんができたよ。 B: うわ、このお米、水が足りなくて芯が残ってるじゃないか。
9	A: さつきあそこに虫がいっぱいいましたね。 B: あー、そうだね、気持ち悪かったね。	39	A: 出かけるもうちょっとかかるから待ってて。 B: さつきとして。	69	A: あそこで誰か寝てますね。 B: わ、寝言言ってるよ。
10	A: 一緒にごはん作りませんか？ B: あー、じゃあ俺、米を水につけておくれ。	40	A: このお皿高そうですね。 B: あー、さわらないでよ。	70	A: このお肉どうですか？ B: あ、やわらかくておいしいなー。
11	A: すみません、この書類って、いつまで出すんですか？ B: とっくに過ぎてるよ。	41	A: ちょっと出かけてきます。 B: サンダルはいていきな。	71	A: このパソコンうまく動かないよ。 B: 役立たずだなー。
12	A: おじさん、お久しぶりです。 B: おやおや、大きくなったなー。	42	A: 明日から始まりますね。 B: 宿題終わらせた？	72	A: (食べ物を食べていて)あ、手が汚れちゃった。 B: あ、ティッシュをどうぞ。
13	A: (玄関で)あ、ごめんなさい。 B: おやおや、よくいらしゃいましたね。	43	A: これから一人暮らしなんですよ。 B: さびしいねー。	73	A: 最近あのおばあさん見ないですね。 B: 病気になるっているんじゃない？
14	A: 今日のおかず、なんですか？ B: 今日のおかずは、みそ汁とつけものだけ。	44	A: あ、お皿洗いましたよ。 B: ひっくりがえしておいて。	74	A: あの、写真撮ってくださいませんか？ B: 少し右に寄ってください。
15	A: お、久しぶり。 B: おー、おとうさん(年上の男性のこの呼び方、父親ではない)、元気だった？	45	A: お父さん、あれなに？ B: あー、にわとりさんがいるねー。(子どもに言うことば)	75	A: えー、すみません、小林さんですか？ B: はい。
16	A: え、さつきから(私を)見てるけど、なんか変ですか？ B: あごにごはんがついてるよ。	46	A: 昨日隣のうち火事だったんですって？ B: びっくりしたよー。	76	A: あの人とってもいい人だね。 B: そうでしょう。
17	A: 今度このプロジェクトをやろうと思います。 B: 大変だよ。	47	A: あ、みんな並んでるのに、あの人、並ばないで前に行っちゃった。 B: ずるいな。	77	A: 昨日釣りに行ったんですね。 B: いやー、川に落ちてしまっ。
18	A: あ、小林さん。 B: こんばんは。	48	A: このお皿割れちゃいましたね。 B: 捨てて。	78	A: いただきます。外、雪すごかったよ。 B: とりあえず雪を払い落とさないよ。
19	A: 昨日山登りしたんですってね？ B: いやー、疲れた疲れた。	49	A: あ、どうしましたか？ B: おでこをぶつけた。	79	A: ちょっとこれ運ぶの手伝ってくださいませんか？ B: あー、たいしたことないよ。
20	A: これから飲みに行こう。 B: (話し相手とは別の人が)あー、俺のことも仲間に入れてー。	50	A: いやーこの間はどうもありがとうございました。 B: いやー、どうってことないよ。	80	A: 今日はどうもありがとうございました。 B: じゃあまたね。
21	A: このバッグ小さいですねー。 B: あ、なんとかぎゅぎゅうに(ぎむりやり)つめて。	51	A: あ、おじやします。 B: あ、そこにまあ座って。	81	A: あの子、お母さんが入院しちゃったんだって。 B: かわいそうだね。
22	A: あの子、さつきからずっと泣いてるよ。 B: ああ、すねてるもんなー。	52	A: すみません、またお金貸してくださいませんか？ B: 甘えるなよー。	82	A: このコロッケどうぞ。 B: あ、どうもろこし入ってる。
23	A: あの子、さつきからずっと泣いてるよ。 B: あ、太郎はどこにいるの？	53	A: あ、太郎はどこにいるの？ B: あそこに横になってるよ、また。	83	A: あー、じゃあまずお座りください。 B: わー、今ちょっとおしり痛くて。
24	A: おなかすいた。 B: ごはん食べな、ごはん食べな。	54	A: 見て、あんな高いところに人が立ってるよ！ B: うわー、はらはらするー！	84	A: あ一つかれたー。 B: あ、そこで(足を伸ばして)休みな。
25	A: 呼びましたか？ B: あー、こっちおいで、こっちおいで。	55	A: このてんぷらなんですか？ B: ぶきのとう。	85	A: あそこに誰か座ってる。 B: あー、ホームレスでしょう。
26	A: どうしたんですか？ B: あー、蚊に刺されて背中がかゆいんだよ。	56	A: 兄弟はたくさんいるんですか？ B: 俺は末っ子。	86	A: ちょっとマッサージしてあげますよ。 B: わー、くすぐりたい！
27	A: やーい、ばーかばーか。 B: なんだと！	57	A: みんなで旅行に行くんですけど、一人足りないんですよ。 B: (話し相手とは別の人が)あー俺も一緒に行く。	87	A: あ、小林さんですか？ B: そうです。(丁寧な言い方)
28	A: 今日はずっと仕事だったんですか？ B: 疲れたー。	58	A: 今度一緒に、ごはん食べましょうよ。 B: あー、明日の晩はどう？	88	A: え、小林さん嬉しそうですけど、どうしました？ B: あー、赤ちゃん生まれたからね。
29	A: このおもちゃがほしい！ B: わがママを言うんじゃない。	59	A: どうしたんですか？ B: ひざをぶつけた。	89	A: 兄弟はたくさんいるんですか？ B: 俺は長男。
30	A: 水をどうぞ。 B: おー、冷たいなー。	60	A: 昨日駅でさ、お父さんがいると思って、大きな声で呼んだら、全然知らない人だったよ。 B: はずかしいなー。		

資料3 岩手県伊達方言(録音スクリプト)

1	A: すみません、少し話あるんですけど…。 B: うずさ よってがね?	31	A: あれがほしい! B: ごんぼほるな。	61	A: ごはんできましたよ。 B: あー、こいつ めっこめした。
2	A: なにかお手伝いしましょうか? B: んだば、そこの ほんこ もってってくんねが?	32	A: (ハイキングの前日)何か用意するものはありますか? B: ジャス もってけ。	62	A: なんかも痛そうですけど、どうしました? B: あるぎすぎで ももた いでやー。
3	A: ではここに名前を書いてください。 B: あー、このペン かがさんね。	33	A: お水をどうぞ。 B: あー、こいつ ひやっこい。	63	A: どうしよう、大事な書類出すの忘れちゃったよ。 B: そいつは やばっついな。
4	A: (玄関で)あ、ごめんください。 B: あ、きたの、あがらっしゃい。	34	A: いやー、これ重いですね。 B: でば すけっかや。	64	A: ちょっとお金貸してくれませんか? B: おらやんだ。
5	A: このおかず食べますか? B: いや、あめでっから やめだほう(が)いい。	35	A: あ、みんな並んでるのに、あの人、先に前に行っちゃった。 B: あー、ずっけえ やづだなー。	65	A: もう少し歩けそうですか? B: もう わがんねー。
6	A: この皿はどこから取ってきたんですか? B: んー、あいつがら。	36	A: ズボン汚れてますね。 B: いやー、さっき すっぱね あげでやー。	66	A: すみません、もうちょっと待ってくださいか? B: までね、わらわらど やれ。
7	A: すみません、駅に行きたいんですが…。 B: このみぢ あるってげば つぐど。	37	A: あのお店、売れなくてやめちゃったんだって。 B: せづねー はなしだなー。	67	A: 境さんですか? B: んだ。
8	A: あ先生の教え方、どうですか? B: あじやらだな。	38	A: いやー今日はありがとうございました。 B: んだば。	68	A: あの人とってもいい人だったね。 B: んだからー。
9	A: どうしたんですか? B: あんべわりー。	39	A: 何かお手伝いしましょうか? B: あー、そのいす たがいでける。	69	A: 山田さんですか? B: んにや。
10	A: もうこれ、いらなから捨てましょう。 B: いだましー。	40	A: これから準備するからちょっと待ってて。 B: ちゃっちゃんど しる。	70	A: このプリント、今日使いますか? B: んでね、あした つかうんだ。
11	A: 一緒にごはん作りましょう。 B: んでばー、こめ うるがしとくから。	41	A: このお皿、きれいですね。 B: そいつ ちよすなよ。	71	A: あ煙では何を作ってるんですかね? B: とーきびだな。
12	A: その靴かっこいいですね。 B: でも いずいんだ。	42	A: ちょっと出かけてきます。 B: そこの つっかけ はいでげ。	72	A: これ、うちの家族の写真です。 B: あーりや、かわいい わらすっこだごど。
13	A: おじさん、お久しぶりです。 B: あれ おめ、おがったねやー。	43	A: この仕事、明日まででいいですか? B: はやぐ でかせよ。	73	A: あ煙、何を作ってるんですかね? B: あいづ ぜんぶ きみだ。
14	A: 他に、なんかおかずありませんか? B: んだば、おごごでも くらが?	44	A: このお皿壊れちゃいましたね。 B: そいつ ながどげ。	74	A: まあお座りください。 B: いやー、けつつ いでくて すわれねーのっしや。
15	A: 境さん、この前、駅前で激しく転んでましたね。 B: あいづ おしよすかったやー。	45	A: ちょっとお腹が痛くて…。 B: あー、なにしたのー?	75	A: 境くん、今度、新しい仕事をするんだけど、やってみないかい? B: んだなっしやー、わがりました。
16	A: この前、高いお皿を割っちゃいましたねー。 B: おだづがらだ。	46	A: これ、壊れちゃいました。 B: ねっばしどげ。		
17	A: (バスの中で)すみません、市役所に行きたいんですけど…。 B: バスで おづでがら きげ。	47	A: あれ、目どうしたんですか? B: いやー、ばが できてやー。		
18	A: 今度、このプロジェクトをやりようと思うんですよ。 B: おどげでねーどー。	48	A: あれ、今日帰り早いですね。 B: いやー、しごと はがいてやー。		
19	A: あ、境さん。 B: おぼんです。	49	A: みんなで飲みに行きませんか? (話し相手とは別の人が)んだば はめでける。		
20	A: なんか嬉しそうですね。 B: いやー、おぼっこ できたからね。	50	A: どうしたんですか? B: いや、ひざかぶ ぶってや。		
21	A: 今日ずっと仕事だったんですね。 B: いやー、がおったや。	51	A: 昨日さ、車で、お父さんがいると思って、大きな声で呼んだら、全然知らない人だったよ。 B: いやー、ひとめわるがったねー。		
22	A: このごはん誰の? B: こどもに かせんのしや。	52	A: 昨日ずーっと待ってたのに、友達が来なかったんだよ。 B: そいつは ひまだれだったねー。		
23	A: この仕事、全然終わりませんね。 B: あいづ かばねやんで さっぱり すすまねんだ。	53	A: たいだいま。外、雪すごかったよ。 B: ゆぎ ほろってがら はいれよ。		
24	A: あ女の子、また男の子とけんかしてるよー。 B: きかねがらなー。	54	A: みんなで飲みに行きませんか? (話し相手とは別の人が)おらも まぜでける。		
25	A: あれ、風邪引いたんですか? B: いやー きのう、きどごねしてやー。	55	A: 昨日寝ないですって勉強しました。 B: まなぐ あがいぞ。		
26	A: あれ、足ぬれてますね。 B: いやー、あそこで きやっぱりどってやー。	56	A: ちょっと出かけてきます。 B: そんな みったぐねー かつこ すんな。		
27	A: このバッグ小さいですねー。 B: いやー、ぎりぎりど つめろ。	57	A: えー、この前約束したのに、明日だめなの?! B: そんなに むつけんなよ。		
28	A: おなかすいた。 B: まんま け。	58	A: この料理、どうでしたか? B: いやー、んめがったな。		
29	A: やーい、ばーかばーか。 B: このー!	59	A: あのおじいさん、いつもパンツで歩いてるよ。 B: めぐせーよなー。		
30	A: 一週間ずっと勉強してたんですね。 B: いやー、こえてやー。	60	A: これが私の子どもの写真です。 B: あー、めんこいねー!		

資料4 岩手県伊達方言(標準語訳)

1	A: すみません、少し話あるんですけど…。 B: 家に寄っていかない？	31	A: あれがほしい！ B: わがままを言うんじゃない。	61	A: ごはんできましたよ。 B: あー、このお米、水が足りてなくて芯が残ってる。
2	A: なにかお手伝いしましょうか？ B: じゃあ、その本持っていってくれない？	32	A: (ハイキングの前日)何か用意するものはありますか？ B: ジャージを持っていきな。	62	A: なんかが痛そうですね、どうしました？ B: 歩きすぎて太ももが痛いよ。
3	A: ではここに名前を書いてください。 B: あー、このペン書けないよ。	33	A: お水をどうぞ。 B: あー、これ冷たいな。	63	A: どうしよう、大事な書類出すの忘れちゃったよ。 B: それはやばいな。
4	A: (玄関で)あ、ごめんなさい。 B: あ、来たの、お入りください。	34	A: (大きな箱を持って)いやー、これ重いですね。 B: じゃあ手伝おうか。	64	A: ちょっとお金貸してくれませんか？ B: 私はいやだよ。
5	A: このおかず食べますか？ B: いや、悪くなってるからやめたほうがいい。	35	A: あ、みんな並んでるのに、あの人、先に前に行っちゃった。 B: あー、ずるいやつだなー。	65	A: もう少し歩けそうですね？ B: もうだめだ。
6	A: この血はどこから取ってきたんですか？ B: んー、あそこから。	36	A: スポン汚れてますね。 B: いやー、さっき泥はねがかかってさー。	66	A: すみません、もうちょっと待ってくださいませんか？ B: 待てない、急いでやりなさい。
7	A: すみません、駅に行きたいんですが…。 B: この道歩いていけば着くよ。 A: あの先生の教え方、どうですか？	37	A: あのお店、売れなくてやめちゃったんだって。 B: 切ない話だなー。 A: いやー今日はありがとございました。 B: じゃあ。(別れのあいさつ)	67	A: 境さんですか？ B: はい。 A: あの人のとってもいい人だったね。 B: そうでしょう。
8	A: どうしたんですか？ B: 具合が悪いなー。	38	A: 何かお手伝いしましょうか？ B: あー、そのいす持って。	68	A: 山田さんですか？ B: いいえ。
9	A: もうこれ、いらないから捨てましょう。 B: もったいないなー。	39	A: これから準備するからちょっと待ってて。 B: さっさとして。	69	A: このプリント、今日使いますか？ B: いや、明日使うんだよ。
10	A: 一緒にごはん作りましょう。 B: じゃあ、米を水につけておくから。 A: その靴かっこいいですね。 B: でもなんかしっくりこない(違和感がある)んだよ。	40	A: このお皿、きれいですね。 B: それ触らないでよ。 A: ちょっと出かけてきます。 B: そこのサンダルはいていきな。	70	A: あの畑では何を作ってるんですかね？ B: どうもろこしだな。 A: これ、うちの家族の写真です。 B: あーら、かわいい子どもだなー。
11	A: おじさん、お久しぶりです。 B: おやお前、大きくなったなー。	41	A: この仕事、明日まででいいですか？ B: 早く終わらせてよ。 A: このお皿壊れちゃいましたね。 B: それ捨てておいて。	71	A: あの畑、何を作ってるんですかね？ B: あれは全部とうもろこしだ。 A: まあお座りください。 B: いやー、おしりが痛くて座れないんだよ。
12	A: 他に、なんかおかずありませんか？ B: じゃあ、つけものでも食べる？	42	A: ちよっとお腹が痛くて…。 B: あー、どうしたのー？	72	A: 境くん、今度、新しい仕事をするんだけど、やってみないかい？ B: そうですねー、わかりました。(丁寧な言い方)
13	A: 境さん(話し相手の名前)、この前、駅前で激しく転んでましたね。 B: あれははずかしかったよー。	43	A: これ、壊れちゃいました。 B: (のりやテープで)付けておいて。	73	
14	A: この前、高いお皿を割っちゃいましたねー。 B: 調子に乗るからだぞ。	44	A: あれ、目どうしたんですか？ B: いやー、ものもらい(できもの)ができてねー。	74	
15	A: (バスの中で)すみません、市役所に行きたいんですけど…。 B: バスを降りてから聞いて。	45	A: あれ、今日帰り早いんですね。 B: いやー、仕事はかどってね。	75	
16	A: 今度、このプロジェクトをやろうと思うんですよ。 B: 大変だぞ。	46	A: みんなで飲みに行きませんか？ B: (話し相手とは別の人が)それじゃ仲間に入れてよ。		
17	A: あ、境さん。 B: こんばんは。	47	A: どうしたんですか？ B: いや、ひざをぶつけてね。		
18	A: なんか嬉しそうですね。 B: いやー、赤ちゃんできたからね。	48	A: 昨日さ、車で、お父さんがいると思って、大きな声で呼んだら、全然知らない人だったよ。 B: いやー、はずかしかったねー。		
19	A: 今日ずっと仕事だったんですね。 B: いやー、疲れたよ。	49	A: 昨日ずっと待ってたのに、友達が来なかったんだよ。 B: それは時間の無駄だったねー。		
20	A: このごはん誰の？ B: 子どもに食べさせるんだよ。	50	A: ただいま。外、雪すごかったよ。 B: 雪払い落としてから入ってよ。		
21	A: この仕事、全然終わりませんね。 B: あいつなまけて(＝サボって)全然進まないんだ。	51	A: みんなで飲みに行きませんか？ B: (話し相手とは別の人が)俺も仲間に入れてよ。		
22	A: あの女の子、また男の子とけんかしてるよー。 B: 気が強いからなー。	52	A: 昨日寝ないでずっと勉強してました。 B: 目が赤いよ。		
23	A: あれ、風邪引いたんですか？ B: いやー昨日、うたたねしちやってさー。	53	A: ちよっと出かけてきます。 B: そんなみつともない格好しないで。		
24	A: あれ、足ぬれてますね。 B: いやー、あそこで水たまりをふんで靴に水が入っちゃってさー。	54	A: えー、この前約束したのに、明日だめなの？！ B: そんなにすねないでよ。		
25	A: このバッグ小さいですねー。 B: いやー、なんとかがぎゅうぎゅうに(＝むりやり)つめて。	55	A: この料理、どうでしたか？ B: いやー、おいしかったな。		
26	A: おなかすいた。 B: ごはん食べなさい。	56	A: あのおじいさん、いつもパンツで歩いてるよ。 B: みつともないよなー。		
27	A: やーい、ばーかばーか。 B: なんだと！	57	A: これが私の子どもの写真です。 B: あー、かわいいねー！		
28	A: 一週間ずっと勉強してたんですね。 B: いやー、疲れてねー。	58			
29		59			
30		60			

資料5 福島県会津方言(録音スクリプト)

1	A: ちよっとおなからすいた。 B: んなら おらえさ よってがね?	31	A: あ、おかえりなさい。 B: あー 二えがった。	61	A: 見て、この服かっこいいでしょう? B: なんだ それ、ひとめわりな。
2	A: ラーメン食べたいな。 B: きのう 買ったべしな。	32	A: おばあさん入院したんですって? B: あ、さすけねえ。らいげづには たいいんだがら。	62	A: いやー、昨日一日中友達を待ってたんだけど、結局来なかったんだよ。 B: それは ひまだれしたな。
3	A: こんにははー。今日は寒いですね。 B: んだなす。	33	A: お水どうぞ。 B: うわー、しゃっけな これ。	63	A: たろう、ちよっと こっち きてみ。 B: ふん! 知らないよ! A: なに ぶすぐっちゃんだ。
4	A: すみません、これいくらですか? B: こひやくえんです。	34	A: 服ぬれてるけどどうしたの? B: あ、みず すっかけらちやんだ。	64	A: どうしたんですか? B: なんか さいふ どっかに ほろったみでだな。
	A: え、本当に500円ですか? B: んだずー。	35	A: あれ?あの人、あとから来たよね? B: あ、ほんとは。まえん ならんでる。すっけえな。	65	A: これからみんなで飲みに行こう。 B: (話し相手とは別の人が) あー おれも まぜでくろー。
5	A: あれ? バッグどうしたの? B: あー、だれがに もってがっちゃ。	36	A: あ、あの人ズボン見て。 B: あー すっぱね いっぺ ついでんな。	66	A: 最近寝不足なんですよ。 B: あー、そういえば まなぐ あげえな。
6	A: あれ、昨日、うちにいなかったけど、どこか行ってたの? B: スーパー いったんだけどよ、たまご うりぎれちまった。	37	A: りんご買ってきたよ。 B: うわー、これ ずねーな。	67	A: 昨日、山田さんがあなたの花瓶を割っちゃって、隠してましたよ。 B: ほんとは? みったぐねー やろうだな!
7	A: (玄關で)ごめんください。 B: あー、よく きたなし。さあ あがっせ。	38	A: あそこのおじいちゃん、亡くなったんだって。 B: あー、ばんちゃ せつねべな。	68	A: すみません、市役所はどこですか? B: あそこ ずーっと 行って、ひだりさ むずったとごに あるよ。
8	A: うわ、なんかふんじやった。 B: どーれ、ちっと あぐど あげでみる。	39	A: いやー、本当にありがとうございます。 B: いや、こんなの ぞうさね。	69	A: あのおじいさん、いつもパンツで歩いてるよ。 B: みくせな。
9	A: (親戚の子ども)おひさしぶりです。 B: あやー、おめ でっかくなつたな。	40	A: そのテーブル重そうですね。 B: んじや、そっち たがってくる。	70	A: これが私の子どもの写真です。 B: めげーな。
10	A: すみません、駅まで行きたいんですけど…。 B: このみぢ まーっすぐ あるってぐど、そのうち つぐがら。	41	A: (病院の待合室で)すみません、あの、私はもう名前呼ばれましたか? B: いや、だんだん よばれんべ。	71	A: ごはんどうぞ。 B: ん… これ めっこめしだべ。
11	A: 明日の夕方って、時間ありますか? B: あんべわりな。	42	A: ちよっと出かけてきます。 B: あー、そこの つっかけ はいでげ。	72	A: おもちをどうぞ。 B: あー、これ やっこぐって んめ。
12	A: もう、これいらぬから捨てましょう。 B: あー、それ いたましな。	43	A: もう時間なんで、帰ってもいいですか? B: いや、きょうのうち でがさねど だめだがら。	73	A: この携帯、買ったばかりなのに、すぐ壊れちゃったよ。 B: そら やっちやがね。
13	A: あぶねがら うすらからしてんず。 B: あ、ごめんさい。	44	A: おなかすいた。 B: んじやあ、どーみぎ くらが?	74	A: んー、やっぱりピカソの絵はすばらしいね。 B: ろぐすっぱ しらくせに、よく ゆうよ。
14	A: ねえねえ、ねえ、ちよっと話聞いてよ。 B: うつつあしな、おめ あつちや いったる。	45	A: (子どもが父親に向かって)あそこにいるの何? B: あれは とつと。	75	A: あ、齋藤さんですか? B: んだ。
15	A: ごちそうさま。 B: あ、くつたら ちやわん うるがしとげ。	46	A: これ、壊れちゃいましたよ。 B: んじや、それ ながどげ。	76	A: いやー、この前教えてくれたラーメン屋、おいしかったよー。 B: んだから。
16	A: このわかめは何? B: あー、きょう おづげの みに すっかと おもって。	47	A: きのう かえり おそがったけど、どごさ いったらだ? B: うるさいな。	77	A: (おねだりする感じで)お父さん、おこづかいほしいな。 B: そべっこしてんよー こら。
17	A: (バスの中で)すみません、図書館に行きたいんですけど…。 B: あー、つぎで おぢっと いいわい。	48	A: なんしたのー!? B: ちよっと手が痛いですよ。	78	A: あれ、このテレビ映らないね。 B: あー それ もつこだがら わぎ たいでみ。
18	A: さっきから、(私の)顔、見てますけど、どうしたんですか? B: おとげさ まんま ついてつお。	49	A: もう夜遅いけど、まだ仕事してるの? B: これ あしたまで なんでかんで やんなんねだ。	79	A: (熱がありそうな子を見て)この子、顔真っ赤だけど? B: でなさ て あでみ。
19	A: あ、齋藤さん。 B: あ、おばんです。	50	A: いやー本当に助かりました。 B: いや なんも。	80	A: あの子、なんか怒ってるの? B: あ、きめっこしてんだがら、ほつとげ。
20	A: いやー、昨日、寝坊しちゃって、入学試験受けられなかったよ。 B: おんずくなし。	51	A: にしや、ジュース かってこ。 B: あ、わかりました。	81	A: 今日は、仕事このへんにしておきましょうか? B: んだらば、のみさ いぐか?
21	A: あのおばあちゃん、最近見ないけど、どうしたんですかね? B: あー、にさんにぢまえ がおって、うぢで ねでるみでだよ。	52	A: これ壊れちゃいましたね。 B: んまーぐ ねっぱしとげ。	82	A: ちよっとマッサージしてあげますよ。 B: んー どれどれ… あー いいあんべだな。
22	A: ちよっと首のまわりがかゆいんですねー。 B: あー、なんかに かせだみでだな。	53	A: いやーこのもちおいしいですねー! B: あんまり いそいで くらど のせつちまうぞ。		
23	A: これ食べていいですか? B: あ、これ おれがな。	54	A: あー疲れた。 B: んな のだばって ぼっか いんな。		
24	A: あーこの赤ちゃん、全然笑ってくれない。 B: あー それ かめっこしてんだよ。	55	A: あ、今日は帰りが早いんですね。 B: あー けっこう しごど はがいったがらな。		
25	A: おはようございます。 B: あー きょう かんじるな。	56	A: 弟か妹はいますか? B: いや おれ ぼつただがら。		
26	A: ここにあったお金どうしたの?! B: なんで おれに かんづげんの?	57	A: 鼻血が出ちゃったよ。 B: あー はなんだんぼ しとげ。		
27	A: あの女の子、また男の子とけんかしてるよー。 B: あれは きかねがらな。	58	A: ごめんください、太郎さんいますか? B: あー、いま いねがら ばんかだ きてくんつえ。		
28	A: 昨日ものすごく酔っぱらってましたけど、あのあと大丈夫でしたか? B: あさ おぎだら、きごころねした。	59	A: この大根どうぞ。 B: ありがとう。ばんげの おがずに すんべ。		
29	A: おぢや だすがら きびちよ どこに ある? B: あ、あそこの棚にありますよ。	60	A: どうしたんですか? B: いっでー、ひさかぶ ぶつっけだ。		
30	A: やーい、ばーかばーか。 B: なんだ このー!				

資料6 福島県会津方言(標準語訳)

1	A: ちよっとおなすいた。 B: じゃあ私の家に寄っていかない?	31	A: あ、おかえりなさい。 B: あー疲れた。	61	A: 見て、この服かっこいいでしょう? B: なんだそれ、かっこわるいなー。
2	A: ラーメン食べたいなー。 B: 昨日食べたじゃないか。	32	A: おばあさん入院したんですって? B: あ、大丈夫だよ。来月には退院だから。	62	A: いやー、昨日一日中友達を待ってたんだけど、結局来なかったんだよ。 B: それは時間を無駄づかいしたねー。
3	A: こんにちは。今日は寒いですね。 B: そうですね。(丁寧な言い方)	33	A: お水どうぞ。 B: うわー、冷たいなこれ。	63	A: 太郎、ちよっとこっち来てごらん。 B: ふん! 知らないよ! A: なんですネてるの。(=ふてくされる、いやな気持ちがあつて相手のいうことを聞かない)
4	A: すみません、これいくらですか? B: 500円です。 A: え、本当に500円ですか? B: そうだってば。(強調)	34	A: 服めれてるけどどうしたの? B: あ、水をひっかけられたんだよ。	64	A: どうしたんですか? B: なんだか財布をどこかに落としてなくしちゃったみたいだな。
5	A: あれ? バッグどうしたの? B: あー、誰かに持っていかれちゃったよ。	35	A: あれ? あの人、あとから来たよね? B: あ、本当だ。前に並んでる。ずるいな。	65	A: これからみんなで飲みに行こう。 B: (話し相手とは別の人が)あー俺も仲間に入れてよー。
6	A: あれ、昨日、うちにいなかったけど、どこか行ってたの? B: スーパー行ってただけさ、卵売り切れちゃった。	36	A: あ、あの人のズボン見て。 B: あー泥はねいっぱい付いてるね。	66	A: 最近寝不足なんですよ。 B: あー、そういえば(あなたの)目が赤いな。
7	A: (玄關で)ごめんください。 B: あー、よくいらっやいましたね。さあ入ってください。	37	A: りんごを買ってきたよ。 B: うわー、これ大きいなー。	67	A: 昨日、山田さんがあなたの花瓶を割っちゃって、隠してましたよ。 B: 本当に? にくらしいやつだな!
8	A: うわ、なんかふんじやった。 B: どーれ、ちよっと足を上げてみな。	38	A: あそこのおじいちゃん、亡くなったんだって。 B: あー、おばあちゃんつらくて悲しいだろうねー。	68	A: すみません、市役所はどこですか? B: あそこをずーっと行って、左に曲がったところにあるよ。
9	A: (親戚の子ども)おひさしぶりです。 B: わあ、お前大きくなったねー。	39	A: いやー、本当にありがとございました。 B: いや、こんなのどうってことないよ。	69	A: あのおじいさん、いつもパンツで歩いてるよ。 B: みっともないな。
10	A: すみません、駅まで行きたいんですけど…。 B: この道をまっすぐ歩いていくと、そのうち着くよ。	40	A: そのテーブル重そうですね。 B: じゃあ、そっち持ち上げて。	70	A: これが私の子どもの写真です。 B: かわいいなー。
11	A: 明日の夕方って、時間ありますか? B: 都合が悪いな。	41	A: (病院の待合室で)すみません、あの、私はもう名前呼ばれましたか? B: いいや、そろそろ呼ばれるでしょうね。	71	A: ごはんどうぞ。 B: ん…このお米、水が足りなくて芯が残ってるよ。
12	A: もう、これいらないから捨てましよう。 B: あー、それはもったいないな。	42	A: ちよっと出かけてきます。 B: あー、そのサンダルはいていきな。	72	A: おちをどうぞ。 B: あー、これやわらかくておいしい。
13	A: 危ないから(そこを)うろうろしてるんじゃないよ。 B: あ、ごめんなさい。	43	A: もう時間なんで、帰ってもいいですか? B: いや、今日のうちに終わらせないとだめなんだよ。	73	A: この携帯、買ったばかりなのに、すぐ壊れちゃったよ。 B: それは役立たずだなー。
14	A: ねえねえ、ねえ、ちよっと話聞いてよ。 B: うるさいな、お前あっちに行ってる。	44	A: おなすいた。 B: じゃあ、どうもろこし食べる?	74	A: んー、やっぱりピカソの絵はすばらしいね。 B: よく知らないせいに、よく言うよ。(=ピカソのことをよく知らないのに、よく知ってるように感嘆を言うAへの非難)
15	A: ごちそうさま。 B: あ、食べたら茶碗を水に浸けておいてよ。	45	A: (子どもが父親に向かって)あそこにいるの何? B: あれはにわとりさん。(子どもに言うことば)	75	A: あ、齋藤さんですか? B: はい。
16	A: このわかめは何? B: あー、今日みそ汁の具にしようかと思ってる。	46	A: これ、壊れちゃいましたよ。 B: じゃあ、それ捨てて。	76	A: いやー、この前教えてくれたラーメン屋、おいしかったよー。 B: そうでしょう。
17	A: (バスの中で)すみません、図書館に行きたいんですけど…。 B: あー、次で降りるといいよ。	47	A: 昨日掃りが遅かったけど、どこに行ってたの? B: うるさいな。	77	A: (おねだりする感じで)お父さん、おこづかいほしいなー。 B: (冗談の感じで)甘えてるんじゃないよ、こら。
18	A: さっきから、(私の)顔、見えますけど、どうしたんですか? B: あごにごはんがついてるよ。	48	A: ちよっと手が痛いんですよ。 B: どうしたのー?	78	A: あれ、このテレビ映らないね。 B: あーそれ古いからわきをたたいてみな。(=古くて壊れかかっているもの、ポロポロ)
19	A: あ、齋藤さん。 B: あ、こんばんは。	49	A: もう夜遅いけど、まだ仕事してるの? B: これ明日までにどうしてもやらないといけないんだよ。	79	A: (熱がありそうな子を見て)この子、顔真っ赤だけど? B: おでこに手を当ててみな。
20	A: いやー、昨日、寝坊しちゃって、入学試験受けられなかったよ。 B: ばかだなー。	50	A: いやー本当に助かりました。 B: いや、どうってことないよ。	80	A: あの子、なんか怒ってるの? B: あ、すねてるんだから、ほうっておきな。(=ふてくされる、いやな気持ちがあつて相手のいうことを聞かない)
21	A: あのおばあちゃん、最近見ないけど、どうしたんですかね? B: あー、2,3日前に体調が悪くなって、うちで寝てるみたいだよ。	51	A: (子どもや目下に向かって)お前、ジュース買って来なさい。 B: あ、わかりました。	81	A: 今日は、仕事このへんにしておきましょうか? B: じゃあ、飲みに行こうか?
22	A: ちよっと首のまわりがかゆいんですよねー。 B: あー、なんかにかぶれたみたいだな。	52	A: これ壊れちゃいましたね。 B: 上手に(のりやテープで)つけておいて。	82	A: ちよっとマッサージしてあげますよ。 B: んーどれどれ…あーいい感じだね(=ちよっとういいうね)。
23	A: これ食べていいですか? B: あ、これは私の。	53	A: いやーこのもちおいしいですねー! B: あんまり急いで食べるとのどにつまっちゃうよ。		
24	A: あーこの赤ちゃん、全然笑ってくれない。 B: あーその子は人見知りしてるんだよ。	54	A: あー疲れた。 B: そんな様になってばかりいるんじゃないよ。		
25	A: おはようございます。 B: あー今日はとても寒いねー。	55	A: あ、今日は掃りが早いですね。 B: あー結構仕事ははかどったからね。(=順調に進んだ)		
26	A: (置いておいたお金がなくなっているのを見て)ここにあったお金どうしたの?! B: なんで俺のせいにしてるの?	56	A: 弟か妹はいますか? B: いや俺は末っ子だよ。		
27	A: あの女の子、また男の子とけんかしてるよー。 B: あの子は気が強いからなー。	57	A: 鼻血が出ちゃったよ。 B: あー鼻にティッシュをつけておきな。		
28	A: 昨日ものすごく酔っぱらってましたけど、あのあと大丈夫でしたか? B: 朝起きたら、服を着たまま寝てた。(家に帰ったら、着替えないで外で着た服のまま寝てしまった)	58	A: ごめんなさい、太郎さんいますか? B: あー、今いないから夜来て。		
29	A: お茶出すから急須どこにある?(日本のティーポット) B: あ、あそこの棚にありますよ。	59	A: この大根どうぞ。 B: ありがと。(大根を)夕飯のおかずにしよう。		
30	A: やーい、ばーかばーか。 B: なんだと!	60	A: どうしたんですか? B: いって(=痛いときに言うことば)、ひざをぶつけた。		

第6章 方言理解支援ツールの作成

これまでの第4章「日本人の方言使用調査」及び第5章「外国人の方言理解調査」の結果を踏まえ、方言理解支援ツール『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』を作成した。

この方言集は現在住んでいる外国人だけでなく、これからやってくる外国人にも使えるように設計している。そのため、既に東北在住の外国人が知っている方言というものは、職場でよく聞く、姑がよく使っていた、あるいは日本語教室の教師が教えてくれたなど、生活上知る必要や知る機会があったので覚えたということは前章までで明らかになった。これからやってくる外国人にとってもそのような方言はこれから耳にする機会があると考えられ、本方言集では日本人の使用度数が高いものや、現在東北に住んでいる外国人の理解度が高いものを優先的に掲載するという基準を取っている。以下に主な基準となったものを記す。また、巻末の資料14「方言調査項目リスト」では、第4章の方言使用調査で調査した全304項目について、各方言域におけるインフォーマントの「使う」あるいは「聞く」とした人数、そして第5章の方言理解調査で各地域の外国人住民が正答した数、そして方言集作成時の採否とその理由について記したので参照されたい。なお、このリストでは「使う」と回答した場合と「聞く」と回答した場合も同じく1カウントとしている。

6.1. 掲載項目の採用基準

6.1.1. 日本人の使用度数

本研究は「外国人住民がふだん耳にする」方言を提示することが目的である。そのため、採用基準ではまず第4章で扱った日本人の方言使用調査において「使う」あるいは「聞く」と回答されたものが前提となる。ここでいう使用度数とは、「ある方言項目について、ある地域の日本人住民の多くが「使う」「聞く」と回答したか否か」のことである。使用度数は、県ではなく方言域(例えば「福島県」という県単位ではなく「会津方言」が使用される福島県西部)単位で見ると見られる。例えば「はなだんぼ」は方言使用調査では会津方言でのみの使用だが、会津方言域のインフォーマントの全員が「使う」あるいは「聞く」と回答したので、採用した。ちなみに「はなだんぼ」はインフォーマントの多くが方言だと気付いていなかった。インターネットで「はなだんぼ」を検索しても最近方言だと気付いたエピソードや、気付いていないのか標準語の中に入れて書いている例も見られた。

6.1.2. 外国人の理解度

「外国人の理解度」という観点では、第5章で述べた方言理解調査で外国人住民がよく知っていた、つまり外国人住民の理解度が高かったものを優先的に掲載語彙に採用した。ここでいう「理解度が高い」とは推測で正答に至ったものは含まず、あくまでも多くの外国人住民が方言の意味を知っていたものを指す(例:「なげる」(捨てる)や「んだ」(はい)など)。

なお、外国人住民の理解度が低かったものの掲載語彙としたものについては、上で述べた日本人住民の使用度数が高い、つまり方言使用調査で日本人住民の多くが「使う」あるいは「聞く」としていたものである(例:「うるかす」(米などを水に浸けておく)や「たがぐ、たなぐ」(持つ、持ち上げる)など)。

6.1.3. 東北地方全体で広く用いられるもの

東北地方全体で用いられるものに関しては、全体で用いられているが故に気づかない方言（擬似標準語）として用いられている場合も少なくない（例：「なげる」（捨てる）や「うるかす」（米などを水に浸けておく）など）。「んだ」（はい）のように方言だと認識されているものがあるが、どちらの場合も外国人住民にとってはよく耳にするものには変わらない。また、特に就労を目的とする外国人住民の場合は東北地方の中で転勤をする場合も考えられ¹⁵、その際にどの地域でも用いられている方言については彼らにとってより耳にする機会が多くなると言える。そのため、方言集の掲載項目としての優先度が高いと判断した。

なお、よく聞いているものは推測で理解できるのではないかという考えもあるかもしれないが、それに関しては方言理解調査において、「聞いたことはあるけど意味は分からない」と回答したものも存在し、また推測で理解できたもののほとんどは一度も聞いたことがないものであった。

6.1.4. 特定の地域で用いられているもの

特定の地域で用いられているものとは、東北地方全体ではなく限られた方言域でのみ用いられている表現を指す。例えば、青森県津軽方言の「あずましー」（気持ち良い）、秋田県秋田方言の「がっこ」（漬け物）、山形県村山方言や置賜方言で用いられる「おしょうしな」（ありがとう）、宮城県仙台方言や岩手県伊達方言の「たれかもの」（怠け者）、福島県会津方言の「のぜる」（のどにつまる、吐きそうになる）などが挙げられる。これらは、東北地方全体としては使用域が一方言域か隣接する少数の方言域に限られるが、その地域の外国人住民にとっては、日本人住民の使用頻度が高いものはもちろん、あまり使うと答えられなかったとしても「お国言葉」として聞くあるいは教わる機会があったり、東北地方にやって来る観光客向けの看板（言語景観）などで目にしたりする可能性も少なくない。観光客向けの言語景観を外国人住民の言語環境の一つとして捉える立場は、第3章に述べた通りである。第5章の外国人への方言理解調査においても、「この有名な方言だから」という理由で覚えていたものも存在したことは既に記した。

6.1.5. 急を要する際に用いられる可能性のあるもの

中には、「急を要する際に使われる」可能性のある表現がある。「あんべわり」（具合が悪い）、「いずい」（違和感がある）、「にやにやする」（腹部に違和感がある）、「のぜる」（のどにつまる、吐きそうになる）、「はかはかする」（ときどきする＝動悸がする）などのように直接症状などを訴えるものだけでなく、「はなだんぼ」（鼻にティッシュを詰めること）などの緊急時の行為、「あめる」（料理などが腐る）、「かんじる」（とても寒い）のような緊急時に至らないための予防につながりそうな表現、あるいは「ちゃっちゃど」（さっさと）や「わらわらど」（さっさと）などのような行為の迅速さを要求する副詞などが挙げられる。これらの表現は、外国人住民も理解しておくことで地元の日本人住民の訴えや指示に対し適切な行動をとることが可能となる。

6.2. 掲載項目の除外基準

一方、除外基準も存在する。まず日本人の方言使用調査で用いた方言リストの項目において、インフォーマントが一人も「使う」あるいは「聞く」と回答しなかったものやほとんど回答されなかったもの、つまり6.1.1.でいう使用度数が特に低かったものに関しては掲載せず除外した。

また、それ以外に6.1.の採用基準に当てはまる場合でも以下の場合は除外対象とした。

¹⁵ 今回の方言理解調査のインフォーマントにも東北地方を複数箇所転勤している外国人住民が存在した。

6.2.1. 推測可能なもの

外国人の方言理解調査において、外国人住民が方言を知らなくても推測で回答できたものについては、全てではないものの除外の参考基準とした。本研究で掲げる「外国人住民の必要最低限の方言理解」という観点から考えると、「知らなくても推測で分かる」これらのような方言は「必要最低限」に含めるものではないと判断したためである。例えば、「ひざかぶ」（膝）は方言使用調査において東北地方の多くの地域で使うと回答されたが、標準語「ひざ」と語形が一部共通していたため、「ひざかぶ」を知らなくても多くの外国人住民が標準語からの推測で正答した。

6.2.2. 無視してもコミュニケーションが成立するもの

また、名詞に下接する指小辞「〜こ」（意味としては付けない場合とあまり変わらない）も東北全域でよく使うと回答されていた。しかし、方言理解調査において、多くの外国人住民は「さらこ（皿）」「ほんこ（本）」などと聞いても「さら」「ほん」で理解し、「〜こ」を無視して正答した可能性が高かった。このようにある方言項目を無視した場合でも文全体の大意が通じるもの（特に助詞）に関しては、多くの場合は除外対象とした。

6.2.3. ジェスチャー・指差しなどで指示可能なもの

普段の生活における会話では、音声言語だけでなく身振り手振りを交えてコミュニケーションが行われることが自然である。そのため、方言が分からなくてもジェスチャーや指差しで理解できる場合も存在する。例えば、日本人住民が「はいづだ」（それだ）と発して方言が分からなかった場合でも、このような指示詞は「それ」に当たるものを指差しなどで差し示している場合が多い。また、「おどげいでやー」（あごが痛いよ）などと言われた場合にも、痛い部位を押さえていたり、あるいは外国人住民が聞き返せば「おどげ」という語彙を標準語に言い換えなかったとしてもあごを指差したりすると考えられる。このように、本研究ではジェスチャーや指差しで指示可能な指示詞や身体語彙などは除外対象とした。

6.3. 小冊子『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』

以上の採用基準・除外基準をもとに、小冊子『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』（斎藤 2017、資料 15 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』（HP 掲載用改訂版））を作成した（図 37）。項目の除外や類似項目の統合を経て、最終的には 118 項目を決定、方言集の見出し語とした。




図37. 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』

6.3.1. 見出し語の表記

方言集は五十音順にひらがなで見出し語を記した(図 38)。表記にはラテンアルファベット、国際音声字母(IPA)などの選択肢も考えられるが、外国人住民の母語がラテンアルファベットを用いない場合も少なくなく、また、IPAのような表記法は一般的ではない。これまでの筆者の調査において外国人住民は「ひらがなは読める」という場合が少なくないことが分かっており、また第5章における外国人住民のインフォーマントも日本語レベルにはかなり差があった¹⁶ものの全員ひらがなを読むことはできた。国語学においてはカタカナによる表記法もよく採られるが、実は「ひらがなは分かるがカタカナは分からない」ということもあり(逆に「カタカナは分かるがひらがなは分からない」という事例は外国人住民の場合はあまり聞かないと思われる)、また、教育現場においてもまずひらがなの学習から始める。これらの理由からひらがなによる表記法を採用した。また、見出し語に採用された活用語は必ずしも終止形(辞書形)ではなく、普段よく聞かと思われる活用形で載せたものもある(例:「おたる」(疲れる)→「おたった」、「どでする」(驚く)→「どでした」)。


¹⁶ 方言理解調査の回答を日本語で言えずほとんど母語だった者から、母国の大学院で日本語を専攻した者や日本の家庭に嫁いで長年居住することで自然習得をした者まで日本語レベルとしては幅広かったが、方言を専門に学んできた者はいなかった。

46 【ずっぱね】 (すばね、しっぱね)
 JP: 泥はね (水たまりなどを人が車が濡った時にかかる水)
 EN: Splashing mud
 CN: 溅上泥巴 (车辆通过水坑时溅到水)
 KO: 진흙탕물 (웅덩이 등을 사람이나 차가 지나갈 때 튀기는 물)
 PT: Salpico de lama (água jogada em alguém quando um carro passa numa poça de lama)
 ID: Cipratan lumpur (Cipratan air dan lainnya yang mengenai orang ketika mobil sedang lewat)

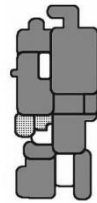
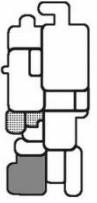


例【秋】A「スポンどうしたんですか？」
 B「あーずっぱねかかった。」
 (あー泥がはねた。)

47 【ずねー】
 JP: 大きい
 EN: Big
 CN: 大
 KO: 크다
 PT: Grande
 ID: Besar



例【会】A「りんご買ってきたよ。」
 B「うわー、これずねえなー。」
 (うわー、これ大きいなー。)

44

図38. 方言集の一部ページ

6.3.2. 多言語による解説

図38で分かるように、方言の意味は標準語以外に英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・インドネシア語による訳も加えた。

標準語訳は読み仮名を付すのみならず、なるべくわかりやすい表現で記載した。標準語による解説は、多言語訳に採用した5言語以外の言語を母語とする外国人住民にも利用可能にするためである。もちろんこれにより日本語話者も利用可能となる。

多言語訳としての言語には英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・インドネシア語を採用した。英語・中国語・韓国語に関しては2016年6月現在の東北地方の在留外国人上位3ヶ国である中国(16,326人)・韓国(8,560人)・フィリピン(6,640人)の言語を考慮し採用した。フィリピンの公用語はフィリピン語及び英語であるが、英語を採用することで6位のアメリカ(1,895人)以下英語圏諸国の出身者にも利用可能である。ポルトガル語に関しては、長年日本全国の在留数で中国・韓国・フィリピンに次いで位置してきたブラジルの公用語である(ただし2016年12月の統計でベトナムに抜かれた)。東北地方の在留数としては11位(507人)とそこまで多くはないが、在留数から今後東北地方への移動の可能性も考慮して採用した。インドネシア語については、2008年より経済連携協定(EPA)により看護師・介護福祉士候補者を受け入れているインドネシアの公用語である。今後少子高齢化社会が進むことを考慮しインドネシア人看護師・介護福祉士の増加が予想されるため、採用した。

6.3.3. 分布図

また、どの地域で用いられているかが一目で分かる分布図も併載した（前頁図 38）。この分布図については第 1 章に述べた方言区分であり、方言集冒頭にも本研究におけるこの方言区分を記載し、県別ではなく、方言域による区分であることを説明した。本編では見出しの方言が使用される地域（方言域）はピンク、使用されない地域は白色とし、どの地域で使われているかが視覚的に捉えやすいようにした。また、分布図は正確な地形の地図を用いず、角丸四角形を基調とした図形で表現することで、使用・不使用の境界を図から厳密に判断しすぎないように配慮した。

6.3.4. 例文

ほとんどの方言には例文を載せ、どのような場面で使用されるか分かりやすいようにした（前頁図 38）。見出し語の説明のみでは、実際の会話ではどのように用いられるのかが捉えにくい。そのため、実際の会話に近い形の例文を掲載することで、語の使われる場面や語の活用などが分かるようにした。

6.3.5. イラスト

さらに、多くの項目にはイラストを掲載した（前頁図 38）。イラストは親しみやすい絵柄にし、フルカラーにした。イラストの多くは例文に即しているが、場合によっては見出し語の意味がより端的につかみやすいようなものにした場合もある。前述の多言語訳に採用した外国語の母語話者以外の外国人でも、標準語訳とイラストを併せて見ることによってより理解を深めることが可能であると考えられる。

6.3.6. CD

この小冊子には例文の音声を収録した CD も付属した（資料 16 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』付録 CD デザイン）。CD のトラックの都合上 99 の例文の音声が収録されている（資料 17 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』付録 CD トラックリスト）。例文の多くは「方言理解調査」に用いた方言会話であるため、音声についても「方言理解調査」の際に録音したものを用いた。そのため、音声は地元住民の実際の発音であるため、外国人住民が普段の生活で遭遇する方言話者の発音を聞き取る練習に用いることが可能である。方言理解調査を実施していない津軽方言の方言音声に関しても、改めて津軽方言話者に会話の録音を依頼して収録した。会話の形式は「方言理解調査」のものと同様に筆者による標準語との対話形式になっている。

6.4. ウェブサイト

『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』のウェブサイト（<http://saitokeita.web.fc2.com/hougenshu>）を作成した。

6.4.1. 方言集の設置・配布機関の掲載

ウェブサイトでは、小冊子版を設置・配布して下さった東北地方各地の国際交流協会の名前及び各ホームページへの URL が記載されており、小冊子版がほしいという場合にはここを見るところで入手できるかがすぐ分かるようになっている。

6.4.2. 方言集の PDF 版

また、ウェブサイトでは、冊子の PDF 版のダウンロードを可能にした。持ち運びやすいサイズということを目指して小冊子版を A5 判という小さめにしたが、スマートフォンなどの発達により、インターネット上での利用のほうがいつでもどこでも見ることが可能であるという利点を生かし、PDF 版も併せて作成した。ウェブサイトからダウンロードできる PDF 版は、小冊子版での修正すべき点などに対応し、随時最新のものに更新している。

6.4.3. 例文翻訳

この他、紙幅の都合上小冊子版に掲載しきれなかった「例文の各言語訳」が閲覧可能になっており、随時更新している。小冊子版や PDF 版に掲載されている各方言項目の例文が、方言文と標準語訳のみなのに対し、語の解説同様に英語訳・中国語訳・韓国語訳・ポルトガル語訳・インドネシア語訳で例文の意味を理解することが可能である（図 39）。

例文(れいぶん)の翻訳(ほんやく) (Example sentences, 例句, 예문, Exemplos, Contoh Kalimat)			
English			
あーお かへこ まへそ たへふ なへの ほへほ まへそ まへふ らへる わへん			
Dialect words	mp3(coming soon)	Example sentences	English
あさぐ	1	A: (道路(どうろ)で) すみません、この道(ちか)くにコンビニはありますか?	(on the street) Excuse me, is there a convenience store close by?
		B: このみちば まっすぐ あさいだら あるや。(この道(みち)をまっすぐ歩(ある)くとあるよ。)	There is one is walk straight down this street.
あじやらだ (あじやらになる)	2	A: あの先生(せんせい)の教(おし)え方(かた)、どうですか?	What do think about the way that teacher teaches?
		B: あじやらだな。(いいかげんだな。)	Half-assed.
あずましー	3	A: 昨日(きのう)温泉(おんせん)に行(い)ったみたいだけど、どうだった?	I hear you went to a hot springs yesterday. How was it?
		B: ああ、あずましたなー。(ああ、気持ち(きもち)よかったよー。)	Oh, it felt great.
あめる	4	A: おがず食(た)べますか?	You want to try this dish?
		B: おやおや… これ あめでらや。(おやおや…これ凄(わる)くなってるよ。)	Oh boy, this has gone bad.
あるって	5	A: すみません、駅(えき)まで行(い)きたいんですけど…。	Excuse me, I am trying to get to the station.
		B: このみち まっすぐ あるってくと、そのうち つくから。(この道(みち)をまっすぐ歩 (ある)いていくと、そのうち着(つ)くよ。)	If you keep walking straight down this road, you'll get there.
あんべわり	6	A: あ、どうしたんですか?	What happened?
		B: あんべわりー。(異食(くあい)が凄(わる)いなー。)	I don't feel so good.
しいあんべ (しいあんべ)	100	A: ちょっとマッサージあげますよ。	How 'bout I give you a little massage.
		B: んーどれどれーあーしいあんべだな。(んーどれどれーあーしい感(かん)じだな (=ちようどいいね) 。)	Okay, There, there. That feels good.
いずい	7	A: その鞋(くつ)かっこいいですね。	Those are some good-looking shoes.
		B: でもいずいんだ。(でもなんかしっくりこない (違和感(いわかん)がある) んだよ。)	Yeah, but they feel funny.
いだまし (いだます)	8	A: もうこれ、いらなから捨(す)てましょう。	We don't need this anymore so let's throw it away.
		B: いだましー。(もったいないなー。)	That's such a waste.
うすらかずらす	9	A: あぶながら うすらかずらしてんす。(危(あぶ)ないから (そこを) うろろしてらんじやないよ。)	It's dangerous there. You can't hang around there.

図39. ウェブサイトで閲覧可能な例文翻訳（英語の一部）

6.4.4. 小冊子版にはなかった項目

さらに、小冊子版では採用されずに除外された項目についても一部、例文翻訳を掲載している。また、今後新たな方言項目を追加すべきと判断した場合に、PDF 版と並行して増補していく予定である。

6.4.5. 方言音声

まだ運用段階には至っていないが、CD に収録したもの、CD に収録できなかったもの双方の方言音声についても mp3 ファイルなどにしてダウンロード可能にする予定である。

第7章 方言理解支援ツールの評価

第6章において作成した方言理解支援ツール『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』であるが、実際に手に取った外国人住民や地域日本語教師などは、使ってどのように感じたのだろうか。本章では、東北地方で実際に使用していただいた皆様からの評価について述べる。

7.1. 方言集の設置・配布

方言集を外国人住民や地元の日本語教師の皆様の手が届けるためには、常時方言集が入手できる場所がないと難しい。そこで筆者は、まずは方言理解調査で協力していただいた（公財）秋田県国際交流協会、金ケ崎町国際交流協会（岩手県）、そして会津若松市国際交流協会（福島県）での設置・配布をしていただいた。また、各地で実施した方言理解調査のインフォーマント及び方言集に収録した方言音声の録音協力者にも筆者から送付し、あるいは各国際交流協会を通じて配付していただいた。その後、以前筆者が訪問し本研究についてお話をした（公財）山形県国際交流協会にも設置・配布を依頼し、快諾していただいた。

後日、金ケ崎町国際交流協会でも配布した方言集を入手した奥州市国際交流協会の日本語教師の方から問い合わせがあり、その結果、同協会にも設置・配布していただけることになった。さらに、（公財）山形県国際交流協会でも配布した方言集を入手した（公財）青森県国際交流協会の職員の方からも「ぜひ欲しい」との連絡をいただき、同協会での設置・配布も可能となった。

また、筆者が方言集の設置・配布について（公財）岩手県国際交流協会、（公財）仙台観光国際協会が運営する仙台国際センター交流コーナーの両機関に依頼したところ、快諾していただき、設置・配布に至った。現在方言集を設置・配布している機関は以上の通り東北6県、8ヶ所である（表6）。

表6. 方言集配布機関一覧

青森県	・公益財団法人 青森県国際交流協会
岩手県	・公益財団法人 岩手県国際交流協会 ・奥州市国際交流協会 ・金ケ崎町国際交流協会
宮城県	・公益財団法人 仙台観光国際協会 仙台国際センター 交流コーナー
秋田県	・公益財団法人 秋田県国際交流協会
山形県	・公益財団法人 山形県国際交流協会
福島県	・会津若松市国際交流協会

7.2. 配布後の利用・反応

方言集は、各国際交流協会で配布されてから、様々な形で利用されている。外国人住民が入手して各自利用することが主な目的ではあるが、地域日本語教師が入手し、日本語教室の中で、方言を教える時間を設けて方言集を見ながら一緒に方言を学んでいくという利用法もあった。筆者が偶然奥州市国際交流協会の Facebook のページを閲覧していたら、方言集を用いた授業風景の写真が掲載されていた。協会及び被写体の人物への許可をいただいたので、ここにスクリーンショットを掲載する（図 40）。なお、スクリーンショット内の当該記事とは無関係の個人名等は加工して削除した。



図40. 日本語教室での方言集の利用（奥州市国際交流協会）

また、岩手県紙である『岩手日報』2017年12月31日付の21面において、本方言集及びその研究過程に関する記事が掲載された（図41）。



図41. 『岩手日報』に掲載された記事

7.3. 方言集の評価

方言集を実際に手に取った外国人住民や地域日本語教師などは、使ってどのように感じたのだろうか。ここでは、東北地方で実際に使用していただいた皆様からの評価について記す。

東北6県の各機関に寄せられた地域日本語教師や外国人住民のご意見を、担当者の方からメールでいただいた。方言集に対して肯定的なものから否定的なもの、そして今後の改善につながる具体的な提案まで、実に様々なご意見をいただいたので、以下に紹介する。

7.3.1. 日本人住民の評価

以下に、日本人住民の皆様からいただいたご意見を記す。主に地域日本語教師からのご意見であるが、各機関の職員や、地域住民のものも含まれている。

- ・大変好評で、日本語教師や支援者から「ぜひ欲しい！」という声がたくさんあった
- ・外国の方は方言のあたたかさを好む方が多い、この本を欲しい方はたくさんいるはず
- ・日本語を教えている外国人も喜ぶと思う
- ・学習中に方言について聞かれたときに利用できるのが良い
- ・実践的な入門本として、現地でも立派に通用すると思う
- ・小さな自治体で、ALT や外国人の配偶者が来た場合のプレゼントとして、配布するといいいのでは
- ・県内の大学の職員が来所された際に数部差し上げたところ、事務局担当課内で回覧され、とても評判がよかったと聞いた
- ・きれいによくまとまっている
- ・販売はしていないのかとの意見もあった

上記のような肯定的なご意見をいただいた。また、以下のような方言集に対する具体的なご意見も多くいただいた。

○方言集のサイズ・材質について

- ・サイズや紙の厚さ、表紙の紙質などが使いやすい（何度も繰り返しめくることが想定されるのである程度の厚さがあるこの紙質は使いやすい）

○フォントについて

- ・外国語訳はもう少し小さいフォントでいいような気がする
- ・また JP/CN などの表記（外国語訳の前に記す言語名）もなくともいいのではないかと思う
- ・字の間隔、フォントが大きすぎる

○方言項目について

- ・内容は正確だ
- ・語彙のボリュームは、現地で特徴的かつ、普通でも使うような言葉はかなり網羅していると思われる
- ・各方言が使われる地域は、もう少し精査が必要かも（例えば、63番「なんも」は、盛岡のあたりは色が抜かれているが、口癖のように言ってる人が周囲にけっこういる）

- ・助詞（～だべ、～でがす）なども載せたほうがいい→～だべが（～だろうか）、～でがした（～でした）などの活用も
- ・現在使用していない単語は不要
- ・地元人でも聞いたことのない言葉がある
- ・方言となまりは別、方言だけ入っていて不自然
- ・方言は、なまりもあるし、家庭によっても使う使わないがある

○分布図について

- ・方言が使われている地域の色分け表示わかりやすい、見てすぐにわかる
- ・通用している地方も、感覚的にわかりやすい
- ・現地に住んでいる外国人にとっては、地理的な位置感覚がつかみやすいのではないか
- ・各方言についての地図の色と形状が、臓器をイメージしてしまうので別な色のほうがいいのではないか

○例文について

- ・よく聞く方言で、息子が初めて話した方言「～っけ」について、「～っけ（よ）。」で例文を載せた方が、実用的かなと思う
- ・一文だけではわかりにくい、何かひとつの場面を想定して自然な会話のやり取りを記入してはどうか

○イラストについて

- ・イラストが多数使われているのが見やすくよい
- ・語彙ごとのイラストがよく状況を表していて、視覚的にもわかりやすいのがいい
- ・イラストに登場する人物も、親しみやすい
- ・イラストを担当された方もよく言葉の持つ意味を理解した上での作業だと感心した
- ・イラストがないページもあるので、もっとイラストがあったほうがいい

○CD について

- ・こういったものは発音が重要なので CD が添付されているのはとてもいい
- ・CD、会話例がついているので、イントネーションなどがよくわかった
- ・音声 CD は、スピーカーが東北弁ネイティブなので生々しく、いい
- ・音声で聞くネイティブの発音には、東北人の私でもびっくりだった
- ・音声 CD に男性の声だけだと何か重いので、それに女性が入るといいアクセントになる

○ウェブサイトについて

- ・web 版でも音声を確認できたらいいと思う

また、

- ・できたら、その地方ごとに方言を分けて記載してあると読みやすいと思う
- ・もっとエリアを細かくして、言葉の数を増やしたエリアごとの方言集にしないと、実際の活用には適さないと思う
- ・地域ごとに分かれた冊子にしてはどうか、会津で他の地方の方言は使わない

といった、「地域ごとに分けてほしい」という意見が各地で見られた。本方言集は「東北地方の外国人住民の必要最低限の方言理解の一助」というコンセプトと、方言項目の多くが複数の地域に跨って使用されているという事実から、地域ごとに分けて記さずに、分布図を添えることで本方言集の特長とした。しかし、やはり各地の住民からすれば他地域の方言項目は「使わない」「聞かない」方言であるため、不要な箇所となりやすい。今後、PDF版にて実験的に地域ごとに分けたバージョンの方言集の製作に取りかかりたい。

さらに、

- ・うしろに索引があると便利だと思う
- ・費用や労力の問題で難しいかと思うが、アプリがあればスマホでも使いやすいのかなと思う

というご意見もいただいた。やはりこちらに関しても今後検討したい事項である。その一方で、外国人住民を対象とした本方言集について否定的なご意見もいただいた。

- ・まだ日本語がうまくできない学習者にとっては混乱させる内容である
- ・外国人の暮らしに役立つものとは思えない
- ・日本語教室は基本的に方言に重点は置かず、標準語で授業を進めている
- ・間違った言葉は教えない、というものを持ちながら授業を進めており、この冊子に関しては気になる点がいろいろある

上記のご意見に見られるのは標準語を重要視している点であるが、このようなご意見が存在するという事実は受け止めなければならない。筆者としてはこれまで外国人住民に対する方言理解の有用性を示してきたが、本方言集は地域日本語教育の在り方の一つの選択肢であり、最終的な利用は当事者の方々に委ねられている。

7.3.2. 外国人住民の評価

次に、外国人住民の皆様からいただいたご意見も紹介する。

- ・とてもいい、素晴らしい
- ・面白い
- ・書店で売っているなら買いたいと思う
- ・青森に住む外国人には役立つ
- ・地図がわかりやすい
- ・インドネシアの方は、なかなか他の多言語表記の中にインドネシア語があることはないのうれしいとのこと
- ・(インドネシア人学習者より) 全頁読んだわけではないが、訳に少しニュアンスが違う部分があると思った(例として「めんこい」の訳は英語でいうと **funny** に近い感じ、ここでは英語で **cute** とあるので少し違和感)
- ・ベトナム語の説明がほしい
- ・本のサイズが小さい
- ・どこ地方の方言かもっとはっきり表わした方が良い

- ・自分の地域で使わない（聞いたことがない）方言あり、わからない
- ・今は使わないから覚えられない
- ・標準語を覚えたいので必要ない

「役に立つ」というご意見から「標準語を覚えたいので必要ない」というご意見まで、日本人住民の皆様と同様に様々なご意見をいただきました。外国人住民の皆様のご意見でも、日本人住民の皆様のご意見同様地域をもっとはっきり示してほしいというものや、自分の地域で聞いたことがないものはわからないというものが見られる。やはり、外国人住民の視点から見ても地域ごとに分けたバージョンを検討する必要があることになる。

また、「ベトナム語の説明がほしい」というご意見に関しては、筆者としても作成すべきであると考えている。筆者は今後の外国人看護師・介護福祉士の需要増加を理由にインドネシア語を採用した。しかし、近年全国的に在留者数が急増し、2016年12月の統計ではこれまで長年中国・韓国・フィリピンに次いで在留者数が多かったブラジルを抜いて4位となったベトナムについて、その多くは留学生であるものの、2014年にインドネシアと同様にEPAによる看護師・介護福祉士候補者の受け入れを開始しているということを考慮すると、ベトナム語も採用すべきであったと考える。

7.4. まとめ

以上、東北地方の皆様からいただいた『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』の評価について記した。東北地方の中でも方言に対する意識・認識には様々あると考えられ、本方言集に対する日本人住民・外国人住民双方のご意見もまた様々であった。外国人住民の日本語学習に対するニーズや地域日本語教師の方針は多様であり、それぞれにあった学習活動が望まれる。微力ながら本方言集もそのような中の選択肢の一つとして、東北地方の方言理解について考えさせられている外国人住民の方々や彼らを支援するの方々のもとで活用していただければと切に願う。

第3部 対照研究

- 第8章 翻訳上の問題点の所在
- 第9章 英語への翻訳上の問題点
- 第10章 中国語への翻訳上の問題点
- 第11章 韓国語への翻訳上の問題点
- 第12章 インドネシア語への翻訳上の問題点
- 第13章 ポルトガル語への翻訳上の問題点

第8章 翻訳上の問題点の所在

第3部からは、『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』で掲載した各言語への翻訳上の問題点について考察していく。本章では、まず翻訳上の問題点について概観していく。

ある語から別の言語へ翻訳される際、類似の意味を持つ語同士でもその意味範疇にずれが生じることが少なくない。斎藤・志喜屋(2015)でも、日本国内に見られる日本語にポルトガル語・スペイン語が併記された多言語表示の意味範疇のずれについて取り上げている¹⁷。

本研究で方言集を作成し、翻訳する際においても、東北方言と各言語との間で様々な違いが見られた。このような言語間の差異について考えることで、東北地方の外国人住民にとって、東北方言に遭遇した際にどのような問題が起こり得るかを見出すことが可能である。ただし、ここでの対象が方言集であるという性質上、方言語彙と各言語の語彙との間に起こる問題が中心となっており、それらは意味論に関わるものが少なくない。そのため、ここでは主に意味論的な観点から、東北方言と諸言語の対照研究について考えていく。

8.1. 標準語よりも諸言語のほうが理解しやすい場合

これまで外国語との対照研究は標準語を用いたものが一般的である（太田 2000、儀保 2014 など）が、東北方言を考える際に、果たして標準語と諸言語との対照をそのまま適用できるのだろうか。具体例を見て考える。なお、以降方言形式は【 】、それに相当する標準語は《 》、具体的な意味は〔 〕で括弧にすることにする。また、方言形式によってはいくつかのバリエーションが存在することがあるが、その場合は【めぐい（めんこい、めんけ、めげー）】（標準語《かわいい》に当たる東北方言）のように複数の形式を記す。

例えば、東北地方全域で用いられる【なげる】は、標準語《なげる》と同語形であるが、その意味は〔物などを遠くへ飛ばす＝投げる〕以外にも〔ごみとして処分する＝捨てる〕という意味も持ち合わせている。標準語においては《なげる》と《すてる》という別語形で示すことになる。これについて、方言集の翻訳言語である英語やポルトガル語について考えると、〔投げる〕意味を持つ語としては英語の場合は throw、ポルトガル語の場合は jogar や botar が該当する。そしてこれらの語は（英語では副詞 away、ポルトガル語では副詞 fora を付属する必要があるものの）いずれも〔捨てる〕意味も持ち合わせる。その点において、東北方言【なげる】について考える場合、標準語よりも英語やポルトガル語のほうが語の指し示す意味がより近いと考えることができる¹⁸。これを表に示すと表7のようになる。

表7. 標準語よりも東北方言のほうがポルトガル語と語の意味が近い場合

標準語	《なげる》	《すてる》
東北方言	【なげる】	
英語	throw	
ポルトガル語	jogar, botar	

¹⁷ 斎藤・志喜屋(2015) pp.116-119

¹⁸ 英語の throw 及びポルトガル語の jogar や botar はそれぞれ〔投げる〕や〔捨てる〕以外の意味も持っており、厳密には東北方言【なげる】とは全く同じというわけではない。しかし、同じではない部分においては標準語《なげる》や《すてる》もついても東北方言と同様に英語やポルトガル語とは一致しないので、ここではその部分については特に触れない。

このことから、標準語を介した対照では東北方言においては必ずしもそのまま適用できないことが言える。筆者の作成した方言集は前述の通り東北地方の外国人住民が使用するものであるが、あえて東北方言と意味がずれた標準語を介さずに彼らの母語から直接東北方言を考えたほうが効率的な場合があるのだ。

8.2. 英語よりもその他の言語のほうが理解しやすい場合

また、日本において外国語訳を付す場合に英語が最もよく用いられているが、外国語との対照について、英語について考えればそれでよいのだろうか。

例えば、主に宮城県や岩手県などで用いられている【すける】について考える。これは〔他者の作業などに力を貸す＝手伝う〕意味である。これに該当する英語は **help** であるが、この場合〔手伝う〕以外にも〔他者を危険な状態から救うこと＝救助する〕意味も含まれる。一方、ポルトガル語を考えると、【すける】に該当する語は **ajudar** であり、こちらは〔手伝う〕のみを指し、〔救助する〕は **socorrer** と別語で表現するため、むしろポルトガル語のほうが東北方言に近い。これを表に示すと表8のようになる。

表8. 英語よりもポルトガル語のほうが語の東北方言の語と意味が近い場合

英語	help	
東北方言	【すける】	【たすける】
ポルトガル語	ajudar	socorrer
意味	〔手伝う〕	〔救助する〕

このように、標準語同様、英語との対照についても、そのまま外国人住民の他の言語（ここではポルトガル語）には当てはまらず、むしろ英語以外で考えたほうが良い場合が見られる。

これらのことから、東北方言を外国人住民に紹介する際、標準語だけ、あるいは英語だけではなく、英語も含めた彼らの母語を直接通したほうが理解を深められる可能性があると言える。

8.3. 意味論的問題

上記の通り、それぞれの言語において東北方言とうまく当てはまるケースも少なくないのだが、そうではないケースも当然ながら存在する。このような翻訳上の問題点を考える場合、まず意味範疇のずれによる問題、すなわち意味論的問題を挙げることができる。そしてその中には、方言のほうが翻訳言語より意味範疇が広い場合と、方言のほうが翻訳言語より意味範疇が狭い場合が考えられる。また、必ずしも対応する適切な語がなく、説明的になってしまう場合もある。各問題点の詳細は後述していくが、以上を表に示すと表9のように分けることができる。

表9. 翻訳での意味論的問題の種類

I 意味論的問題		
I-a. 方言のほうが翻訳言語より意味範疇が広い	I-b. 方言のほうが翻訳言語より意味範疇が狭い	I-c. 翻訳言語に適切な語がなく説明的になる

では、このような意味範疇のずれが東北地方の外国人住民の言語生活において何を意味しているか、以下に具体的な例を挙げて見てみる。

例えば、東北全域で用いられる【あんべわり】は標準語でいう《具合が悪い》に相当する語であるが、a. [体調が悪い] や b. [都合が悪い] といった意味がある。これは標準語についても同じことが言えるので、【あんべわり】と《具合が悪い》の意味範疇はほぼ同じと考えてよい。しかし、例えば英語の対応する語で考えた場合、a.に該当するのは“feel bad”や“sick”で、b.に該当するのは“inconvenient”となり、それぞれ別の語で示すことになる（表10）。

表10. 【あんべわり】の意味と英語の対応

東北方言【あんべわり】	
標準語《具合が悪い》	
feel bad, sick	inconvenient
[体調が悪い]	[都合が悪い]

このように東北方言の表現が英語で二つの表現に相当する場合、外国人住民（この例では英語母語話者）にとってどのような影響があるのだろうか。仮に英語母語話者の住民が長年東北に住んでいて自然習得によって方言を（ある程度）理解できるようになって、【あんべわり】の意味を推測で理解しているつもりだったとする。それを一義的に“feel bad”の意味で理解していたとする。その場合、方言話者が部屋に入ってきて「あんべわりな一」（具合が悪いな）と言ったら、「どうしましたか？大丈夫ですか？」とすぐに気遣うことができるだろう。しかし、方言話者にこれから出かけないかと誘った時に、「今日はあんべわりな一。」（今日は都合が悪いな。）と言われたら、（標準語の《具合が悪い》もそうであるが）今日は体調が悪いというわけではなく、他の予定があって出掛けられないという意味である。この時に【あんべわり】に“inconvenient”の意味があることを知らないと、正しく理解できず、病気で体調が良くないのか、といった不要な心配をすることになる（図42）。

東北方言【あんべわり】	
標準語《具合が悪い》	
feel bad, sick	inconvenient
[体調が悪い]	[都合が悪い]
外国人住民が勘違いしている意味範疇	
この意味だと誤解	実際はこの意味で使われた

図42. 【あんべわり】に関わる誤解

上の例は、方言のほうが意味範疇が広い場合であるが、次にその逆の例を見ていく。

例えば東北方言における低温に関する表現【ひゃっこい】【かんじる】【しばれる】といったものについて考えたい。【ひゃっこい】は[物の温度が低い]ことを意味し、【しばれる】や【かんじる】は[気温が低い]ことを意味する。これを英語で考えてみると、どちらも cold で示すことになる。つまり、「ひゃっこい=cold」で覚えてしまうと、方言話者に「ひゃっこいのはやんだ。」（冷たいのは嫌だ。）と言われた時、「寒いのは嫌だ」と勘違いする可能性がある（図43）。

外国人住民が勘違いしている意味範疇	
cold	
〔冷たい〕	〔寒い〕
東北方言【ひゃっこい】	
ひゃっこいのはやんだ。	
冷たいのは嫌だ。	寒いのは嫌だ。

本来の意味

東北方言話者は(当然)この意味で使った

外国人住民が勘違いする可能性あり

図43. 【ひゃっこい】に関わる誤解

これらの例は笑い話で済むかもしれないが、全てにおいてそうとは限らず、方言集では最低限の範囲内で過不足なくその意味を記述することが重要であることを示している。次章以降では、このような意味論的問題を中心に、かつ意味論以外の問題点についても取り上げながら、東北方言から各言語への翻訳上の問題点について考察していく。

なお、対象となる方言集であるが、第6章でも述べた通り、方言集の小冊子版に最終的に掲載されたのは118項目である。英語・中国語・韓国語・インドネシア語・ポルトガル語への翻訳依頼は最終的な項目数が決定する直前で行っており、実際に翻訳依頼した際は118項目より数項目多かった。方言集に掲載されていないものについても今後ウェブサイトで閲覧可能になる。また、方言の翻訳に当たっては、まずは筆者が各方言項目及び各方言項目を用いた例文の標準語訳を作成し、その標準語訳を各言語に翻訳してもらった。

次章以降では、各言語について調査した際に、特に問題があると思われる項目のみを取り上げているため、翻訳依頼した項目全てに必ずしも触れているわけではない。また、本章でも言えることだが、次章以降「東北方言」としてこれまでの14区分の方言をまとめて各言語と対照するため、分析については東北地方全域で当てはまる場合もあれば特定の方言域でのみ当てはまる場合もある。

第9章 英語への翻訳上の問題点

本章以降では、『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』で掲載した各言語への翻訳上の問題点について、言語別に具体的に考察していく。まずは英語から記す。

まずは前章で述べた意味範疇のずれによる問題、すなわち意味論的問題を挙げる。これを英語に当てはめると、その中には、方言のほうが英語より意味範疇が広い場合と、方言のほうが英語より意味範疇が狭い場合が考えられる。また、必ずしも対応する適切な語がなく、説明的になってしまう場合もある。各問題点の詳細は後述していくが、以上を表にすると表11のように分けることができる。

表11. 英語翻訳での意味論的問題の種類

I 意味論的問題		
I-a. 方言のほうが英語より 意味範疇が広い	I-b. 方言のほうが英語より 意味範疇が狭い	I-c. 英語に適切な語がなく 説明的になる

本章では、方言集用に英語翻訳を依頼した項目について、上記のような問題点について考察していく。調査方法としては、英語翻訳担当者に翻訳依頼した際の翻訳リスト（資料7『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（英語））を改めて見てもらいながら、インタビュー形式による各項目の意味や方言との違いについて聞き取り調査を実施した。

英語翻訳担当者は日本在住のアメリカ人男性で、日本語を中心とした社会言語学を専門とする研究者であるため、英語翻訳者及び本調査の協力者として最適であると判断し、依頼した。一つ一つの項目について見てもらったため、調査時間は10時間近くに及んだ。以下、上に示した問題点の分類に当てはめて記していく。

9.1.以下で扱う各項目の標準語訳や翻訳についての詳細は、本章末尾にある資料7『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（英語）に記載してあるため、そちらを参照されたい。また、文中に「例文」という表現が現れるが、これは方言集の各方言項目について作成した例文のことであり、こちらも資料7に記載してある。なお、前章同様に方言形式は【 】, それに相当する標準語は《 》、具体的な意味は〔 〕で括弧にすることにする。

9.1. 方言のほうが英語より意味範疇が広い場合

まず考えられるのは、東北方言の語のほうが英語の該当する語より意味範疇が広い場合である。これは前章に具体例として挙げた【あんべわり】などが該当する。【あんべわり】について東北方言と英語の語彙の意味範疇の関係性を図に示すと図44のように、方言の意味範疇が英語のそれを内包する形になる。

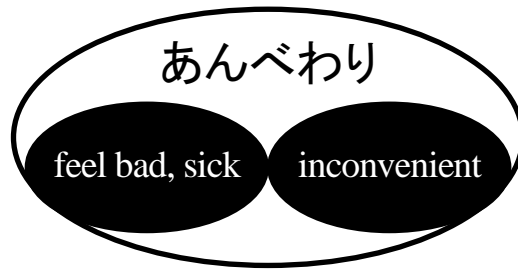


図44. 【あんべわり】における東北方言と英語の意味範疇の関係図

また、これを方言の意味範疇をD、英語の意味範疇をEとして一般化すると、I-aを示す図として図45のように示すことができる。図ではDがEを2つ内包している図になっているが、これはもちろん必ず2つとは限らず、それ以上を含む場合もある。この図で示しているのは、東北方言では一つの語で表すことができる意味を、英語では複数の語によってその意味範疇が分けられているという場合である。

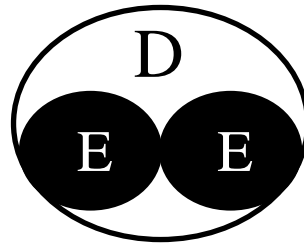


図45. 方言のほうが英語より意味範疇が広い場合 (I-a.型)

以下、このI-a.型に該当する項目を記す。

【～さる】〔つい・うっかり～する、自然に・勝手に～する、たまたま～する〕…「うっかり～する」はマイナスの意味合いなので、その意味で *by accident*、*by coincidence* (*co-incidence* 同時に起きることの意) はプラスの意味 (同時以外には使えない)。*just happened to* がたまたま、自ら。【～さる】はそれらを全て意味する。

【あじやらだ (あじやらになる)】〔みっともない、いい加減だ〕…*shameful* 人間と物の両方に使用可能。*irresponsible* は人間だけ。*shameful* はみっともないより大きい範疇。例文は *half-assed* だが、あまりかたくない表現。ただし、*half-assed* はカナダ人男性からアメリカでしか使っていないという指摘あり。

【あんべわり】〔具合が悪い、病気だ、都合がよくない〕…*feel bad* (具合が悪い)、*sick* (病気だ)、*be inconvenient* (都合がよくない)。【あんべわり】は「調子が良くない」と「都合が悪い」。

【うつつあし (うつつやし)】〔うるさい〕…*noisy* は音、*nuisance*, *bothersome* は厄介な存在。【うつつあし】は《うるさい》と同じくどちらも指す。

【おしよし (おしよし、おしよし)】【しよし】〔はずかしい〕…英語では〔はずかしい〕には *embarrassed* (できごと) と *shy* (性格) がある。【おしよし】【しよし】はどちらにも可能。

【おちる (おじる、おずる)】〔降りる、下車する〕…英語は〔高所から低所へ移動する〕*walk down* と〔乗り物から出る〕*get off* (二輪車、バス、電車、飛行機など多人数で乗るもの)、*get out of*

(自家用車、タクシー)、[高速道路から出る] get off で異なる。【おちる】は「高所から低所へ移動する」場合も「乗物から出る(どの乗り物も)」場合も指す。

【がおった】[疲れた、病気で弱る]…「いい疲れ」の場合は good tired feeling といえるが例文で用いた bush はあまりいい意味では使わないため good bushed feeling とは言えない。to bush など過去分詞以外の形を見ない。【がおった】はいい意味では使われないが、weak from illness (病気で弱る) の意味も含む。

【かせる²(かへる)】[食べさせる]…feed to someone (相手の口に食べ物を運ぶ、食事を用意する)、let/make someone eat something (相手が食べることを許可/強制する)。【かせる²】はいずれも指す。

【かちやくちゃね】[物事が進まずイライラする、ややこしい、散らかっている]…物の状態と気持ちがある。stressed out, irritable (物事が進まずイライラする)、confusing (ややこしい)、scattered, (room is) untidy (散らかっている) など英語では別の表現だが、【かちやくちゃね】は全てを指す。

【かちやぺね】[しっかりしていない、壊れやすい、軽率な]…unreliable (しっかりしていない)、breakable (壊れやすい)、rash (person) (軽率な(人))。

【けっぱる】[頑張る]…英語だと give it one's best shot (相手を元気づけるとき、(私・他人が)頑張ったとき)、try hard (頑張っているとき“-ing”可) endeavor (努力する)、go for it (現在のみ、元気づけ)のように表現が異なる。【けっぱる】は相手に「けっぱれ」(頑張れ)も自分が「けっぱらー」(頑張るぞ)も言える。

【たがぐ(たながく、たなぐ)】[持つ、持ちあげる]…pick up (持ち上げる動作、ただし手のみ、担ぐ場合は carry)、carry (持っている状態)。【たがぐ】はいずれもアスペクトの違いで示すことが可能。

【なげる】[捨てる]…throw away まで言わないと[捨てる]意味にならない。自然習得で「【なげる】=[捨てる]」と覚えたら、「ボールなげて」と言われた時にボールを捨ててしまう。

【ねっばす】[のりやテープでつける]…英語は glue (のり)、paste (接着剤)、tape (テープ) など、液体、固体、およびその動きなどで異なる。【ねっばす】はいずれにも使用可能。

【ねまる】[(床や地面に)座る、休む]…sit (ひざまずく以外の意味が対応)、rest (休む)。

【んめ(んめあ、め)】[おいしい]…delicious は有標で、“Is it good?”と聞かれて“It’s delicious.”と返せるが、“Is it delicious?”とは聞けないし“It’s not delicious.”のように否定もできない。【んめ】にはそのような制限はない。

9.2. 方言のほうが英語より意味範疇が狭い場合

東北方言の語のほうが英語のそれより意味範疇が広い場合があれば、もちろんその逆、つまり東北方言の語のほうが英語の該当する語より意味範疇が狭い場合も存在する。

具体例として【～える】を挙げる。【～える】は青森県津軽地方など主に日本海側で用いられる状況可能の助動詞で、あくまでもその時の状況・環境によってできるかできないかを示すものである。例えば、「およがえね」(泳げない)と言われた場合、泳ぎ方を知らないわけではなく、その時天候が悪かったり、体調が良くなかったりするために「今の状況では泳げない」という意味になる(泳ぎ方を知っているか否かに関わるのは能力可能)。そのため、標準語の《～できる》と異なる意味範疇を示す。英語においても標準語同様、状況可能という概念がないため、“can”のみで状況可能も能力可能も意味することになる。これを「泳ぐことができる」という意味で図に示すと、図46のように表すことができる。

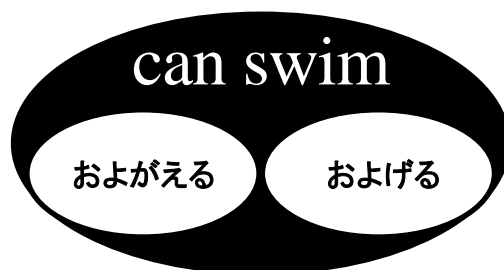


図46. “can swim”における英語と東北方言の意味範疇の関係図

一般化すると I-b.を示す図として図 47 のようになる。I-a.の場合とは正反対で、E が D を 2 つ内包している形になっている。内包している数が問題ではなく、この図では、英語では一つの語で表すことができる意味を、東北方言では複数の語によってその意味範疇が分けられているという場合を示している。

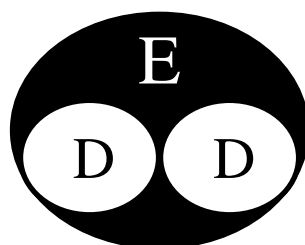


図47. 方言のほうが英語より意味範疇が狭い場合 (I-b.型)

以下、この I-b.型に該当する項目を挙げる。

- 【～える (～いる)】〔(環境や状況のために)～できる(「能力があってできる」とは別)〕
…状況可能は英語にはないので、can と訳したが説明が必要だった。
- 【～ら】〔～(て)いる、～(て)いた〕…-ing は progressive のみ、「～ている」は resultative (have + PP) も入る。-ing だと動名詞も入る。【～ら】には名詞になる用法はない。
- 【いたましい (いただきます)】〔もったいない〕…wasteful にしたが、英語では金銭的なものや物的なもの、時間の無駄遣いを指す。【いたましい】は物ではなく行為に対して言う。
- 【うだで】〔気持ちが悪い、(津軽)大変だ〕…対応する語には disgusting、nasty、unpleasant があるが、unpleasant は [いやらしい] (発言者や発言内容そのものを指す) も入ってしまう。例文は creepy になっているが、it was に合わせるため (*it was disgusting)。
- 【かばねやむ】〔なまける (仕事などやらないといけないことをしない)、サボる〕…lazy は性格、goofing off は行動 (サボる)。lazy には「動きが遅い」などの意味もある。
- 【ずねー】〔大きい〕…big にしたが、big には「人・物が大きい」以外にも「寛大だ」や「年上の」といった意味もある。【すねー】は「人・物が大きい」場合にしか用いない。
- 【せつね (せずね、へずね)】〔つらい〕…hard は [つらい] の意味だが、[かたい] [難しい] の意味がある。【せつね】にはそのような意味はない。
- 【たれかもの】〔なまけ者 (仕事などをしない人)〕…lazy (形容詞) と slacker (名詞) があるが、lazy は「怠け者」以外にも「動きが遅い」などの意味もある。

【ひゃっこい (ひゃっけ、ひゃけあ、しゃっこい、しゃっけ、しゃけあ)】 [冷たい]、【かんじる】【しばれる (すばれる)】 [とても寒い] … 東北方言では [物の温度が低い] 意味と [気温が低い] 意味では前者が【ひゃっこい】、後者が【しばれる】や【かんじる】などを用いて区別する。英語ではどちらも cold で示す。

【わらすっこ】 [子ども]、【わらはんど】 [子どもたち] … 標準語《こども》の反対語は《おとな》と《おや》がある。英語 child は「未成年」と「息子、娘、子孫」などを指す。しかし、主に南東北で用いられる【わらすっこ】及び主に北東北で用いられる【わらはんど】いずれも「未成年」しか指さない。また、【わらすっこ】は単数であるが、【わらはんど】は複数の未成年のこどものみを指す (図 48)。

外国人住民が勘違いしている意味範疇	
child	
標準語《こども》	
【わらすっこ】(単数) 【わらはんど】(複数)	
未成年	息子、娘
本来の意味	外国人住民が誤解する意味

図48. 【わらすっこ】 【わらはんど】に関わる誤解

9.3. 英語に適切な語がなく説明的になる場合

上記 I-a. と I-b. の場合では、意味範疇の違いはあるもののおおよそ該当する語がある場合を見てきた。しかし、必ずしも該当する語があるわけではなく、説明的にならざるを得ない場合もある。

例えば、東北全域で用いられる【～がね?】は、標準語《～(して) いかない?》に相当し、相手に何かを勧誘する場合に使用する。標準語とはほぼ同じ意味範疇といえる。しかし、英語においてはそもそも「～(して) いく」という表現が存在しない。そのため方言集における英語訳では“won't you?”という勧誘の付加疑問文を示し、さらに“used in invitations”と勧誘に用いられる旨が説明されている。つまり、もともと存在しない表現なので機能として一番近いものを示し、説明を加えざるを得ないのだ。方言集の例文「家に寄っていかない?」は“Why don't you come to my house?”と訳され、「寄りませんか?」の意味は表現できるものの「～ていく」の意味は表現できないことを物語っている。

このような場合、つまり表 11 の I-c. を図示すると図 49 のようにすることができる。

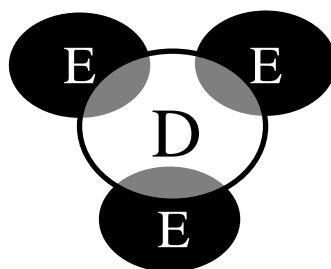


図49. 英語に適切な語がなく説明的になる場合 (I-c.型)

以下、この I-c. 型に該当する項目を列挙する。

【～がね? (～がねか?)】 [～ (して) かない?] …そもそも「～ていく」という表現が英語にない。訳ができないため *won't you?*, *used in invitations* というように誘っている文にしたが、「家に寄っていかない?」が“*Why don't you come to my house?*”「家に来ない?」になってしまい、「～ていく」のニュアンスが伝わらない。

【～す (～し)】 [～です (丁寧な言い方)] …丁寧というものの訳が難しい。*yes sir* や *yes ma'am* はそれにあたるが日本語のほうより丁寧になってしまい、標準語《～でございます》に近い。例文では“*yes it is.*”としか訳せなかった。*Be* と訳したが、コンピュータや「ある、いる」の両方を含むが、コンピュータという語は一般的でもなく、*polite (formal) expression* という説明を加えた。さらに【～す】はコンピュータのみでなく動詞なども含め文全体を丁寧にする機能を持つ。

【～つけ】 [～ (な) んだ (相手に情報を与えるときに使う)] …標準語でも英語でも難しい表現。翻訳は *used when providing information to the listener* という説明だけになり、例文では「通ったけど」の直訳になり、方言の表現が入ってもいない。【～つけ】は話者が体験したことを伝える証拠性を示す。

【えずい (いずい、えんつこい、えんつけあ、えんず)】 [目のごみがごろごろする、違和感がある、変な感じがする、居心地が悪い] …「目にゴミが入る」という表現は *have something* になってしまう。また *feel strange* や *be uncomfortable* としたが、適切な表現が難しい。【えずい】は話者が自らの身体や思考などにぴったりとせずにもどかしい感覚を示す。

【おがる】 [大きくなる] …*get bigger* としたが、これは無生物でも使える一方、【おがる】は人間や動植物にしか使わない。成長するという意味では *grown up* があるが、大きくなる途中では使えず、完璧に到達しないと不適。

【がな】 [(名詞・代名詞) のもの (私、あなた、あっち、山田さん、など)] …英語は誰のものか (*mine, yours, hers, his, theirs (possessive)*) で名詞が異なる。

【きどころね】 [寝るつもりがないのに (服を着たまま) 寝てしまう] …英語に適切な語がない。*to fall asleep in one's clothes* としたが *to sleep in one's clothes* にしてしまうと、意図的になってしまう。

【んだから (だから)】 [そうだよ、そうでしょう (同意) (※原因・理由を表すわけではない)] …語の翻訳は *Yes. I agree.* とし、例文では“*I agree. That's right.*”とした。しかし、これは相手への同意を示せるが、【んだから】のように、ある情報を相手に伝え、その後相手から「その通りだった」旨を伝えられた際に示す「そうでしょう?」「言った通りでしょう?」という意味合いは示せない。

9.4. 意味論以外の問題

翻訳上の問題点を取り上げる上で、必ずしも意味論だけが問題になるわけではない。本章においては以下のような意味論以外の問題が明らかになった。

9.4.1. 発音規則

これに関しては、英語が関わる直接的な問題とは言えないが、方言学習上で理解を助けるものとなる。主に福島県で用いられる【～っちゃ】は標準語《～れた》に対応する形式である。これは、完了の語形が《疲れた》《離れた》《垂れた》等のように標準語で「～れた」に当たるものは全て規則的に【つかっちゃ】【はなっちゃ】【たっちゃ】のように【～っちゃ】になる。また、完了のみならず受身の《持っていかれた》《やられた》《殴られた》もそれぞれ【もってがっちゃ】【やらっちゃ】【なぐらっちゃ】、可能の《起きられた》《受けられた》も【おぎらっちゃ】

【うげらっちゃ】のように規則的に【～っちゃ】になる。したがって、少しでも標準語を学習している者であれば、この規則を知ることによって当該地域で【～っちゃ】を聞いた際に変換することが可能になる。同様に、主に南東北で用いられる【あるって】は、標準語《歩いて》に対応する形式である。

9.4.2. 語順

主に北東北で用いられる【～はんで (～はで)】【～すけ (～す)】は標準語でいう《～から》に相当する接続助詞である。意味範疇も《～から》もほぼ同じである。英語では“because”が相当する。この際、方言では「ミルクなくなってきたはんで、ミルクかってきてけ。」(ミルクがなくなってきたから、ミルクを買ってきて。)のように後件、つまり前件を原因・理由とする結果・勧誘・命令などを示す部分の前に【～はんで (～はで)】や【～すけ (～す)】が置かれる。しかし英語では“Will you buy some milk because we ran out of milk?”となり、原因・理由の部分の前に“because”が置かれる(表12)。

表12. 【はんで】【すけ】及び“because”の位置関係

はんで、すけ、から 結果・勧誘・命令などの前に付く	
	because 原因・理由の前に付く

語としての意味範疇は変わらないが、因果関係が逆の位置にそれぞれ置かれるため、仮に英語話者の外国人住民が“because”と位置関係も同じように捉えた場合、状況によっては以下のように全く正反対の意味に誤解してしまう可能性がある。

本来の発言		
「顔が赤くなった」すけ／はんで「みんなに笑われた」		
原因		結果
外国人住民が「すけ／はんで＝because」と教えられた、あるいはそう理解(誤解)している場合		
「顔が赤くなった」because「みんなに笑われた」		
結果	because	原因
誤解する意味		
「みんなに笑われた」から「顔が赤くなった」⇒ 本来の発言と因果関係が逆になる		
原因		結果

9.4.3. テンス・アスペクト

【おたった】は主に青森県津軽地方で用いられる動詞で、標準語でいうと《つかれた》になる。【おたった】は現在形としては【おたる】になるのだが、現在形【おたる】という形式よりもむしろ【おたった】のほうがよく使われる。英語は「疲れている」という意味では“tired”(tireの過去分詞)、「疲れさせる(物・人)」という意味で“tiring”(tireの現在分詞)というものを使うが、どちらも動詞としてはbe動詞を用い、またそこにテンス・アスペクトの制限はない。

また、主に北東北で用いられる【どでんした(どでした)】は、標準語の《びっくりした》に当たるが、これも現在形【どでんする(どです)】よりも【どでんした(どでした)】で用いられることが自然である。英語では“surprised”(surpriseの過去分詞)であるが、動詞として用いるbe動詞はテンス・アスペクトに制限なく使える。

このように、東北方言と英語でテンス・アスペクトの制限に違いがある場合が見られた。

9.4.4. 人称

【うすらかすらする(うらからする)】は主に福島県や岩手県などで用いられる表現で、標準語では《うろうろする》に近いのだが、完全には一致しない。全体的な意味としては「[することもなくうろうろする]」という意味だが、「[周りに迷惑をかけないように気を配らないで、うろうろしたりもたもたしたりする]」というかなり限定的な意味合いを持つ。英語の該当する語として「たむろする」を示す“hang around”や「動き回る」を意味する“ramble”や“wander”があるが、これらは人称に限定はない。しかし、【うすらかすらする(うらからする)】は前述の通りマイナスのイメージがあるためか、主語に一人称が使えない。

同様に、主に津軽地方で用いられる【～びょん(～べお)】は標準語の《～だろう》に相当する推量の助詞であるが、こちらは「あすゆぎふるびょん」(明日は雪が降るだろうね)のように主に三人称に用いられる。英語では“probably”が該当するが、これは主語として一人称なども用いることが可能で、人称の制限に違いが見られる。つまり、英語話者の外国人住民がもし【～びょん】を“probably”と理解していても、人称の違いに気付かないと「あすいぐびょん。」と言われた場合、「誰」が行くかで以下のような誤解が生じる可能性がある(図50)。

外国人住民が勘違いしている意味範疇	
probably, will	
話者が主語(1人称の使用)	自分以外の人や物が主語(3人称)
	【～びょん】
	あす、いくびょん。
明日(私は)行くだらう	明日(あの人は)行くだらう
外国人住民が誤解する意味	本来の意味

図50. 【～びょん】に関わる誤解

また、主に東北地方全域で用いられる【ちゃっちゃど(ちゃっちゃと、ちゃちゃど)】や、主に宮城県以北の太平洋側で用いられる【わらわら】はどちらも標準語でいう《さっさと》に当たる語である。用法としては主に発話の相手が【ちゃっちゃど(ちゃっちゃと、ちゃちゃど)】【わらわら】の対象となり、「ちゃっちゃどせー」(さっさとしろ)や「わらわらどやれ」(さっさとやれ)のような命令や、「ちゃっちゃどするべ」(さっさとしよう)といった勧誘、あるいは「ちゃっちゃどしねがらおぐれんだ」(さっさとしないから送れるんだ)といった相手を責める場合などに用いられる。このように、【ちゃっちゃど(ちゃっちゃと、ちゃちゃど)】や【わらわら】を用いる時の主語は二人称、あるいは三人称であるという場合が自然であり、「*私は【ちゃっちゃど】する。」のような場合は不自然である。英語ではhurry up「早くしろ」やquickly「早く」が該当するが、両者共にどの人称でも使用可能である。

このように、東北方言と英語で主語に立つことのできる人称に違いがある場合があった。

9.4.5. 表現の対象

主に福島県会津地方で用いられる【おんずくなし(おんじくなし)】は、「ばか」に近い意味で用いられる。これに対応する英語として“fool”や“foolish”がある。【おんずくなし(おんじくなし)】は人や動物、あるいは機械といった対象に使うが、英語の場合は事にも使える。もし【おんずくなし(おんじくなし)】を“foolish”と同じ対象、つまり、事にも使えると誤解してしまうと、以下のような例の場合、人にしか【おんずくなし(おんじくなし)】が使えないのに対し、foolish で考えた場合は人にも事にも使えるため、異なる意味で捉える可能性があり得る(図51)。

外国人住民が勘違いしている使用範疇	
foolish	
He is foolish(彼はばか)	The plan is foolish(ばかな計画)
おんずくなし(おんじくなし)	
人間などの性格	事の性質
しんしちよーのせーさくはわりな。 ありやおんずくなしたな。	
新市長の政策は悪いな。 あの人ばかだな。	新市長の政策は悪いな。 あれはばかな政策だな。
本来の意味	外国人住民が誤解する意味

図51. 【おんずくなし(おんじくなし)】に関わる誤解

また、主に宮城県以北の東北地方各地で用いられる【あめる】は、[料理が悪くなる]という意味である。調理前の物に対してはあまり用いられない。英語の場合でも、何が悪くなるかで表現が変わる。全般には“to go bad”、牛乳は“to sour”、肉は“to rot”、マヨネーズは“to become rancid”、パンが固くなる場合やクッキー・クラッカー・ポテトチップスが湿気る場合は“to go stale”。また、“spoil”には他動詞として〔(サプライズなどを)ダメにする〕、自動詞として〔(食べ物)悪くなる〕の意味がある。肉は“rot”と“spoil”(食料としてダメになる)が可能である。また、死骸についても“rot”は可能だが“spoil”は使用できない。

このように、東北方言と英語で表現を使うことができる対象が異なるというものもあることが明らかになった。

9.4.6. ムード

福島県以外の東北地方各地で用いられる【ちよす】は標準語《触る》に当たる表現であるが、これは英語では“touch”が一番近い。しかし、【ちよす】は「ちよすな(触るな)のように禁止形で用いられるのが自然である。一方“touch”は禁止形以外でも使用可能である。

このように、東北方言と英語でムードの制限に違いがある場合も存在する。

9.5. まとめ

以上から、東北方言から英語への翻訳上の問題点を改めて細分化すると、「I 意味論的問題」には前述のように「I-a. 方言のほうが英語より意味範疇が広い」「I-b. 方言のほうが英語より意味範疇が狭い」「I-c. 英語に適切な語がなく説明的になる」の3つの場合が存在し、そ

の他にも「II 意味論以外の問題」として「II-a. 発音規則」「II-b. 語順」「II-c. テンス・アスペクト」「II-d. 人称」「II-e. 表現の対象」「II-f. ムード」の6つの問題点が明らかになった。これらを表にまとめると、表13のように示すことができる。

表13. 英語への翻訳上の問題点

I 意味論 的 問 題	I-a. 方言のほうが英語より意味範疇が広い
	I-b. 方言のほうが英語より意味範疇が狭い
	I-c. 英語に適切な語がなく説明的になる
II 意 味 論 以 外 の 問 題	II-a. 発音規則
	II-b. 語順
	II-c. テンス・アスペクト
	II-d. 人称
	II-e. 表現の対象
	II-f. ムード

以上、本章では『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』を用いて、東北方言から英語への翻訳の際に見られる問題点について考察した。東北地方の在留外国人数ではフィリピン(3位)、ネパール(5位)、アメリカ(6位)といった英語に関わる国籍が上位に位置している。また、前章で外国人住民の母語で直接東北方言を考えるほうが理解しやすい場合について記したが、当然ながら方言集に掲載しなかった言語を母語とする外国人住民も多く存在する。方言集では、そのような場合は標準語を見て使用することを想定しているが、英語を見て使用する場合も十分考えられる。その意味では、掲載した言語の中では、標準語と並んで最も多様な外国人住民が使用することが想定される。本章の東北方言と英語の対照研究が今後の英語による方言学習を考える際にも応用できるものであると筆者は考える。

次章では中国語への翻訳上の問題点について記していくが、このように、複数の言語と対照研究を行うことで、対照する言語によって翻訳上の問題点も異なるということが浮き彫りになる。

資料7 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（英語）

	方言	意味	意味翻訳	例文	例文翻訳
1	～える	(環境や状況のために)～できる(「能力があってできる」とは別)	possible, "can" but possible because of environment rather than ability	A: ねえ、市役所から手紙が来たけど、なんて書いてあるの？	Hey, this letter came from City Hall. What does it say?
				B: うーん、へや くらくて よまえねな。(うーん、部屋が暗くて読めないな。)(津軽)	Hmm. I can't read it 'cause this room is too dark.
2	～がね？(～がねか？)	～(して)かない？	won't you?, used in invitations	A: あ、すみません、ちょっと話があるんですけど大丈夫ですか？	Uh, excuse me. I need to talk about something. Is now alright?
				B: あ、へば おらえさ よってがねか？(あ、じゃあ私の家に寄っていかない？)(秋田)	Yeah, why don't you come to my house?
3	～さる	つい・うっかり～する、自然に・勝手に～する、たまたま～する	by coincidence, by accident, just happened to	A: 昨日、山田さんが私に会いに来てたらしいね。	It seems that Yamada came to see me
				B: ん、なの えのめ とおったずきに たまたま やず みらさったや。(うん、君の家の前を通ったときに偶然彼を見かけたよ。)(津軽)	Yeah, I just happened to see her when I passed your place.
4	～す(～し)	～です(丁寧な言い方)	be, polite (formal) expression	A: こんにちはー。今日は寒いですね。	Good day. It's cold today, isn't it?
				B: んだなす。(そうですね。)(会津)	Yes, it is.
5	～すけ(～す)	～(だ)から	because	A: 例文なし	
				B:	
6	～つけ(ー)	～(な)んだ(相手に情報を与えるときに使う)	used when providing information to the listener	A: そういえば、隣の家の山田さん、引っ越したみたいなんですよ。	That reminds me. Yamada from next door? It seems he/she moved.
				B: あ、そっかー。さっき とおったつけが、いえの まえ なんも なくなってよー。(あ、そうかー。さっき通ったんだけど、家の前に何もなくなってるさ。)(会津)	Oh really? I just passed the house but there was nothing in front of it.

7	～っちゃ	「～れた」の省略形 (疲れた→つかっちゃ、 食われた→くわっちゃ)	reduction of -reta in passive and other verbs	A:	あれ？バッグどうしたの？	Hmm? What happened to the bag?
				B:	あー、だれがに もってがっちゃ。 (あー、誰かに持っていかれちゃった。) (会津)	Wow, somebody made off with it.
8	～はんで(～はで)	～(だ)から	because, so	A:	これから買い物に行ってくるけど、何か ほしいものある？	I am going shopping. You need anything?
				B:	そろそろ さどー なくなってきたは んで、さどー かってきてけ。 (そろそろ砂糖がなくなってきたから、砂 糖を買ってきて。)(津軽)	Will you buy some sugar 'cause we ran out?
9	～びよん(～べ おん、～べお)	～だろうね	probably	A:	今夜はとても寒いね。	It's cold tonight, huh?
				B:	あす ゆぎ ふるびよん。 (明日は雪が降るだろうね。)(津軽)	It'll probably snow tomorrow.
10	～ら	～(て)いる、～ (て)いた	-ing	A:	ちよつと外行きませんか？	Wanna go outside for a bit?
				B:	あめ ふってらやー？ (雨が降ってるよ？)(秋田)	Is it raining?
11	あさぐ	歩く	walk	A:	(道路で)すみません、この近くにコンビニ 二はありますか？	(on the street) Excuse me, is there a convenience store close by?
				B:	このみちば まっすぐ あさいたら ある や。 (この道をまっすぐ歩くとあるよ。)(津 軽)	There is one is walk straight down this street.
12	あじやらだ(あ じやらになる)	みつともない、いい 加減だ	shameful, irresponsible	A:	あの先生の教え方、どうですか？	What do think about the way that teacher teaches?
				B:	あじやらだな。 (いいかげんだな。)(伊達)	Half-assed.
13	あずましー	心地よい、気持ち いい	pleasant, comfortable	A:	昨日温泉に行ったみたいだけど、どうだ った？	I hear you went to a hot spring yesterday. How was it?
				B:	ああ、あずましたなー。 (ああ、気持ちよかったよー。)(津軽)	Oh, it felt great.

14	あめる	料理が腐る、【南】 (髪などが)べたべたする	food goes bad, spoil	A:	おかず食べますか？	You want to try this dish?
				B:	おやおや… これ あめでらや。 (おやおや…これ悪くなってるよ。)(秋田)	Oh boy, this has gone bad.
15	あるって	歩いて	walking	A:	すみません、駅まで行きたいんですけど…。	Excuse me, I am trying to get to the station.
				B:	このみち まーっすぐ あるってぐど、 そのうち つぐがら。 (この道をまっすぐ歩いていくと、そのうち着くよ。)(会津)	If you keep walking straight down this road, you'll get there.
16	あんべわり	具合が悪い、病気だ、都合がよくない	feel bad, sick, be inconvenient	A:	あ、どうしたんですか？	What happened?
				B:	あんべわりー。 (具合が悪いなー。)(秋田)	I don't feel so good.
17	いいあんべ (いあんべ)	ちょうどいい、心地いい	feels just right, cozy, pleasant	A:	ちょっとマッサージしてあげますよ。	How 'bout I give you a little massage.
				B:	んー どれどれ… あー いいあんべだな。 (んーどれどれ…あーいい感じだね(=ちょうどいいね。)(会津)	Okay, There, there. That feels good.
18	いたましい(いだます)	もったいない	wasteful	A:	もうこれ、いらないから捨てましょう。	We don't need this anymore so let's throw it away.
				B:	いたましー。 (もったいないなー。)(伊達)	That's such a waste.
19	うすらかすらする(うらからする)	ぶらぶらする、うろ うろする	hang around, ramble, wander	A:	あぶねがら うすらかすらしてんぞ。 (危ないから(そこを)うろうろしてるんじゃないよ。)(会津)	It's dangerous there. You can't hang around there.
				B:	あ、ごめんなさい。	Oh, I'm sorry.
20	うだで	気持ちが悪い、【津】大変だ	disgusting, nasty, unpleasant	A:	さっきあそこに虫がいっぱいいましたね。	There were a lot of bugs around there a while ago.
				B:	あー、んだ、うだでがったなー。 (あー、そうだね、気持ち悪かったね。)(秋田)	Yeah, it was creepy.

21	うつつあし(うつつあし)	うるさい	nuisance, noisy, bothersome	A:	ねえねえ、ねえ、ちょっと話聞いてよ。	Hey, hey, listen a minute.
				B:	うつつあしな、おめ あっちゃ いてろ。 (うるさいな、お前あっちに行ってる。) (会津)	What a nuisance. Why don't go somewhere else?
22	うるかす(うるかす)	(米などの乾燥した物を)水につける、【仙・中・会】使用後の食器に水を張る、【秋】話を保留にする	soak in water (as with rice, etc), 【仙・中・会】soak dishes, 【秋】put some topic on hold	A:	一緒にごはん作りましょう。	Let's cook dinner together.
				B:	んでばー、こめ うるがしとくから。 (じゃあ、米を水につけておくから。)(伊達)	Okay, first I'll soak the rice (before we cook it).
23	えずい(いずい、えんつこい、えんつけあ、えんず)	目のごみがごろごろする、違和感がある、変な感じがする、居心地が悪い	have something in one's eye, feel strange, be uncomfortable	A:	その靴かっこいいですね。	Those are some good-looking shoes.
				B:	でも いずいんだ。 (でもなんかしっくりこない(違和感がある)んだよ。)(伊達)	Yeah, but they feel funny.
24	おがる	大きくなる	get bigger	A:	おじさん、お久しぶりです。	Hey Uncle. I haven't seen you in a long
				B:	あれ おめ、おがったねやー。 (おやお前、大きくなったなー。)(伊達)	Well look at how big you have gotten.
25	おしょうしな	ありがとう	thank you	A:	例文なし	
				B:		
26	おしよし(おしよし、おしよす)	はずかしい	Embarrassed	A:	境さん(話し相手の名前)、この前、駅前で激しく転んでましたね。	Hey Mr. Sakai. You fell in front the station a while back?
				B:	あいづ おしよすかったやー。 (あれははずかしかったよー。)(伊達)	Oh, I was so embarrassed.

27	おだつ	はしゃぐ、調子に乗る	romp around, act silly	A:	この前、高いお皿を割っちゃいましたねー。	The other day I broke an expensive dish.
				B:	おだづがらだ。 (調子に乗るからだぞ。)(伊達)	It's 'cause you were romping around like that.
28	おたる	疲れる	Tired	A:	昨日はマラソン大会に参加したんだってね。	So I heard you were in the marathon
				B:	いやー、おだったや。 (いやー、疲れたよ。)(津軽)	Yeah, and boy am I tired.
29	おちる(おじる、おずる)	降りる、下車する	get off, deplane, dismount	A:	(バスの中で)すみません、図書館に行きたいんですけど…。	(On a bus) Excuse me. I want to go to the library.
				B:	あー、つぎで おちっと いいわい。 (あー、次で降りるといいよ。)(会津)	Oh, you can get off at the next stop.
30	おどげでね	楽ではない、大変だ	not easy, a lot of trouble, a lot of work	A:	今度、このプロジェクトをやろうと思うんですよ。	I am thinking of doing this project in the
				B:	おどげでねーやー。 (大変だぞ。)(秋田)	That's a lot of work.
31	おばんです	こんばんは	good evening	A:	あ、小林さん。	Oh, Mr. Kobayashi.
				B:	おばんです。 (こんばんは。)(秋田)	Good evening.
32	おみよーにち(おみよーぬず)	おやすみなさい、さようなら、では明日	good night, goodbye, see you tomorrow	A:	例文なし	
				B:		
33	おんずくなし(おんじくなし)	臆病者、【会】ばか	coward, 【会】fool	A:	いやー、昨日、寝坊しちゃって、入学試験受けられなかったよ。	Ah, yesterday I overslept and wasn't able to take the entrance exam.
				B:	おんずくなしー。 (ばかだなー。)(会津)	That was foolish.
34	がおった	疲れた、病気で弱る	tired, weak from illness	A:	昨日山登りしたんですってね？	So they tell me you were mountain climbing yesterday?
				B:	いやー、がおった がおった。 (いやー、疲れた疲れた。)(秋田)	Yeah, and I am bushed.

35	かせる ¹	かぶれる(植物、繊維、金属、薬品などで皮膚が赤くなったりかゆくなったりする)	break out in a rash (skin gets red or itchy from plants, cloth, metals, chemicals, etc.)	A:	ちよっと首のまわりがかゆいんですねー。	I am all itchy around my neck.
				B:	あー、なんかに かせだみでだな。 (あー、なんかにかぶれたみたいだな。)(会津)	It looks like something has made you break out.
36	かせる ² (かへる)	食べさせる	feed to someone, let/make someone eat something	A:	このごはん誰の？	Whose rice (meal) is this?
				B:	子どもに かせんのしゃ。 (子どもに食べさせるんだよ。)(伊達)	I am going to feed it to the kids.
37	かちやくちやね	物事が進まずイライラする、ややこしい、散らかっている	stressed out, irritable, confusing, scattered, (room is) untidy	A:	どう？仕事は進んでる？	How is the job going?
				B:	あー、まねや。かちやくちやね！ (あー、全然だめだよ。イライラするー！)(津軽)	Whew, not well at all. I'm so stressed out!
38	かちやペね	しっかりしていない、壊れやすい、軽率な	unreliable, breakable, rash (person)	A:	太郎って、体が大きくて丈夫そうだよね？	Taro looks like a big strong boy, huh?
				B:	んにや、かちやペね やつだや。 (いや、弱々しいやつだよ。)(津軽)	Nope. He is a weakling.
39	がっこ	つけもの	pickles, pickled vegetables	A:	今日のおかず、なんですか？	What is for dinner tonight?
				B:	きょうのおかずは、おずげっこど がっこだけ。 (今日のおかずは、みそ汁とつけものだけ。)(秋田)	Tonight all we have is miso soup and pickles.
40	かでる	仲間に入れる	include someone in one's group, include a child in a group of playmates	A:	「まぜる」の例文を参照	
				B:		
41	がな	(名詞・代名詞)のもの(私、あなた、あっち、山田さん、など)	mine, yours, hers, his, theirs (possessive)	A:	これ食べていいですか？	Can I eat this?
				B:	あ、これ おれがな。 (あ、これは私の。)(会津)	No, that one's mine.

42	かばねやむ	なまける(仕事などやらないといけないことをしない)、サボる	lazy, goofing off	A:	この仕事、全然終わりませんね。	This work just never gets finished.
				B:	あいづ かばねやんで さっぱり すすまねんだ。 (あいつなまけて(=サボって)全然進まないんだ。)(伊達)	He's lazy (goofing off) so we are making progress.
43	かまりっこ	香り、におい	smell, aroma	A:	ごはんできたよ。	Dinner's ready.
				B:	んー、いい かまりっこだな。 (んー、いいにおいだね。)(津軽)	Mmm. Something smells good.
44	かめこ(かめっこ)	人見知りする(知らない人を見て恥ずかしい・いやだと思う)	bashful, not outgoing	A:	あーこの赤ちゃん、全然笑ってくれない。	Well, this baby just won't smile.
				B:	あー それ かめっこしてんだよ。 (あーその子は人見知りしてるんだよ。)(会津)	That kid doesn't do well around strange people.
45	かんじる	とても寒い	extremely cold	A:	おはようございます。	Good morning.
				B:	あー きょう かんじるなー。 (あー今日はとても寒いねー。)(会津)	Oh, it is so cold today.
46	かんつける (かんずける、かずける)	すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあって相手のいうことを聞かない)、人のせいにする	sulky, timid, blame something on someone	A:	あの子、さっきからずっと泣いてるよ。	That kid just keeps on crying.
				B:	ああ、かずけでらもんなー。 (ああ、すねてるもんなー。)(秋田)	Yeah, she's sulking.
47	きかねー(きかねあ、ちかねー)	気が強い(相手の言うことを聞かない、自分の意見を押し通す、負けず嫌い)	strong-willed, pig-headed	A:	あの女の子、また男の子とけんかしてるよー。	That girl is fighting with a little boy again.
				B:	きかねがらなー。 (気が強いからなー。)(伊達)	She's strong-minded.

48	きどころね(きどころね)	寝るつもりがないのに(服を着たまま)寝てしまう	to fall asleep in one's clothes	A:	昨日ものすごく酔っぱらってましたけど、あのあと大丈夫でしたか？	You were really drunk last night. Were you alright after that?
				B:	あさ おぎだら、きどころねした。(朝起きたら、服を着たまま寝てた。(家に帰ったら、着替えしないで外で着た服のままで寝てしまった))(会津)	
49	きみ	とうもろこし	corn	A:	このコロツケどうぞ。	Have one of these croquettes.
				B:	あ、きみ はいってら。(あ、とうもろこし入ってる。)(秋田)	Ooo, there's corn in them.
50	きゃっぱりする(きゃっぱりをとる、かわっぺありする、かわっぺをとる)	靴の中に水が入る、川に落ちる	get water in one's shoes, fall in a river	A:	あれ、足ぬれてますね。	Wow, your feet are wet.
				B:	いやー、あそこで きゃっぱりとってやー。(いやー、あそこで水たまりをふんで靴に水が入っちゃってさー。)(伊達)	Yeah, I stepped in a puddle over there and water got in my shoes.
51	け(けー)	食べなさい、ちょうだい、かゆい、【秋】来なさい	eat! (imperative), please (give/do something to/for me), itchy, 【秋】Come here!	A1:	おなかすいた。	I am hungry.
				B:1	まんま け。(ごはん食べなさい。)(伊達)	Go ahead and eat.
				A2:	呼びましたか？	Did you call me?
				B2:	あー、こっちや け、こっちや け。(あー、こっちおいで、こっちおいで。)(秋田)	Yeah, come here, come here.
52	けっぱる	頑張る	try hard, endeavor, give it one's best shot	A:	明日は大事な試験があるんだよ。	I have a big test tomorrow.
				B:	けっぱれ！(頑張れ！)(津軽)	Give it your best shot!
53	けね	役に立たない	useless	A:	例文なし	
				B:		

54	けやぐ	友だち	friend	A:	へー、これが子どもの時の写真か。君の隣にいるのは誰？	Wow! This is a photo from your childhood? Who is the person beside you?
				B:	けやぐの たろうだや。 (友だちの太郎だよ。)(津軽)	It's my friend Taro.
55	こわい(こえー)	疲れた	tired	A:	今日ずっと仕事だったんですね。	You been working all day today?
				B:	こえー。 (疲れたー。)(秋田)	I am exhausted.
56	ごんぼほる	だだをこねる(わがママを言って言うことをきかない)	whine, pout, say selfish things	A:	このおもちゃがほしい！	I want this toy!
				B:	ごんぼほるな。 (わがママを言うんじゃない。)(秋田)	Don't be so selfish (Stop your whining).
57	さすけねー	大丈夫だ	okay, alright	A:	おばあさん入院したんですって？	So grandma's been hospitalized?
				B:	あ、さすけねー。らいげづには たいいんだがら。 (あ、大丈夫だよ。来月には退院だから。)(会津)	Yeah, she's okay. She's supposed to be sent home next month.
58	しなっこい(しなっけ、すなこえ)	しなやか、食べ物がなかなか噛み切りにくい感じ	sinewy, hard to chew	A:	このドライフルーツ食べてみて。	Try (eat) some of these dried fruits.
				B:	んん、すなこえな。 (んん、なかなか噛み切れないよ。)(気仙)	Mmm. They're pretty hard to chew.
59	しばれる(すばれる)	とても寒い	extremely cold	A:	「かんじる」の例文を参照	
				B:		
60	ジャス	ジャージ	sweatshirt, (top of) jogging suit	A:	(ハイキングの前日)何か用意するものはありますか？	(the day before a hike) Anything we need to take along?
				B:	ジャス もってけ。 (ジャージを持っていきな。)(伊達)	Take a sweatshirt with you.
61	しよし	はずかしい	embarrassed	A:	「おしよし」の例文を参照	
				B:		

62	じよっぱり(じよっぱる)	頑固者(自分の考えを変えない人)	stubborn, hard-headed	A:	俺の考えは間違っていない！絶対に正しい！	My answer is not wrong. I am absolutely
				B:	じよっぱりだなー。 (頑固者だなー。)(津軽)	You sure are stubborn.
63	すける	手伝う	help, lend a hand	A:	(大きな箱を持って)いやー、これ重いですね。	(carrying a big box) This is really heavy.
				B:	でば すけっかや。 (じゃあ手伝おうか。)(伊達)	Okay, I'll give you a hand.
64	すっぱね(すっぱね、しっぱね)	泥はね(水たまりなどを人や車が通った時にかかる水)	splashing mud	A:	ズボンどうしたんですか？	What happened to your pants?
				B:	あー すっぱね かがった。 (あー泥はねがかかった。)(秋田)	Oh, mud splashed on them.
65	ずねー	大きい	big	A:	りんご買ってきたよ。	I bought apples.
				B:	うわー、これ ずねーなー。 (うわー、これ大きいなー。)(会津)	Wow, these are big.
66	せつね(せつね、へつね)	つらい	hard, difficult to handle	A:	あのおばあちゃん、病気になったみたいですね。	That old lady, apparently she's gotten sick.
				B:	あー、へつねべなー。 (あー、つらいだろうなー。)(秋田)	Oh, that must be hard.
67	ぞうさね(ぞうさね、じよさね)	簡単だ、どうってことない	simple, not much, not a big deal	A:	いやー、本当にありがとうございました。	Oh, thank you so much.
				B:	いや、こんなの ぞうさね。 (いや、こんなのどうってことないよ。)(会津)	No, it was really nothing.
68	たがぐ(たんがぐ、たなぐ)	持つ、持ちあげる	carry, pick up	A:	何かお手伝いしましょうか？	Can I help with anything?
				B:	あー、その いす たがいでける。 (あー、そのいす持って。)(伊達)	Yeah, carry that chair.
69	たごまる	(糸などが)たるむ、(服などが)一ヶ所に寄ってくしゃくしゃになる、【会】からまる	slack off, sag, get baggy	A:	例文なし	
				B:		

70	たれかもの	なまけ者(仕事などをしない人)	lazy, slacker	A:	例文なし	
				B:		
71	たんげ	すごく、とても	extremely, very	A:	このレストランの料理、どう？	So how about the food at this restaurant?
				B:	ん、たんげ めな。 (うん、とてもおいしいね。)(津軽)	Yeah, it's really delicious.
72	だんだん	もうすぐ、そろそろ	soon, in a while, before long	A:	(病院の待合室で)すみません、あの、私はもう名前呼ばれましたか？	(in a hospital waiting room) Excuse me. Did you call my name?
				B:	いいや、だんだん よばれんべ。 (いいや、そろそろ呼ばれるでしょうね。)(会津)	No, but we should be calling your name soon.
73	たんぱら	短気(すぐ怒る人)	short-tempered	A:	あの人またけんかしてましたよ。	That person was fighting again.
				B:	たんぱら だがらなー。 (短気だがらなー。)(秋田)	Well it's 'cause of his short temper.
74	ちゃっちゃど (ちゃっちゃと、 ちゃちゃど)	さっさと、早く	quickly, hurry up	A:	これから準備するからちよつと待ってて。	We have to prepare, so just wait a bit.
				B:	ちゃっちゃど しろ。 (さっさとして。)(伊達)	Hurry up!
75	ちよす	いじる、さわる	touch, mess with	A:	このお皿高そうですね。	These dishes look expensive.
				B:	あー、ちよすなよ。 (あー、触らないでよ。)(秋田)	Oh, don't touch them!
76	つっかけ	サンダル	sandals	A:	ちよつと出かけてきます。	I am gonna go out for a bit.
				B:	あー、そこの つっかけ はいでげ。 (あー、そこのサンダルはいていきな。)(会津)	Okay, you can wear those sandals out.
77	でかす	完成させる、終わらせる	complete something, finish a job	A:	この仕事、明日まででいいですか？	Can't this work wait til tomorrow?
				B:	はやぐ でかせよ。 (早く終わらせてよ。)(伊達)	Hurry up and finish it.

78	とーきび(とーきみ、とーきみ、とーみぎ、とーみに)	とうもろこし	corn	A:	おなかすいた。	I am hungry.
				B:	んじゃあ、とーみぎ くうが？ (じゃあ、とうもろこし食べる？)(会津)	Okay, wanna eat some corn?
79	どでんした(どでした)	びっくりした	surprised	A:	昨日隣のうち火事だったんですって？	So they tell me there was a fire next door yesterday?
				B:	どでしたやー。 (びっくりしたよー。)(秋田)	Yeah, what a surprise.
80	ながまる	横になる、足を伸ばして休む	lay down, stretch ones' legs and relax	A:	あ一つかれたー。	Oh, I am pooped.
				B:	あ、そこさ ながまれ。 (あ、そこで(足を伸ばして)休みな。)(秋田)	Yeah, you can stretch your legs out there and relax.
81	なげる	捨てる	throw away	A:	このお皿壊れちゃいましたね。	This dish broke.
				B:	そいづ なげどげ。 (それ捨てといて。)(伊達)	Just throw it away.
82	なにをしたの(なんしたの、なじよすた)	どうしたの	what happened?	A:	ちょっと手が痛いんですよ。	My hand hurts.
				B:	なんしたのー？ (どうしたのー？)(会津)	What happened?
83	なんでかんで	どうしても	no matter what	A:	もう夜遅いけど、まだ仕事してるの？	It's really late. Are you still working?
				B:	これ あしたまで なんでかんで やんなんねだ。 (これ明日までにどうしてもやらないといけないんだよ。)(会津)	I have to finish it before tomorrow no matter what.
84	なんも	どうってことない、気にしないで、どういたしまして(お礼を言われた時の返事)	don't mention it, it was nothing	A:	いやーこの間はどうもありがとうございました。	Thanks so much for the other day.
				B:	やー、なんも なんも。 (いやー、どうってことないよ。)(秋田)	No, don't mention it. It was nothing.

85	にやにやする	お腹や胃に違和感がある、お腹や胃の調子が悪い	have an upset stomach, feel funny	A:	なんだか体調悪そうだけど、どうしたの？	You look like you don't feel good. What's the matter?
				B:	きながら い にやにやして…。 (昨日から胃の調子が悪くてね…。)(津軽)	Since yesterday my stomach has been upset.
86	ねっぱす	のりやテープでつける	tape or glue something	A:	これ壊れちゃいましたね。	This is broken.
				B:	んまーぐ ねっぱしとげ。 (上手に(のりやテープで)付けておいて。)(会津)	Fix it up right (with tape or glue).
87	ねまる	(床や地面に)座る、休む	sit or rest on the floor or ground	A:	あ、おじゃまします。	I hate to intrude.
				B:	あ、そこさ まず ねまれ。 (あ、そこにまあ座って。)(秋田)	Alright have a seat over there.
88	のぜる	のどにつまる、吐きそうになる(オエツとなる)	choke on something, feel like you are going to throw up	A:	いやーこのもちおいしいですねー！	Umm, these rice cakes are great.
				B:	あんまり いそいで くうど のぜっちまうぞ。 (あんまり急いで食べるとのどにつまっちゃうよ。)(会津)	If you don't chew slowly they'll get stuck in your throat.
89	はかいく	はかどる(順調に進む)	get things accomplished	A:	あれ、今日帰り早いですね。	Hey, you're home early today.
				B:	いやー、しごと はがいてやー。 (いやー、仕事はかどってね。)(伊達)	Yeah, I got a lot of work done.
90	はかはか	どきどき、はらはら	nervous, scared	A:	見て、あんな高いところに人が立ってるよ！	Look! There are people sitting all the way up there.
				B:	うわー、はかはかでやー！ (うわー、はらはらするー！)(秋田)	Whew, it makes me nervous just looking at them.
91	はなだんぼ	鼻にティッシュをつめること	stick a tissue into your nostril	A:	鼻血が出ちゃったよ。	I got a nose bleed.
				B:	あー はなだんぼ しとげ。 (あー鼻にティッシュをつめておきな。)(会津)	Well cram a Kleenex up your nostril.

92	ばんげ	晩、夜	night, evening	A:	今度一緒に、ごはん食べましょうよ。	Let's have dinner soon.
				B:	あー、あしたのばんげなんとだ？ (あー、明日の晩はどう？)(秋田)	How about tomorrow night.
93	ひとめわりー	みっともない(人が見たくないと思う様子、かっこわるい)、はずかしい	ugly, displeasing to the eye, embarrassing	A:	見て、この服かっこいいでしょう？	Look. What do you think of this outfit?
				B:	なんだそれ、ひとめわりーなー。 (なんだそれ、かっこわるいなー。)(会津)	What is that? It looks awful.
94	ひまだれ(ひまだれかける、ひまだれする)	時間がかかること、時間をつぶすこと、時間の無駄	takes time, killing time, a waste of time	A:	昨日ずっと待ってたのに、友達が来なかったんだよ。	Yesterday, I waited all that time and my friend never came.
				B:	そいつはひまだれだったねー。 (それは時間の無駄だったねー。)(伊達)	Well that was a waste of time, wasn't it.
95	ひゃっこい(ひゃっけ、ひゃけあ、しゃっこい、しゃっけ、しゃけあ)	冷たい	cold (water, etc., not for weather)	A:	お水どうぞ。	Have some water.
				B:	うわー、しゃっけなこれ。 (うわー、冷たいなこれ。)(会津)	Oh this is really cold.
96	ぶすくれる(ぶじくれる)	すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあつて相手のいうことを聞かない)	sulk, pout	A:	たろう、ちょっとこっちきてみ。	Taro, come here.
				B:	ふん！知らないよ！	Leave me alone!
				A:	なにぶすぐっちなだー。 (なんですねてるの。)(会津)	Why are you pouting about?
97	ぺあっこ(ぺっこ)	少し(副詞)	a little bit	A:	例文なし	
				B:		
98	へば(せば、んだば)	では、じゃあね(別れのあいさつ)	see you later	A:	今日はどうもありがとうございました。	Thank you so much for today.
				B:	へばまんずな。 (じゃあまたね。)(秋田)	Okay, see you.

99	ほろぐ(ほろく、ほろぐ)	払い落とす、【仙・中・会】(財布などを)落としてなくす	brush something away, 【仙・中・会】drop/ lose something	A:	どうしたんですか？	What happened?
				B:	なんか さいふ どっかに ほろったみでだな。 (なんだか財布をどこかに落としてなくしちゃったみたいだな。)(会津)	I seem to have dropped my wallet somewhere and lost it.
100	ほろだぐ	払い落とす	brush off	A:	ただいま。外、雪すごかったよ。	I'm home. The snow is awful outside.
				B:	まず ゆき ほろだけ。 (とりあえず雪を払い落とさない。)(秋田)	Anyway, brush the snow off yourself.
101	まぜる	仲間に入れる	let someone into a group (as with playing children)	A:	これからみんなで飲みに行こう。	Let's go out for a drink now.
				B:	(話し相手とは別の人が)あー おれもまぜでくろー。 (あー、俺のことも仲間に入れてー。)(会津)	(from a third party) Hey, take me along too.
102	までーに	丁寧に	thoroughly, properly, completely	A:	食器洗い終わったよ。	We finished washing the dishes.
				B:	ん、まだ よごれちゅーなあ。までーに あられ。 (ん、まだ汚れてるなあ。丁寧に洗ってよ。)(津軽)	Look at this, they're not clean. Wash them right.
103	まね	だめだ、いけない、(～しないと)いけない	not good, must, have to do something	A:	あれ、どこか出かけるの？	Oh, you going out somewhere?
				B:	んにゃー、こいがら びよーいんさ いがねばまねんだね。 (いやー、これから病院にいかないといけないんだよ。)(津軽)	Yeah, I have to go to the doctor.
104	みったぐね(みたぐね、みたぐねあ)	みっともない(人が見たくないと思う様子、かっこわるい)、にくたらしい(≒腹立たしい、頭に來る、ムカムカする)	a pitiful sight, unattractive, making one angry	A:	ちよつと出かけてきます。	I am going out for a bit.
				B:	そんな みったぐねー かっこ すんな。 (そんなみっともない格好しないで。)(伊達)	Don't go out wearing that/ looking like that!

105	むつける(むずける)	すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあって相手のいうことを聞かない)	grumpy, in a bad mood	A:	えー、この前約束したのに、明日だめなの？！	What? We had a date. You can't go tomorrow?
				B:	そう むつけるな まず。 (そうすねないでよ、まあまあ。)(秋田)	Hey, don't get so grumpy
106	むったり	一心に(一つのこと)にひたすら集中している様子)	concentrate on one thing	A:	あの人本読んでますね。	That guy over there is reading a book.
				B:	ああ、さっきから むったり ほんよんでるな。 (ああ、さっきからひたすら集中して本を読んでるね。)(秋田)	Yeah, he has been engulfed in his book for a while now.
107	めぐせ(みぐせ)	みっともない、はずかしい	shameful, disgraceful	A:	あのおじいさん、いつもパンツで歩いているよ。	That old guy is always traipsing around in his underwear.
				B:	めぐせーよなー。 (みっともないな。)(伊達)	How disgraceful. He should be ashamed.
108	めごい(めんこい、めんけ、めげー)	かわいい	cute	A:	これが私の子どもの写真です。	This is a photo of my kid.
				B:	あー、めんこいねー！ (あー、かわいいねー！)(伊達)	Oh, how adorable!
109	やっこい(やっけ、やけあ)	柔らかい	tender, soft	A:	「んめ」の例文を参照	
				B:		
110	やっちゃかね(やっちゃげね)	役に立たない	useless	A:	この携帯、買ったばかりなのに、すぐ壊れちゃったよ。	I just bought this cell phone and it's already broken.
				B:	そら やっちゃがねなー。 (それは役立たずだなー。)(会津)	Well, that's useless.
111	やばつい(やばち)	湿って気持ちが悪い、【秋】手などが汚れる、【伊】よろしくない、まずい	damp and uncomfortable, 【秋】have dirty/sticky hands, 【伊】be no good	A:	(食べ物を食べていて)あ、て やばつ くなった。 (あ、手が汚れちゃった。)(秋田)	(while eating) I got it all over my hands.
				B:	あ、ティッシュをどうぞ。	Here, have a tissue.

112	やむ(やめる)	病気になる、痛む、 具合が悪くなる	sick, ill, under the weather	A:	最近あのおばあさん見ないですね。	Haven't seen that old lady around for a while.
				B:	やんでらんでねーかー？ (病気なんじゃないの？)(秋田)	Probably sick, wouldn't you say?
113	やんだおら(や んたおら、おら やんだ)	嫌だ(【会】では女 性が使うことが多 い)	no way! (displeasing) (【会】used mostly by women)	A:	ちょっとお金貸してくれませんか？	Can you lend me some money?
				B:	おらやんだ。 (俺はいやだよ。)(伊達)	No way! Forget it! Get out of here.
114	わらすっこ	子ども	child	A:	これ、うちの家族の写真です。	This is a photo of my family.
				B:	あーりゃ、かわいい わらすっこだご ど。 (あーら、かわいい子どもだなー。)(伊 達)	Oh. What a cute kid.
115	わらはんど (わらしゃん だ)	子どもたち	children (plural)	A:	これが私の家族の写真です。	This is a photo of my family.
				B:	めごい わらはんどだな。 (かわいい子どもたちだね。)(津軽)	Oh. What cute kids.
116	わらわら	急いで、早く	hurry, quickly	A:	すみません、もうちょっと待ってくださ るか？	Excuse me. Can you wait just a bit?
				B:	までね、わらわらど やれ。 (待てない、急いでやりなさい。)(伊達)	No, I can't wait. Hurry up and do it.
117	わんつか(わ ずか)	少し、ちょっと(副 詞)	a little bit	A:	あの、写真撮ってくれませんか？	Hey, can you take a photo for us?
				B:	わずか みぎさ よってけれ。 (少し右に寄ってください。)(秋田)	Okay, move over to the right a little.
118	んだ	はい、うん、そうだ	Yes, That's right.	A:	あ、齋藤さんですか？	Excuse me. Are you Mr. Saito?
				B:	んだ。 (はい。)(会津)	Yes.
119	んだから(だか ら)	そうだよ、そうでしょ う(同意)(※原因・ 理由を表すわけ ではない)	Yes. I agree.	A:	あの人とってもいい人だね。	She is a fine person.
				B:	んだがらー。 (そうでしょう。)(秋田)	I agree. That's right.

120	んにゃ(んでねあ)	いや	No.	A: このプリント、今日使いますか？	Are you going to use this handout today?
				B: んでね、あしたつかうんだ。 (いや、明日使うんだよ。)(伊達)	No, we're using that tomorrow.
121	んめ(んめあ、め)	おいしい	delicious	A: このお肉どうですか？	How is the meat?
				B: あ、やっけて んめごと。 (あ、やわらかくておいしいなー。)(秋田)	Mm. It's great, very tender.

第10章 中国語への翻訳上の問題点

本章では、『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』で採用した中国語での翻訳上の問題点について考察する。

中国語においても、英語同様にまず意味範疇のずれによる問題、すなわち意味論的問題を考えることにする。そしてその中には、方言のほうが中国語より意味範疇が広い場合と、方言のほうが中国語より意味範疇が狭い場合が考えられる。また、必ずしも対応する適切な語がなく、説明的になってしまう場合もある。以上を表にすると表14のようになる。

表14. 中国語翻訳での意味論的問題の種類

I 意味論的問題		
I-a. 方言のほうが中国語より意味範疇が広い	I-b. 方言のほうが中国語より意味範疇が狭い	I-c. 中国語に適切な語がなく説明的になる

本章では、方言集用に中国語翻訳を依頼した項目について、上記のような問題点について考察していく。調査方法としては、中国語翻訳担当者に翻訳依頼した際の翻訳リスト（資料8『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（中国語））を改めて見てもらいながら、インタビュー形式による各項目の意味や方言との違いについて聞き取り調査を実施した。

中国語翻訳担当者は日本在住の中国人女性で、日本語教育学を専門とする大学院生であるため、中国語翻訳者及び本調査の協力者として最適であると判断し、依頼した。以下、上に示した問題点の分類に当てはめて記していく。

本章においても10.1.以下で扱う各項目の標準語訳や例文の翻訳についての詳細は、本章末尾にある資料8『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（中国語）に記載してあるため、そちらを参照されたい。なお、これまで同様、以下方言形式は【 】、それに相当する標準語は《 》、具体的な意味は〔 〕で括る。

10.1. 方言のほうが中国語より意味範疇が広い場合

まず考えられるのは、東北方言の語のほうが中国語の該当する語より意味範疇が広い場合である。例えば、主に日本海側で用いられる【やっちゃかね（やっちゃげね）】は標準語でいう《役に立たない》に相当する語である。この語に対応する中国語を考えた場合、実はいくつかの別の語になる。〔本来持っている力を発揮できない〕場合は「不起作用」、〔役立たずの物〕を言う際は「不好用」、〔役立たずの人〕についていう場合は「没用」と、それぞれ別の語が対応する（図52）。

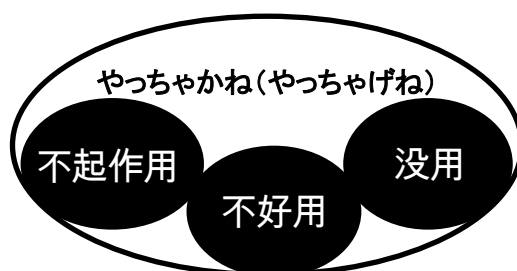


図52. 【あんべわり】における東北方言と中国語の意味範疇の関係図

これを方言の意味範疇を D、中国語の意味範疇を C として一般化すると、I-a.を示す図として図 53 のように示すことができる。図では D が C を 2 つ内包している図になっているが、この図で示しているのは、東北方言では一つの語で表すことができる意味を、中国語では複数の語によってその意味範疇が分けられているという場合である。

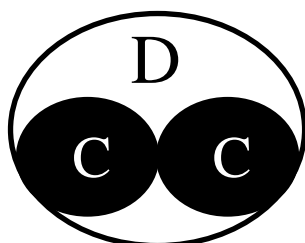


図53. 方言のほうが中国語より意味範疇が広い場合 (I-a.型)

以下、この I-a.型に該当する項目を記す。

- 【～さる】〔つい・うっかり～する、自然に・勝手に～する、たまたま～する〕…中国語では「不小心～」（うっかり）、「自然地」（自然に）、「偶尔～」「偶然～」（たまたま）、と、異なる副詞になる。
- 【～ら】〔～（て）いる、～（て）いた〕…「在～」（～ている）、「～着」（～ていた）。例文の「～呢」（「～よね」に近い、過去形に使う（名詞だと「你呢？」のように現在にも使える）は、「～ている」のように現在進行形にも使える。
- 【あじゃらだ（あじゃらになる）】〔みっともない、いい加減だ〕…「不像样」（見た目がみっともない）、「随便」（やり方がいい加減だ）。【あじゃらだ】はどちらとも意味する。
- 【おがる】〔大きくなる〕…動物は「长大」、植物や無生物には「变大」。【おがる】は人間や動植物に使える。
- 【おしよし（おしょうし、おしよす）】【しよし】〔はずかしい〕…「丢人」（恥をかく）、「害羞」（照れくさい、シャイな人の意味も）、「不好意思」（自分が照れくさい時だけ）。
- 【おだつ】〔はしゃぐ、調子に乗る〕…「戏闹」（はしゃぐ）、「情绪高涨」（調子に乗る）。例文「因为兴奋过头了。」（調子に乗るからだぞ。）では「兴奋」を使ったが「情绪高涨」と意味は変わらない。
- 【おんずくなし（おんじくなし）】〔臆病者、（会津）ばか〕…知識が足りない人は「笨」（形容詞）、愚かな行為をする人は「蠢」（形容詞）、「傻瓜」（名詞）。【おんずくなし】はどちらにも使用可能。

【かせる² (かへる)】〔食べさせる〕…許可の場合も強制の場合も「让[誰]」。こどもの口に運ぶときは「给」「喂」。【かせる²】はどちらも意味する。

【かちやくちやね】〔物事が進まずイライラする、ややこしい、散らかっている〕…「事情进展不顺利焦急」(物事が進まずイライラする)、「麻烦」(ややこしい)、「散乱」(散らかっている)。子供がいうことを聞かなくてイライラする場合は「心烦」「闹心」。

【かちやぺね】〔しっかりしていない、壊れやすい、軽率な〕…「不结实」(しっかりしていない)は人にも物にも使える。「易坏」(壊れやすい)、「轻率」(軽率な)。

【かんつける (かんずける、かずける)】〔すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあつて相手のいうことを聞かない)、人のせいにする〕…「撒泼(≡闹脾气)」(すねる)、「闹别扭」(けんかなどで相手と話さないなど)(那两个人闹别扭呢(あの二人は(けんかして)ひねくれているんだよ)、「赌气」(ふてくされる)。

【きみ】【と一きび(と一きみ、と一ぎみ、と一みぎ、と一みに)】〔とうもろこし〕…トウモロコシ一本だったら「玉米」、粒だったら「玉米粒」。【きみ】や【と一きび】に区別はない。

【け(けー)】〔食べなさい、ちょうだい、かゆい、(秋田)来なさい〕…「请就餐」(食べなさい)、「给我」(ちょうだい)、「瘙痒(かゆい)」、「请过来」(来なさい)。

【ごんぼほる】〔だだをこねる(わがままを言って言うことをきかない)〕…「缠磨人」(相手を困らせる)、「烦人」(わがままな人)、「任性」(わがままだ)。

【さすけねー】〔大丈夫だ〕…中国語は場面で使い分ける。謝罪の返答なら「对不起」「没关系」。空いている予定を聞かれたら「明天晚上有空吗?」(明日の晩空いている?)で聞き「有空。」(空いているよ)と返答。「这个可以吃吗?」(これ食べてもいい?)と可能か聞かれたら「可以。」(いいよ)。「伤没关系吗?」(けがは大丈夫?)と病状を聞かれたら「没大碍。」(大したことないよ)。「さすけねー」はそのいずれにも用いられる。

【ぞうさね(ぞさね、じよさね)】〔簡単だ、どうってことない〕…簡単だという場合は「可以帮我拿行李吗?」(荷物持つのを手伝ってもらえる?)「没问题,可以。」(大丈夫,いいよ)や「操作难吗?」(操作は難しい?)「很简单。」(とても簡単だよ)のように様々な返答がある。謝礼に対する謙遜は「没什么。」(どうってことないよ)など。【ぞうさね】はいずれも可能。

【ちよす】〔いじる、さわる〕…「捣弄」(「摆弄」も)(いじる)、「碰触」(さわる)。

【のぜる】〔のどにつまる、吐きそうになる(オエツとなる)〕…「卡在嗓子里」(つまる)、「想吐(恶心)」(吐きそうになる)。「つまる」には「卡」(喉がつまる、プリンターに紙がつまる)(例:「打印机卡纸。」(プリンターが紙詰まりを起こす)と「堵」(滞る、「厕所堵。」(トイレが詰まる)、「排水口堵。」(排水口が詰まる)、「路堵。」(道路が渋滞する)、「鼻子堵」(鼻が詰まる))がある。【のぜる】は、つまるのはのどに限定されるが、〔吐きそうになる〕という意味にも用いられる。

【はかほか】〔どきどき、はらはら〕…「忐忑不安」(心がどきどき)、「紧张」(緊張)。動悸がする場合は「上气不接下气」(階段を上る時)、「喘不上气」(病気の時)。

【へば(せば、んだば)】〔では、じゃあね(別れのあいさつ)〕…次にいつ会うかわかっているときは「晚上见」(また今夜)、「明天见」(また明日)、「下周见」(また来週)のように具体的な時期を言う。「改天见」は次がいつかわからない場合に用いる。

【やっちゃかね(やっちゃげね)】〔役に立たない〕…「不起作用」は本来持っている力を発揮できない場合、「不好用」は役立たずのもの、「没用」は役立たずの人。【やっちゃかね】はそれらを特に区別しない。

【んだ】〔はい、うん、そうだ〕…中国語では質問によって「はい」に当たるものが異なる¹⁹。

「这个可以吃吗?」(これ食べてもいい?)「可以。」(はい(食べてもいいです))、「你是从中国来吗?」(中国から来たの?)「是的。」(はい(中国から来ました))、「你要这个吗?」(これがほしいの?)「要。」(はい(ほしいです))、「你喜欢中国菜吗?」(中華料理は好き?)「喜欢。」(はい(好きです))、「你有兄弟吗?」(兄弟はいる?)「有。」(はい(います))。

【んにゃ(んでねあ)】中国語では質問によって「いいえ」に当たるものが異なる。「这个可以吃吗?」(これ食べてもいい?)「不可以。」(いいえ(食べてはいけません))、「你是从中国来吗?」(中国から来たの?)「不是的。」(いいえ(中国から来ていません))、「你要这个吗?」(これがほしいの?)「不要。」(いいえ(ほしくないです))、「你喜欢中国菜吗?」(中華料理は好き?)「不喜欢。」(いいえ(嫌いです))、「你有兄弟吗?」(兄弟はいる?)「没有。」(いいえ(いません))、「不」と「没」は共に否定を表すが、「不来」は「絶対来ない」、「没来」は「まだ来てない」、ただし「有」に対しては「没有」のみ。

10.2. 方言のほうが中国語より意味範疇が狭い場合

東北方言の語のほうが中国語のそれより意味範疇が広い場合があれば、もちろんその逆、つまり東北方言の語のほうが中国語の該当する語より意味範疇が狭い場合も存在する。

具体例として【あんべわり】【いずい(えずい、えんつこい、えんつけあ、えんず)】【にやにやする】【やばつい(やばち)】【やむ(やめる)】を挙げる。【あんべわり】は東北地方全域で用いられ、〔体調が悪い〕という意味を持つ。また、【いずい(えずい、えんつこい、えんつけあ、えんず)】は主に宮城県以北の太平洋側で用いられる表現で、〔違和感がある、変な感じがする〕などの意味で用いられる。【にやにやする】は津軽方言の表現で、〔胃腸に違和感がある、胃腸の調子が悪い〕といった限定的な意味がある。【やばつい(やばち)】は福島県以外の東北地方各地で用いられる表現で、〔湿って気持ちが悪い、水滴が付いて不快だ〕という意味がある。【やむ(やめる)】は東北地方全域で使用され、〔病気になる、痛む〕という意味である。

これらの語は中国語では全て「不舒服」に該当する。「不舒服」は〔心地良くない〕や〔調子が悪い〕という意味が根本にあり、上記の東北方言の表現のそれぞれに共通する意味でもある。したがって、【やばつい】であれば「湿湿的不舒服」(湿って心地良くない)、【にやにやする】であれば「胃腸不舒服」(胃腸の調子が悪い)というように条件などを限定しなければならない。それぞれの語の関係を図に示すと、図54のように表すことができる。

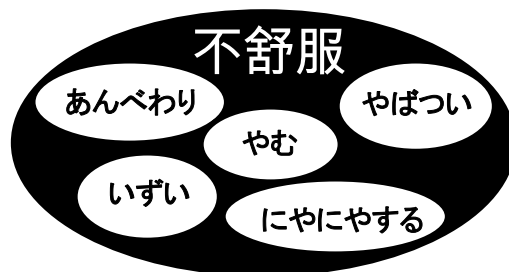


図54. 方言のほうが中国語より意味範疇が狭い場合 (I-b.型)

¹⁹ 日中及びその他諸言語の「はい」「いいえ」の機能に関してはウィラシンハ(2017)に詳しい。

一般化すると I-b.を示す図として図 55 のようになる。I-a.の場合とは正反対で、C が D を内包している形になっている。この図では、中国語では一つの語で表すことができる意味を、東北方言では複数の語によってその意味範疇が分けられているという場合を示している。

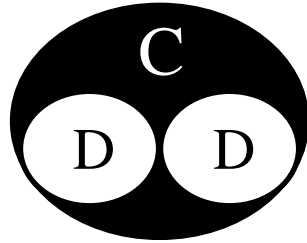


図55. 方言のほうが中国語より意味範疇が狭い場合 (I-b.型)

以下、この I-b.型に該当する項目を挙げる。

- 【あずましー】〔心地よい、気持ちいい〕…中国語訳として用いた「心情舒畅」「心情好」、例文に用いた「舒服」に特に意味の違いはない。ただし上述のように「舒服」の意味は広い。
- 【あんべわり】〔具合が悪い、病気だ、都合がよくない〕…不_レ舒服。舒服は「体調が良い」と「気持ちいい」があり、不_レ舒服にも「体調が悪い」と「心地よくない」が混在している。
- 【うだで】〔気持ちが悪い、(津軽)大変だ〕…「不_レ舒服」も「気持ち悪い」だが、「悪心」のほうが程度が高く、体調不良などによって〔吐き気がする〕意味も含む。
- 【うるかす(うるがす)】〔(米などの乾燥した物を)水につける、(仙台・中通り・会津)使用後の食器に水を張る、(秋田)話を保留にする〕…中国語では〔水につける〕は全て「泡」。 「洗澡(シャワー)」「泡澡(お風呂に入る)」。
- 【えずい(いずい、えんつこい、えんつけあ、えんず)】〔目のごみがごろごろする、違和感がある、変な感じがする、居心地が悪い〕…「不_レ舒服」がここでも使える。
- 【かんじる】【しばれる】〔とても寒い〕…中国語では「非常冷」「好冷」のように程度副詞で寒さを示す。
- 【けっばる】〔頑張る〕…「加油」は相手にも自分にも使え、「加油！」(がんばれ!)と言われて「我加油！」(がんばる!)や「我努力！」(努力する!)と返す。ただし「加油」は本来給油する意味であり、【けっばる】にはそのような意味はない。
- 【たんぱら】〔短気(すぐ怒る人)〕…中国語訳は「急性子」となっているが、〔せっかち〕という意味にもなり対義語は「慢性子」(のんびり屋)になる。【たんぱら】は「怒りっぽい」という意味であるため、〔せっかち〕では意味が広い。例文では「脾气太暴躁」(気性が荒い)という表現を用いている。
- 【にやにやする】〔お腹や胃に違和感がある、お腹や胃の調子が悪い〕…「胃腸不_レ舒服」「胃腸难受」(胃腸が不快)のように胃腸を明示して部位を限定する必要がある。
- 【ひゃっこい(ひゃっけ、ひゃけあ、しゃっこい、しゃっけ、しゃけあ)】〔冷たい〕…基本的には中国語「凉」は物に対する「冷たい」に当たるが、「天气凉」(天气が涼しい)のように天気にも用いられる。中国語「冷」は「寒い」に相当し、天気にも「天气冷」(天气が寒い)のように用いられる。冷たいものの場合「冰凉的雪」(冷たい雪)のようにいうこともある。
- 【ひゃっこい】は物が冷たい時に用いられる。

【まで一に】〔丁寧に〕…中国語訳は「好好地」。「好好+動詞」で「よく（しっかり）～する」、また〔相手を懇ろに扱う〕意味でも**好好**が使える。しかし【まで一に】は人への対応には使えない。

【**んだから**（だから）】〔そだよ、そうでしょう（同意）（※原因・理由を表すわけではない）〕…「**是吧**」（そうでしょう）。これには付加疑問文として「～ですよ？」の意味もあるが、【**んだから**】にはそのような用法はない

10.3. 中国語に適切な語がなく説明的になる場合

上記 I-a. と I-b. の二つの場合では、意味範疇の違いはあるもののおおよそ該当する語がある場合を見てきた。しかし、中国語においても必ずしも該当する語があるわけではなく、説明的にならざるを得ない場合が見られた。

例えば、主に南東北の日本海側や北東北の太平洋側で用いられる【**きどころね**（きどこね）】は、標準語にも適当な語がなく、意味としては〔外出着を着たままうたた寝してしまうこと〕になる。外から帰ってきた格好のまま、パジャマなどに着替えずに、疲れや泥酔などからそのまま寝てしまうことを指す。標準語同様、中国語においても【**きどころね**（きどこね）】に相当する表現が存在しない。そのため方言集における中国語訳では「**没打算睡觉(穿着衣服)睡着了**」（寝るつもりがないのに（服を着たまま）寝てしまう）と説明的なものになっている。

このような場合、つまり I-c. を図示すると図 56 のようにすることができる。

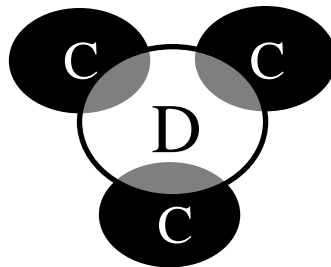


図56. 中国語に適切な語がなく説明的になる場合（I-c.型）

以下、この I-c. 型に該当する項目を列挙する。

【～がね？（～がねか？）】〔～（して）かない？〕…適切な語がなく、「不…吗？」（～しませんか？）になる。

【～す（～し）】〔～です（丁寧な言い方）〕…中国語には「您」のような敬称や、「我去你家」（私はあなたの家に行く）を「我去您家拜访」（私はあなた様のお宅に伺う）のようにする場合があるが、全ての動詞等に付け丁寧を示すようなシステムが中国語にはない。

【～っけ（一）】〔～（な）んだ（相手に情報を与えるときに使う）〕…中国語訳としては文脈によって「～啊」（自分の気持ち）、「～呀」（驚き）、「～呢」（「～よね」に近い、過去形に使う（名詞だと「你呢？」のように現在にも使える）、のような感嘆詞になるが、これらは語気を示す。翻訳としては「是～（告诉对方信息时使用）」（～だ（情報を与える時に使用））と説明的になった。例文では「～呢」を使用した。

【**きどころね**（きどこね）】〔寝るつもりがないのに（服を着たまま）寝てしまう〕…直接対応する語はないので説明的な訳になる、例文は「**早上起来发现穿着衣服就睡了。**」（朝起きたら服を着たまま寝ていたことに気付いた）。

【きゃっぱりする (きゃっぱりをとる、かわっぺありする、かつぱをとる)】〔靴の中に水が入る、川に落ちる〕… **鞋里进水** (靴に水が入る) という表現になってしまい、ちょうどいい表現がない。

【しなっこい (しなっけ、すなこえ)】〔しなやか、食べ物がなかなか噛み切りにくい感じ〕… 訳は「**嚼不断**」(噛み切れない)になる。〔柔らかい〕意味の語に噛み切れない意味はない。

【ながまる】〔横になる、足を伸ばして休む〕、【ねまる】〔(床や地面に)座る、休む〕…中国で床に座る習慣(=【ねまる】)があまりないので、足を伸ばすかどうか(=【ながまる】)の区別はない。【ながまる】の訳は「**躺下**」(体を横にする)、「**伸开脚休息**」(足を伸ばして休む)。【ねまる】の訳は(**地板、地面等**) **坐** (床や地面に)座る)、**休息** (休む)。中国語では「**疲れた**」と言われたら「**休息一下**」(ちょっと休んで)という。

【はなだんぼ】〔鼻にティッシュをつめること〕…中国語では「**堵住**」「**堵上**」(詰める)を使えるが、鼻に限らず使えるので、「**用纸堵住鼻子**」(鼻にティッシュを詰める)と説明的になった。

【やばつい (やばち)】〔湿って気持ちが悪い、(秋田)手などが汚れる、(伊達)よろしくない、まずい〕…中国語の場合はちょうどいい表現がない。「**被雨淋湿, 不舒服。**」(雨で濡れて気持ちが悪い)、「**出汗, 不舒服。**」(汗が出て気持ちが悪い)、「**水滴掉身上了, 不舒服。**」(水滴が体に落ちてきて気持ちが悪い)のように「**状況+気持ちが悪い**」になってしまう。

10.4. 意味論以外の問題

中国語においても、意味論的問題だけでは説明できない問題がいくつか存在したので、以下に記していく。

10.4.1. 発音規則

前章の英語の場合と同様に中国語に関わる直接的な問題とは言えないが、中国語母語話者の方言学習を助けるものではある。ここに該当するのは前章と同じ【〜っちゃ】と【あるって】の2項目であり、中国語が直接関わるわけではないので、ここでは説明を省略する。

10.4.2. 語順

主に北東北で用いられる【〜はんで (〜はで)】【〜すけ (す)】は標準語でいう《〜から》に相当する接続助詞である。意味範疇も《〜から》もほぼ同じである。中国語では「**因为**」が該当する。しかし、ここでも英語同様に「**因为**」は原因・理由の前に置かれ、「**因为砂糖没了, 所以买点回来。**」(砂糖がなくなったから、買ってきて)のような位置関係になる。そのため、【〜はんで (〜はで)】【〜すけ (す)】を「**因为**」と語順を同じように理解してしまうと、英語同様因果関係が逆になってしまう可能性がある。なお、「**因为**」を使わずに「前文(原因・理由)、後文(結果・勧誘・命令など)」で言うことも可能であるが、方言では【〜はんで (〜はで)】【〜すけ (す)】が省略されるわけではないので、先ほどの「**因为**」がある場合の語順を連想する可能性のほうが高い(表15)。

表15. 【はんで】【すけ】及び「**因为**」の位置関係

はんで、すけ、から 結果・勧誘・命令などの前に付く	
	因为 原因・理由の前に付く

10.4.3. テンス・アスペクト

【おたった】は主に青森県津軽地方で用いられる動詞で、標準語でいうと《疲れた》になる。

【おたった】は現在形としては【おたる】になるのだが、【おたる】という形式よりもむしろ【おたった】のほうがよく使われる。中国語は「疲れた」は「累」になるが、現在形でも用いることは可能であり、テンス・アスペクトの制限はない。

同様に主に北東北で用いられる【どでんした（どでした）】は、標準語で《びっくりした》を指すが、現在形の【どでんする（どでする）】よりも【どでんした（どでした）】で用いられることが自然である。中国語では「吃惊」（驚いている、驚いた様子）や「吓一跳」（驚く）があるが、これらにテンス・アスペクトの制限はない。

このように中国語との間にもテンス・アスペクトの制限の差異がある例が見られた。

10.4.4. 表現の対象

主に宮城県以北の東北地方各地で用いられる【あめる】は、[料理が悪くなる]という意味である。調理前の物に対してはあまり用いられない。中国語の場合には、食べ物（調理前か調理後の区別はない）は「坏」、生物は「腐烂」、水は「臭」（くさい、形容詞）と、悪くなる対象によって表現が異なる。

また、東北地方全域で用いられる【やっこい（やっけ、やけあ）】は[柔らかい]の意味であるが、これに相当する中国語は、体や布団の場合は「柔软」、食べ物の場合は「软」というように、その対象によって表現が異なる。【やっこい】はいずれにも使用可能である。

このように、東北方言と中国語において、表現の対象によって用いられる表現が異なることがある。

10.4.5. 印象

主に青森県津軽地方で用いられる【じょっぱり（じょっぱり）】は、標準語でいう《頑固者》に当たる。中国語の例文では「老顽固」を用いているが、「老」はあまり良くないイメージの人を示す語として用いられる。（例：「老好人」（いい顔をする人）、「老油条」（海千山千、俗語））ただ、【じょっぱり（じょっぱり）】は頑固者なのだが、必ずしも良くないイメージとは限らない。【じょっぱり】は津軽の人々の気質を示す（東奥日報2017）ともされ、真面目な印象とつながるからか、「じょっぱり」の名を關した日本酒や飲食店なども存在している。このように、同じ意味を指す場合でも語に対する印象が異なる場合も見られた。

10.4.6. 敬意

【んめ（んめあ、め）】は東北地方ほぼ全域で用いられる「おいしい」を示す表現である。中国語では「好吃」が該当するのだが、相手においしいか質問する際、「好吃吗？」で質問できるのだが、丁寧に聞く場合は「味道怎么样？」となり、「好吃」を用いることができない。東北方言では敬語の存在する地域と存在しない地域（無敬語地帯）がある（ロング・斎藤 2016、2017）が、例えば敬語体系の存在する福島県会津方言では、【～す（～し）】を下接することで丁寧に示すことができる。【んめ】についても「んめが？」（おいしい？）に対して「んめがし？」（おいしいですか？）と言うことが可能で、中国語と異なり【んめ】のままでも丁寧に聞くことができる。

つまり、東北方言と中国語で敬意の示し方に関する違いがある表現が存在した。

10.5. まとめ

以上から、東北方言から中国語への翻訳上の問題点を改めて細分化すると、「I 意味論的問題」には前述のように「I-a. 方言のほう为中国語より意味範疇が広い」「I-b. 方言のほう为中国語より意味範疇が狭い」「I-c. 中国語に適切な語がなく説明的になる」の3つの場合が存在し、その他にも「II 意味論以外の問題」として「II-a. 発音規則」「II-b. 語順」「II-c. テンス・アスペクト」「II-d. 表現の対象」「II-e. 印象」「II-f. 敬意」の6つの問題点が明らかになった。これらを表にまとめると、表16のように示すことができる。

表16. 中国語への翻訳上の問題点

I 意味 論 的 問 題	I-a. 方言のほう为中国語より意味範疇が広い
	I-b. 方言のほう为中国語より意味範疇が狭い
	I-c. 中国語に適切な語がなく説明的になる
II 意 味 論 以 外 の 問 題	II-a. 発音規則
	II-b. 語順
	II-c. テンス・アスペクト
	II-d. 表現の対象
	II-e. 印象
	II-f. 敬意

以上、本章では『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』を用いて、東北方言から中国語への翻訳の際に見られる問題点について考察した。中国語では、前章の英語との対照研究の際に見られたものと同様の問題点も見られたが、別の問題点についても明らかとなった。

東北地方の在留外国人の中でも中国籍が最も多く、帰化したケースも考えると、中国語母語話者はさらに多く、このような東北方言と中国語の対照研究はある意味では他の章よりも必要性が高いかもしれない。次章では韓国語への翻訳上の問題点について記していく。

資料8 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（中国語）

	方言	意味	意味翻訳	例文	例文翻訳
1	～える	(環境や状況のために)～できる(「能力があってできる」とは別)	(依据环境和状况)能够～(“有能力做某事”是另一种表达)	A: ねえ、市役所から手紙が来たけど、なんて書いてあるの？	哎，市役所来信了，写了什么？
				B: うーん、へや くらくて よまえねな。 (うーん、部屋が暗くて読めないな。) (津軽)	嗯，房间太暗了读不了。
2	～がね？(～がねか？)	～(して)かない？	不…吗？	A: あ、すみません、ちょっと話があるんですけど大丈夫ですか？	不好意思，有点事情想跟您聊一下，可以吗？
				B: あ、へば おらえさ よってがねか？ (あ、じゃあ私の家に寄っていかない？)(秋田)	那么来我家怎么样？
3	～さる	つい・うっかり～する、自然に・勝手に～する、たまたま～する	不小心做了某事，自然地做了某事，偶尔做了某事	A: 昨日、山田さんが私に会いに来てたらしいね。	昨天，好像山田来见我。
				B: ん、なの えのめ とおったずきに たまたま やず みらさったや。 (うん、君の家の前を通ったときに偶然彼を見かけたよ。)(津軽)	嗯，经过你家门前的时候偶然发现了他。
4	～す(～し)	～です(丁寧な言い方)	是(尊敬的说法)	A: こんにちは。今日は寒いですね。	你好！今天好冷啊。
				B: んだなす。 (そうですね。)(会津)	是啊。
5	～すけ(～す)	～(だ)から	因为…	A: 例文なし	
				B:	
6	～つけ(一)	～(な)んだ(相手に情報を与えるときに使う)	是～(告诉对方信息时使用)	A: そういえば、隣の家の山田さん、引っ越したみたいなんですよ。	说来，旁边那家的山田好像搬家了啊。
				B: あ、そっかー。さっき とおったつけが、いえの まえ なんも なくなってよー。 (あ、そうかー。さっき通ったんだけど、家の前に何もなくなってるさ。)(会津)	啊，是吗？刚刚还路过呢，门口什么都没有了。

7	～つちゃ	「～れた」の省略形 (疲れた→つかつ ちゃ、食われた→くわ つちゃ)	「…れた」的省略形 (例: 疲れた→つかつ ちゃ(累了), 食われた →くわつちゃ(被吃 了))	A:	あれ? バッグどうしたの?	那个? 包怎么办?
				B:	あー、だれがに もつてがつちゃ。 (あー、誰かに持っていかれちゃった。) (会津)	啊, 被谁拿走了!
8	～はんで(～ はで)	～(だ)から	因为…	A:	これから買い物に行ってくるけど、何か ほしいものある?	现在要去购物, 有什么想要的东西 吗?
				B:	そろそろ さどー なくなってきたはん で、さどー かってきてけ。 (そろそろ砂糖がなくなってきたから、砂 糖を買ってきて。)(津軽)	砂糖就要没了, 买点砂糖吧。
9	～びよん(～べ おん、～べお)	～だろうね	…吧	A:	今夜はとても寒いね。	今天晚上很冷啊。
				B:	あす ゆぎ ふるびよん。 (明日は雪が降るだろうね。)(津軽)	明天会下雪吧。
10	～ら	～(て)いる、～ (て)いた	在…	A:	ちょっと外行きませんか?	去外面吗?
				B:	あめ ふつたらやー? (雨が降ってるよ?)(秋田)	在下雨呢。
11	あさぐ	歩く	走路	A:	(道路で)すみません、この近くにコンビ ニはありますか?	(路上)对不起, 请问这附近有便 利店吗?
				B:	このみちば まっすぐ あさいだら ある や。 (この道をまっすぐ歩くとあるよ。)(津 軽)	沿着这条路一直走就有。
12	あじやらだ(あ じやらになる)	みつともない、いい 加減だ	不像样; 随便	A:	あの先生の教え方、どうですか?	那个老师的讲课, 怎么样?
				B:	あじやらだな。 (いいかげんだな。)(伊達)	太随便了。
13	あずましー	心地よい、気持ち いい	心情舒畅; 心情好	A:	昨日温泉に行ったみたいだけど、どうだ った?	昨天去温泉了, 怎么样?
				B:	ああ、あずましたなー。 (ああ、気持ちよかったよー。)(津軽)	啊, 很舒服。

14	あめる	料理が腐る、【南】 (髪などが)べたべたする	饭菜坏了;【南】(头发等)黏糊糊	A:	おかず食べますか?	吃点心吗?
				B:	おやおや… これ あめでらや。 (おやおや…これ悪くなってるよ。)(秋田)	哎呀哎呀, 这个坏了。
15	あるって	歩いて	走着	A:	すみません、駅まで行きたいんですけど…。	对不起, 我想去车站…。
				B:	このみち まーっすぐ あるってぐど、 そのうち つぐがら。 (この道をまっすぐ歩いていくと、そのうち着くよ。)(会津)	沿着这条街一直走就到了。
16	あんべわり	具合が悪い、病気だ、都合がよくない	不舒服; 生病; 不方便	A:	あ、どうしたんですか?	哎, 怎么了?
				B:	あんべわりー。 (具合が悪いなー。)(秋田)	不舒服。
17	いいあんべ (いあんべ)	ちょうどいい、心地いい	正好; 舒服	A:	ちょっとマッサージしてあげますよ。	给你按摩一下。
				B:	んー どれどれ… あー いいあんべだな。 (んーどれどれ…あーいい感じだね(=ちょうどいいね。)(会津)	嗯, 好啊…啊, 舒服(刚刚好)。
18	いたましい(いただきます)	もったいない	浪费	A:	もうこれ、いらないから捨てましょう。	这个不要了, 扔了吧。
				B:	いたましー。 (もったいないなー。)(伊達)	好浪费。
19	うすらかすらする(うらからする)	ぶらぶらする、うろうろする	溜溜达达; 转来转去	A:	あぶねがら うすらかすらしてんはず。 (危ないから(そこを)うろうろしてるんじゃないよ。)(会津)	很危险, 别在那里转来转去。
				B:	あ、ごめんなさい。	啊, 对不起。
20	うだで	気持ちが悪い、【津】大変だ	恶心;【津】糟糕	A:	さっきあそこに虫がいっぱいいましたね。	刚刚那里有很多虫子。
				B:	あー、んだ、うだでがったなー。 (あー、そうだね、気持ち悪かったね。)(秋田)	啊, 是啊, 恶心。

21	うつつあし(うつつあし)	うるさい	吵闹	A:	ねえねえ、ねえ、ちょっと話聞いてよ。	哎哎，听听。
				B:	うつつあしな、おめ あつちや いてる。 (うるさいな、お前あつちに行ってる。) (会津)	别闹了，去那边。
22	うるかす(うるかす)	(米などの乾燥した物を)水につける、【仙・中・会】使用後の食器に水を張る、【秋】話を保留にする	(米等干燥物)泡上水；【仙・中・会】使用後の食具用水泡；【秋】保留谈话	A:	一緒にごはん作りましょう。	一起做饭吧。
				B:	んでば一、こめ うるがしとくから。 (じゃあ、米を水につけておくから。)(伊達)	那么，把米泡上。
23	えずい(いずい、えんつこい、えんつけあ、えんず)	目のごみがごろごろする、違和感がある、変な感じがする、居心地が悪い	眼睛里进了东西磨得慌；不舒服；感觉不舒服；心情不好	A:	その靴かっこいいですね。	那双鞋好漂亮啊。
				B:	でも いずいんだ。 (でもなんかしっくりこない(違和感がある)んだよ。)(伊達)	不过好像有点不合适。
24	おがる	大きくなる	变大、长大	A:	おじさん、お久しぶりです。	叔叔，好久不见。
				B:	あれ おめ、おがったねや一。 (おやお前、大きくなったな一。)(伊達)	呀，你长大了啊。
25	おしょうしな	ありがとう	谢谢	A:	例文なし	
				B:		
26	おしよし(おしよし、おしよす)	はずかしい	丢人、害羞	A:	境さん(話し相手の名前)、この前、駅前で激しく転んでましたね。	境(说话人的名字)，前段时间在车站摔倒了吧。
				B:	あいつ おしよすかったや一。 (あれははずかしかったよ一。)(伊達)	那个，太丢人了。
27	おだつ	はしゃぐ、調子に乗る	戏闹；情绪高涨	A:	この前、高いお皿を割っちゃいましてね一。	之前打坏了一个很贵的盘子。
				B:	おだづがらだ。 (調子に乗るからだぞ。)(伊達)	因为兴奋过头了。

28	おたる	疲れる	疲惫、累	A:	昨日はマラソン大会に参加したんだってね。	听说昨天参加马拉松大赛了啊。
				B:	いやー、おだったや。 (いやー、疲れたよ。)(津軽)	嗯，太累了。
29	おちる(おじる、おずる)	降りる、下車する	下车	A:	(バスの中で)すみません、図書館に行きたいんですけど…。	(巴士中)对不起，我想去图书馆…。
				B:	あー、つぎで おちっと いいわい。 (あー、次で降りるといいよ。)(会津)	啊，下站下车就可以。
30	おどげでね	楽ではない、大変だ	不轻松；费劲	A:	今度、このプロジェクトをやろうと思うんですよ。	下次想做这个项目。
				B:	おどげでねーやー。 (大変だぞ。)(秋田)	不容易啊。
31	おばんです	こんばんは	晚上好	A:	あ、小林さん。	啊，小林。
				B:	おばんです。 (こんばんは。)(秋田)	晚上好。
32	おみよーにち(おみよーぬず)	おやすみなさい、さようなら、では明日	晚安；再见；明天见	A:	例文なし	
				B:		
33	おんずくなし(おんじくなし)	臆病者、【会】ばか	胆小鬼；【会】傻瓜	A:	いやー、昨日、寝坊しちゃって、入学試験受けられなかったよ。	哎呀，昨天睡懒觉了，没参加上入学考试。
				B:	おんずくなしー。 (ばかだなー。)(会津)	真蠢啊。
34	がおった	疲れた、病気で弱る	疲惫；因为生病虚弱	A:	昨日山登りしたんですってね？	说是昨天爬山了？
				B:	いやー、がおった がおった。 (いやー、疲れた疲れた。)(秋田)	嗯，好累好累。
35	かせる ¹	かぶれる(植物、繊維、金属、薬品などで皮膚が赤くなったりかゆくなったりする)	发炎	A:	ちよっと首のまわりがかゆいんですよー。	脖子周围有点痒。
				B:	あー、なんかに かせだみでだな。 (あー、なんかにかぶれたみたいだな。)(会津)	嗯，好像发炎了。

36	かせる ² (かへる)	食べさせる	让吃	A:	このごはん誰の？	谁的米饭？
				B:	子どもに かせんのしゃ。 (子どもに食べさせるんだよ。)(伊達)	给孩子吃的。
37	かちやくちやね	物事が進まずイライラする、ややこしい、散らかっている	事情进展不顺利焦急； 麻烦；散乱	A:	どう？仕事は進んでる？	怎么样？工作顺利吗？
				B:	あー、まねや。かちやくちやね！ (あー、全然だめだよ。イライラするー！)(津軽)	哎，完全不行。着急啊！
38	かちやペね	しっかりしていない、壊れやすい、軽率な	不结实；易坏；轻率	A:	太郎って、体が大きくて丈夫そうだよ ね？	太郎看起来体格大又结实啊。
				B:	んにや、かちやペね やつだや。 (いや、弱々しいやつだよ。)(津軽)	不，是个柔弱的家伙。
39	がっこ	つけもの	咸菜	A:	今日のおかず、なんですか？	今天的小菜是什么？
				B:	きょうの おかずは、おずげっこど が っこだけ。 (今日のおかずは、みそ汁とつけものだ け。)(秋田)	今天的小菜只有酱汤和咸菜。
40	かでる	仲間に入れる	入伙	A:	「まぜる」の例文を参照	
				B:		
41	がな	(名詞・代名詞)の もの(私、あなた、 あっち、山田さん、 など)	(名詞・代名詞)的物 品(我，你，他，山田 君等)	A:	これ食べていいですか？	可以吃这个吗？
				B:	あ、これ おれがな。 (あ、これは私の。)(会津)	啊，这个是我的。
42	かばねやむ	なまける(仕事など やらないといけない ことをしない)、サボ る	偷懒(工作等必须做的 事情不做)	A:	この仕事、全然終わりませんね。	这项工作，结束不了啊。
				B:	あいづ かばねやんで さっぱり す まねんだ。 (あいつなまけて(=サボって)全然進 まないんだ。)(伊達)	那个家伙偷懒，根本没进展。

43	かまりっこ	香り、におい	香气；香味	A:	ごはんできたよ。	饭做好了哦。
				B:	んー、いい かまりっこだな。 (んー、いいにおいだね。)(津軽)	嗯，好香哦。
44	かめこ(かめっこ)	人見知りする(知らない人を見て恥ずかしい・いやだと思う)	认生(遇到不认识的人害羞)	A:	あーこの赤ちゃん、全然笑ってくれない。	哎，这个宝宝不对我笑。
				B:	あー それ かめっこしてんだよ。 (あーその子は人見知りしてるんだよ。)(会津)	啊，那个孩子认生。
45	かんじる	とても寒い	非常冷	A:	おはようございます。	早上好。
				B:	あー きょう かんじるなー。 (あー今日はとても寒いねー。)(会津)	今天好冷啊。
46	かんつける (かんずける、かずける)	すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあって相手のいうことを聞かない)、人のせいにする	撒泼；闹别扭；赌气(心情不好不听对方所说)；怪罪别人	A:	あの子、さっきからずっと泣いてるよ。	那个孩子从刚才开始就一直哭。
				B:	ああ、かずけでもんなー。 (ああ、すねてるもんなー。)(秋田)	嗯，闹脾气呢。
47	きかねー(きかねあ、ちかねー)	気が強い(相手の言うことを聞かない、自分の意見を押し通す、負けず嫌い)	倔强(不听对方所说，坚持己见，不服输)	A:	あの女の子、また男の子とけんかしてるよー。	那个女孩又和那个男孩吵架了。
				B:	きかねがらなー。 (気が強いからなー。)(伊達)	因为太倔强了。
48	きどころね(きどこね)	寝るつもりがないのに(服を着たまま)寝てしまう	没打算睡觉(穿着衣服)睡着了	A:	昨日ものすごく酔っぱらってましたけど、あのあと大丈夫でしたか？	昨天醉的一塌糊涂，回去后没事儿吗？
				B:	あさ おぎだら、きどころねした。 (朝起きたら、服を着たまま寝てた。(家に帰ったら、着替えないで外で着た服のまま寝てしまった。)(会津)	早上起来发现穿着衣服就睡了。 (回到家，没换衣服穿着外面的衣服就睡着了)
49	きみ	とうもろこし	玉米粒	A:	このコロッケどうぞ。	请吃肉饼。
				B:	あ、きみ はいってら。 (あ、とうもろこし入ってる。)(秋田)	啊，有玉米粒。

50	きやっぱりする (きやっぱりをとる、かわっぺありする、かわっぺをとる)	靴の中に水が入る、川に落ちる	鞋里进水; 落水	A:	あれ、足ぬれてますね。	哎呀，脚湿了啊。
				B:	いやー、あそこで きやっぱりとってやー。 (いやー、あそこで水たまりをふんで靴に水が入っちゃってさー。)(伊達)	是呀，踩到那里的水坑，鞋里进水了。
51	け(けー)	食べなさい、ちょうだい、かゆい、【秋】来なさい	请就餐; 给我; 瘙痒; 【秋】请过来	A1:	おなかすいた。	肚子饿了。
				B1:	まんま け。 (ごはん食べなさい。)(伊達)	吃饭吧。
				A2:	呼びましたか?	叫了吗?
				B2:	あー、こっちや け、こっちや け。 (あー、こっちおいで、こっちおいで。)(秋田)	啊，过来，过来。
52	けっぱる	頑張る	加油	A:	明日は大事な試験があるんだよ。	明天有很重要的考试。
				B:	けっぱれ! (頑張れ!)(津軽)	加油!
53	けね	役に立たない	不起作用	A:	例文なし	
				B:		
54	けやぐ	友だち	朋友	A:	へー、これが子どもの時の写真か。君の隣にいるのは誰?	啊，这是小时候的照片吗？你旁边是谁？
				B:	けやぐの たろうだや。 (友だちの太郎だよ。)(津軽)	朋友太郎。
55	こわい(こえー)	疲れた	筋疲力尽	A:	今日ずっと仕事だったんですね。	今天一直都在工作。
				B:	こえー。 (疲れたー。)(秋田)	哎，好累。
56	ごんぼほる	だだをこねる(わがママを言うことをきかない)	缠磨人(说任性的话，不听话)	A:	このおもちゃがほしい!	想要这个玩具。
				B:	ごんぼほるな。 (わがママを言うんじゃない。)(秋田)	别任性。

57	さすけねー	大丈夫だ	没关系	A:	おばあさん入院したんですって？	听说奶奶住院了？
				B:	あ、さすけねー。らいげづには たいいんだがら。 (あ、大丈夫だよ。来月には退院だから。)(会津)	嗯，没大碍，下个月就出院。
58	しなっこい(しなっけ、すなこえ)	しなやか、食べ物がなかなか噛み切りにくい感じ	柔软；食物嚼不断的感觉	A:	このドライフルーツ食べてみて。	尝尝这个干果。
				B:	んん、すなこえな。 (んん、なかなか噛み切れないよ。)(気仙)	嗯，嚼不断啊！
59	しばれる(すばれる)	とても寒い	非常冷	A:	「かんじる」の例文を参照	
				B:		
60	ジャス	ジャージ	运动服	A:	(ハイキングの前日)何か用意するものはありますか？	(郊游前一天)有什么需要准备的东西吗？
				B:	ジャス もってけ。 (ジャージを持っていきな。)(伊達)	带运动服。
61	しよし	はずかしい	害羞	A:	「おしよし」の例文を参照	
				B:		
62	じよっぱり(じよっぱり)	頑固者(自分の考えを変えない人)	顽固不化的人(不改变自己想法的人)	A:	俺の考えは間違っていない！絶対に正しい！	我的想法不会错！一定正确！
				B:	じよっぱりだなー。 (頑固者だなー。)(津軽)	你真是个老顽固！
63	すける	手伝う	帮忙	A:	(大きな箱を持って)いやー、これ重いですね。	(拿着大箱子)哎呀，这个好重啊。
				B:	でば すけっかや。 (じゃあ手伝おうか。)(伊達)	帮你吧。
64	すっぱね(すっぱね、しっぱね)	泥はね(水たまりなどを人や車が通った時にかかる水)	溅上泥巴(车辆通过水坑时溅到水)	A:	ズボンどうしたんですか？	裤子怎么了？
				B:	あー すっぱね かがった。 (あー泥はねがかかった。)(秋田)	啊，溅上泥巴了。

65	ずねー	大きい	大	A:	りんご買ってきたよ。	买来了苹果。
				B:	うわー、これ ずねーなー。 (うわー、これ大きいなー。)(会津)	哇哦，这个好大。
66	せつね(せずね、へずね)	つらい	痛苦	A:	あのおばあちゃん、病気になったみたいですね。	奶奶，好像病了。
				B:	あー、へずねべなー。 (あー、つらいだろうなー。)(秋田)	嗯，看起来好痛苦。
67	ぞうさね(ぞさね、じよさね)	簡単だ、どうってことない	简单；没什么问题	A:	いやー、本当にありがとうございました。	真的很感谢。
				B:	いや、こんなの ぞうさね。 (いや、こんなのどうってことないよ。)(会津)	没什么。
68	たがぐ(たんがく、たなぐ)	持つ、持ちあげる	拿着，拿起	A:	何かお手伝いしましょうか？	有什么需要帮忙的吗？
				B:	あー、その いす たがいでけろ。 (あー、そのいす持って。)(伊達)	啊，拿一下那把椅子。
69	たごまる	(糸などが)たるむ、(服などが)一ヶ所に寄ってくしゃくしゃになる、【会】からまる	(线等)松；(衣服等)堆在一起起皱；【会】缠绕	A:	例文なし	
				B:		
70	たれかもの	なまけ者(仕事などをしない人)	懒汉(不工作的人)	A:	例文なし	
				B:		
71	たんげ	すごく、とても	非常；很	A:	このレストランの料理、どう？	这家饭店的料理怎么样？
				B:	ん、たんげ めな。 (うん、とてもおいしいね。)(津軽)	嗯，很好吃哦。
72	だんだん	もうすぐ、そろそろ	马上；就要	A:	(病院の待合室で)すみません、あの、私はもう名前呼ばれましたか？	(医院的候诊室)对不起，已经叫我名字了吗？
				B:	いいや、だんだん よばれんべ。 (いいや、そろそろ呼ばれるでしょうね。)(会津)	还没，应该马上就叫你。

73	たんぱら	短気(すぐ怒る人)	急性子(易怒的人)	A:	あの人またけんかしてましたよ。	那个人又吵架了啊。
				B:	たんぱら だがらなー。 (短気だがらなー。)(秋田)	因为脾气太暴躁。
74	ちゃっちゃど (ちゃっちゃと、 ちゃちゃど)	さっさと、早く	加速; 快点	A:	これから準備するからちよつと待ってて。	这就准备稍等一下。
				B:	ちゃっちゃど しろ。 (さっさとして。)(伊達)	快点。
75	ちよす	いじる、さわる	捣弄; 碰触	A:	このお皿高そうですね。	这个盘子看起来好贵。
				B:	あー、ちよすなよ。 (あー、触らないでよ。)(秋田)	嗯，别碰。
76	つかかけ	サンダル	凉鞋	A:	ちよつと出かけてきます。	出去一下。
				B:	あー、そこのつかかけ はいでげ。 (あー、そこのサンダルはいていきな。)(会津)	啊，穿那边的那双凉鞋。
77	でかす	完成させる、終わらせる	完成; 完工	A:	この仕事、明日まででいいですか？	这项工作，到明天可以吗？
				B:	はやぐ でかせよ。 (早く終わらせてよ。)(伊達)	要快点完成。
78	とーきび(とー きみ、とーぎ み、とーみぎ、 とーみに)	とうもろこし	玉米	A:	おなかすいた。	肚子饿了。
				B:	んじゃあ、とーみぎ くうが？ (じゃあ、とうもろこし食べる？)(会津)	那吃玉米吗？
79	どでんした(ど でした)	びっくりした	吃惊	A:	昨日隣のうち火事だったんですって？	听说昨天邻居家着火了？
				B:	どでしたやー。 (びっくりしたよー。)(秋田)	吓了一跳。
80	ながまる	横になる、足を伸ばして休む	躺下; 伸开脚休息	A:	あ一つかれたー。	啊，好累。
				B:	あ、そこさながまれ。 (あ、そこで(足を伸ばして)休みな。)(秋田)	在那边躺下休息一下。
81	なげる	捨てる	扔(掉)	A:	このお皿壊れちゃいましたね。	这个盘子坏了。
				B:	そいづ なげどげ。 (それ捨てといて。)(伊達)	扔了吧。

82	なにをしたの(な んしたの、なじ よすた)	どうしたの	怎么了	A:	ちょっと手が痛いんですよ。	手有点痛。
				B:	なんしたのー？ (どうしたのー？)(会津)	怎么了？
83	なんでかんで	どうしても	无论如何	A:	もう夜遅いけど、まだ仕事してるの？	已经深夜了，还在工作？
				B:	これ あしたまで なんでかんで やん なんねだ。 (これ明日までにどうしてもやらないとい けないんだよ。)(会津)	明天截止，无论如何必须坐完。
84	なんも	どうってことない、 気にしないで、どう いたしました(お礼 を言われた時の返 事)	没什么问题；不介意； 不客气(表达谢意时的 回复)	A:	いやーこの間はどうもありがとござい ました。	前段时间真是太感谢了。
				B:	やー、なんも なんも。 (いやー、どうってことないよ。)(秋田)	啊，没什么。
85	にやにやする	お腹や胃に違和感 がある、お腹や胃 の調子が悪い	胃肠不舒服；胃肠难受	A:	なんだか体調悪そうだけど、どうした の？	看起来身体好像不太舒服的样子 啊，怎么了？
				B:	きながら い にやにやして…。 (昨日から胃の調子が悪くてね…。)(津 軽)	昨天开始胃就不太舒服。
86	ねっぱす	のりやテープでつ ける	用浆糊或胶带粘住	A:	これ壊れちゃいましたね。	这个东西坏了。
				B:	んまーぐ ねっぱしとげ。 (上手に(のりやテープで)付けておい て。)(会津)	(用浆糊、胶带)粘上了。
87	ねまる	(床や地面に)座 る、休む	(地板、地面等)坐； 休息	A:	あ、おじゃまします。	打扰了。
				B:	あ、そこさ まず ねまれ。 (あ、そこにまあ座って。)(秋田)	啊，坐那边吧。
88	のぜる	のどにつまる、吐き そうになる(オエツと なる)	卡在嗓子里；想吐(恶 心)	A:	いやーこのもちおいしいですねー！	啊，这个年糕好好吃。
				B:	あんまり いそいで くうど のぜっちま うぞ。 (あんまり急いで食べるとのどにつまっ ちゃうよ。)(会津)	太急着吃容易卡在嗓子里哦。

89	はかいく	はかどる(順調に進む)	进展顺利(进展顺利)	A:	あれ、今日帰り早いですね。	今天回来的早啊。
				B:	いやー、しごと かがいってやー。 (いやー、仕事はかどってね。)(伊達)	嗯，工作进展很顺利。
90	はかはか	どきどき、はらはら	忐忑不安；紧张	A:	見て、あんな高いところに人が立ってるよ！	看，高处站着一个人！
				B:	うわー、はかはかでやー！ (うわー、はらはらするー！)(秋田)	哇，好紧张。
91	はなだんぼ	鼻にティッシュをつめること	用纸堵住鼻子	A:	鼻血が出ちゃったよ。	流鼻血了。
				B:	あー はなだんぼ しとげ。 (あー鼻にティッシュをつめておきな。)(会津)	啊，用纸把鼻子堵上。
92	ばんげ	晩、夜	夜晚	A:	今度一緒に、ごはん食べましょうよ。	下次一起吃饭吧。
				B:	あー、あしたの ばんげ なんとだ？ (あー、明日の晩はどう？)(秋田)	嗯，明天晚上怎么样？
93	ひとめわりー	みっともない(人が見たくないと思う様子、かっこわるい)、はずかしい	难看(不想让人看到的样子、不好看)；难为情	A:	見て、この服かっこいいでしょう？	看，这件衣服很好看吧？
				B:	なんだ それ、ひとめわりーなー。 (なんだそれ、かっこわるいなー。)(会津)	什么呀，不好看。
94	ひまだれ(ひまだれかける、ひまだれする)	時間がかかること、時間をつぶすこと、時間の無駄	花费时间的事情；打发时间；浪费的时间	A:	昨日ずっと待ってたのに、友達が来なかったんだよ。	昨天一直等，朋友却没有来。
				B:	そいづは ひまだれだったねー。 (それは時間の無駄だったねー。)(伊達)	真是浪费了时间啊。
95	ひやっこい(ひやっけ、ひやけあ、しゃっこい、しゃっけ、しゃけあ)	冷たい	冷、凉	A:	お水どうぞ。	请喝水。
				B:	うわー、しゃっけな これ。 (うわー、冷たいなこれ。)(会津)	哇，好凉。

96	ぶすくれる(ぶじくれる)	すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあって相手のいうことを聞かない)	撒泼; 乖僻; 闹情绪 (厌烦而不听对方所说)	A:	たろう、ちょっと こっち きてみ。	太郎, 过来一下。
				B:	ふん! 知らないよ!	干嘛? 不去!
				A:	なに ぶすぐつちんだー。 (なんですねてるの。)(会津)	为什么闹情绪?
97	ぺあっこ(ぺっこ)	少し(副詞)	有点(副詞)	A:	例文なし	
				B:		
98	へば(せば、んだば)	では、じゃあね(別れのあいさつ)	再见(分别时的寒暄语)	A:	今日はどうもありがとうございました。	今天太感谢了。
				B:	へば まんずな。 (じゃあまたね。)(秋田)	改天见。
99	ほろぐ(ほろく、ほろぐ)	払い落とす、【仙・中・会】(財布などを)落としてなくす	掉落; 【仙・中・会】 (钱包等)丢失	A:	どうしたんですか?	怎么了?
				B:	なんか さいふ どっかに ほろったみでだな。 (なんだか財布をどこかに落としてなくしちゃったみたいだな。)(会津)	钱包好像丢在哪里了。
100	ほろだぐ	払い落とす	掉落	A:	ただいま。外、雪すごかったよ。	我回来了。外面雪好大。
				B:	まず ゆき ほろだけ。 (とりあえず雪を払い落としなさい。)(秋田)	先把雪掸掉。
101	まぜる	仲間に入れる	入伙	A:	これからみんなで飲みに行こう。	去喝一杯呀。
				B:	(話し相手とは別の人が)あー おれもまぜでくろー。 (あー、俺のことも仲間に入れてー。)(会津)	(和说话人不同的一个人)啊, 我也加入。
102	まで一に	丁寧に	好好(地)	A:	食器洗い終わったよ。	餐具都洗完了哦。
				B:	ん、まだ よごれちゅーなあ。まで一に あられ。 (ん、まだ汚れてるなあ。丁寧に洗ってよ。)(津軽)	嗯, 还有脏的地方。好好洗。

103	まね	だめだ、いけない、 (~しないと)いけない	不可以；不行；(不做) 不行	A:	あれ、どこか出かけるの？	啊啦，要去哪里吗？
				B:	んにゃー、こいから びよーいんさ い がねばまねんだね。 (いやー、これから病院にいかないとい けないんだよ。)(津軽)	嗯，现在必须要去趟医院。
104	みったぐね(み たぐね、みた ぐねあ)	みっともない(人が 見たくないと思う様 子、かっこわる い)、にくたらしい (≡腹立たしい、頭 に来る、ムカムカす る)	难看(不想让人看到的 样子、不好看)；令人讨 厌(≡惹人生气；发 怒；生气)	A:	ちょっと出かけてきます。	出去一下。
				B:	そんな みったぐねー かっこ すん な。 (そんなみっともない格好しないで。) (伊達)	不要那个难看的样子出去。
105	むつける(む ずける)	すねる、いじける、 ふてくされる(いや な気持ちがあって 相手のいうことを聞 かない)	撒泼；乖僻；闹情绪 (厌烦而不听对方所 说)	A:	えー、この前約束したのに、明日だめな の？！	哎，前段时间已经约好了的，明天 不行了吗？
				B:	そう むつけるな まず。 (そうすねないでよ、まあまあ。)(秋田)	别撒泼啊，算了。
106	むったり	一心に(一つのこ とにひたすら集中し ている様子)	专心(集中做某事的样 子)	A:	あの人本読んでますね。	那个人在读书呢。
				B:	ああ、さっきから むったり ほん よ んでるな。 (ああ、さっきからひたすら集中して本を 読んでるね。)(秋田)	啊，刚才就一直集中精神在读书。
107	めぐせ(みぐ せ)	みっともない、はず かしい	难看；难为情	A:	あのおじいさん、いつもパンツで歩いて るよ。	那个老爷爷，通常穿着内裤走路。
				B:	めぐせーよなー。 (みっともないな。)(伊達)	好丢人啊。
108	めごい(めんこ い、めんけ、 めげー)	かわいい	可爱	A:	これが私の子どもの写真です。	这是我孩子的照片。
				B:	あー、めんこいねー！ (あー、かわいいねー！)(伊達)	啊，好可爱。

109	やっこい(やっけ、やけあ)	柔らかい	柔软、软	A:	「んめ」の例文を参照	
				B:		
110	やっちゃかね(やっちゃげね)	役に立たない	不好用、没用	A:	この携帯、買ったばかりなのに、すぐ壊れちゃったよ。	刚买的电话就坏了。
				B:	そら やっちゃがねな一。 (それは役立たずだな一。)(会津)	不好用啊。
111	やばつい(やばち)	湿って気持ちが悪い、【秋】手などが汚れる、【伊】よろしくない、まずい	湿湿的不舒服; 【秋】手脏; 【伊】不好; 不顺利	A:	(食べ物を食べていて)あ、て やばつくなつた。 (あ、手が汚れちゃった。)(秋田)	(正在吃东西)啊, 手弄脏了。
				B:	あ、ティッシュをどうぞ。	嗯, 给你纸巾。
112	やむ(やめる)	病気になる、痛む、具合が悪くなる	生病; 难受; 不舒服	A:	最近あのおばあさん見ないですね。	最近没有看见那个老奶奶。
				B:	やんでらんでねーかー? (病気なんじゃないの?)(秋田)	莫不是生病了吧?
113	やんだおら(やんたおら、おらやんだ)	嫌だ(【会】では女性が使うことが多い)	讨厌(在【会】女性使用的多)	A:	ちょっとお金貸してくれませんか?	可以借给我我点钱吗?
				B:	おらやんだ。 (俺はいやだよ。)(伊達)	我不喜欢。
114	わらすっこ	子ども	孩子	A:	これ、うちの家族の写真です。	这是我家人的照片。
				B:	あーりゃ、かわいい わらすっこだごど。 (あーら、かわいい子どもだな一。)(伊達)	哎呀, 好可爱的孩子。
115	わらはんど(わらしやんだ)	子どもたち	孩子们	A:	これが私の家族の写真です。	这是我家人的照片。
				B:	めごい わらはんどだな。 (かわいい子どもたちだね。)(津軽)	好可爱的孩子们啊。
116	わらわら	急いで、早く	着急; 快点	A:	すみません、もうちょっと待っていただけますか?	不好意思, 可以再等我一会儿吗?
				B:	までね、わらわらど やれ。 (待てない、急いでやりなさい。)(伊達)	不等, 快点做!

117	わんつか(わずか)	少し、ちょっと(副詞)	有点；稍微(副词)	A:	あの、写真撮ってくれませんか？	对不起，可以给我拍个照片吗？
				B:	わずか みぎさ よってけれ。 (少し右に寄ってください。)(秋田)	请稍微靠右边点。
118	んだ	はい、うん、そうだ	是的；嗯；这样啊	A:	あ、齋藤さんですか？	啊，是斋藤吗？
				B:	んだ。 (はい。)(会津)	是的。
119	んだから(だから)	そうだよ、そうですね(同意)(※原因・理由を表すわけではない)	是这样；这样啊(同意)(※不是表示原因理由)	A:	あの人とってもいい人だね。	是个非常好的人。
				B:	んだがらー。 (そうですね。)(秋田)	是吧。
120	んにゃ(んでねあ)	いや	不	A:	このプリント、今日使いますか？	这个打印机，今天用吗？
				B:	んでね、あしたつかうんだ。 (いや、明日使うんだよ。)(伊達)	不，明天用。
121	んめ(んめあ、め)	おいしい	好吃	A:	このお肉どうですか？	这个肉怎么样？
				B:	あ、やっけて んめごと。 (あ、やわらかくておいしいなー。)(秋田)	嗯，很软很好吃。

第11章 韓国語への翻訳上の問題点

これまでは、英語と中国語に関する翻訳上の問題点について見てきた。本章では、『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』で採用した韓国語での翻訳上の問題点について考察する。

韓国語においても、これまで同様にまず意味範疇のずれによる問題、すなわち意味論的問題を考えることにする。そしてその中には、方言のほうが韓国語より意味範疇が広い場合と、方言のほうが韓国語より意味範疇が狭い場合が考えられる。また、必ずしも対応する適切な語がなく、説明的になってしまう場合もある。各問題点の詳細は後述していくが、以上を表にすると表17のようになる。

表17. 韓国語翻訳での意味論的問題の種類

I 意味論的問題		
I-a. 方言のほうが韓国語より意味範疇が広い	I-b. 方言のほうが韓国語より意味範疇が狭い	I-c. 韓国語に適切な語がなく説明的になる

本章では、方言集用に翻訳を依頼した項目について、上記のような問題点について考察していく。調査方法としては、韓国語翻訳担当者に翻訳依頼した際の翻訳リスト（資料9『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（韓国語））を改めて見てもらいながら、インタビュー形式による各項目の意味やその他方言との違いについて聞き取り調査を実施した。

韓国語翻訳担当者は韓国在住の韓国女性で、日本語学や日本語教育学を専門とした研究者であるため、韓国語翻訳及び本調査の協力者として最適であると判断し、依頼した。インタビューは翻訳担当者の2度の来日の際に協力していただいた。

本章においても「例文」という表現が現れるが、これは前章までと同様、方言集の各方言項目について作成した例文のことである。本章で扱う各項目の詳細については、本章末尾にある資料9『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（韓国語）を参照されたい。

なお、これまで同様方言形式は【 】, それに相当する標準語は《 》、具体的な意味は〔 〕で括る。

11.1. 方言のほうが韓国語より意味範疇が広い場合

まず考えられるのは、東北方言の語のほうが韓国語の該当する語より意味範疇が広い場合である。例えば、主に北東北で用いられる【～はんで（～はで）】に見ていく。これは標準語でいう《～から》に相当する接続助詞である。標準語で考える際は意味範疇も《～から》もほぼ同じなので問題はない。しかし、韓国語の対応する語を考えると、“～(다)때문에”と“～(다)으니까”の二つが該当し、両者の示す意味は異なり、両者で接続する文との関係が変わる。前者の場合は、“설탕이 떨어졌기때문에 커피를 마실 수 없어.”（砂糖が切れたから、コーヒーが飲めない）のように、前節文が後節文の直接的な原因・理由を示し、因果関係を示す。しかし、後者の場合は、“설탕이 거의 떨어졌으니까 설탕을 사와.”（砂糖が切れたから、砂糖を買ってきて）のように後節文の依

頼や勧誘の理由を前節文が示すという構造になる。このように韓国語では別の表現に分かれる機能は、【～はんで】や《～から》はどちらにも使うことができる。これを図に示すと図 57 のようになる。

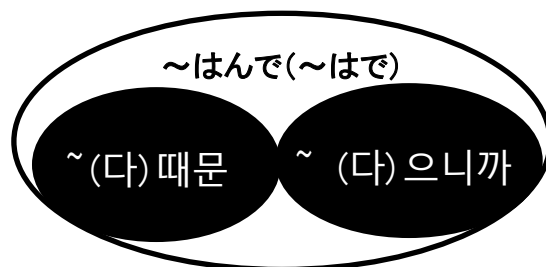


図57. 【～はんで (～はで)】における東北方言と韓国語の意味範疇の関係図

これを方言の意味範疇を D、韓国語の意味範疇を K として一般化すると、I-a.を示す図として図 58 のように示すことができる。東北方言では一つの語で表すことができる意味を、韓国語では複数の語によってその意味範疇が分けられているという場合を示している。

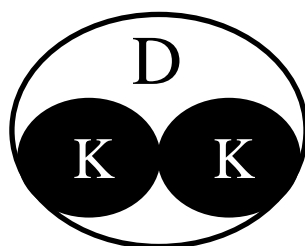


図58. 方言のほうが韓国語より意味範疇が広い場合 (I-a.型)

以下、この I-a.型に該当する項目を記す。

【～さる】 [つい・うっかり～する、自然に・勝手に～する、たまたま～する] …“이내 깜빡 잊고 ~하는” (つい・うっかり～する)、“자연히 · 마음대로 ~하는” (自然に・勝手に～する)、“우연히 ~하는” (たまたま～する)。

【～はんで (～はで)】 【～すけ (～す)】 [～ (だ) から] …“~(다)때문에” (～から) と“~(다)으니까” (～ので) があるが、両者で接続する文との関係が変わる。“설탕이 떨어졌기때문에 커피를 마실 수 없어.” (砂糖が切れたから、コーヒーが飲めない)、“설탕이 거의 떨어졌으니까 설탕을 사와.” (砂糖が切れたから、砂糖を買ってきて) 。【～はんで】にこの区別はない。

【～ら】 [～ (て) いる、～ (て) いた] …“~있는” (～ている)、“~있었다” (～ていた)。

【あじゃらだ (あじゃらになる)】 [みっともない、いい加減だ] …“꼴불견” (みっともない)、“적당히 하다(허술하다)” (適当にする)。例文は「先生の教え方」なので、先生への評価に対しては婉曲的に「適当にするほうだよ」とした。

【あずましー】 [心地よい、気持ちいい] …“편안하다” (心地よい)、“기분 좋다” (気持ちいい)。温泉は [気持ちいい] になるので例文では後者を使った。

【あんべわり】 [具合が悪い、病気だ、都合がよくない] …“상태가 나쁜” (状態が悪い)、“병이다” (病気である)、“사정이 좋지 않다” (事情がよくない)。ただし例文では“몸 상태가 좋지

않아요.”(体の状態がよくない)とした。体を入れないと機械等の物にも使える(標準語の《調子が悪い》と同じ)。

【いいあんべ(いあんべ)】〔ちょうどいい、心地いい〕…“딱 좋은”(ちょうどいい)、“기분 좋은”(気持ちいい)。前者は後者より範囲が広い。例文は“응 어디 보자 ... 아 좋은 느낌이네”(んーどれどれ…あーいい感じだね。)と日本語訳に合わせて書いたが“딱 좋으네”(ちょうどいいね)のほうが使う。

【おしよし(おしょうし、おしよす)】【しょし】〔はずかしい〕…“창피하다”ははずかしいできごと、はずかしい性格どっちも使い、人にも事にも使える。恥をかく意味にも、やましい意味に使える。シャイな(照れくさい)性格の場合は“씩스럽다”

【おだつ】〔はしゃぐ、調子に乗る〕…“소란을 피우다”(子供などが騒いだりする)、“갑죽거리다”(調子に乗る、偉そうにする)。ただし普段あまり使ったり聞いたことがない。

【かせる²(かへる)】〔食べさせる〕…“먹이다”(食べさせる)は子供の口まで運んでも、子供自らの手で食べても使える、強制や許可というより子供に与える物というイメージ。【かせる²】はいずれの意味でも使用される。

【かちゃくちゃね】〔物事が進まずイライラする、ややこしい、散らかっている〕…“초조하다”は〔もどかしい〕意味で、なかなか物事が進まないことに対して言う。腹が立つような不快なことがあった時には、“속이 상해 화가 나다”(腹が立つ)や“감질나다”(じれったい)という。

【かちゃぺね】〔しっかりしていない、壊れやすい、軽率な〕…“단단하지 않다”(しっかりしていない)、“깨지기 쉽다”(壊れやすい)、“경솔한”(軽率な)例文では“가냘픈”(細くて弱々しい)を使用。

【きみ】【とーきび(とーきみ、とーぎみ、とーみぎ、とーみに)】〔とうもろこし〕…“옥수수”で「とうもろこし」そのものも「とうもろこしの粒」も指せるが、粒を厳密に言い分けるなら“옥수수알”と言う。【きみ】や【とーきび】にはその区別はない。

【け(けー)】〔食べなさい、ちょうだい、かゆい、(秋田)来なさい〕…“먹으십시오”(食べなさい)、“주세요”(ちょうだい)、“가렵다”(かゆい)、“오십시오”(来なさい)。

【ごんぼまる】〔だだをこねる(わがまを言うて言うことをきかない)〕…“떼를 쓰다”(だだをこねる)、“응석을 부리다”(甘ったれる)。例文はおもちゃをしつこく欲しがる子どもに対するものだったので“앙탈을 부리지마.”(わがまを言うな)にした。

【ちよす】〔いじる、さわる〕…“주무르다”(揉む、ずっと触っている感じ)、“만지다”(少し触る感じ)。

【なげる】〔捨てる〕…“버리다”(捨てる)。【なげる】には〔投げる〕の意味も含まれるが、韓国語は〔投げる〕は別で“버리다”には〔捨てる〕意味しかない。

【のぜる】〔のどにつまる、吐きそうになる(オエツとなる)〕…“목이 막히다”(つまる)、“토할것 같다”(吐きそうになる)。

【ひとめわりー】【めぐせ(みぐせ)】〔みっともない、はずかしい〕…“꼴사나운”(みっともない)は格好にも行動にも使える。“부끄럽다”(かっこわるい、はずかしい)。

【へば(せば、んだば)】〔では、じゃあね(別れのあいさつ)〕…“그럼”(では)だけでは別れられないが、相手に気持ちは伝えられる。

【ほろぐ(ほろく、ほろぐ)】〔払い落とす、(仙台・中通り・会津)(財布などを)落としてなくす〕…“떨어내다”(雪、ほこり、水滴などを払い落とす)、ポケットをひっくり返してごみをとることも言える。“떨어뜨려 잃다”は〔どこかに入れていたものを落としてなくす〕意味なので、「くっついていたらものが離れる」ニュアンス。

11.2. 方言のほうが韓国語より意味範疇が狭い場合

東北方言の語のほうが韓国語のそれより意味範疇が広い場合があれば、もちろんその逆、つまり東北方言の語のほうが韓国語の該当する語より意味範疇が狭い場合も存在する。

具体例として【かせるり】を挙げる。【かせるり】は主に福島県で用いられる方言で、〔漆などに触れて皮膚が赤くなったりかゆくなったりする〕意味を示し、標準語では《かぶれる》に相当する。これを韓国語に当てはめると、“염증이 생기다”（炎症が起きる）という表現も可能だが、“타다”も用いられる。しかし、“타다”には次のように非常に多くの意味がある。①乗り物などに乗る（乗り込む）、②機会を利用する、③燃える、燃焼する、日焼けする、焦げる、④かぶれる（例：“옷을 타다”（漆にかぶれる））、⑤（恥じらいなどに）敏感である（例：“부끄러움을 타다”（恥かしがる））、“간지름을 타다”（くすぐったがる））、⑥季節まける（例：“여름을 타다”（夏まけ・夏バテ・夏やせする））、⑦賞、給与などをもらう、縁起などの影響を受ける（例：“부정을 타다”（たたりを受ける、縁起が悪い））、⑧頭の髪の毛を左右に分ける、⑨液体・固体などを混ぜる、割る、⑩弦楽器などを弾く、奏でる、⑪山などに登る、⑫(物などを)だれか持って行く人がいるのでよく無くなる、⑬綿を打つ。

ここでは語義が多いため方言語形ではなく“타다”の意味に対応するものを図に示すと、図59のように【かぶれる】のみが【かせる】に対応することがわかる。

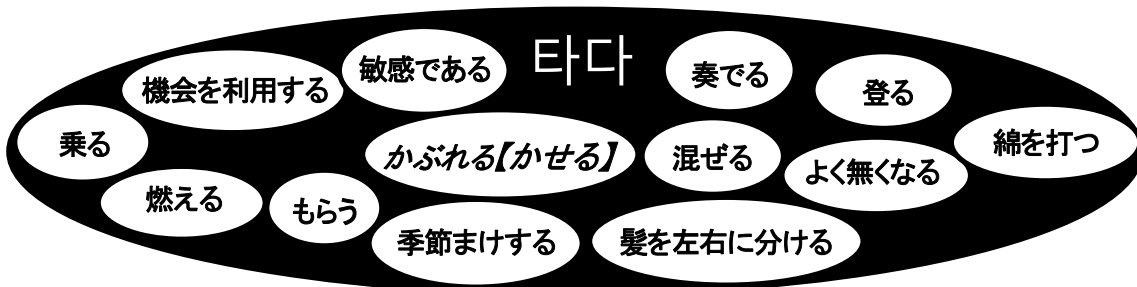


図59. 方言のほうが韓国語より意味範疇が狭い場合 (I-b.型)

一般化すると I-b.を示す図として図 60 のようになる。I-a.の場合とは正反対で、韓国語では一つの語で表すことができる意味を、東北方言では複数の語によってその意味範疇が分けられているという場合を示している。

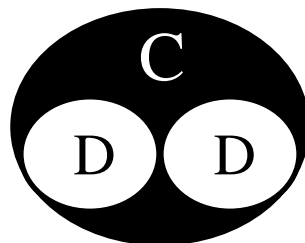


図60. 方言のほうが韓国語より意味範疇が狭い場合 (I-b.型)

以下、この I-b.型に該当する項目を挙げる。

- 【～える】〔(環境や状況のために)～できる(「能力があってできる」とは別)〕…韓国語に状況可能・能力可能の区別はなく、訳としては“(환경이나 상황 때문에)~ 할 수 있다(「능력 있어 할 수 있는」과는 별도)”(環境や状況のために)～できる(「能力があってできる」とは別)と直訳した。
- 【あさぐ】〔歩く〕…訳は“걸다”(歩く)だが、「穀物を収穫する」意味もある。ただし一般的には「歩く」の意味で用いられる。【あさぐ】は〔歩く〕意味のみ。
- 【うだで】〔気持ちが悪い、(津軽)大変だ〕…“기분이 나쁘다”(気分が悪い)は病気の時も、嫌なことがあった時も、不快感がある時も使える。ただし、〔いやらしい〕や〔気味が悪い〕の意味もある。
- 【うるかす(うるがす)】〔(米などの乾燥した物を)水につける、(仙台・中通り・会津)使用後の食器に水を張る、(秋田)話を保留にする〕…“담그다”(水などの液体に)つける)と訳されるが、乾燥物も、食器も、身体も、それ以外にも使用可能。【うるかす】は乾燥物が食器。
- 【おがる】〔大きくなる〕…“커지다”(変化を伴って、あるいは以前と比較して大きくなる)、“크다”(大きい)、風船やお腹にも使える。面積だけ大きくなる場合は言えない。【おがる】の場合は動植物のみで、無生物には使えない。
- 【おちる(おじる、おずる)】〔降りる、下車する〕…“내리다”をよく使う。訳としては“하차하다”も記載したが、あまり聞かない。下車も、値下げも、高速道路も、山も、カーテンも、温度も使える。〔降りる〕のみならず〔降ろす〕〔下がる〕〔下げる〕なども含まれる。【おちる】は〔降りる〕の意味のみ。
- 【おぼんです】〔こんばんは〕…“안녕하세요”は朝昼晩関係なく使われる挨拶。
- 【かせる 1】〔かぶれる(植物、繊維、金属、薬品などで皮膚が赤くなったりかゆくなったりする)〕…“타다”(乗る)意味もある)。“오르다”(上る)意味もある)は若い人はあまり使わないと思われる。“염증이 생기다”(炎症が起きる)も一般的に用いられる。
- 【がっこ】〔つけもの〕…“절임”(動詞“절이다”から名詞化、塩漬けに近い、動詞では肉や魚にも使える)、“김치”(野菜のみ、キムチを含めた漬物一般)。
- 【かんじる】【しばれる(すばれる)】〔とても寒い〕…“매우 추운”(とても寒い)。例文では“너무 춥군요”(とても寒い+“군요”よね)を用いた。
- 【しなっこい(しなっけ、すなこえ)】〔しなやか、食べ物がなかなか噛み切りにくい感じ〕…例文では“잘 못 씹어”(なかなか噛みにくいよ)にしたが、“질기다”(するめなどが噛み切れない、人がなかなか離れない、しつこい)のほうが適当だったとのこと。ただしその場合、【しなっこい】には〔人がなかなか離れない〕や〔しつこい〕意味はない。
- 【すける】〔手伝う〕…“돕다”は〔肉体的、精神的、金銭的などに援助する〕以外にも〔救助する、救出する〕意味もある。【すける】は〔手伝う〕意味で用いられる。
- 【ずねー】〔大きい〕…“크다”(大きい)は物だけでなく、人、抽象的なもの(例:心が大きい(広い))、空間(例:部屋が大きい)などにも使える。【すねー】は抽象的なものや空間には使えない。
- 【たんげ】〔すごく、とても〕…“아주”や“매우”が訳として当てはまる。教科書では“매우”が多い気がするが、肯定的な意味を含む感じ。「とても汚い」のような否定的な場合は“매우”も使えないが“아주”のほうが合っている感じがする。“정말”(本当に)、“굉장히”(ものすごく)もある。【たんげ】は肯定的な場合に使い、否定的にはあまり使わずその際は【うだで】を使う。
- 【だんだん】〔もうすぐ、そろそろ〕…“이제”(そろそろ)には〔今〕や〔まだ〕の意味もある。例文では“이제 곧”(まもなく)を用いた。

- 【つかかけ】〔サンダル〕…“샌들”は足全体を覆っていないものが全て含まれるため、女性用のおしゃれなものまで含まれるが、【つかかけ】は簡単に外（家の周囲）に出るためのものなのでファッション性に優れたものは指さない。
- 【なんでかんで】訳として“아무리 해도”や“무슨 일이 있어도”を記載したがこれらは否定形が多い。もう一つ記載した“어떻게든”は肯定形に接続し、「どうしても」以外にも楽観的な「なんとか（なる）」の意味にも使える。【なんでかんで】は肯定に使えるが、〔どうしても〕〔なんとかして〕の意味のみで〔なんとか（なる）〕の意味には使わない。
- 【にやにやする】〔お腹や胃に違和感がある、お腹や胃の調子が悪い〕…“배와 위 상태가 나쁘다”（お腹と胃の調子が悪い）と訳したが、【あんべわり】を意味する“상태가 나쁘다”を、胃腸に限定しているのみで直接該当する語はない。
- 【ねっばす】〔のりやテープでつける〕…“붙이다”（つける）は、何かと何かがかくつつく意味。〔貼る〕のみでく飾りをつける場合や火をつける場合、また、〔けんかをさせる〕意味もある。【ねっばす】はのりやテープなどの粘着性のあるものでつける意味。
- 【ほろだぐ】〔払い落とす〕…“떨어내다”（雪、ほこり、水滴を払い落とす）、ポケットをひっくり返してごみをとることも言う。【ほろだぐ】は衣服などの表面を払うのみ。
- 【まで一に】〔丁寧に〕…“정성스럽게”（丁寧に、念入りに）、丁寧に接するでも、丁寧に洗うでも可。しかし【まで一に】は〔丁寧に接する〕意味には使えない
- 【わらすっこ】〔子ども〕、【わらはんど（わらしゃんだ）】〔子どもたち〕…“아이”は赤ちゃんから小学校低学年ぐらいまでの未成年に言え、また自分の息子・娘では何歳でも“아이”と言える。【わらすっこ】や【わらはんど】は自分の子供に限らず小学生ぐらいまでしか言えない。

11.3. 韓国語に適切な語がなく説明的になる場合

上記 I-a. と I-b. の場合では、意味範疇の違いはあるものの、おおよそ該当する語がある場合を見てきた。しかし、必ずしも該当する語があるわけではなく、説明的にならざるを得ない場合もある。

例えば、主に福島県以外の東北諸地域で用いられる【やばつい（やばち）】は、標準語にも適当な語がなく、地域によっていくつかの意味があるが、全域の共通の意味としては〔水滴や湿気などで不快だ〕になる。実は、湿気によって気持ちわるいという意味で韓国語に“후덥지근하다”という表現があるが、これは「蒸し暑くて息苦しい」という意味である。一方で【やばつい（やばち）】は雨に濡れた時、上から冷たい水滴が垂れてきた時、生乾きのシャツを着た時など、暑さには関係なく、むしろ熱くはない水分による不快感を表明する場合に用いられるため、韓国語の先の語とは意味が異なる。そのため、方言集では“습하고 기분이 나쁜”（湿って気持ちが悪い）と説明的に書かざるを得なかった。このような場合、つまり I-c. を図示すると図 61 のようにすることができる。

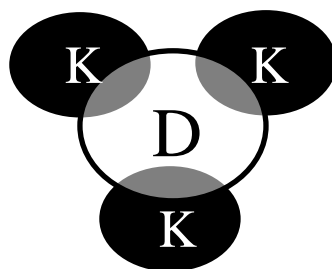


図61. 韓国語に適切な語がなく説明的になる場合（I-c.型）

以下、このI-c.型に該当する項目を列挙する。

【～がね? (～がねか?)】〔～(して) かない?〕…“～(해) 하지 않을래(요)?”～しない? (しませんか?)になる。例文は“들렀다 가지않을래?”(寄っていかない?)になるが「～ていく」はあまり言わない(“가지”が行く)。ただし非文ではない。“화장실에 갔다오다”(トイレに行ってくる)のように「～てくる」も可。

【～っけ (一)】〔～(な) んだ(相手に情報を与えるときに使う)〕…「～なんだよ」「～0p」になるが、例文の文脈ではこれに相当しない。“는데”(～けど、～が)は情報提供には限らず状況説明(逆接的な場合や「～ところ」という場合も使う)に用いられる。【～っけ】には証拠性が含まれるが、韓国語の当該訳語には含まれない。

【えずい(いずい、えんつこい、えんつけあ、えんず)】〔目のごみまがごろごろする、違和感がある、変な感じがする、居心地が悪い〕…例文では“씩 맘에 들지 않아요”(あまり気にいらぬいよ)を使用したか、【いずい】の意味とぴったり合わぬい。しいて言えぬ“이상한 느낌이 들다”(変な感じがする)になる。人の物を借りた感じ。

【きどころね(きどこね)】〔寝るつもりがないのに(服を着たまま)寝てしまふ〕…例文は“아침에 일어나니 옷을 입은 채로 자고있었어.”(朝起きたら、服をきたまま寝ていた)とのまま訳した。ちようにどいい表現がない。

【きゃっぱりする(きゃっぱりをとる、かわっぺありする、かっぱをとる)】〔靴の中に水が入る、川に落ちる〕…例文は“아, 거기에서 웅덩이를 밟아 신발에 물이 들어가 버렸어말이야”(あ、あそこで水たまりを踏んで、靴の中に水が入ってしまったんだけどね)と直訳的になった。ちようにどいい表現がない。

【すっぱね(すぱね、しっぱね)】〔“진흙탕물”(泥水)としか訳せぬいがない、はねている意味はないので、“웅덩이 등을 사람이나 차가 지나갈 때 튀기는 물”(水たまりなどを人や車が通った時にかかる水)と説明的にならざるを得なかった。例文も“아, 진흙탕물이 튀겼다.”(泥水がかかった)と単に「泥水」と訳してある。

【ながまる】〔横になる、足を伸ばして休む〕、【ねまる】〔(床や地面に)座る、休む〕…韓国語では座ったり休んだりする際に足を伸ばすかどうかはあまり関係ない。【ながまる】の例文は“아, 거기에서 (다리를 뻗고)쉬렴.”(あ、そこで(足を伸ばして)休んだら)と訳した。

【はなだんぼ】〔鼻にティッシュをつめること〕…適当な語がない。“휴지를 넣어 두기”(鼻にティッシュを入れておくこと)と説明的に訳した。

【やばつい(やばち)】〔湿って気持ちが悪い、(秋田)手などが汚れる、(伊達)よろしくない、まずい〕…〔湿気で気持ちわるい〕という意味で“후덥지근하다”があるが、これは〔蒸し暑くて息苦しい〕意味であり、【やばつい】は雨に濡れたり、上から冷たい水滴が垂れてきたり、生乾きのシャツを着た時など暑さには関係なく、むしろ熱くない水分による不快感に使う。

11.4. 意味論以外の問題

韓国語においても、意味論的問題だけでは説明できない問題が存在する。以下に詳しく分類して見ていく。

11.4.1. 発音規則

前章までの英語や中国語の場合と同様に韓国語に関わる直接的な問題とは言えないが、韓国語母語話者の方言学習を助けるものではある。ここに該当するのは前章までと同じ【～っちゃ】と【あるって】の2項目であり、韓国語が直接関わるわけではないので、ここでは説明を省略する。

11.4.2. テンス・アスペクト

【おたった】は主に青森県津軽地方で用いられる動詞で、標準語でいうと《疲れた》になる。【おたった】は現在形としては【おたる】になるのだが、【おたる】という形式よりもむしろ【おたった】のほうがよく使われる。韓国語では“피곤하다”が「疲れる」の意味だが、例文では“힘들다”（大変だ）を使用している。どちらにしても【おたった】の場合のようにテンス・アスペクトの制限があるわけではない。

同様に主に北東北で用いられる【どでんした（どでした）】は、標準語で《びっくりした》を指すが、現在形の【どでんする（どでする）】よりも【どでんした（どでした）】で用いられる。韓国語の該当する語としては“놀래다”があるが、今驚かされた場合は“놀래다”や“놀랬잖아”になり、「この話を聞いたらきっと驚くよ」のような未来の場合は“놀랄거야”のように未来・意志形になる。

このように、韓国語との対照においてもテンス・アスペクトの制限に関わる差異が見られた。

11.4.3. 人称

【うすらかすらする（うらからする）】は主に福島県や岩手県などで用いられる表現で、標準語では《うろうろする》に近いのだが厳密には「周りに迷惑をかけないように気を配らないで、うろうろしたりもたもたしたりする」というかなり限定的な意味合いを持つ。韓国語の相当する表現としては“빈둥 거리는”（することがなくて行ったり来たりする状態），“서성거리는”（何かやりたいことがあって行ったり来たりする状態、迷う、歩き回る）がある。【うすらかすらする】の特徴として、主語に一人称を置くことができない。韓国語の場合は、前者“빈둥 거리는”については【うすらかすらする】同様に一人称を主語に置くことができないが、後者“서성거리는”は一人称を主語に置くことが可能である。【うすらかすらする】には、することがあるかないかの区別は明確にはないので、両者の中間的な位置付けにあるともいえる。

また、主に東北地方全域で用いられる【ちゃっちゃど（ちゃっちゃと、ちゃちゃど）】や、主に宮城県以北の太平洋側で用いられる【わらわら】はどちらも標準語でいう《さっさと》に相当する語である。これらを用いる場合、主語は二人称であるという場合が自然であり、「*私はちゃっちゃどする」のような場合は不自然である。これに当たる韓国語の表現は“빨랑빨랑”や“빨리”がある。“빨랑빨랑”は意味が強く、“빨랑빨랑 걸어라”（さっさと歩け）のように、上からの依頼や命令、または親しい間柄でよく使われる。“빨리”のほうは日本語の「早く、とっとと、さっさと、素早く」などの多様な意味で使われる。「(私は) さっさとします」の意味で“*나는 빨랑빨랑 합니다”は不自然だが、“나는 빨리 합니다”は違和感なく使用できる。

このように、人称の制限に差異がある場合が見られた。

11.4.4. 表現の対象

東北方言と韓国語において、語の意味範疇はそれほど変わらないが、その語を言える対象が異なる場合がいくつかあった。例として主に会津地方で使われる【かめこ(かめっこ)】を挙げる。これは標準語では《人見知り》に該当する。韓国語では“낯가림하다”に当たるのだが、これは子供でも大人でもすることで、親しくなったら変わるものとされている。しかし、【かめこ】は子供のみ用いられる表現で、大人に対しては使用できない。以下に、語の意味範疇はさほど変わらないが、言える対象が異なるものを列挙する。

【あめる】〔料理が腐る、(南部) (髪などが) べたべたする〕…“부패하다”は食べ物(材料もOK)、“썩다”(植物や水、食べ物以外は特に使える、比較的なんでも)、“부패하다, 상하다”(主に食べ物)、“타락하다”(人の心など)。【あめる】は主に調理したものに使われる。

【おんずくなし(おんじくなし)】〔臆病者、(会津) ばか〕…“바보”は人や動物に使うが、事につくことも可能で、“이런 바보 같은 짓을 했어?”(こんなバカなことしたの?!)のようになる。【おんずくなし(おんじくなし)】は人や動物にのみ使用される。

【ぶすくれる(ぶじくれる)】【むつける(むずける)】〔すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあつて相手のいうことを聞かない)〕…“뺨치다”(すねる)を方言集の主要な訳としたが、他にも“토라진다”(すねた状態になる)、“토라지다”(すねる)、“뺨들어지다”(不満があつた場合に怒ったりしないで不快表明する)などの表現がある。いずれにしても対象は子供か女性に限定される。【ぶすくれる】【むつける】は大人の男性も可能。

【みったぐね(みたぐね、みたぐねあ)】〔みっともない(人が見たくないと思う様子、かっこわるい)、にくたらしい(≒腹立たしい、頭に来る、ムカムカする)〕…“뱃살스럽다”は「腹が立つ」、見ていると殴りたくなる感じ。相手に直接言うことはあまりなく、第三者には「あのひとはにくたらしい人だね。」と言う感じで使える。動物、ぬいぐるみ、人形にも言える。【みったぐね】は相手にも第三者にも問題なく言える。

【めごい(めんこい、めんけ、めげー)】〔かわいい〕…“귀엽다”は子供にはいうが大人にはあまり言わない。男の子も女の子、「小さくてかわいい花」のように動植物にも言える。また、身体部位にも使える。【めごい】は大人にも言える。

【やっちゃかね(やっちゃげね)】〔役に立たない〕…“쓸모 없다”(役に立たない)は人にも物にも使えるが、物のほうがよく使う。人に使うとかなりの悪口。【やっちゃかね】は罵倒語ではあるが、かなり悪口というわけではない。

11.4.5. ムード

主に南東北の太平洋側や北東北の日本海側で用いられる【けっぱる】は、標準語で《頑張る》に相当する。韓国語では“힘내다”が対応する。しかし、命令形に当たる“힘내!”(頑張れ!)は自分には言えず、自分に言う場合は“힘내자”(頑張ろう)という意志・勧誘形が使用でき、これは相手にも言える。【けっぱる】の場合は、ムードの制限はない。このように、韓国語との間にムードの違いがある場合も見られた。

11.4.6. 敬意

【んめ(んめあ、め)】は東北地方ほぼ全域で用いられる「おいしい」を示す表現である。韓国語では“맛있다”が「おいしい」に該当する表現である。質問する際は“맛있어요?”(おいしいですか?)を親しい間柄で使えるのだが、丁寧に聞きたい場合は“맛이 어때요?”(味はどうですか?)や“맛이 괜찮나요?”(味は大丈夫ですか?)といった“맛있다”を用いない表現にする必要がある。

前章でも述べたように福島県会津方言などのような敬語体系の存在する地域では、【んめ】についての質問として、「んめが？」（おいしい？）という丁寧さの含まれない質問に対し「んめがし？」（おいしいですか？）と【～す（～し）】を下接することで丁寧に言うことが可能で、韓国語と異なり【んめ】のまま丁寧に聞くことができる。

11.4.7. 言い回し

東北地方全域で用いられる【やっこい（やっけ、やけあ）】は、標準語で《柔らかい》に当たる語で、韓国語では“부드럽다”に相当する。対象については食べ物、身体、布団やマットなど、【やっこい（やっけ、やけあ）】及び標準語《柔らかい》とほぼ同じである。しかし、[考え方などに柔軟性がある]意味として東北方言で「頭がやっこい」（頭が柔らかい）と言えるのだが、韓国語では同様の意味を示すには“머리가 잘 돌다”（頭がよく回る）という言い回しを用いる。つまり、東北方言話者から「おめ、あたまやっけな」（あなたは考え方が柔軟だね）と言われた時に、理解が難しい可能性が推測される。

11.5. まとめ

以上から、東北方言から韓国語への翻訳上の問題点を改めて細分化すると、「I 意味論的問題」には前述のように「I-a. 方言のほうが韓国語より意味範疇が広い」「I-b. 方言のほうが韓国語より意味範疇が狭い」「I-c. 韓国語に適切な語がなく説明的になる」の3つの場合が存在し、その他にも「II 意味論以外の問題」として「II-a. 発音規則」「II-b. テンス・アスペクト」「II-c. 人称」「II-d. 表現の対象」「II-e. ムード」「II-f. 敬意」「II-g. 言い回し」の7つの問題点が明らかになった。これらを表にまとめると、表18のように示すことができる。

表18. 韓国語への翻訳上の問題点

I 意味 論 的 問 題	I-a. 方言のほうが韓国語より意味範疇が広い
	I-b. 方言のほうが韓国語より意味範疇が狭い
	I-c. 韓国語に適切な語がなく説明的になる
II 意 味 論 以 外 の 問 題	II-a. 発音規則
	II-b. テンス・アスペクト
	II-c. 人称
	II-d. 表現の対象
	II-e. ムード
	II-f. 敬意
	II-g. 言い回し

以上、本章では『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』を用いて、東北方言から韓国語への翻訳の際に見られる問題点について考察した。韓国語では、前章までの英語や中国語との対照研究の際に見られたものと同様の問題点も見られたが、また新たに別の問題点についても明らかとなった。

東北地方の在留外国人の中では韓国籍は中国籍に次いで多い。当然帰化したケースも少なくない。このような東北方言と韓国語の対照研究が東北地方の外国人住民の方言学習について考える際に参考になれば幸いである。次章ではインドネシア語への翻訳上の問題点について記していく。

資料9 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト(韓国語)

	方言	意味	意味翻訳	例文	例文翻訳
1	~える	(環境や状況のために)~できる (「能力があつてできる」とは別)	(환경이나 상황 때문에)~할 수 있다(「능력이 있어 할 수 있는」과는 별도)	A: ねえ、市役所から手紙が来たけど、なんて書いてあるの?	여보, 시청에서 편지가 왔는데 뭐라고 적고 있어?
				B: うーん、へや くらくて よまえねな。 (うーん、部屋が暗くて読めないな。) (津軽)	음, 방이 어두워서 못 읽겠네.
2	~がね?(~がねか?)	~(して)かない?	~(해) 하지 않을래(요)?	A: あ、すみません、ちょっと話があるんですけど大丈夫ですか?	아, 미안, 잠깐 이야기가 있는데, 괜찮습니까?
				B: あ、へば おらえさ よつてがねか? (あ、じゃあ私の家に寄っていかない?)(秋田)	아, 그럼 저희 집에 들렀다 가지 않을래(요)?
3	~さる	つい・うっかり~する、自然に・勝手に~する、たまたま~する	이내 깜빡 잊고 ~하는, 자연히·마음대로 ~하는, 우연히 ~하는	A: 昨日、山田さんが私に会いに来てたらしいね。	어제, 야마다 씨가 나를 만나러 왔던 것 같네요.
				B: ん、なの えのめ とおつたずきに たまたま やず みらさつたや。 (うん、君の家の前を通ったときに偶然彼を見かけたよ。)(津軽)	응, 너의 집 앞을 지났잖을 때 우연히 그를 봤어.
4	~す(~し)	~です(丁寧な言い方)	~입니다(정중한 표현)	A: こんにちはー。今日は寒いですね。	안녕하세요-. 오늘은 춥네요.
				B: んだなす。 (そうですね。)(会津)	그렇네요.
5	~すけ(~す)	~(だ)から	~(다)니까	A: 例文なし	
				B:	
6	~つけ(ー)	~(な)んだ(相手に情報を与えるときに使う)	~(마)야(상대에게 정보를 줄 때 사용)	A: そういえば、隣の家山田さん、引っ越したみたいなんですよ。	그리고 보니 옆집 야마다 씨, 이사한 것 같아요.
				B: あ、そっかー。さっきとおつたつけど、いえのまえ なんも なくなつてでよー。 (あ、そうかー。さっき通つたんだけど、家の前に何もなくなつてさ。)(会津)	아, 그렇구나 아까 지났잖을데, 집 앞에 아무것도 없었어.

7	~っちゃ	「~れた」の省略形 (疲れた→つかっ ちゃ、食われた→く わっちゃ)	「~れた」의 약어 (tsukareta→tsukatcha 지쳐버린, kuwareta→kuwatcha 먹어 버린)	A: あれ? バッグどうしたの?	어? 가방 무슨 일이야?
				B: あー、だれがに もってがっちゃ。 (あー、誰かに持っていかれちゃっ た。)(会津)	아, 누군가가 빼앗 가 버렸어.
8	~はんで(~ はで)	~(だ)から	~(다)때문에, ~ (다)으니까	A: これから買い物に行ってくるけど、何 かほしいものある?	지금부터 쇼핑을 가고 있는데, 갖고 싶은 거 있어?
				B: そろそろ さどー なくなってきたはん で、さどー かってきてけ。 (そろそろ砂糖がなくなってきたから、 砂糖を買ってきて。)(津軽)	설탕이 거의 없어졌으니까 설탕을 사와.
9	~びよん(~ べおん、~べ お)	~だろうね	~것일거야, ~겠지	A: 今夜はとても寒いね。	오늘밤은 아주 춥네.
				B: あす ゆぎ ふるびよん。 (明日は雪が降るだろうね。)(津軽)	내일은 눈이 내리겠지.
10	~ら	~(て)いる、~ (て)いた	~있는, ~있었다	A: ちょっと外行きませんか?	잠시 밖으로 가지 않겠습니까?
				B: あめ ふってらやー? (雨が降ってるよ?)(秋田)	비가 내리고 있는데요?
11	あさぐ	歩く	걷다	A: (道路で)すみません、この近くにコン ビニはありますか?	(도로에서) 죄송합니다, 이 근처에 편의점은 있습니까?
				B: このみぢば まっすぐ あさいだら あ るや。 (この道をまっすぐ歩くとあるよ。)(津 軽)	이 길을 곧장 걸으시면 있어요.
12	あじやらだ(あ じやらになる)	みっともない、いい 加減だ	꼴불견, 적당히 하다(허술하다)	A: あの先生の教え方、どうですか?	저 선생님의 교수법, 어떻습니까?
				B: あじやらだな。 (いいかげんだな。)(伊達)	적당히 하는 편이야. (허술한 편이야.)
13	あずましー	心地よい、気持ち いい	편안하다, 기분 좋다	A: 昨日温泉に行ったみたいだけど、どう だった?	어제 온천에 갔을 것 같지만, 어땠어?
				B: ああ、あずましたなー。 (ああ、気持ちよかったよー。)(津軽)	아아, 기분 좋았어-

14	あめる	料理が腐る、【南】 (髪などが)べたべたする	요리가 부패하다,【南】(머리 등) 끈적 끈적하다	A:	おかず食べますか?	반찬 먹을래요?
				B:	おやおや… これ あめでらや。 (おやおや…これ悪くなってるよ。)(秋田)	어이구 ...이것 못 먹게 됐어요.
15	あるって	歩いて	걸어	A:	すみません、駅まで行きたいんですけど…。	미안합니다. 역까지 가고 싶은데요
				B:	このみち まっすぐ あるってぐど、 そのうち つぐがら。 (この道をまっすぐ歩いていくと、そのうち着くよ。)(会津)	이 길을 곧장 걸어 가면 머지않아 도착해요.
16	あんべわり	具合が悪い、病気だ、都合がよくない	상태가 나쁜, 병이다, 사정이 좋지 않다	A:	あ、どうしたんですか?	아, 어떻게 된 건가요?
				B:	あんべわりー。 (具合が悪いなー。)(秋田)	몸 상태가 좋지 않아요.
17	いいあんべ (いあんべ)	ちょうどいい、心地いい	딱 좋은, 기분 좋은	A:	ちょっとマッサージしてあげますよ。	마사지 좀 해 드릴게요.
				B:	んー どれどれ… あー いいあんべだな。 (んーどれどれ…あーいい感じだね (=ちょうどいいね。))(会津)	응 어디 보자 ... 아 좋은 느낌이네 (= 딱 좋으네).
18	いたましい(いだます)	もったいない	아깝다	A:	もうこれ、いらないから捨てましょう。	이제, 이것 필요 없으니까 버립시다.
				B:	いたましー。 (もったいないなー。)(伊達)	아깝네.
19	うすらかすらする(うらからする)	ぶらぶらする、うろ うろする	빈둥 거리는, 서성거리는	A:	あぶねがら うすらかすらしてんはず。 (危ないから(そこを)うろろうろしてるんじゃないよ。)(会津)	위험 하니까 (거기) 서성거리는게 아니야.
				B:	あ、ごめんなさい。	아, 미안 해요.
20	うだで	気持ちが悪い、【津】大変だ	기분이 나쁜,【津】힘들다	A:	さっきあそこに虫がいっぱいでしたね。	아까 저기에 벌레가 가득 있었어요.
				B:	あー、んだ、うだでがったなー。 (あー、そうだね、気持ち悪かったね。)(秋田)	아, 맞아. 기분 나빴었죠.

21	うつつあし(うつつあし)	うるさい	시끄러운	A:	ねえねえ、ねえ、ちょっと話聞いてよ。	이봐 이봐, 이봐, 좀 얘기 들어봐요.
				B:	うつつあしな、おめ あっちゃ いってろ。 (うるさいな、お前あっちに行ってろ。) (会津)	시끄럽네, 너 저만치다 있어.
22	うるかす(うるがす)	(米などの乾燥した物を)水につける、【仙・中・会】使用後の食器に水を張る、【秋】話を保留にする	(쌀 등 건조시킨 것을) 물에 담그다【仙・中・会】사용 후 식기에 물을 적시다【秋】이야기를 보류하다	A:	一緒にごはん作りましょう。	함께 밥 만들어요.
				B:	んでばー、こめ うるがしとくから。 (じゃあ、米を水につけておくから。) (伊達)	그럼, 쌀을 물에 담가 둘테니까.
23	えずい(いずい、えんつこい、えんつけあ、えんず)	目のごみがごろごろする、違和感がある、変な感じがする、居心地が悪い	눈에 든 티가 떼굴떼굴하다, 위화감이 들다, 이상한 느낌이 들다, 거북하다	A:	その靴かっこいいですね。	그 신발 근사하네요.
				B:	でも いずいんだ。 (でもなんかしっくりこない(違和感がある)んだよ。)(伊達)	하지만 어쩐지 썩 맘에 들지 않아 (위화감이 들어)요.
24	おがる	大きくなる	커지다	A:	おじさん、お久しぶりです。	아저씨, 오랜만입니다.
				B:	あれ おめ、おがったねやー。 (おやお前、大きくなったなー。)(伊達)	이런, 너 많이 컸구나.
25	おしょうしな	ありがとう	고마워	A:	例文なし	
				B:		
26	おしよし(おしよし、おしよし)	はずかしい	창피하다	A:	境さん(話し相手の名前)、この前、駅前で激しく転んでましたね。	사카이 씨 (대화 상대의 이름)일전에, 역에서 심하게 넘어지셨죠.
				B:	あいづ おしよすかったやー。 (あれははずかしかったよー。)(伊達)	그건 창피스러웠어요.

27	おだつ	はしゃぐ、調子に乗る	소란을 피우다, 갑죽거리다	A:	この前、高いお皿を割っちゃいましてねー。	일전에 비싼 접시를 깨버렸어요.
				B:	おだづがらだ。 (調子に乗るからだぞ。)(伊達)	갑죽거리니까 그런거야.
28	おたる	疲れる	피곤하다	A:	昨日はマラソン大会に参加したんだってね。	어제는 마라톤 대회에 참가했다며.
				B:	いやー、おだったや。 (いやー、疲れたよ。)(津軽)	어휴, 힘들었어.
29	おちる(おじる、おずる)	降りる、下車する	내리다, 하차하다	A:	(バスの中で)すみません、図書館に行きたいんですけど…。	(버스 안에서) 실례지만 도서관에 가고 싶은데
				B:	あー、つぎで おどっと いいわい。 (あー、次で降りるといいよ。)(会津)	아, 이 다음에 내리면 되요.
30	おどげでね	楽ではない、大変だ	쉽지는 않은, 힘들다	A:	今度、このプロジェクトをやろうと思うんですよ。	이번에 프로젝트를 하려고 생각합니다.
				B:	おどげでねーやー。 (大変だぞ。)(秋田)	힘들겠어.
31	おばんです	こんばんは	안녕하세요 (야간 인사)	A:	あ、小林さん。	아, 고바야시 씨.
				B:	おばんです。 (こんばんは。)(秋田)	안녕하세요.
32	おみよーにち(おみよーぬず)	おやすみなさい、さようなら、では明日	안녕히 주무세요, 안녕히 계세요, 그럼 내일	A:	例文なし	
				B:		
33	おんずくなし(おんじくなし)	臆病者、【会】ばか	겁쟁이 【会】바보	A:	いやー、昨日、寝坊しちゃって、入学試験受けられなかったよ。	아니 - 어제 늦잠 자버려서, 입학 시험 못받어요.
				B:	おんずくなしー。 (ばかだなー。)(会津)	바보구나.
34	がおった	疲れた、病気で弱る	지친, 질병에 약하다	A:	昨日山登りしたんですってね?	어제 등산 했었다면서요?
				B:	いやー、がおった がおった。 (いやー、疲れた疲れた。)(秋田)	어휴-, 지쳤다,지쳤어.

35	かせる ¹	かぶれる(植物、繊維、金属、薬品などで皮膚が赤くなったりかゆくなったりする)	타다, 오르다, 염증이 생기다 (식물, 섬유, 금속, 약품 등으로 피부가 붉어지거나 가려워지거나 하다)	A:	ちょっと首のまわりがかゆいんですねー。	목 주위가 좀 가려운시거죠.
				B:	あー、なんかに かせだみでだな。 (あー、なんかにかぶれたみたいだな。)(会津)	아, 뭔가에 오른것 같아요.
36	かせる ² (かへる)	食べさせる	먹이다	A:	このごはん誰の？	이 밥 누구 거?
				B:	こどもに かせんのしゃ。 (子どもに食べさせるんだよ。)(伊達)	아이에게 먹일거야.
37	かちやくちやね	物事が進まずイライラする、ややこしい、散らかっている	일이 진행되지 않고 초조하다, 까다롭다, 어수선하다	A:	どう？仕事は進んでる？	어때? 일은 잘되가?
				B:	あー、まねや。かちやくちやね！ (あー、全然だめだよ。イライラするー！)(津軽)	아, 전혀 안 된다. 초조하네-!
38	かちやぺね	しっかりしていない、壊れやすい、軽率な	단단하지 않다, 깨지기 쉽다, 경솔한	A:	太郎って、体が大きくて丈夫そうだよね？	다로는 몸이 크고 튼튼할 것 같은데?
				B:	んにや、かちやぺね やつだや。 (いや、弱々しいやつだよ。)(津軽)	아니 가냘픈 놈이지.
39	がっこ	つけもの	절임, 김치	A:	今日のおかず、なんですか？	오늘 반찬 무엇입니까?
				B:	きょうの おかずは、おずげっどがっこだけ。 (今日のおかずは、みそ汁とつけものだけ。)(秋田)	오늘 반찬은 된장국과 김치뿐.
40	かでる	仲間に入れる	한 패에 넣다	A:	「まぜる」の例文を参照	
				B:		
41	がな	(名詞・代名詞)のもの(私、あなた、あっち、山田さん、など)	(명사·대명사)의 것 (나, 당신, 저 사람, 야마다 씨 등)	A:	これ食べていいですか？	이것 먹어도 됩니까?
				B:	あ、これ おれがな。 (あ、これは私の。)(会津)	아, 이걸 내꺼.

42	かばねやむ	なまける(仕事などやらないといけないことをしない)、サボる	게으름 피우다 (일 등 하지 않으면 안되는 것을 하지 않다), 게으름 피우다	A:	この仕事、全然終わりませんね。	이 일, 좀처럼 끝나지 않네요.
				B:	あいづ かばねやんで さっぱり すすまねんだ。 (あいつなまけて(=サボって)全然進まないんだ。)(伊達)	그 녀석 게으름 피워서 (= 땡땡이 처서) 전혀 진척되지 않아.
43	かまりっこ	香り、におい	향기, 냄새	A:	ごはんできたよ。	밥 다 됐어.
				B:	んー、いい かまりっこだな。 (んー、いいにおいだね。)(津軽)	응, 좋은 냄새구나.
44	かめこ(かめっこ)	人見知りする(知らない人を見て恥ずかしい・いやだと思う)	낯가림하다 (모르는 사람을 보고 당황하다, 싫다고 생각하다)	A:	あーこの赤ちゃん、全然笑ってくれない。	아, 이 아기, 전혀 안웃어 주네.
				B:	あー それ かめっこしてんだよ。 (あーその子は人見知りしてるんだよ。)(会津)	아, 그 아이는 낯가림해요.
45	かんじる	とても寒い	매우 추운	A:	おはようございます。	안녕하세요.
				B:	あー きょう かんじるなー。 (あー今日はとても寒いねー。)(会津)	아, 오늘은 너무 춥군요.
46	かんつける (かんずける、かずける)	すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあつて相手のいうことを聞かない)、人のせいにする	토라진다, 주눅이 들다; 불쾌하게 여겨 토라지다 (싫은 마음이 있어 상대의 말을 듣지 않는) 남의 탓으로 하다	A:	あの子、さっきからずっと泣いてるよ。	재, 아까부터 계속 울고있어.
				B:	ああ、かずけでもんなー。 (ああ、すねてるもんなー。)(秋田)	아, 토라졌나봐.
47	きかねー(きかねあ、ちかねー)	気が強い(相手の言うことを聞かない、自分の意見を押し通す、負けず嫌い)	기가 세다 (상대의 말을 듣지 않다, 자신의 의견을 관철하다, 지기 싫어하다)	A:	あの女の子、また男の子とけんかしてるよー。	그 여자 아이 또 남자 아이와 싸움질 하고 있어.
				B:	きかねがらなー。 (気が強いからなー。)(伊達)	기가 세니까.

48	きどころね(きどころね)	寝るつもりがないのに(服を着たまま)寝てしまう	잘 생각이 없는데 (옷을 입은 채) 자 버린다	A:	昨日ものすごく酔っぱらってましたけど、あのあと大丈夫でしたか?	어제 엄청 취했습니다만, 그 뒤에 괜찮았습니까?
				B:	あさ おぎだら、きどころねした。 (朝起きたら、服を着たまま寝てた。 (家に帰ったら、着替えないで外で着た服のままで寝てしまった)) (会津)	아침에 일어나니 옷을 입은 채로 자고있었어. (집에 돌아 가서 갈아입지도 않은 채 옷 입은 그대로 잠 들어 버렸다)
49	きみ	とうもろこし	옥수수	A:	このコロッケどうぞ。	이 고로케 드세요.
				B:	あ、きみ はいってら。 (あ、とうもろこし入ってる。)(秋田)	아, 옥수수 들어있네.
50	きゃっぱりする(きゃっぱりをとる、かわっぺありする、かわっぺをとる)	靴の中に水が入る、川に落ちる	신발 속에 물이 들어가다	A:	あれ、足ぬれてますね。	어, 다리 젖었네요.
				B:	いやー、あそこで きゃっぱりとってやー。 (いやー、あそこで水たまりをふんで靴に水が入っちゃってさー。)(伊達)	야-, 저기에서 웅덩이를 밟아 신발에 물이 들어가 버렸어말이야.
51	け(けー)	食べなさい、ちょうだい、かゆい、【秋】来なさい	먹으십시오, 주세요, 가렵다, 【秋】오십시오	A1:	おなかすいた。	배고프다.
				B:1	まんま け。 (ごはん食べなさい。)(伊達)	밥 드세요.
				A2:	呼びましたか?	불렀습니까?
				B2:	あー、こっちゃ け、こっちゃ け。 (あー、こっちおいで、こっちおいで。)(秋田)	아, 이리로 와, 이리로 와.
52	けっぱる	頑張る	힘내다	A:	明日は大事な試験があるんだよ。	내일은 중요한 시험이 있거든.
				B:	けっぱれ! (頑張れ!)(津軽)	힘내!
53	けね	役に立たない	쓸모없다	A:	例文なし	
				B:		

54	けやぐ	友だち	친구	A:	へー、これが子どもの時の写真か。君の隣にいるのは誰？	아아, 이게 어릴 때의 사진? 너의 곁에 있는 사람은 누구?
				B:	けやぐの たろうだや。 (友だちの太郎だよ。)(津軽)	친구인 타로야.
55	こわい(こえー)	疲れた	피곤하다	A:	今日ずっと仕事だったんですね。	오늘 계속 일이었나 보네요.
				B:	こえー。 (疲れたー。)(秋田)	야, 피곤하다.
56	ごんぼほる	だだをこねる(わがママを言って言うことをきかない)	떼를 쓰다; 응석을 부리다 (양탈을 부려 말을 듣지 않는다)	A:	このおもちゃがほしい!	이 장난감 갖고 싶어!
				B:	ごんぼほるな。 (わがママを言うんじゃない。)(秋田)	양탈을 부리지마.
57	さすけねー	大丈夫だ	괜찮다	A:	おばあさん入院したんですって？	할머니 입원했다면서요?
				B:	あ、さすけねー。らいげづには たいいんだがら。 (あ、大丈夫だよ。来月には退院だから。)(会津)	아, 괜찮아요, 다음 달에 퇴원하니까.
58	しなっこい(しなっけ、すなこえ)	しなやか、食べ物がなかなか噛み切りにくい感じ	부드럽다, 음식이 좀처럼 씹어 자르기 어려운 느낌	A:	このドライフルーツ食べてみて。	이 말린 과일 먹어 보렴.
				B:	んん、すなこえな。 (んん、なかなか噛み切れないよ。)(気仙)	응, 잘 못 씹어.
59	しばれる(すばれる)	とても寒い	아주 춥다	A:	「かんじる」の例文を参照	
				B:		
60	ジャス	ジャージ	추리닝	A:	(ハイキングの前日)何か用意するものはありますか？	(하이킹 전날) 뭔가 준비물이 있습니까?
				B:	ジャス もってけ。 (ジャージを持っていきな。)(伊達)	추리닝 가져 가도록.
61	しよし	はずかしい	부끄럽다	A:	「おしよし」の例文を参照	
				B:		

62	じょっぱり(じょっぱり)	頑固者(自分の考えを変えない人)	완고한 사람(자신의 생각을 바꾸지 않는 사람)	A:	俺の考えは間違っていない！絶対に正しい！	내 생각은 잘못되지 않았어! 절대적으로 옳다!
				B:	じょっぱりだなー。 (頑固者だなー。)(津軽)	너는 완고한 사람이다.
63	すける	手伝う	돕다	A:	(大きな箱を持って)いやー、これ重いですね。	(큰 상자를 들고) 야, 이것 무겁네요.
				B:	でば すけっかや。 (じゃあ手伝おうか。)(伊達)	그럼, 도울까.
64	すっぱね(すっぱね、しっぱね)	泥はね(水たまりなどを人や車が通った時にかかる水)	진흙탕물 (웅덩이 등을 사람이나 차가 지나갈 때 튀기는 물)	A:	ズボンどうしたんですか？	바지, 왜 그렇습니까?
				B:	あー すっぱね かがった。 (あー泥はねがかかった。)(秋田)	아, 진흙탕물이 튀겼다.
65	ずねー	大きい	크다	A:	りんご買ってきたよ。	사과 사왔어요.
				B:	うわー、これ ずねーなー。 (うわー、これ大きいなー。)(会津)	와-, 이것 크다.
66	せつね(せつね、へずね)	つらい	힘들다	A:	あのおばあちゃん、病気になったみたいですね。	그 할머니 병에 걸린 것 같네요.
				B:	あー、へずねべなー。 (あー、つらいだろうなー。)(秋田)	아, 괴롭겠구나.
67	ぞうさね(ぞうさね、じよさね)	簡単だ、どうってことない	간단하다, 별 거 아니다	A:	いやー、本当にありがとうございました。	야, 정말 감사합니다.
				B:	いや、こんなの ぞうさね。 (いや、こんなのどうってことないよ。)(会津)	야, 이런건 별 거 아닙니다.
68	たがぐ(たがぐ、たなぐ)	持つ、持ちあげる	들다, 들어 올리다	A:	何かお手伝いしましょうか？	뭔가 도와 드릴까요?
				B:	あー、その いす たがいでけろ。 (あー、そのいす持って。)(伊達)	아, 그 의자 들어줘.

69	たごまる	(糸などが)たるむ、(服などが)一ヶ所に寄ってくしゃくしゃになる、【会】からまる	(실 등이) 접히다, (옷 등이)한곳에 모여 꾸깃꾸깃하다, 【会】엷히다	A: 例文なし	
				B:	
70	たれかもの	なまけ者(仕事などをしない人)	게으름뱅이(일 등을 하지 않는 사람)	A: 例文なし	
				B:	
71	たんげ	すごく、とても	아주, 매우	A: このレストランの料理、どう?	이 레스토랑의 요리 어때?
				B: ん、たんげめな。 (うん、とてもおいしいね。)(津軽)	응, 매우 맛있네.
72	だんだん	もうすぐ、そろそろ	이내, 곧	A: (病院の待合室で)すみません、あの、私はもう名前呼ばれましたか?	(병원의 대기실에서) 미안합니다, 저, 저는 벌써 이름 불렀습니까?
				B: いいや、だんだんよばれんべ。 (いいや、そろそろ呼ばれるでしょうね。)(会津)	아니, 이제 곧 불리겠지요.
73	たんばら	短気(すぐ怒る人)	급한 성질(이내 화내는 사람)	A: あの人またけんかしてましたよ。	그 사람 또 싸움했어요.
				B: たんばら だがらなー。 (短気だがらなー。)(秋田)	성질이 급하니까.
74	ちゃっちゃど (ちゃっちゃと、ちゃちゃど)	さっさと、早く	빨랑빨랑, 빨리	A: これから準備するからちよっと待ってて。	지금부터 준비하니까 잠깐만 기다려.
				B: ちゃっちゃど しろ。 (さっさとして。)(伊達)	빨리 빨리 해.
75	ちよす	いじる、さわる	주무르다, 만지다	A: このお皿高そうですね。	이 접시 비싼것 같네요.
				B: あー、ちよすなよ。 (あー、触らないですよ。)(秋田)	아, 만지지말아요.

76	つかかけ	サンダル	샌들	A: ちよつと出かけてきます。	좀 나갔다고했습니다.
				B: あー、そのつかかけ はいでげ。 (あー、そのサンダルはいていきな。)(会津)	아, 그 샌들 신고 갔다와.
77	でかす	完成させる、終わらせる	완성시키다, 끝내다	A: この仕事、明日まででいいですか?	이 일, 내일까지라도 괜찮아요?
				B: はやぐ でかせよ。 (早く終わらせてよ。)(伊達)	빨리 끝내라구.
78	とーきび(とーきみ、とーぎみ、とーみぎ、とーみに)	とうもろこし	옥수수	A: おなかすいた。	배고프다.
				B: んじゃあ、とーみぎ くらが? (じゃあ、とうもろこし食べる?)(会津)	자, 옥수수 먹을래?
79	どでんした(どでした)	びっくりした	놀래다	A: 昨日隣のうち火事だったんですって?	어제, 옆집에서 불났데.
				B: どでしたやー。 (びっくりしたよー。)(秋田)	깜짝 놀랐어요.
80	ながまる	横になる、足を伸ばして休む	눅다, 다리를 뻗고 쉬다	A: あ一つかれたー。	아, 피곤하다.
				B: あ、そこさ ながまれ。 (あ、そこで(足を伸ばして)休みな。)(秋田)	아, 거기에서 (다리를 뻗고)쉬렴.
81	なげる	捨てる	버리다	A: このお皿壊れちゃいましたね。	이 접시 깨져버렸어요.
				B: そいづ なげどげ。 (それ捨てといて。)(伊達)	그거 버려뒀.
82	なにしたの(なんしたの、なによすた)	どうしたの	무슨 일이니	A: ちよつと手が痛いんですよ。	좀 손이 아파요.
				B: なんしたのー? (どうしたのー?)(会津)	무슨 일이니?
83	なんでかんで	どうしても	아무리 해도, 무슨 일이 있어도, 어떻게든	A: もう夜遅いけど、まだ仕事してるの?	벌써 밤 늦었는데, 아직 일 하니?
				B: これ あしたまで なんかんで やんなんねだ。 (これ明日までにどうしてもやらないといけないうだよ。)(会津)	이거 내일까지 어떻게든 하지 않으면 안 되요.

84	なんも	どうってことない、 気にしないで、どう いたしました(お礼 を言われた時の返 事)	아무렇지 않다, 신경 쓰지 말아, 별 거 아니다, 천만에요(인사를 했을 때의 답변)	A:	いやーこの間はどうもありがとうございました。	야, 일전에는 고맷습니다.
				B:	やー、なんも なんも。 (いやー、どうってことないよ。)(秋田)	야, 별 거 아니에요.
85	にやにやす	お腹や胃に違和感 がある、お腹や胃 の調子が悪い	배와 위에 위화감 있다, 배와 위 상태가 나쁘다	A:	なんだか体調悪そうだけど、どうした の?	웬지 몸 상태 나쁜 것 같은데, 왜 그래?
				B:	きながら い にやにやして…。 (昨日から胃の調子が悪くてね…。) (津軽)	어제부터 위 상태가 나빠서.
86	ねっぱす	のりやテープでつ ける	풀이나 테이프로 붙이다	A:	これ壊れちゃいましたね。	이것 고장 났네요.
				B:	んまーぐ ねっぱしとげ。 (上手に(のりやテープで)付けておい て。)(会津)	잘(풀이나 테이프를) 붙여 뒀.
87	ねまる	(床や地面に)座 る、休む	(바닥과 지면에) 앉다, 쉬다	A:	あ、おじゃまします。	아, 실례합니다.
				B:	あ、そこさ まず ねまれ。 (あ、そこにまあ座って。)(秋田)	아, 거기에 좀 앉아.
88	のぜる	のどにつまる、吐 きそうになる(オエ ツとなる)	목이 막히다, 토할것 같다(웁 하다)	A:	いやーこのもちおいしいですねー!	야-이 떡 맛있네요!
				B:	あんまり いそいで くうど のぜっち まうぞ。 (あんまり急いで食べるとのどにつまっ ちゃうよ。)(会津)	너무 급히 먹으면 목이 막힌다구.
89	はかいく	はかどる(順調に 進む)	진척되다(순조롭게 진행된다)	A:	あれ、今日帰り早いんですね。	어라, 오늘 귀가 빠르군요.
				B:	いやー、しごと はがいてやー。 (いやー、仕事はかどってね。)(伊 達)	야, 일이 순조롭게 진척되었어요.
90	はかはか	どきどき、はらはら	두근 두근, 조마조마	A:	見て、あんな高いところに人が立っ てるよ!	봐, 저 높은 곳에 사람이 어 있어!
				B:	うわー、はかはかでやー! (うわー、はらはらするー!)(秋田)	우와, 조마조마하다!

91	はなだんぼ	鼻にティッシュをつめること	코에 휴지를 끼우기	A: 鼻血が出ちゃったよ。	코피 나왔어.
				B: あー はなだんぼ しとげ。 (あー鼻にティッシュをつめておきな。) (会津)	아, 휴지를 넣어 뒤라.
92	ばんげ	晩、夜	저녁, 밤	A: 今度一緒に、ごはん食べましょうよ。	다음에 같이 밥 먹어요.
				B: あー、あしたの ばんげ なんとだ? (あー、明日の晩はどう?)(秋田)	아, 내일 밤 어때?
93	ひとめわりー	みっともない(人が見たくないと思う様子、かっこわるい)、はずかしい	꼴사나운(사람이 보기 싫다고 생각하는 모습, 보기 나쁘다), 부끄럽다	A: 見て、この服かっこいいでしょう?	보세요, 이 옷 멋있죠?
				B: なんだ それ、ひとめわりーなー。 (なんだそれ、かっこわるいなー。)(会津)	뭐야 그거, 멋지지 않다.
94	ひまだれ(ひまだれかけて、ひまだれする)	時間がかかること、時間をつぶすこと、時間の無駄	시간이 걸리는 것, 시간을 보내는 것, 시간 낭비	A: 昨日ずーっと待ってたのに、友達が来なかったんだよ。	어제 계속 기다렸는데 친구가 오지 않았어요.
				B: そいづは ひまだれだったねー。 (それは時間の無駄だったねー。)(伊達)	그건 시간 낭비했구나.
95	ひゃっこい(ひゃっけ、ひゃけあ、しゃっこい、しゃっけ、しゃけあ)	冷たい	차다, 차갑다	A: お水どうぞ。	물, 드세요.
				B: うわー、しゃっけな これ。 (うわー、冷たいなこれ。)(会津)	와, 차갑네, 이거.
96	ぶすくれる(ぶじくれる)	すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあって相手のいうことを聞かない)	뺨치다, 주눅 들다, 뺨진다(싫은 기분이 들어 상대의 말을 듣지 않음)	A: たろう、ちょっと こっち きてみ。	다로, 잠깐만 이리로 오렴.
				B: ふん! 知らないよ!	흥! 모른다구!
				A: なに ぶすぐっちんだー。 (なんですねてるの。)(会津)	왜 뺨치고 있어.
97	ぺあっこ(ぺっこ)	少し(副詞)	조금(부사)	A: 例文なし	
				B:	

98	へば(せば、 んだば)	では、じゃあね(別 れのあいさつ)	그럼 그럼.(작별 인사)	A: 今日はどうもありがとうございました。	오늘은 감사했습니다.
				B: へば まんずな。 (じゃあまたね。)(秋田)	그럼, 또 봅시다.
99	ほろぐ(ほろ く、ほるぐ)	払い落とす、【仙・ 中・会】(財布など を)落としてなくす	떨어내다, 【仙・中・ 会】(지갑 등을) 떨어뜨려 없다	A: どうしたんですか?	무슨 일이세요?
				B: なんか さいふ どっかに ほろったみ でだな。 (なんだか財布をどこかに落としてなく しちゃったみたいだな。)(会津)	왠지 지갑을 어딘가에 떨어뜨렸나봐요.
100	ほろだぐ	払い落とす	떨어내다	A: ただいま。外、雪すごかったよ。	다녀왔습니다. 밖에 눈 굉장했어요.
				B: まず ゆき ほろだけ。 (とりあえず雪を払い落とさない。) (秋田)	일단 눈을 떨어내라.
101	まぜる	仲間に入れる	한 패에 넣다	A: これからみんなで飲みに行こう。	지금부터 마시러 가자.
				B: (話し相手とは別の人が)あー おれも まぜでくろー。 (あー、俺のことも仲間に入れてー。) (会津)	(대화 상대가 아닌 다른 사람이) 아, 나도 한 패에 넣어줘.
102	までーに	丁寧に	정중히, 정성스럽게	A: 食器洗い終わったよ。	그릇, 다 씻었어요.
				B: ん、まだ よこれぢゅーなあ。ま でーに あられ。 (ん、まだ汚れてるなあ。丁寧に洗って よ。)(津軽)	응, 아직 더럽구나. 정성스럽게 씻어요.
103	まね	だめだ、いけない、 (~しないと)いけ ない	안 된다, 안 된다, (~ 하지 않으면)안 된다	A: あれ、どこか出かけるの?	어, 어디 가?
				B: んにやー、こいがら びょーいんさ いがねばまねんだね。 (いやー、これから病院にいかない いけないんだよ。)(津軽)	어휴, 지금부터 병원에 가지 않으면 안 되셔.

104	みったぐね (みたぐね、みたぐねあ)	みっともない(人が見たくないと思う様子、かっこわるい)、にくたらしい(≒腹立たしい、頭に来る、ムカムカする)	꼴사나운(사람이 보기 싫다고 생각 모습, 보기 나쁘다), 밍살스럽다.(= 분노, 화가 나다, 메스꺼린다)	A:	ちょっと出かけてきます。	좀 다녀오겠습니다.
				B:	そんな みったぐねー かっこ すんな。 (そんなみっともない格好しないで。) (伊達)	그런 몰골 하지 마라.
105	むつける(むずける)	すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあつて相手のいうことを聞かない)	뺨치다, 주눅 들다, 뺨진다(싫은 기분이 들어 상대의 말을 듣지 않음)	A:	えー、この前約束したのに、明日だめなの?!	어, 얼마 전에 약속했었는데, 내일 아냐?!
				B:	そう むつけるな まず。 (そうすねないでよ、まあまあ。)(秋田)	그렇게 뺨치지 마, 자자.
106	むったり	一心に(一つのことにひたすら集中している様子)	일심(한가지 일에 오로지 집중하고 있는 모습)	A:	あの人本読んでますね。	저 사람, 책 읽고 있네요.
				B:	ああ、さっきから むったりほんよんでるな。 (ああ、さっきからひたすら集中して本を読んでるね。)(秋田)	아, 아까부터 오로지 집중해서 책을 읽네요.
107	めぐせ(みぐせ)	みっともない、はずかしい	보기 흉하다, 부끄럽다	A:	あのおじいさん、いつもパンツで歩いてるよ。	저 할아버지, 항상 팬츠차림으로 걷고 있어요.
				B:	めぐせーよなー。 (みっともないな。)(伊達)	꼴볼견이네.
108	めごい(めんこい、めんけ、めげー)	かわいい	귀엽다	A:	これが私の子どもの写真です。	이것이 내 아이의 사진입니다.
				B:	あー、めんこいねー! (あー、かわいいねー!)(伊達)	아, 귀여워라!
109	やっこい(やっけ、やけあ)	柔らかい	부드럽다	A:	「んめ」の例文を参照	
				B:		
110	やっちゃかね(やっちゃげね)	役に立たない	쓸모 없다	A:	この携帯、買ったばかりなのに、すぐ壊れちゃったよ。	핸드폰 구입한지 얼마 안되었는데 금방 고장 났어요.
				B:	そら やっちゃがねなー。 (それは役立たずだなー。)(会津)	그건 쓸모 없구나.

111	やばつい(やばち)	湿って気持ちが悪い、【秋】手などが汚れる、【伊】よろしくない、まずい	습하고 기분이 나쁜, 【秋】손 등이 얼룩이 생기다, 【伊】 좋지 않다, 잘못되다	A:	(食べ物食べていて)あ、て やばつく になった。 (あ、手が汚れちゃった。)(秋田)	(음식을 먹어서)아, 손이 더러워졌어.
				B:	あ、ティッシュをどうぞ。	아, 휴지 여기 있어요.
112	やむ(やめる)	病気になる、痛む、具合が悪くなる	병이 나다, 쉬시다, 아팠다	A:	最近あのおばあさん見ないですね。	최근 그 할머니 못 봤네요.
				B:	やんでらんでねーかー? (病氣なんじゃないの?)(秋田)	병이 난 거 아냐?
113	やんだおら(やんたおら、おらやんだ)	嫌だ(【会】では女性が使うことが多い)	싫다 (【会】에서는 여성이 사용하는 경우가 많다)	A:	ちょっとお金貸してくれませんか?	돈 좀 빌려도 괜찮을까요?
				B:	おらやんだ。 (俺はいやだよ。)(伊達)	나는 싫어.
114	わらすっこ	子ども	아이	A:	これ、うちの家族の写真です。	이것가족 사진입니다.
				B:	あーりや、かわいい わらすっこだごと。 (あーら、かわいい子どもだなー。)(伊達)	어머, 귀여운 아이네.
115	わらはんど(わらしゃんだ)	子どもたち	아이들	A:	これが私の家族の写真です。	이게 제 가족 사진입니다.
				B:	めごい わらはんどだな。 (かわいい子どもたちだね。)(津軽)	귀여운 아이들이네.
116	わらわら	急いで、早く	서둘러, 빨리	A:	すみません、もうちょっと待ってくださいか?	죄송합니다, 좀 더 기다릴래요?
				B:	までね、わらわらど やれ。 (待てない、急いでやりなさい。)(伊達)	기다릴 수 없어요, 급히 하세요.
117	わんつか(わんづか)	少し、ちょっと(副詞)	조금, 잠시(부사)	A:	あの、写真撮ってくださいか?	저, 사진 찍어 주시지 않겠습니까?
				B:	わずか みぎさ よってけれ。 (少し右に寄ってください。)(秋田)	좀 오른쪽으로 다가서 주십시오.
118	んだ	はい、うん、そうだ	네, 응, 그래	A:	あ、齋藤さんですか?	아, 사이토 씨입니까?
				B:	んだ。 (はい。)(会津)	네.

119	んだから(だから)	そうだよ、そうでしょう(同意)(※原因・理由を表すわけではない)	그래, 그렇죠(동의)(※원인·이유를 나타내는 것은 아니다)	A:	あの人とってもいい人だね。	저 사람, 아주 좋은 사람이네요.
				B:	んだがらー。 (そうでしょう。)(秋田)	그렇죠.
120	んにゃ(んでねあ)	いや	아니	A:	このプリント、今日使いますか?	이 서류 오늘 쓰나요?
				B:	んでね、あしたつかうんだ。 (いや、明日使うんだよ。)(伊達)	아니, 내일 쓸 거야.
121	んめ(んめあ、め)	おいしい	맛있다	A:	このお肉どうですか?	이 고기 어떻습니까?
				B:	あ、やっけて んめごど。 (あ、やわらかくておいしいなー。)(秋田)	아, 부드럽고 맛있네.

第12章 インドネシア語への翻訳上の問題点

これまでは、英語・中国語・韓国語に関する翻訳上の問題点について見てきた。本章では、『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』で採用したインドネシア語での翻訳上の問題点について考察する。

インドネシア語においても、これまで同様にまず意味範疇のずれによる問題、すなわち意味論的問題を考えることにする。そしてその中には、方言のほうがインドネシア語より意味範疇が広い場合と、方言のほうがインドネシア語より意味範疇が狭い場合が考えられる。また、必ずしも対応する適切な語がなく、説明的になってしまう場合もある。各問題点の詳細は後述していくが、以上を表にすると表19のようになる。

表19. インドネシア語翻訳での意味論的問題の種類

I 意味論的問題		
I-a.	I-b.	I-c.
方言のほうインドネシア語より意味範疇が広い	方言のほうインドネシア語より意味範疇が狭い	インドネシア語に適切な語がなく説明的になる

本章では、方言集用に翻訳を依頼した項目について、上記のような問題点について考察していく。調査方法としては、インドネシア語翻訳担当者に翻訳依頼した際の翻訳リスト（資料10『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（インドネシア語））を改めて見てもらいながら、インタビュー形式による各項目の意味やその他方言との違いについて聞き取り調査を実施した。

インドネシア語翻訳担当者は、インドネシア在住のインドネシア人女性で、日本語教育学を専門とする大学院生であるため、インドネシア語翻訳担当者及び本調査の協力者として最適であると判断し、依頼した。インドネシア在住のため、電話を用いてのインタビュー調査となった。

本章においても「例文」という表現が現れるが、これは前章までと同様、方言集の各方言項目について作成した例文のことである。本章で扱う各項目の詳細については、本章末尾にある資料10『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（インドネシア語）を参照されたい。

なお、これまで同様方言形式は【 】、それに相当する標準語は《 》、具体的な意味は〔 〕で括る。

12.1. 方言のほうインドネシア語より意味範疇が広い場合

まず考えられるのは、東北方言の語のほうインドネシア語の該当する語より意味範疇が広い場合である。例として、主に北東北で用いられる【わんつか（わずか）】について見てみる。【わんつか（わずか）】は「僅か」に由来する語であるが、意味から考えた場合標準語の《少し》や《ちょっと》といったところである。これに該当するインドネシア語は、実は一語では対応できない。一つ目として該当する語は“sebentar”であるが、これは時間にかかわる場合である。“tunggu sebentar”「少しお待ちください」といった際に用いられる。一方、時間とは関係ない場合は“sedikit”が用いられ、“pisang nya ada sedikit”「バナナが少しあります」のようになる。これらの語の関係を図に示すと図62のようになる。

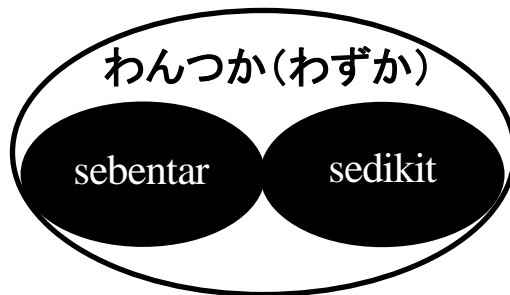


図62. 【わんつか (わずか)】における東北方言とインドネシア語の意味範疇の関係図

これを方言の意味範疇をD、インドネシア語の意味範疇をIとして一般化すると、I-a.を示す図として図63のように示すことができる。図ではDがIを2つ内包している図になっているが、もちろん必ず2つ以上を含む場合もある。この図は、東北方言では一つの語で表すことができる意味を、インドネシア語では複数の語によってその意味範疇が分けられているという場合を表現している。

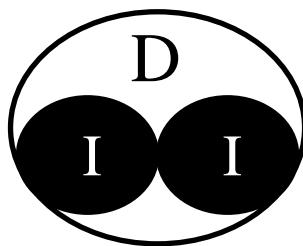


図63. 方言のほうがインドネシア語より意味範疇が広い場合 (I-a.型)

以下、このI-a.型に該当する項目を記す。

【～える】 [つい・うっかり～する、自然に・勝手に～する、たまたま～する] …状況可能と能力可能は分けず、ともに“bias”で示す。

【～ら】 [～(て)いる、～(て)いた] …“sedan makan” (食べています)、“sudah makan” (食べていました)のように動詞の前にテンスに関わる語を置く。しかし例文では「雨だよ」のほうが自然なため動詞がない。

【おたった】 [疲れた] …“melelahkan”は肉体的のみ、精神的には“saya stress” (私はストレスがある)のようになる。【おたった】は肉体的にも精神的にも使える。

【け(けー)】 [食べなさい、ちょうだい、かゆい、(秋田)来なさい] …“makanlah (ayo dimakan)” 「食べなさい」、「minta」 「ちょうだい」、「gatal」 (かゆい)、「kesini (kesini datang)” (来なさい)。

【さすけねー】 [大丈夫だ] …Tidak apa-apa (なんでもない、ご心配なく)。都合を聞かれた場合は“Ya saya bisa.” 「はい、できます」のようになる。【さすけねー】はいずれにも使用可能。

【せつね(せずね、へずね)】 [つらい] …“sulit” (難しい)、“susah” (大変)。例文で用いた“kasihan”は [かわいそう] の意味。誰かが亡くなった場合などは“sedih” (悲しい)を使う。「生活がつらい」の場合は“sulit”を使う。

【なげる】 [捨てる] …“membuang”は捨てるのみ。【なげる】は [投げる] 意味も含まれる。

【はかはか】〔どきどき、はらはら〕…“jantung berdetak kencang”（心臓がはやく動く）、“deg-degan”（どきどき）はオノマトペ。“gugup”は〔落ち着かない〕、“ada rasa cemas”は〔心配なことがある〕意味。例文は“wah takut”「わー怖い」。【はかはかする】は動悸の時にも使えるが、“deg-degan”は動悸の時には使わず“jantung nya sakit”（心臓が痛い）になる。

【ほろぐ（ほろく、ほろぐ）】〔払い落とす、（仙台・中通り・会津）（財布などを）落としてなくす〕…“membersihkan”（きれいにする、掃除する）、“menjatuhkan”（落とす）、“hilang”（失くす）。【ほろぐ】の「落として失くす」意味を言うためには“menjatuhkan dan hilang”（落として失くす）と二つの表現が必要。

【まね】〔だめだ、いけない、（～しないと）いけない〕…“tidak bisa”（できない）、“harus”（～しないといけない）。【まね】は単体で〔だめだ〕、「動詞+否定辞ね+ば」に下接することで〔（～しないと）いけない〕の意味になる。

【わんつか（わずか）】〔少し、ちょっと（副詞）〕…“sebentar”は時間にかかわる「ちょっと」で、“tunggu sebentar”（少々お待ちください）のように用いられる。時間に関係ない場合は“sedikit”を用い、“pisang nya ada sedikit”（バナナが少しあります）のようになる。

12.2. 方言のほうがインドネシア語より意味範疇が狭い場合

次に、前述の I-a.型とは逆の場合、つまり東北方言の語のほうがインドネシア語の該当する語より意味範疇が狭い場合について考える。

具体例として【めごい（めんこい、めんけ、めげー）】を挙げる。これは標準語では《かわいい》に当たる表現で、【めごい】系と【めんこい】系のバリエーションがあるものの東北地方全域で用いられている。インドネシア語でこれに相当する表現としては“lucu”がある。しかし、これには〔かわいい〕の意味もあるのだが、〔おもしろい、滑稽な〕という意味も存在する。東北方言においては後者の意味に該当するものとして多少のバリエーションは考えられるものの【おもしえ】が挙げられる。そこでこの関係を図にすると図 64 のようになる。なお、図では長さの関係上【めごい（めんこい、めんけ、めげー）】を【めごい（めんこい）】と示すことにする。

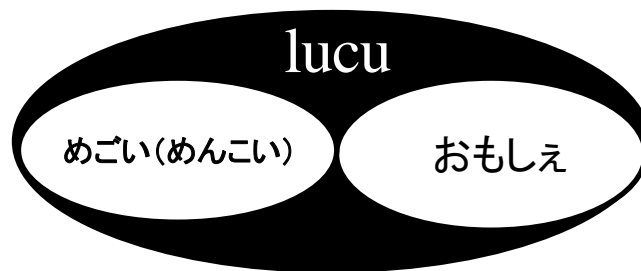


図64. “lucu”におけるインドネシア語と東北方言の意味範疇の関係図

一般化すると I-b.を示す図として図 65 のようになる。I-a.の場合とは正反対で、I が D を内包している形になっている。この図では、インドネシア語では一つの語で表すことができる意味を、東北方言では複数の語によってその意味範疇が分けられているという場合を示している。

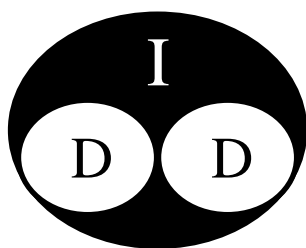


図65. 方言のほうがインドネシア語より意味範疇が狭い場合 (I-b.型)

以下、この I-b.型に該当する項目を挙げる。

- 【～すけ (～す)】 【～はんで (～はで)】 [～ (だ) から] …“karena”は理由の文頭に置き、英語と同じ語順になるが、なくても可、ない場合は日本語と同じ語順になる (二つの文を方言話者が言ったら因果関係がなくてもあると勘違いする可能性あり)。また [なぜ、どうして] の意味もある。これは【～すけ】や【～はんで】にはない。
- 【あんべわり】 [具合が悪い、病気だ、都合がよくない] …“enggak enak badan” (調子が悪い) は、直訳すると「体がよいと感じない」になる。“enak”は [よい] 以外に [おいしい] の意味もある。
- 【いたましい (いだます)】 [もったいない] …“terlalu bagus”と訳したが、あまり普段は使わない。例文では“sayang kalau dibuang” (捨てるなんて惜しい、言い過ぎだよ) 程度の意味。“sayang”は無駄な時間が多いときも使うが、もともとは [愛] の意味。【いたましい】は物ではなく行為について言い、また [愛] など他の意味はない。
- 【うすらかすらする (うらからする)】 [ぶらぶらする、うろうろする] …“bermain-main” (遊ぶ)、ゲームやスポーツをする時も使うが、することがなくぶらぶらしている時も使う。仕事がなくぶらぶらしているときは使わない。“berjalan-jalan keliling” (周りを歩く) は散歩の意味にも使う。遅い時間で帰ってきた相手を怒るときは“bermain-main”を用いる。【うすらかすらする】は [ゲームやスポーツをする] や [散歩する] などには用いられない。
- 【うるかす (うるがす)】 [(米などの乾燥した物を) 水につける、(仙台・中通り・会津) 使用後の食器に水を張る、(秋田) 話を保留にする] …例文の“aku akan merendam (membersihkan) berasnya”は「その米を水に入れる」の意味。“merendam (membersihkan)” (浸す) は【うるかす】よりもその意味は広く、乾燥物や食器に限定されず、【うるかす】には水分を含ませる目的があるが、“merendam (membersihkan)”は水分を含ませる必要がなくても可能。
- 【おちる (おじる、おずる)】 [降りる、下車する] …“turun”はバス (バス停以外で降りる場合 (!) も)、電車、タクシー、飛行機、船、階段、高速道路も可能。[下げる] などの意味もあるが、【おちる】には [下げる] 意味はない。
- 【おぼんです】 [こんばんは] …対応する表現は“selamat malam”だが、「こんばんは」と「おやすみなさい」どちらにも使える。朝昼の別れは“dadah” (手を振る意味) になるが、夜も使える。
- 【かせる】 “alergi”はアレルギーとかぶれの区別がない。“iritasi”はかぶれのみを指す。
- 【がな】 [(名詞・代名詞) のもの (私、あなた、あっち、山田さん、など)] …例文は“punya saya”で、“punya”は「～の」なので「私の」になるが、本来“punya”は「持つ」という意味なので“punya saya”は「私が持っている＝私のもの」という解釈になる。【がな】には [持っている] 意味はない。

- 【かんじる】 【しばれる】 [とても寒い]、【ひゃっこい (ひゃっけ、ひゃけあ、しゃっこい、しゃっけ、しゃけあ)】 [冷たい] …【かんじる】の例文“bangat”は親しい間でいう「とても」。インドネシア語では [寒い] も [冷たい] も “dingin” のため、区別がない。
- 【つっかけ】 [サンダル] …“sandal”は標準語《サンダル》と同じなのでファッション性があるものも全て含まれるが、【つっかけ】は家の周りで履く程度のファッション性がないもののみを指す。
- 【なにしたの (なんしたの、なじよすた)】 [どうしたの] …“kenapa?”は「どうして?」だが「どうしたの?」にも使う。【なにしたの】は「どうしたの?」のみ。
- 【ほろだぐ】 [払い落とす] …“membersihkan” (きれいにする、掃除する) には [掃除する] 意味があるが【ほろだぐ】は [払い落とす] のみで掃除の意味にはならない。
- 【まで一に】 [丁寧に] …“dengan benar” (正しさとともに)。人を丁重に扱う場合にも使える。【まで一に】は人を丁重に扱う場合には使わない。
- 【めごい (めんこい、めんけ、めげー)】 [かわいい] …“lucu”は [かわいい] 意味もあるが [おもしろい、滑稽な] 意味もある。【めごい】には [かわいい] 意味しかない。
- 【やばつい (やばち)】 [湿って気持ちが悪い、【秋】手などが汚れる、【伊】よろしくない、まずい] …“karena basah jadi tidak enak” 「濡れるためによくない (と感じる)」、 “tidak enak”は「おいしくない」の意味もある。
- 【やんだおら (やんたおら、おらやんだ)】 [嫌だ (【会】では女性が使うことが多い)] …“tidak mau”は [～したくない] の意味。“mau”は [ほしい] と [～したい] を含む。
- 【わらすっこ】 [子ども]、【わらはんど (わらしゃんだ)】 [子どもたち] …“anak”は5歳 (0歳もいえるが“bayi”という) ~12歳ぐらい、“dewasa”大人は17歳から。また“anak”は親族名称として自分より一つ下の「子供」の世代を自分の子か他人の子かに限らずすべて指し (高殿1985)、成長しても使える。【わらすっこ】 【わらはんど】は親族名称としては使用せず、「子供」の世代でも成長したら言えなくなる。
- 【んめ (んめあ、め)】 [おいしい] …食べて“enak”といえるし、食べている相手に“enak kah?” と聞ける。ただし“enak”には [いい] の意味もある。“lezat”は飲食物がおいしい時のみに使える。

12.3. インドネシア語に適切な語がなく説明的になる場合

上記 I-a. と I-b. の場合では、意味範疇の違いはあるもののおおよそ該当する語がある場合を見てきた。しかし、インドネシア語においても該当する語がなく、説明的にならざるを得ない場合がある。

例として【はなだんぼ】を挙げる。【はなだんぼ】とは主に福島県会津地方で用いられる表現で、[鼻にティッシュを詰めること]を指し、鼻血や鼻水を止めるために行われる行為である。この行為自体は全国的に行われており、「つっぺ」や「ぼっち」など各地で様々な方言形が見られるが、標準語においてはそれに該当する語はない。インドネシアではどうかというと、鼻にティッシュを詰める行為自体は行われるそうだが、そのように相手に促す時は単に“pakai tisu” 「ティッシュを使いなさい」と言うため、【はなだんぼ】のように限定された表現はない。そのため、方言集における【はなだんぼ】の説明としては“memasukan tisu ke hidung” (鼻にティッシュを入れること) という説明的な表現になっている。

このような場合、つまり I-c. を図示すると図 66 のようにすることができる。

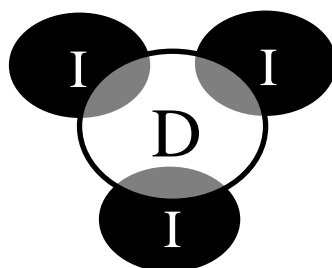


図66. インドネシア語に適切な語がなく説明的になる場合 (I-c型)

以下、この I-c型に該当する項目を列挙する。

【～っけ (一)】〔～ (な) んだ (相手に情報を与えるときに使う)〕…適切なインドネシア語がなく、“(Digunakan ketika memperoleh informasi dari lawan bicara)” (相手に情報を与えるときに使う)と説明的に翻訳した。例文では“tapi”と訳したが、逆説「～けど」なので、【～っけ】の示す証拠性などは含まれない。

【きゃっぱりする (きゃっぱりをとる、かわっぺありする、かっぱをとる)】〔靴の中に水が入る、川に落ちる〕…“ada air yang masuk kedalam sepatu”「靴の中に水が入る」、適切な語がなく説明的になる。

【ながまる】〔横になる、足を伸ばして休む〕、【ねまる】〔(床や地面に) 座る、休む〕…足を伸ばすか伸ばさないか、椅子に座るか床に座るかを特に区別せず、座る場合は“duduk”、休む場合は“istirahatkan”座ってくださいという。【ながまる】は足を伸ばす必要があり、また【ねまる】は床や地面に座る意味で、椅子に座るのは【ねまる】ではない。

【はなだんぼ】〔鼻にティッシュをつめること〕…インドネシアでも鼻にティッシュを詰めるが、言う時は普段は“pakai tisu” (ティッシュを使いなさい)。

【んだから (だから)】〔そうだよ、そうでしょう (同意) (※原因・理由を表すわけではない)〕…“iya” (はい) のあとは相手の話を繰り返す。例文は“orang itu orang baik yah.” (あの人がいい人だね) に対し “iya dia baik.” (はい、彼はいい人です)。“iya”だけでも可能ではある。また、否定文に対する同意でも“iya”で返す。

12.4. 意味論以外の問題点

インドネシア語においても、意味論以外の問題が少数ながら出てきた。以下に各問題点について述べる。

12.4.1. 発音規則

前章までの場合と同様にインドネシア語に関わる直接的な問題とは言えないが、インドネシア語母語話者の方言学習を助けるものではある。ここに該当するのは前章までと同じ【～っちゃ】と【あるって】の2項目であり、インドネシア語が直接関わるわけではないので、ここでは説明を省略する。

12.4.2. 人称

主に東北地方全域で用いられる【ちゃっちゃど (ちゃっちゃと、ちゃちゃど)】や、主に宮城県以北の太平洋側で用いられる【わらわら】はどちらも標準語でいう《さっさと》に当たる語である。用法としては「ちゃっちゃどせー」(さっさとしろ)や「わらわらどやれ」(さっさとや

れ)のような命令や、「ちゃっちゃどするべ」(さっさとしよう)のような勧誘など、動作主(主語)が発話の相手、つまり二人称であることが自然である。したがって、「*私はちゃっちゃどする」のような主語に「私」といった発話者が来るような場合は不自然である。インドネシア語に該当する語は“gesit”や“cepat”がある。“gesit”は「敏捷な、軽快な」に当たり、「あの人は仕事が早い」などの時は“gesit”が用いられる。一般的な「速い」に該当する語は“cepat”であるが、これは主語が「私」でも使える。そのため、【ちゃっちゃど(ちゃっちゃと、ちゃちゃど)】や【わらわら】とは使用可能な人称に違いが表れる。つまり、「ちゃっちゃど」と方言話者が発言したらそれは相手に対して早くするように促しているということになる。これを表にすると図67のようになる。

外国人住民が勘違いしている使用範疇	
cepat	
1人称	その他
	ちゃっちゃど。
(私は)早くする。	早くしなさい。
外国人住民が誤解する意味	本来の使用範疇

図67. 【ちゃっちゃど】に関わる誤解

このように、東北方言とインドネシア語において、人称の制限に差異がある場合が見られた。

12.4.3. 表現の対象

主に宮城県以北の東北地方各地で用いられる【あめる】は、[料理が悪くなる]という意味で、調理前の物に対してはあまり用いられない。インドネシア語の場合は、肉、野菜、果物が悪くなる場合は“busuk”(形容詞)、料理の場合は“basi”となるが“busuk”も可能、水の場合は“basi”も“busuk”も可能、ジュースや牛乳の場合は“basi”、生き物の死骸の場合も“busuk”、木などは[壊れる]意味である“rusak”となり、その対象によって大きく異なる。

また、東北地方全域で用いられる【やっこい(やっけ、やけあ)】は、[柔らかい]意味であるが、これに対応するインドネシア語は、その対象によって異なる。体は“lentur”、タオル・ケーキは“lembut”、マットは“lembut”や“empuk”、肉・野菜・果物は“empuk”となる。【やっこい】の場合はその全てに対して使用可能。

このように、対象によって使用できる表現が異なることがある。

12.5. まとめ

以上から、東北方言からインドネシア語への翻訳上の問題点を改めて細分化すると、「I 意味論的問題」には前述のように「I-a. 方言のほうがインドネシア語より意味範疇が広い」「I-b. 方言のほうがインドネシア語より意味範疇が狭い」「I-c. インドネシア語に適切な語がなく説明的になる」の3つの場合が存在し、その他にも「II 意味論以外の問題」として「II-a. 発音規則」「II-b. 人称」「II-c. 表現の対象」の3つの問題点が明らかになった。これらを表にまとめると、表20のように示すことができる。

表20. インドネシア語への翻訳上の問題点

I 意味論的 問題	I-a. 方言のほうがインドネシア語より意味範疇が広い
	I-b. 方言のほうがインドネシア語より意味範疇が狭い
	I-c. インドネシア語に適切な語がなく説明的になる
II 意味論 以外の 問題	II-a. 発音規則
	II-b. 人称
	II-c. 表現の対象

以上、本章では『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』を用いて、東北方言からインドネシア語への翻訳の際に見られる問題点について考察した。インドネシア語では、前章までの言語と同様の問題点が見られた。

東北地方の在留外国人の中ではインドネシア国籍は7位であり、中国籍や韓国籍と比較しては多いとは言えない。しかし、経済連携協定（EPA）に基づく看護師や介護福祉士及びその候補者としてインドネシアからの来日が年々増加している。この東北方言とインドネシア語の対照研究も将来的には現在以上に重要性が増すと考えられる。次章ではポルトガル語への翻訳上の問題点について記していく。

資料 10 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（インドネシア語）

	方言	意味	意味翻訳	例文		例文翻訳
1	～える	(環境や状況のために)～できる(「能力があつてできる」とは別)	～dekiru (Untuk menunjukkan suatu keadaan dan lingkungan) (Bukan untuk menunjukkan karena kita memiliki kemampuan)	A:	ねえ、市役所から手紙が来たけど、なんて書いてあるの？	Eh ini ada surat dari balai kota, tapi apa tulisannya?
				B:	うーん、へや くらくて よまえねな。 (うーん、部屋が暗くて読めないな。) (津軽)	Hmmm... di ruangan ini gelap tidak terbaca tulisannya.
2	～がね？(～がねか？)	～(して)かない？	Bagaimana kalau, maukah (mau tidak kalau) ～？	A:	あ、すみません、ちょっと話があるんですけど大丈夫ですか？	Maaf, Kalau boleh ada yang perlu saya bicarakan?
				B:	あ、へば おらえさ よつてがねか？ (あ、じゃあ私の家に寄っていかない？)(秋田)	Gimana kalau datang ke rumahku?
3	～さる	つい・うっかり～する、自然に・勝手に～する、たまたま～する	Hanya, melakukan hal yang sembarangan, secara natural, dengan seenaknya, kebetulan	A:	昨日、山田さんが私に会いに来てたらしいね。	Kemarin katanya Yamada datang untuk bertemu denganku yah.
				B:	ん、なの えのめとおったずきに たまたま やず みらさったや。 (うん、君の家の前を通ったときに偶然彼を見かけたよ。)(津軽)	Iya, Kemarin saat lewat depan rumah kamu saya kebetulan bertemu dengannya.
4	～す(～し)	～です(丁寧な言い方)	Pola kalimat ～Desu merupakan (Cara bicara yang sopan)	A:	こんにちはー。今日は寒いですね。	Selamat siang. hari ini dingin yah.
				B:	んだなす。 (そうですね。)(会津)	Iya yah.
5	～すけ(～す)	～(だ)から	Karena～	A:	例文なし	
				B:		

6	～つけ(一)	～(な)んだ(相手に情報を与えるときに使う)	(Digunakan ketika memperoleh informasi dari lawan bicara)	A:	そういえば、隣の家の山田さん、引っ越したみたいなんですよ。	Ngomong-ngomong, Yamada yang tinggal di sebelah, sepertinya sudah pindah rumah yah.
				B:	あ、そっかー。さっきとおったつけが、いえのまえなんもなくなっただよー。 (あ、そっかー。さっき通ったんだけど、家の前に何もなくなっただよー。)(会津)	Oh gitu yah, Tadi lewat kesitu, di depan rumahnya tidak ada apa-apa.
7	～っちゃ	「～れた」の省略形(疲れた→つかっちゃ、食われた→くわっちゃ)	Pola kata yang menggunakan (～reta) bentuk singkatnya menjadi (～cha) Contoh : tsukareta →tsukatcha, kuwareta→kuwatcha,	A:	あれ？バッグどうしたの？	Eh, Tasnya mana?
				B:	あー、だれがに もってがっちゃ。 (あー、誰かに持っていかれちゃった。)(会津)	Sepertinya ada yang membawanya,
8	～はんで(～はで)	～(だ)から	Karena ~	A:	これから買い物に行ってくるけど、何かほしいものある？	Saya mau pergi belanja, apa ada yang ingin dibeli?
				B:	そろそろ さどー なくなってきたはんで、さどー かってきてけ。 (そろそろ砂糖がなくなってきたから、砂糖を買ってきて。)(津軽)	Gula tinggal sedikit lagi mau habis, belikan gula yah.
9	～びよん(～べおん、～べお)	～だろうね	Mungkin～	A:	今夜はとても寒いね。	Hari ini dingin sekali.
				B:	あす ゆぎ ふるびよん。 (明日は雪が降るだろうね。)(津軽)	Mungkin besok akan turun salju.
10	～ら	～(て)いる、～(て)いた	Sedang~, Sudah~	A:	ちょっと外行きませんか？	Main keluar yuk sebentar.
				B:	あめ ふったらやー？ (雨が降ってるよ？)(秋田)	Hujan loh.
11	あさぐ	歩く	Berjalan	A:	(道路で)すみません、この近くにコンビニはありますか？	(di jalan) Maaf, di dekat sini ada supermarket tidak?
				B:	このみちば まっすぐ あさいたら あるや。 (この道をまっすぐ歩くとあるよ。)(津軽)	Ada, tinggal lurus saja jalan dari sini.

12	あじやらだ(あじやらになる)	みっともない、いい加減だ	Tidak pantas, Berlaku seenaknya	A:	あの先生の教え方、どうですか？	Bagaimana cara mengajar guru itu?
				B:	あじやらだな。 (いいかげんだな。)(伊達)	Kurang bagus mengajarnya (tidak pantas, seenaknya)
13	あずましー	心地よい、気持ちいい	Nyaman, perasaan yang nyaman	A:	昨日温泉に行ったみたいだけど、どうだった？	Kemarin sepertinya pergi ke pemandian air panas yah, gimana rasanya?
				B:	ああ、あずましたなー。 (ああ、気持ちよかったよー。)(津軽)	Iya, rasanya nyaman,
14	あめる	料理が腐る、【南】 (髪などが)べたべたする	Makanan yang basi, 【南】 (Rambut dan lainnya) lengket	A:	おかず食べますか？	Mau lauk (makanan)?
				B:	おやおや… これ あめでらや。 (おやおや…これ悪くなってるよ。)(秋田)	Oh makasih, jadi ga enak.
15	あるって	歩いて	Berjalan	A:	すみません、駅まで行きたいんですけど…。	Maaf, saya mau pergi ke stasiun… kearah mana yah..
				B:	このみち まっすぐ あるってぐど、 そのうち つぐがら。 (この道をまっすぐ歩いていくと、そのうち着くよ。)(会津)	Lurus terus dari sini, nanti ketemu stasiun disana.
16	あんべわり	具合が悪い、病気だ、都合がよくない	Tidak merasa enak badan, Sakit, Keadaanya tidak baik	A:	あ、どうしたんですか？	Kenapa?
				B:	あんべわりー。 (具合が悪いなー。)(秋田)	Eggak enak badan.
17	いいあんべ (いあんべ)	ちょうどいい、心地いい	Iya bagus, Nyaman	A:	ちょっとマッサージしてあげますよ。	Mau saya pijitin.
				B:	んー どれどれ… あー いいあんべだな。 (んーどれどれ…あーいい感じだね(=ちょうどいいね。)(会津)	Iya boleh, enak pijatannya. (enak sekali pijatannya)
18	いたましい(いたます)	もったいない	Terlalu bagus	A:	もうこれ、いらないから捨てましょう。	Ini sudah tidak dipake lagi, buang yah.
				B:	いたましー。 (もったいないなー。)(伊達)	Sayang (terlalu bagus) kalau dibuang.

19	うすらかすらする(うらからする)	ぶらぶらする、うろ うろする	Bermain-main, berjalan-jalan keliling	A:	あぶねがら うすらかすらすしてんまず。 (危ないから(そこを)うろろうしてるんじやないよ。)(会津)	Jangan bermain-main disitu, bahaya
				B:	あ、ごめんなさい。	
20	うだで	気持ちが悪い、 【津】大変だ	Rasa tidak nyaman, 【津】 merasa kesulitan	A:	さっきあそこに虫がいっぱいいましたね。	Tadi, disana banyak serangga yah.
				B:	あー、んだ、うだでがったなー。 (あー、そうだね、気持ち悪かったね。)(秋田)	Iya, enggak nyaman.
21	うつつあし(うっちゃし)	うるさい	Berisik	A:	ねえねえ、ねえ、ちょっと話聞いてよ。	Hey, dengerin cerita aku dong.
				B:	うつつあしな、おめ あっちゃ いてる。 (うるさいな、お前あっちに行ってる。)(会津)	Berisik,kamu pergi sana.
22	うるかす(うるがす)	(米などの乾燥した物を)水につける、 【仙・中・会】使用後の食器に水を張る、【秋】話を保留にする	(Beras dan lainnya, sesuatu yang telah dikeringkan) Dimasukkan kedalam air 【仙・中・会】 Peralatan makan yang telah digunakan dimasukan ke air (membersihkan),【秋】 Menunda pembicaraan	A:	一緒にごはん作りましょう。	Ayo kita buat masakan bersama.
				B:	んでばー、こめ うるがしとくから。 (じゃあ、米を水につけておくから。)(伊達)	Aku akan merendam (membersihkan) berasnya.
23	えずい(いずい、えんつこい、えんつけあ、えんず)	目のごみがごろごろする、違和感がある、変な感じがする、居心地が悪い	Ada sesuatu yang mengganjal (menghalangi) di mata, ada perasaan tidak nyaman, ada perasaan yang aneh, ada perasaan tidak nyaman (merasa bukan pada tempatnya)	A:	その靴かっこいいですね。	Sepatu itu keren yah.
				B:	でも いずいんだ。 (でもなんかしっくりこない(違和感がある)んだよ。)(伊達)	Iya, tapi ada sesuatu yang tidak pas.

24	おがる	大きくなる	Menjadi besar	A:	おじさん、お久しぶりです。	Paman, lama tak bertemu.
				B:	あれ おめ、おがったねやー。 (おやお前、大きくなったなー。)(伊達)	Kamu sudah besar yah.
25	おしょうしな	ありがとう	Terima kasih	A:	例文なし	
				B:		
26	おしよし(おしよし、おしよす)	はずかしい	Malu	A:	境さん(話し相手の名前)、この前、駅前 で激しく転んでましたね。	Sakai (nama lawan bicara) Waktu itu kamu jatuh di stasiun yah.
				B:	あいづ おしよすかったやー。 (あれははずかしかったよー。)(伊達)	Itu hal yang memalukan.
27	おだつ	はしゃぐ、調子に乗る	Bermain-main, Terbawa suasana	A:	この前、高いお皿を割っちゃいましてねー。	Waktu itu, memecahin piring yang harganya mahal yah
				B:	おだづがらだ。 (調子に乗るからだぞ。)(伊達)	Karena terlalu terbawa suasana.
28	おたる	疲れる	Melelahkan	A:	昨日はマラソン大会に参加したんだってね。	
				B:	いやー、おだったや。 (いやー、疲れたよ。)(津軽)	
29	おちる(おじる、おずる)	降りる、下車する	Turun, Menurunkan	A:	(バスの中で)すみません、図書館に行きたいんですけど…。	(di dalam bus) Maaf, saya mau pergi ke perpustakaan...
				B:	あー、つぎで おちっと いいわい。 (あー、次で降りるといいよ。)(会津)	Oh, lebih baik turun di pemberhentian selanjutnya saja.
30	おどげでね	楽ではない、大変だ	Tidak menyenangkan, sulit (susah)	A:	今度、このプロジェクトをやろうと思うんですよ。	Selanjutnya, sepertinya mau mengerjakan proyek ini.
				B:	おどげでねーやー。 (大変だぞ。)(秋田)	Susah loh.

31	おばんです	こんばんは	Selamat Malam	A:	あ、小林さん。	Kobayashi san,
				B:	おばんです。 (こんばんは。)(秋田)	Selamat Malam.
32	おみよーにち (おみよーぬ ず)	おやすみなさい、さ ようなら、では明日 besok	Selamat tidur (istirahat), Selamat tinggal, Sampai besok	A:	例文なし	
				B:		
33	おんずくなし (おんじくなし)	臆病者、【会】ばか	Pengecut, 【会】Bodoh	A:	いやー、昨日、寝坊しちゃって、入学試 験受けられなかったよ。	Kemarin, karena bangun kesiangan aku tidak bisa mengikuti ujian masuk sekolah.
				B:	おんずくなしー。 (ばかだなー。)(会津)	Bodohnya.
34	がおった	疲れた、病気で弱 る	Lelah, lemah karena sakit	A:	昨日山登りしたんですってね？	Kemarin, katanya mendaki gunung yah.
				B:	いやー、がおった がおった。 (いやー、疲れた疲れた。)(秋田)	Ah, melelahkan cape.
35	かせる ¹	かぶれる(植物、織 維、金属、薬品など で皮膚が赤くなっ たりかゆくなったりす る)	Alergi,Iritasi (Kulit menjadi merah dan gatal karena tumbuhan, serat (kain), Logam, Obat dan lainnya)	A:	ちよつと首のまわりがかゆいんですよ ー。	Ini sekeliling leherku gatal- gatal.
				B:	あー、なんかに かせだみでだな。 (あー、なんかにかぶれたみたいだ な。)(会津)	Iya benar sepertinya kamu iritasi (alergi)
36	かせる ² (かへ る)	食べさせる	Membuatkan makanan (memberi makanan)	A:	このごはん誰の？	Ini makanan buat siapa?
				B:	子どもに かせんのしゃ。 (子どもに食べさせるんだよ。)(伊達)	Ini buat anak-anak.
37	かちやくちやね	物事が進まずイラ イラする、ややこし い、散らかっている	Frustrasi (ada rasa marah) karena ada hal yang tidak berjalan lancar (tidak maju-maju), membingungkan, berantakan	A:	どう？仕事は進んでる？	Gimana? Pekerjaannya sudah lanjut sampai mana?
				B:	あー、まねや。かちやくちやね！ (あー、全然だめだよ。イライラする ー！)(津軽)	Aah, Sama sekali belum. Menyebalkan! (kesal)

38	かちやペネ	しっかりしていない、壊れやすい、軽率な	Tidak baik, Mudah rusak atau pecah, hancur, Ceroboh	A:	太郎って、体が大きくて丈夫そうだよね？	Taro badanya semakin besar dan terlihat sehat (kuat) yah.
				B:	んにや、かちやペネ やつだや。 (いや、弱々しいやつだよ。)(津軽)	Enggak, dia orang yang lemah.
39	がっこ	つけもの	Acar	A:	今日のおかず、なんですか？	Lauk (makanan) hari ini apa?
				B:	きょうの おかずは、おずげっこど がっこだけ。 (今日のおかずは、みそ汁とつけものだけ。)(秋田)	Lauk (makanan) hari ini cuman sup miso sama acar.
40	かでる	仲間に入れる	Dijadikan teman (Diajak bergabung)	A:	「まぜる」の例文を参照	
				B:		
41	がな	(名詞・代名詞)のもの(私、あなた、あっち、山田さん、など)	Menunjukkan (Kata Benda, Kata Ganti) (Saya, Kamu, Disana, Yamada dan lain-lain)	A:	これ食べていいですか？	Ini boleh dimakan enggak?
				B:	あ、これ おれがな。 (あ、これは私の。)(会津)	Ah, ini punya saya,
42	かばねやむ	なまける(仕事などやらないといけないことをしない)、サボる	Bermalas-malasan (Tidak melakukan pekerjaan yang seharusnya dilakukan), Bolos	A:	この仕事、全然終わりませんね。	Pekerjaan ini sama sekali tidak selesai-selesai.
				B:	あいつ かばねやんで さっぱり すすまねんだ。 (あいつなまけて(=サボって)全然進まないんだ。)(伊達)	Orang itu malas (bolos) sama sekali tidak ada kemajuan.
43	かまりっこ	香り、におい	Bau (aroma, harum, tidak harum)	A:	ごはんできたよ。	Makanannya (nasinya) sudah siap.
				B:	んー、いい かまりっこだな。 (んー、いいにおいだね。)(津軽)	Emm... baunya enak (harum).
44	かめこ(かめっこ)	人見知りする(知らない人を見て恥ずかしい・いやだと思う)	Pemalu (orang yang selalu menghindar), (Kalau melihat orang yang tidak dikenal perasaannya malu・ada rasa tidak nyaman)	A:	あーこの赤ちゃん、全然笑ってくれない。	Bayi ini, sama sekali tidak memberi senyuman.
				B:	あー それ かめっこしてんだよ。 (あーその子は人見知りしてるんだよ。)(会津)	Oh anak itu tidak nyaman pada orang yang belum dikenalnya.

45	かんじる	とても寒い	Sangat dingin (Dingin Sekali)	A:	おはようございます。	Selamat pagi.
				B:	あー きょう かんじるなー。 (あー今日はとても寒いねー。)(会津)	Hari ini dingin banget yah.
46	かんつける (かんずける、 かずける)	すねる、いじける、 ふてくされる(いや な気持ちがあつて 相手のいうことを聞 かない)、人のせい にする	Merajuk(Marah), Melawan, Menjadi marah (tidak bertanggung jawab) (ada perasaan kesal atau tidak enak dengan lawan bicara, sehingga tidak mau mendengarkan perkataan apapun dari lawan bicaranya), Menyalahkan orang lain.	A:	あの子、さっきからずっと泣いてるよ。	Anak itu dari tadi nangis terus.
				B:	ああ、かずけでもんなー。 (ああ、すねてるもんなー。)(秋田)	Mungkin lagi kesal.
47	きかねー(きか ねあ、ちかね ー)	気が強い(相手の 言うことを聞か ない、自分の意見 を押し通す、負け ず嫌い)	Berani (orang yang kuat), (tidak mendengarkan perkataan orang lain, mengeluarkan pendapatnya sendiri, tidak suka mengalah (tidak suka kekalahan))	A:	あの女の子、また男の子とけんかして るよー。	Wanita itu, bertengkar lagi dengan laki-laki.
				B:	きかねがらなー。 (気が強いからなー。)(伊達)	Karena dia orangnya berani.
48	きどころね(き どころね)	寝るつもりがない のに(服を着たま ま)寝てしまう	Tanpa bermaksud tidur (tidur tanpa mengganti pakaian sebelumnya) tertudur	A:	昨日ものすごく酔っぱらってましたけ ど、あのあと大丈夫でしたか？	Apakah kamu baik-baik saja setelah kemarin mabuk berat?
				B:	あさ おぎだら、きどころねした。 (朝起きたら、服を着たまま寝てた。(家 に帰ったら、着替えないで外で着た服 のままで寝てしまった。)(会津)	Pada saat bangun pagi, aku masih memakai baju yang sama. (setelah pulang kerumah, tanpa mengganti pakaian langsung tertudur)
49	きみ	とうもろこし	Jagung	A:	このコロッケどうぞ。	Silahkan makan kroket ini.
				B:	あ、きみ はいってら。 (あ、とうもろこし入ってる。)(秋田)	Wah, isinya jagung.

50	きゃっぱりする (きゃっぱりをとる、かわっぺ ありする、かっ ぱをとる)	靴の中に水が入 る、川に落ちる	Ada air yang masuk kedalam sepatu	A:	あれ、足ぬれてますね。	Itu kaki kamu basah.
				B:	いやー、あそこで きゃっぱりとってや ー。 (いやー、あそこで水たまりをふんで靴 に水が入っちゃってさー。)(伊達)	Iya itu disana ketumpahan (kecipratan) air, basah sampai kedalam sepatu.
51	け(けー)	食べなさい、ちょう だい、かゆい、【秋】 来なさい	Makanlah (Ayo dimakan), Minta, Gatal, 【秋】Kesini (Kesini datang)	A1:	おなかすいた。	Lapar.
				B:1	まんま け。 (ごはん食べなさい。)(伊達)	Makanlah.
				A2:	呼びましたか？	Kamu panggil?
				B2:	あー、こっちや け、こっちや け。 (あー、こっちおいで、こっちおいで。) (秋田)	Iya kesini, kesini
52	けっぱる	頑張る	Semangat	A:	明日は大事な試験があるんだよ。	Besok ada tes yang penting.
				B:	けっぱれ！ (頑張れ！)(津軽)	Semangat!
53	けね	役に立たない	Tidak berguna, tidak bermanfaat	A:	例文なし	
				B:		
54	けやぐ	友だち	Teman-teman	A:	へー、これが子どもの時の写真か。君 の隣にいるのは誰？	Eeh, ini foto waktu masih kecil yah? Siapa yang ada di sebelah kamu?
				B:	けやぐの たろうだや。 (友だちの太郎だよ。)(津軽)	Taro, teman aku.
55	こわい(こえ ー)	疲れた	Cape, Melelahkan	A:	今日ずっと仕事だったんですね。	Hari ini kerja terus yah.
				B:	こえー。 (疲れたー。)(秋田)	Iya melelahkan.
56	ごんぼほる	だだをこねる(わが ママを言うて言うこ とをきかない)	Merengek (mengatakan yang seenaknya (sesuai yang dia inginkan) tanpa mendengarkan orang lain) Egois	A:	このおもちゃがほしい！	Aku ingin mainan ini.
				B:	ごんぼほるな。 (わがママを言うんじゃない。)(秋田)	Jangan bicara seenaknya (egois).

57	さすけねー	大丈夫だ	Tidak apa-apa	A:	おばあさん入院したんですって？	Nenek katanya masuk rumah sakit yah.
				B:	あ、さすけねー。らいげづには たいいんだがら。 (あ、大丈夫だよ。来月には退院だから。)(会津)	Iya tidak apa-apa, bulan depan juga sudah keluar dari rumah sakit.
58	しなっこい(しなっけ、すなこえ)	しなやか、食べ物がなかなか噛み切りにくい感じ	Fleksibel (elastis) kenyal, makanannya susah dikunyah	A:	このドライフルーツ食べてみて。	Coba makan buah-buahan kering ini.
				B:	んん、すなこえな。 (んん、なかなか噛み切れないよ。)(気仙)	Hmm...agak susah dikunyahnya yah.
59	しばれる(すばれる)	とても寒い	Sangat dingin (Dingin Sekali)	A:	「かんじる」の例文を参照	
				B:		
60	ジャス	ジャージ	Pakaian olah raga	A:	(ハイキングの前日)何か用意するものはありますか？	(sehari sebelum pergi hiking) Apakah ada sesuatu yang perlu dipersiapkan?
				B:	ジャス もってけ。 (ジャージを持っていきな。)(伊達)	Bawa pakaian olah raga yah.
61	しょし	はずかしい	Malu	A:	「おしょし」の例文を参照	
				B:		
62	じょっぱり(じょっぱり)	頑固者(自分の考えを変えない人)	Keras kepala (Orang yang tidak mau merubah cara berpikirnya)	A:	俺の考えは間違っていない！絶対に正しい！	Pendapat aku tidak salah! Pasti benar!
				B:	じょっぱりだなー。 (頑固者だなー。)(津軽)	Kamu orang yang keras kepala yah.
63	すける	手伝う	Membantu	A:	(大きな箱を持って)いやー、これ重いですね。	(membawa dus besar) Bus ini berat yah.
				B:	でば すけっかや。 (じゃあ手伝おうか。)(伊達)	Sini saya bantu.

64	すっぱね(すっぱね、しっぱね)	泥はね(水たまりなどを人や車が通った時にかかる水)	Cipratan lumpur (Cipratan air dan lainnya yang mengenai orang ketika mobil sedang lewat)	A:	ズボンどうしたんですか？	Kenapa celananya?
				B:	あー すっぱね かがった。 (あー泥はねがかかった。)(秋田)	Iya ini kecipratan lumpur.
65	ずねー	大きい	Besar	A:	りんご買ってきたよ。	Aku beli apel loh.
				B:	うわー、これ ずねーなー。 (うわー、これ大きいなー。)(会津)	Wow, besar sekali apelnya.
66	せつね(せつね、へずね)	つらい	Sulit, susah (Keadaan)	A:	あのおばあちゃん、病気になったみたいですね。	Nenek itu, sepertinya menjadi sakit.
				B:	あー、へずねべなー。 (あー、つらいだろうなー。)(秋田)	Iya kasihan (sepertinya akan kesulitan).
67	ぞうさね(ぞさね、じよさね)	簡単だ、どうってことない	Mudah, Bukan apa-apa	A:	いやー、本当にありがとうございました。	Terima kasih banyak yah.
				B:	いや、こんなの ぞうさね。 (いや、こんなのどうってことないよ。)(会津)	Tidak, bukan apa-apa kok.
68	たがぐ(たんがぐ、たなぐ)	持つ、持ちあげる	Membawa, membawakan	A:	何かお手伝いしましょうか？	Adakah yang bisa saya bantu?
				B:	あー、その いす たがいでけろ。 (あー、そのいす持って。)(伊達)	Tolong bawakan kursi itu.
69	たごまる	(糸などが)たるむ、(服などが)一ヶ所に寄ってくしゃくしゃになる、【会】からまる	(Benang dan lain-lain) mengendurkan, (Pakaian dan lain-lain) Menjadi kusut pada satu tempat, 【会】Membelitkan	A:	例文なし	
				B:		
70	たれかもの	なまけ者(仕事などをしない人)	Orang yang malas (orang yang tidak melakukan pekerjaan apapun)	A:	例文なし	
				B:		
71	たんげ	すごく、とても	Luar biasa, sangat	A:	このレストランの料理、どう？	Gimana dengan masakan di restoran ini?
				B:	ん、たんげ めな。 (うん、とてもおいしいね。)(津軽)	Iya, sangat enak yah.

72	だんだん	もうすぐ、そろそろ	Sebentar lagi, segera	A:	(病院の待合室で)すみません、あの、私はもう名前呼ばれましたか？	(di ruang tunggu pasien di rumah sakit) Maaf nama saya sudah dipanggil belum?
				B:	いいや、だんだん よばれんべ。 (いいや、そろそろ呼ばれるでしょうね。)(会津)	Belum, sebentar lagi akan dipanggil.
73	たんぱら	短気(すぐ怒る人)	Tidak sabar (Mudah marah)	A:	あの人またけんかしてましたよ。	Orang itu bertengkar lagi.
				B:	たんぱら だがらなー。 (短気だがらなー。)(秋田)	Karena orangnya tidak sabaran (mudah marah).
74	ちゃっちゃど (ちゃっちゃと、 ちゃちゃど)	さっさと、早く	Gesit (lakukan dengan gesit), cepat	A:	これから準備するからちよつと待ってて。	Karena ini sedang siap-siap tolong tunggu sebentar yah.
				B:	ちゃっちゃど しろ。 (さっさとして。)(伊達)	Cepat kerjakan!
75	ちよす	いじる、さわる	Menyentuh, memegang	A:	このお皿高そうですね。	Piring ini terlihat mahal yah.
				B:	あー、ちよすなよ。 (あー、触らないでよ。)(秋田)	Jangan dipegang!
76	つっかけ	サンダル	Sandal	A:	ちよつと出かけてきます。	Aku pergi keluar sebentar.
				B:	あー、そこの つっかけ はいでげ。 (あー、そこのサンダルはいていきな。)(会津)	Pakai saja sandal itu.
77	でかす	完成させる、終わらせる	Selesaikan	A:	この仕事、明日まででいいですか？	Pekerjaan ini boleh dikerjakan sampai besok tidak?
				B:	はやぐ でかせよ。 (早く終わらせてよ。)(伊達)	Cepat selesaikan!
78	とーきび(とーきみ、とーぎみ、とーみぎ、とーみに)	とうもろこし	Jagung	A:	おなかすいた。	Lapar.
				B:	んじゃあ、とーみぎ くらが？ (じゃあ、とうもろこし食べる?)(会津)	Mau makan jagung?

79	どでんした(どでした)	びっくりした	Kaget	A: 昨日隣のうち火事だったんですって?	Kemarin katanya disebelah ada kebakaran.
				B: どでしたやー。 (びっくりしたよー。)(秋田)	Iya sampai kaget.
80	ながまる	横になる、足を伸ばして休む	Membaringkan, istirahatkan dan rentangkan kaki	A: あ一つかれたー。	Aah capenya.
				B: あ、そこさながまれ。 (あ、そこで(足を伸ばして)休みな。)(秋田)	Istirahatlah (rentangkan kakimu) disana.
81	なげる	捨てる	Membuang	A: このお皿壊れちゃいましたね。	Piring ini pecah.
				B: そいづなげどげ。 (それ捨てといて。)(伊達)	Buang saja itu.
82	なにをしたの(なんしたの、なじよすた)	どうしたの	Kenapa?	A: ちょっと手が痛いんですよ。	Ini tanganku sakit.
				B: なんしたのー? (どうしたのー?)(会津)	Kenapa?
83	なんでかんで	どうしても	Bagaimanapun (caranya)	A: もう夜遅いけど、まだ仕事してるの?	Masih kerja, sudah larut malam begini?
				B: これあしたまでなんでかんでやんなんねだ。 (これ明日までにどうしてもやらないといけないんだよ。)(会津)	Karena ini bagaimanapun harus selesai besok.
84	なんも	どうってことない、気にしないで、どういたしました(お礼を言われた時の返事)	Bukan apa-apa, jangan dipikirkan, sama-sama (jawaban ketika ada yang mengatakan rasa terima kasih)	A: いやーこの間はどうもありがとうございました。	Terima kasih banyak atas selama ini.
				B: やー、なんもなんも。 (いやー、どうってことないよ。)(秋田)	Tidak, bukan apa-apa kok.
85	にやにやする	お腹や胃に違和感がある、お腹や胃の調子が悪い	Ada rasa tidak nyaman pada perut dan lambung, keadaan tidak nyaman pada perut dan lambung	A: なんだか体調悪そうだけど、どうしたの?	Kelihatannya kamu lagi tidak enak badan, kenapa?
				B: きながらいにやにやして…。 (昨日から胃の調子が悪くてね…。)(津軽)	Dari kemarin lambungku rasanya tidak nyaman (sakit)

86	ねっぱす	のりやテープでつける	Melekatkan (memakai) dengan lem atau plester (tape)	A:	これ壊れちゃいましたね。	Ini rusak yah.
				B:	んまーぐ ねっぱしとげ。 (上手に(のりやテープで)付けておいて。)(会津)	Sambungkan lagi dengan benar (melekatkan (memakai) lem dan plester(tape))
87	ねまる	(床や地面に)座る、休む	(Di lantai dan tanah) duduk, istirahat	A:	あ、おじゃまします。	Permisi, maaf mengganggu.
				B:	あ、そこさ まず ねまれ。 (あ、そこにまあ座って。)(秋田)	Silahkan duduk disana
88	のぜる	のどにつまる、吐きそうになる(オエツとなる)	Tersedak di tenggorokan, menjadi ingin muntah (mual)	A:	いやーこのもちおいしいですねー！	Mochi ini enak yah
				B:	あんまり いそいで くうど のぜっちまうぞ。 (あんまり急いで食べるとのどにつまっちゃうよ。)(会津)	Jangan makan tergesa-gesa nanti bisa tersedak.
89	はかいく	はかどる(順調に進む)	Membuat progres, cepat (Berjalan dengan lancar)	A:	あれ、今日帰り早いんですね。	Eh, sekarang cepat pulangnye.
				B:	いやー、しごと はがいてやー。 (いやー、仕事はかどってね。)(伊達)	Karena pekerjaanku berjalan lancar (cepat selesai)
90	はかはか	どきどき、はらはら	Jantung berdetak kencang, Gugup (Deg-degan), gugup (ada rasa cemas)	A:	見て、あんな高いところに人が立ってるよ！	Lihat, ditempat tinggi seperti itu ada orang yang berdiri
				B:	うわー、はかはかでやー！ (うわー、はらはらするー！)(秋田)	Wah takut (ada rasa cemas)
91	はなだんぼ	鼻にティッシュをつけること	Memasukan tisu ke hidung	A:	鼻血が出ちゃったよ。	Hidungku berdarah.
				B:	あー はなだんぼ しとげ。 (あー鼻にティッシュをつけておきな。)(会津)	Pakai tisu masukan ke hidung.
92	ばんげ	晩、夜	Malam	A:	今度一緒に、ごはん食べましょうよ。	Lain kali kita makan bareng yuk.
				B:	あー、あしたの ばんげ なんとだ？ (あー、明日の晩はどう？)(秋田)	Kalau besok malam gimana?

93	ひとめわりー	みっともない(人が見たくないと思う様子、かっこわるい)、はずかしい	Tidak pantas (Keadaan dimana berpikir orang-orang tidak mau melihatnya, tidak keren (jelek)), Malu	A:	見て、この服かっこいいでしょう？	Lihat, baju ini keren kan.
				B:	なんだ それ、ひとめわりーなー。 (なんだそれ、かっこわるいなー。)(会津)	Apa itu, jelek gitu.
94	ひまだれ(ひまだれかける、ひまだれする)	時間がかかること、時間をつぶすこと、時間の無駄	Menghabiskan waktu, menghabiskan waktu, menyia-nyiakan waktu	A:	昨日ずっと待ってたのに、友達が来なかったんだよ。	Kemarin aku terus menunggu temanku, tapi dia tidak datang.
				B:	そいつは ひまだれだったねー。 (それは時間の無駄だったねー。)(伊達)	Itu namanya menyia-nyiakan waktu.
95	ひゃっこい(ひゃっけ、ひゃけあ、しゃっこい、しゃっけ、しゃけあ)	冷たい	Dingin	A:	お水どうぞ。	Silahkan minum air ini.
				B:	うわー、しゃっけな これ。 (うわー、冷たいなこれ。)(会津)	Wah, airnya dingin.
96	ぶすくれる(ぶじくれる)	すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあつて相手のいうことを聞かない)	Merajuk(Marah), Melawan, Menjadi marah (tidak bertanggung jawab) (ada perasaan kesal atau tidak enak dengan lawan bicara, sehingga tidak mau mendengarkan perkataan apapun dari lawan bicaranya)	A:	たろう、ちょっと こっち きてみ。	Taro, coba kesini lihat.
				B:	ふん！知らないよ！	Enggak mau! enggak tau!
				A:	なに ぶすぐちんだー。 (なんですねてるの。)(会津)	Kenapa kamu merajuk (marah) begitu?
97	ぺあっこ(ぺっこ)	少し(副詞)	Sedikit (Kata keterangan)	A:	例文なし	
				B:		
98	へば(せば、んだば)	では、じゃあね(別れのあいさつ)	Sampai jumpa lagi (ucapan ketika berpisah)	A:	今日はどうもありがとうございました。	Terima kasih untuk hari ini.
				B:	へば まんずな。 (じゃあまたね。)(秋田)	Sampai jumpa besok.

99	ほろぐ(ほろく、ほるぐ)	払い落とす、【仙・中・会】(財布などを)落としてなくす	Membersihkan (menyikat) 【仙・中・会】(Dompot dan lainnya) menjatuhkan dan hilang	A: どうしたんですか？	Kenapa, ada apa (apa yang terjadi)?
				B: なんか さいふ、どっかに ほろったみでだな。 (なんだか財布をどこかに落としてなくしちゃったみたいだな。)(会津)	Sepertinya dompet aku hilang, enggak tau jatuh dimana.
100	ほろだぐ	払い落とす	Membersihkan (menyikat)	A: ただいま。外、雪すごかったよ。	Aku pulang...Diluar saljunya tebal.
				B: まず ゆき ほろだけ。 (とりあえず雪を払い落としなさい。)(秋田)	Setidaknya (sekarang) bersihkan dulu salju yang menempelnya (Diseluruh badan, di pakaian)
101	まぜる	仲間に入れる	Dijadikan teman (Diajak bergabung)	A: これからみんなで飲みに行こう。	Ayo kita pergi minum.
				B: (話し相手とは別の人が)あー おれもまぜでくろー。 (あー、俺のことも仲間に入れてー。)(会津)	(orang lain selain lawan bicara) Aku juga ajakin dong.
102	までーに	丁寧に	Dengan benar	A: 食器洗い終わったよ。	Piringnya sudah selesai dicuci.
				B: ん、まだ よごれぢゅーなあ。までーに あられ。 (ん、まだ汚れてるなあ。丁寧に洗ってよ。)(津軽)	Hmm...masih kotor, lakukan dengan benar.
103	まね	だめだ、いけない、(～しないと)いけない	Tidak boleh, Tidak bisa, harus	A: あれ、どこか出かけるの？	Eh, mau pergi kemana?
				B: んにやー、こいがら びょーいんさいがねばまねんだね。 (いやー、これから病院にいけないといけないんだよ。)(津軽)	Sekarang harus pergi ke rumah sakit.

104	みったぐね(みたぐね、みたぐねあ)	みっともない(人が見たくないと思う様子、かっこわるい)、にくたらしい(≡腹立たしい、頭に来る、ムカムカする)	Tidak pantas (Keadaan dimana berpikir orang-orang tidak mau melihatnya, tidak keren (jelek), Menyebalkan (≡Marah (kecewa), Marah, merasa tidak enak badan (mual))	A:	ちよつと出かけてきます。	Aku pergi keluar sebentar.
				B:	そんな みったぐねー かっこ すんな。 (そんなみっともない格好しないで。) (伊達)	Jangan keluar dengan (berpakaian) seperti itu.
105	むつける(むずける)	すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあつて相手のいうことを聞かない)	Merajuk(Marah), Melawan, Menjadi marah (tidak bertanggung jawab) (ada perasaan kesal atau tidak enak dengan lawan bicara, sehingga tidak mau mendengarkan perkataan apapun dari lawan bicaranya)	A:	えー、この前約束したのに、明日だめなの？！	Waktu itu sudah janji kan, besok jadi tidak bisa?
				B:	そう むつけるな まず。 (そうすねないでよ、まあまあ。)(秋田)	Jangan marah gitu dong, tenang.
106	むったり	一心に(一つのこと)にひたすら集中している様子)	Dari hati (keadaan dimana sungguh-sungguh (fokus) berkonsentrasi pada sesuatu hal)	A:	あの人本読んでますね。	Orang itu lagi membaca buku yah.
				B:	ああ、さっきから むったり ほんよんでるな。 (ああ、さっきからひたすら集中して本を読んでもるね。)(秋田)	Iya dari tadi dia sungguh-sungguh konsentrasi baca bukunya.
107	めぐせ(みぐせ)	みっともない、はずかしい	Tidak pantas, Malu	A:	あのおじいさん、いつもパンツで歩いてるよ。	Kakek itu selalu jalan-jalan hanya dengan memakai celana itu.
				B:	めぐせーよなー。 (みっともないな。)(伊達)	Tidak pantas yah (Memalukan)
108	めぐい(めんこい、めんけ、めげー)	かわいい	Lucu	A:	これが私の子どもの写真です。	Ini foto anak saya.
				B:	あー、めんこいねー！ (あー、かわいいねー！)(伊達)	Wah, lucu.
109	やっこい(やっけ、やけあ)	柔らかい	Lembut	A:	「んめ」の例文を参照	
				B:		

110	やっちゃかね (やっちゃげ ね)	役に立たない	Tidak berguna	A:	この携帯、買ったばかりなのに、すぐ壊れちゃったよ。	Padahal handphone ini baru beli, tapi langsung rusak.
				B:	そら やっちゃがねなー。 (それは役立たずだなー。)(会津)	Itu namanya tidak berguna.
111	やばつい(や ばち)	湿って気持ちが悪 い、【秋】手などが 汚れる、【伊】よろし くない、まずい	Karena basah jadi tidak enak(perasaan, kondisi badan),【秋】Tangan dan lainnya menjadi kotor. 【伊】Tidak baik, Tidak enak	A:	(食べ物を食べていて)あ、て やばつ く なった。 (あ、手が汚れちゃった。)(秋田)	(ketika sedang makan) Ah, tangannya kotor.
				B:	あ、ティッシュをどうぞ。	Pakai tisu ini
112	やむ(やめる)	病気になる、痛む、 具合が悪くなる	Menjad sakit. sakit, Kondisi badan tidak baik	A:	最近あのおばあさん見ないですね。	Akhir-akhir ini tidak melihat nenek itu.
				B:	やんでらんでねーかー？ (病気なんじゃないの？)(秋田)	Apa mungkin sakit?
113	やんだおら(や んたおら、おら やんだ)	嫌だ(【会】では女 性が使うことが多 い)	Tidak mau (【会】Kata ini banyak digunakan oleh wanita)	A:	ちょっとお金貸してくれませんか？	Boleh tidak aku pinjam uang?
				B:	おらやんだ。 (俺はいやだよ。)(伊達)	Tidak mau (tidak boleh)
114	わらすっこ	子ども	Anak	A:	これ、うちの家族の写真です。	Ini adalah foto keluargaku.
				B:	あーりや、かわいい わらすっこだご ど。 (あーら、かわいい子どもだなー。)(伊 達)	Wah, anaknya lucu.
115	わらはんど (わらしゃん だ)	子どもたち	Anak-anak	A:	これが私の家族の写真です。	Ini adalah foto keluarga saya.
				B:	めごい わらはんどだな。 (かわいい子どもたちだね。)(津軽)	Anak-anak yang lucu yah.
116	わらわら	急いで、早く	Terburu-buru, Cepat	A:	すみません、もうちょっと待って頂けますか？	Maaf, bisa menunggu sebentar lagi?
				B:	までね、わらわらど やれ。 (待てない、急いでやりなさい。)(伊達)	Tidak bisa, kerjakan secepatnya!

117	わんつか(わ ずか)	少し、ちょっと(副 詞)	Sedikit, Sebentar (Kata Keterangan)	A:	あの、写真撮ってくれないか？	Maaf, boleh minta tolong ambilkan foto?
				B:	わずか みぎさ よってけれ。 (少し右に寄ってください。)(秋田)	Boleh sedikit mendekat pada batu. (ke sebelah kanan)
118	んだ	はい、うん、そうだ	Iya	A:	あ、齋藤さんですか？	Apakah ini dengan Saito?
				B:	んだ。 (はい。)(会津)	Iya.
119	んだから(だか ら)	そうだよ、そうでしょ う(同意)(※原因・ 理由を表すわけ はない)	Iya, iya seperti itu (Pendapat yang sama) (Tanpa menyebutkan penyebab dan alasan)	A:	あの人とってもいい人だね。	Orang itu orang baik yah.
				B:	んだがらー。 (そうでしょう。)(秋田)	Iya dia baik.
120	んにゃ(んで ねあ)	いや	Tidak	A:	このプリント、今日使いますか？	Hari ini mau memakai printer ini tidak?
				B:	んでね、あした つかうんだ。 (いや、明日使うんだよ。)(伊達)	Tidak, besok dipakainya.
121	んめ(んめあ、 め)	おいしい	Enak	A:	このお肉どうですか？	Bagaimana rasa daging ini?
				B:	あ、やっけて んめごど。 (あ、やわらかくておいしいなー。)(秋 田)	Rasanya lembut dan enak.

第13章 ポルトガル語への翻訳上の問題点

これまでは、英語・中国語・韓国語・インドネシア語に関する翻訳上の問題点について見てきた。本章では、『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』で採用したポルトガル語での翻訳上の問題点について考察する。

ポルトガル語においても、これまで同様にまず意味範疇のずれによる問題、すなわち意味論的問題を考えることにする。そしてその中には、方言のほうがポルトガル語より意味範疇が広い場合と、方言のほうがポルトガル語より意味範疇が狭い場合が考えられる。また、必ずしも対応する適切な語がなく、説明的になってしまう場合もある。各問題点の詳細は後述していくが、以上を表にすると表21のようになる。

表21. ポルトガル語翻訳での意味論的問題の種類

I 意味論的問題		
I-a. 方言のほうがポルトガル語より意味範疇が広い	I-b. 方言のほうがポルトガル語より意味範疇が狭い	I-c. ポルトガル語に適切な語がなく説明的になる

本章では、方言集用に翻訳を依頼した項目について、上記のような問題点について考察していく。調査方法としては、ポルトガル語翻訳担当者に翻訳依頼した際の翻訳リスト（資料11『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（ポルトガル語））を改めて見てもらいながら、インタビュー形式による各項目の意味やその他方言との違いについて聞き取り調査を実施した。

ポルトガル語翻訳担当者は、現在日本に居住するブラジル人男性である。彼は母国の大学において日本語を学んだ後、10年ほど同大学で日本語教師として勤務していた。その後、日本の大学院へ留学して修士号を取得している。現在はJETプログラムによる国際交流員として、自治体でポルトガル語翻訳・通訳業務等を行っている。そのため、彼自身日本語とポルトガル語の言語的差異に敏感であり、ポルトガル語翻訳者及び本調査の協力者として最適であると判断し、依頼した。なお、ポルトガル語の語義の確認には適宜池上他編(2014)及びFeffeira (2010)を用いた。

本章においても「例文」という表現が現れるが、これは前章までと同様、方言集の各方言項目について作成した例文のことである。本章で扱う各項目の詳細については、本章末尾にある資料11『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（ポルトガル語）を参照されたい。

また、これまで同様方言形式は【 】, それに相当する標準語は《 》、具体的な意味は〔 〕で括る。

13.1. 方言のほうがポルトガル語より意味範疇が広い場合

まず考えられるのは、東北方言の語のほうがポルトガル語の該当する語より意味範疇が広い場合である。

例えば、東北全域で用いられる【あんべわり】は標準語でいう《具合が悪い》に相当する語である。両方の表現には a. [体調が悪い] と b. [都合が悪い] の二つの意味がある。すなわち【あんべわり】と《具合が悪い》の意味範疇はほぼ同じと考えてよい。しかし、ポルトガル語の対応する語で考えた場合、a.に該当するのは“sentir-se mal”や“estar doente”で、b.に該当するのは“não ser conveniente”とそれぞれ別の語で示すことになる。【あんべわり】について東北方言とポルトガル語の語彙の意味範疇の関係性を図に示すと図 68 のようになる。

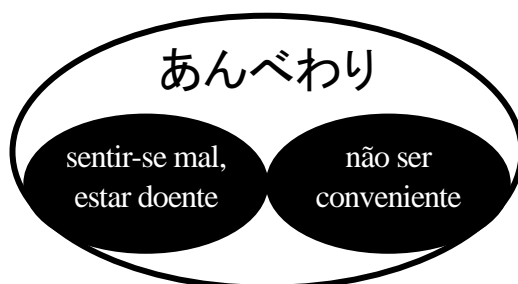


図68. 【あんべわり】における東北方言とポルトガル語の意味範疇の関係図

このように、方言の意味範疇がポルトガル語のそれを内包する形になる。

また、これを方言の意味範疇を D、ポルトガル語の意味範疇を P として一般化すると、I-a.を示す図として図 69 のように示すことができる。図では D が E を 2 つ内包している図になっているが、これはもちろん必ず 2 つとは限らず、それ以上を含む場合もある。この図で示しているのは、東北方言では一つの語で表すことができる意味を、ポルトガル語では複数の語によってその意味範疇が分けられているという場合である。

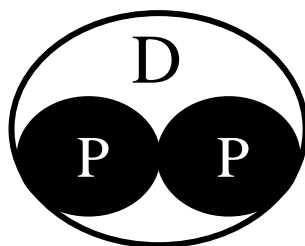


図69. 方言のほうがポルトガル語より意味範疇が広い場合 (I-a.型)

以下、この I-a.型に該当する項目を記す。

【～さる】 [つい・うっかり～する、自然に・勝手に～する、たまたま～する] …“sem querer” (意図的ではなく、不覚にも)、“naturalmente” (自然に)、“sozinho” (勝手に)、“por acaso” (たまたま)。【～さる】は「この ペン かかさんね。」(このペン (で書こうとしてみたらインクが切れてて) 書けない。) や「やつ みらさったや。」(あいつを偶然見かけたよ) のように、これら全てを指せる。

- 【あじゃらだ (あじゃらになる)】 [みっともない、いい加減だ] … [みっともない] の訳語として“desagradável”を用いたが、[不快な] という意味合いを持つ (例: “Aquella pessoa é muito desagradável” (あの人はとっても不快だ))。いい加減の訳語として“desapropriado”としたが、適当という意味では“de qualquer jeito” (あらゆる方法で) のような表現を用いる。人物に対して言う場合は“irresponsável” (無責任な) を用いる。
- 【いいあんべ (いあんべ)】 [ちょうどいい、心地いい] …“agradável”は心理的な良さ、“confortável”は快適の意味(ソファ、家など)、身体的には“gostoso”のほうがよく使うので例文では“gostoso”を使用した。ただし“gostoso”には [おいしい] の意味もある。
- 【いたましい (いただきます)】 [もったいない] …“desperdício”は [もったいない] だが、日本語で用いられる「あーもったいない。あと5分早く来ればあの人に会えたのに。」のような機会の喪失には用いない。あくまでも物質 (いっぱい残す)、金銭 (必要以上に使う)、時間 (つまらないことに使う)、能力 (持っている能力を發揮しない)、人材などに用いる。夭逝などの場合にも用いる。【いたましい】は物 (*ごはんが【いたましい】) ではなく行為 (ごはんを残すなんて【いたましい】) について言う。また「時間の浪費」については言えない。
- 【うだで】 [気持ちが悪い、(津軽) 大変だ] …“nojento”は吐き気をもよおすほどの不快感を示し、人に対して用いると相手に対しひどい言い方。本当に吐き気がする場合は“enjoado”を用いる。【うだで】は地域差はあるが“complicado” (大変だ) の意味もある。
- 【うつつあし (うっちゃし)】 [うるさい] …“barulhento”は音量が大きい場合のみ、煩わしい場合は“chato”。口論の相手に向かって「うるさい」と放つ場合は“calar”を用いて“Cala a boca!” (口を閉じる (=黙れ)!) と表現する。【うつつあし】は音量にも煩わしい場合にも使える。
- 【おしよし (おしょうし、おしよす)】 【しよし】 [はずかしい] …“vergonhoso” (はずかしい・形容詞)、“ter vergonha” (恥をかく・動詞)。恥をかく場合も照れくさい場合も用いる。シャイな人と言う場合は“natímido” (シャイ) と表現する。【おしよし】 【しよし】はそのような区別はせず、シャイな性格故に恥ずかしい場合も使える。
- 【おちる (おじる、おずる)】 [降りる、下車する] …“descer”はバス、電車、タクシー、階段、飛行機・船は“desembarcaar”、高速道路は高架ではなく、高速道路から降りるときは“sair” (出る) という、ズボンやパンツを下ろす場合も“descer”を用いる。(例: “descer a calça” (ズボンを下ろす))
- 【かせる² (かへる)】 [食べさせる] …相手が自分で食べる場合も話者が相手の口まで運ぶ場合も“dar comida a alguém” (人に食事を与える) だが、強制的に「食べさせる」場合は“fazer (人 comer)”になる。【かせる²】はどちらにも使える。
- 【かちやくちやね】 [物事が進まずイライラする、ややこしい、散らかっている] …“ficar irritado porque as coisas não andam” (物事が進まずにイライラする)、“ficar impaciente” (ややこしい)、“estar em desordem” (散らかっている)。
- 【かちやペね】 [しっかりしていない、壊れやすい、軽率な] …“não ser firme” (しっかりしていない) は物だけで、人には使えない。“fraco”は人にも物にも使える。【かちやペね】はいずれの意味でも人にも物にも使える。
- 【かばねやむ】 [なまける (仕事などやらないといけないことをしない)、サボる] … [なまける] の訳は“ter preguiça” (面倒くささを持つ) とした。“matar aula ou trabalho” (授業や仕事を殺す) は [サボる] の意味となる。
- 【かまりっこ】 [香り、におい] …“cheiro”は“bom cheiro”か“mau cheiro”で使い、いい臭いも悪臭にも使える。“aroma”はいい臭いのみで、花などの香り以外にも使えるが、“aroma boa”は言わない。

【かんつける (かんずける、かずける)】 [すねる、いじける、ふてくされる (いやな気持ちがあつて相手のいうことを聞かない)、人のせいにする] …“ficar de mau humor” (気分が悪くなる)、“acanhá-se” (ふてくされる)、“culpar alguém” (誰かのせいにする)。

【け (けー)】 [食べなさい、ちょうだい、かゆい、(秋田) 来なさい] …東北方言における多義語。ポルトガル語ではそれぞれ“coma” (食べなさい)、“dê-me” (ちょうだい)、“coçar” (かゆい)、“venha” (来なさい)。

【さすけね】 [大丈夫だ] …“sem problema”は謝罪への返答に用いる。問題がないか聞いた時の返答にも“Tem problema se comer isso?” (それを食べててもいい?) “Sem problema.” (大丈夫だよ) となる。都合を聞かれた場合は“Pode se semana que vem?” (来週はどう?) “Pode.” (可能だよ=大丈夫だよ) になり、勧めを断る時は“não quero” (いやだ) や“tá bom” (結構です) を使う。

【さすけね】はそのいずれにも使用できる。

【たがぐ (たながく、たなぐ)】 [持つ、持ちあげる] …“segurar”は持っている状態、“levantar”は持ち上げる、運ぶ場合は“carregar”。【たがぐ】は持つ(運ぶ)行為もその状態もアスペクトで示す。(例:「そいつ たがけ。」(それを持って。))、「なに たがってんだ?」(何を持っているの?))

【ちよす】 [いじる、さわる] …“tocar” (触れる)、“tocar com o dedo” (指で触れる)、“tocar com a mão” (手で触れる)。摩擦を伴う場合は“esfregar” (こする、触る) になる、対象を動かしたりすると“mexer” (揺さぶる、触る) になる。

【のぜる】 [のどにつまる、吐きそうになる (オエツとなる)] …“engasgar” (のどにつまる)、“ter vontade de vomitar” (吐く気を持つ=吐きそうになる)。病気でも、喉に歯ブラシを当てても、悪臭を嗅いでも“ter vontade de vomitar”は使える。【のぜる】は“engasgar”と“ter vontade de vomitar”のいずれの意味にも用いることができる。

【ひとめわりー】 【めぐせ (みぐせ)】 [みっともない (人が見たくないと思う様子、かつこわるい)、はずかしい] …“vergonhoso” (みっともない)、“feio” (醜い、かつこ悪い)。

【ほろぐ (ほろく、ほるぐ)】 [払い落とす、(仙台・中通り・会津) (財布などを) 落としてなくす] … [払い落とす] の意味として訳を“espanar” (ほこりをとる) にしたが、通常雪には使えない。しかし【ほろぐ】は雪にも使える。主に南東北で用いられる〔(財布などを) 落としてなくす〕意味としては訳を“derrubar” (落とす、(落として) なくす) にしたが、[倒す] の意味もある。また、確実に落としてなくしたかわからない場合は“perder” (なくす) を用いる。

【まね】 [だめだ、いけない、(～しないと) いけない] …だめな時は“Como foi a prova de hoje?” (今日の試験どうだった?) “Foi péssima.” (ダメだった)。都合を聞かれた場合は“Pode se semana que vem?” (来週はどう?) “Não pode.” (可能ではない=だめだよ)。当為表現「～ないといけない」は“ter que fazer (ter de fazer)”や“preciso fazer” (～必要がある) で示す。【まね】はだめな時は「あー、まねや。」(あー、だめだ。) のように用い、当為表現としては「びょういんさ いがねばまねんだね。」(病院に行かないといけないんだよ。) のように「動詞+否定辞ね+ば」の後に接続する。

【やんだおら (やんたおら、おらやんだ)】 [嫌だ (会津では女性が使うことが多い)] …恥ずかしくて「いやだ」という場合は“Tenho vergonha.” (恥ずかしい) という。【やんだおら】は拒否する場合にも恥ずかしい気持ちを言う場合にも使う。

13.2. 方言のほうがポルトガル語より意味範疇が狭い場合

東北方言の語のほうがポルトガル語のそれより意味範疇が広い場合があれば、もちろんその逆、つまり東北方言の語のほうがポルトガル語の該当する語より意味範疇が狭い場合も存在する。

具体例として、【おぼんです】を挙げる。【おぼんです】は東北地方全域で用いられる表現で、標準語の《こんばんは》に当たる。これに相当するポルトガル語が“boa noite”であるが、この語は「こんばんは」として用いられるとともに「おやすみなさい」としても用いられる。つまり夜であれば出会った時にも別れの時にも用いることが可能なのである。“Boa noite”自体は直訳すれば「良い夜」の意味で、実は別れの挨拶としては正しくは“tenha uma boa noite”で「良い夜をお過ごしください」のような意味になる。おそらく“tenha uma”が省略されて“boa noite”自体が「おやすみなさい」として用いられるようになったと思われる。同様に朝会った際の“bom dia”（おはよう）、午後会った際の“boa tarde”（こんにちは）にも、別れの挨拶として朝の場合は“tenha um bom dia”、昼過ぎでは“tenha uma boa tarde”という表現が存在している。実際に筆者の経験談として、日本語を挨拶だけ覚えたブラジル人と昼に別れた際に「こんにちは」と発言されたことがあるが、これはおそらく“tenha uma boa tarde”を日本語に直す際に“boa tarde”（こんにちは）をそのまま対応させたものだと考えられる。これを図に示すと図 70 になる。



図70. 【おぼんです】における東北方言とポルトガル語の意味範疇の関係図

一般化すると I-b. を示す図として図 71 のようになる。I-a. の場合とは正反対で、P が D を内包している形になっている。この図では、ポルトガル語では一つの語で表すことができる意味を、東北方言では複数の語によってその意味範疇が分けられているという場合を示している。

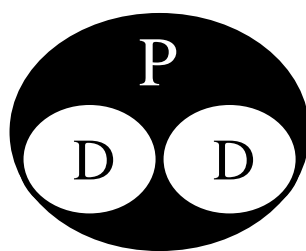


図71. 方言のほうがポルトガル語より意味範疇が狭い場合 (I-b.型)

以下、この I-b. 型に該当する項目を挙げる。

【～える（～いる）】〔（環境や状況のために）～できる（「能力があってできる」とは別）〕
 …主に東北地方の日本海側で用いられる【～える】は状況可能だけを示す。例えば海に行って、寒くて泳げる状況ではない場合は「およがえね」と言うが、水泳をしたことがなく泳げない場合は「およげね」と言う。標準語には状況可能と能力可能の区別がないが、ポルトガル語も可能は“poder”のみで状況可能と能力可能を分けない。

【～ら】〔～いる、～いた〕…〔～いる〕と〔～いた〕は「estar 動詞+現在分詞」なのは同じだが、estar 動詞はそれぞれ現在と半過去でテンス²⁰が異なる。【～ら】はどちらにも使用され、例えば「あめ ふつてら。」は「雨が降っている。」と「雨が降っていた。」の両方の可能性があり、文脈で判断される。

【あさぐ】〔歩く〕…〔歩く〕には“caminhar”と“andar”があるが、どちらも〔行く〕〔進む〕などの意味があり、歩かない移動「バスで行く」「船で行く」などにも使える。また、“caminhar”は人間以外には使えない。【あさぐ】は〔歩く〕以外の意味を持たない。

【あずましー】〔心地よい、気持ちいい〕…“agradaível”は〔気持ちいい〕〔心地よい〕の意味だが、人にも使えて〔感じの良い〕という意味になる。“prazeroso”は「喜びを与えられる」という原義から〔気持ちいい〕意味となるが、マッサージなどの身体的・肉体的な気持ちよさを示す(環境についていうことも可能)。そのような意味合いでは“gostoso”も使用できるが、“gostoso”の場合は〔おいしい〕の意味でも用いられるため、翻訳者はその意味での誤解を避けるために解説には掲載しなかった。

【あめる】〔料理が腐る、(南部) (髪などが) べたべたする〕…“apodrecer”は食べ物と他の物に使える、ただしかなり時間が経っているイメージ。“estragar”は食べ物(素材も料理も分けない、肉、野菜、米、パン、バター、チーズ)。水は腐るという表現は使えないが、言うなら“ficar ruin”(悪くなる)を用いる。牛乳が腐る場合は“azedar”(酸っぱくなる)を用い、そのようになる食べ物には使える。【あめる】は調理したものが悪くなった時のみに使用する。

【うるかす(うるがす)】〔(米などの乾燥した物を) 水につける、(仙台・中通り・会津) 使用後の食器に水を張る、(秋田) 話を保留にする〕…〔(米などの乾燥した物を) 水につける〕の訳として“molhar”(濡らす)を用いたが、【うるかす】行為は水分のない(少ない)ものに対してのみ行われるため、“molhar (coisas secas como arroz)”(米のような乾燥したものを) 濡らす)と補足を加えた。また南東北で用いられる〔使用後の食器に水を張る〕という意味の訳は“colocar água em louças depois de usadas”(使用後に皿に水を入れる)とした。秋田で用いられる〔話を保留にする〕の意味は“deixar a conversa em pausa”(会話を中断する)と訳した。

【おがる】〔大きくなる〕…“crescer”は〔成長する〕の意味。子供や植物などが大きくなる場合にも使うが、“o cabelo cresceu”(髪の毛が伸びた)や“a população cresceu”(人口が増加した)のようにも使える。【おがる】は子供や植物などが大きく成長する時のみに用いる。

【おだつ】〔はしゃぐ、調子に乗る〕…ポルトガル語訳としては“alegrar-se”(喜ぶ)、“ficar eufórico”(わくわくする)と特に悪い意味ではないが、“muito eufórico”(とてもわくわくする)にすると落ち着いてない感じになる。「調子に乗る」でも偉そうにしている意味では“arrogante”(傲慢な)を用いる、図に乗るような意味では“gabar”(誇る)を用いる。【おだつ】は〔はしゃぐ〕〔調子に乗る〕のみで、ポルトガル語のように程度の違いでプラスの意味にすることはできない。

【がっこ】〔つけもの〕…【がっこ】の訳としては“conserva em legumes”としたが直訳すれば「野菜の保存物」で、“conserva”自体は缶詰や瓶詰を指し、保存物を意味するので“em legumes”(野菜の)を付加してその意味を限定する必要がある。

【かんじる】【しばれる(すばれる)】〔とても寒い〕、【ひゃっこい(ひゃっけ、ひゃけあ、しゃっこい、しゃっけ、しゃけあ)】〔冷たい〕…ポルトガル語“frio”は〔寒い〕と〔冷たい〕の意味、さらに形容詞・名詞がある。また「とても冷たい」場合は“gelado”という語がある。「暑い・熱い」場合は“quente”(形容詞)や“calor”(名詞)を使う、ただし“calor”の場合は物に

²⁰ 日本語のテンス・アスペクトとポルトガル語のテンス・アスペクトの対照研究は儀保(2014)に詳しい。

- 使うと「熱」という物理学的な用語になる。東北方言は【かんじる】や【しばれる】が〔とても寒い〕、【ひゃっこい】が〔冷たい〕で分かれる。
- 【きかねー（きかねあ、ちかねー）】〔気が強い（相手の言うことを聞かない、自分の意見を押し通す、負けず嫌い）〕…“*ter espírito forte*”としたが、〔強い精神を持っている〕という意味なのでいい意味でも使える。【きかねー】は〔気が強い〕〔人の言うことを聞かない〕〔強情〕といった意味のため、いい意味では使わない。そのためポルトガル語でも“*não escutar o que os outros dizem, impor sua opinião, odiar perder*”（他の人の言うことを聞かない、自分の意見を押しつける、負けることをひどく嫌う）と追記した。
- 【ごんぼほる】〔だだをこねる（わがままを言うことをきかない）〕…訳としては“*fazer birra*”（強情）、“*capricho*”（身勝手）としたが、後者は〔きまぐれ〕も意味する。【ごんぼほる】は〔だだをこねる〕なので〔きまぐれ〕のような意味はなく、また〔強情〕や〔身勝手〕でも意味が広い。
- 【せつね（せずね、へずね）】〔つらい〕…“*difícil*”や“*duro*”が相当し、“*difícil*”のほうが使うが、こちらは〔難しい〕という意味を含むため範疇が広い。肉体的なつらさよりも精神的なつらさを言うが、“*trabalho duro*”（つらい仕事）などともいえる。【せつね】は〔肉体的・精神的に〕つらい〕で、〔難しい〕意味はない。
- 【たんげ】〔すごく、とても〕…意味としては“*muito*”や“*bastante*”が該当するが、“*bastante*”は主に数量が十分な場合に使う。“*muito*”は副詞「すごく」「とても」以外に形容詞「たくさんの」の用法がある。【たんげ】は副詞のみ。
- 【だんだん】〔もうすぐ、そろそろ〕…“*logo*”も“*daqui a pouco*”もどちらも時間的にも距離的にも使える。「あとちょっと」と返事するときは“*Falta muito?*”（まだ？）“*Só mais um pouco.*”（あとちょっと。）のような返答になる。【だんだん】は時間的に「そろそろ」の場合。
- 【たんぱら】〔短気（すぐ怒る人）〕…訳は“*impaciente*”（我慢できない人）だが、短気だけではなくせっかちな人も含まれる。【たんぱら】は〔短気〕のみで〔せっかち〕の意味はない。
- 【つつかけ】〔サンダル〕…これは意味を〔サンダル〕としたが、実は不十分であった。標準語《サンダル》及びポルトガル語“*sandália*”は足全体を覆っていない履物全般が含まれるため、女性用のおしゃれなものまで含まれるが、【つつかけ】は簡単に外（庭やベランダ、家の周囲など）に出るためのものなのでファッション性に優れたものは指さず、その範囲はかなり限定される。
- 【なげる】〔捨てる〕…“*jogar fora*”は直訳では「外に投げる」だがそれで〔捨てる〕意味になる。その意味では“*jogar*”は東北方言に近いが、〔（スポーツやゲームで）遊ぶ〕の意味もある。
- 【にやにやする】〔お腹や胃に違和感がある、お腹や胃の調子が悪い〕…〔調子が悪い〕という意味の【あんべわり】と同じ“*sentir-se mal*”が該当する。【にやにやする】はその部位を胃腸に限定しているがポルトガル語では部位を限定して指す語はない。
- 【ねっばす】〔のりやテープでつける〕…“*colocar*”だけでは〔（粘着物に関係なく）付ける〕〔身につける（服、時計、眼鏡、アクセサリなど）〕〔置く〕など幅広い意味範疇。【ねっばす】は〔のりやテープでつける〕のみの意味。
- 【までーに】〔丁寧に〕…“*cuidadosamente*”（注意して）、“*delicadamente*”（デリケートに）。例文“*Lave-os com mais cuidado.*”は「もっと気を付けて洗って」という意味。お客などを扱う場合はその動詞形“*cuidar*”（気を付ける以外に配慮する、世話する、面倒を見るなど）も使える。しかし【までーに】は物事を細やかに行う場合に用いるが、お客を扱う場合には使えない。
- 【んだから（だから）】〔そうだよ、そうでしょう（同意）（原因・理由を表すわけではない）〕…ポルトガル語における相手への同意の表現としては“*isso*”（そう）、“*exatamente*”（その通り）。

“isso”は本来指示代名詞「それ」なので、当然同意以外の場面でも使う。【**んだから**】にはある情報を相手に伝え、その後相手から「その通りだった」旨を伝えられた際に「言った通りでしょう？」という意味合いを込めて使う。

【**んめ** (んめあ、め)】 [おいしい] …食べて“Está gostoso.”といえるし、食べている相手に“Está gostoso?”と聞ける (英語は“It is delicious.”とはいえるが“Is it delicious?”と質問することができない)。“tá bom” (良い) も同様に使える。また、“gostoso”には [気持ちいい] の意味もある。【**んめ**】には [気持ちいい] の意味はない。

13.3. ポルトガル語に適切な語がなく説明的になる場合

上記I-a.とI-b.の場合では、意味範疇の違いはあるもののおおよそ該当する語がある場合を見た。しかし、ポルトガル語においても該当する語がなく、説明的にならざるを得ない場合もある。例として【**かめっこ**】を挙げる。【**かめっこ**】は主に福島県会津地方で用いられる表現で、[人見知りをする]を指す。但し、ポルトガル語においては「人見知り」に当たる適切な語がなく、そのような場合は“ter vergonha” (恥ずかしい) という語で済ませるといふ。そのため方言集では“ficar com vergonha ou incomodado com pessoas que não conhece” (知らない人に対して恥ずかしくなったり嫌になったりする) と説明的になっている。

このような場合、つまりI-c.を図示すると図72のようにすることができる。

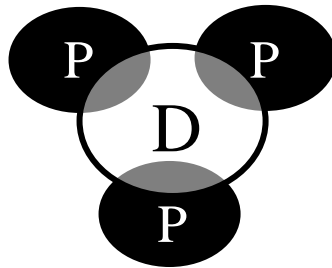


図72. ポルトガル語に適切な語がなく説明的になる場合 (I-c.型)

以下、このI-c.型に該当する項目を列挙する。

【**～がね?** (～がねか?)】 [～ (して) いかない?] …ポルトガル語では勧誘の時に「～しない?」ではなく“Quer ~ ?” (～したいですか?) で聞くので、訳は“Quer (fazer)?”となっており、本来の意味をうまく示すことが難しかったまた、このようなことからブラジル人日本語学習者は日本語で「コーヒーを飲んでいきませんか?」と聞きたい時に「コーヒーを飲みたいですか?」と聞いてしまう。

【**～す (～し)**】 [～です、～ます (丁寧な言い方)] …東北方言には標準語の《～です》《～ます》に当たる丁寧を示す助詞【**～す (～し)**】があり、その位置については原則としては文末に付く (例: 「**んだな**し」 (そうですね)、「**がんばっ**べし」 (がんばりましょう)、いずれも会津方言) が、地域によっては特定の助詞・助動詞を下接することができる (例: 「**んだ**すな」 (そうですね)、「**いぐ**すか?」 (行きますか?)、いずれも秋田方言)。ポルトガル語では敬意を表す呼称として“o senhor” (年上の男性に用いる) や“a senhora” (年上の女性に用いる) などはあるが、丁寧語や敬語に当たるような動詞の変化はない。訳としては「～です」に対応する語として“ser, estar”としたのだがそれは存在動詞の意味としては対応するが丁寧で

はない「～だ」にも対応してしまう。また「～ます」はカバーできない。そのため、訳には“forma formal de falar”（丁寧な言い方）と補足説明を加えた。

【～つけ（一）】〔～（な）んだ（相手に情報を与えるときに使う）〕…東北方言では相手に情報を与える際に自ら経験したことや見聞きしたことに対し「あいつ、あした やすむって いったつけ。」（あいつ、明日休むって言ってたよ。）や「さっき やまださんの いえのまえ とおったつけが、なんも なくなってでよ。」（さっき山田さんの家の前通ったんだけど、何もなくなっていてさ。）というように【～つけ】が用いられる。標準語にもポルトガル語にもこれに当たる適切な語がなく、ポルトガル語訳としては語ではなく“usado para dar informações ao interlocutor”（対話者に情報を与えるために用いられる）と説明文になっている。

【えずい（いずい、えんつこい、えんつけあ、えんず）】〔目のごみがごろごろする、違和感がある、変な感じがする、居心地が悪い〕…対応するそれぞれのポルトガル語として“ter um cisco no olho”（目にごみがある）、“sentir algo diferente”（何か違和感がある）、“sentir algo estranho”（何か変な感じがする）、“sentir-se incomodado”（居心地が悪い）という訳にしたが、【えずい】は標準語には該当する語がなく、衣服などが体にフィットせず気になる場合、体のどこかが不調な場合、何かを相手に伝える際うまく説明できずもどかしい場合など、自身に何らかの不都合を感じる際の感覚と言える。例文では「その靴かっこいいですね。」という発言に対する返答として「でも いずいんだ。」（でもなんかしっくりこない（違和感がある）んだよ。）という文にしたが、そのポルトガル語訳は“Mas tem algo nele que não me agrada (que me incomoda).”（でも（その靴に）何か気に入らないところがある）という表現にしており、やはり項目の訳語では捉えきれずより具体的な補足を加えたものとなった。

【がな】〔（名詞・代名詞）のもの〕…各地の方言には標準語《の》のような準体助詞が存在する（彦坂 2006、福嶋 2017）が、福島県（特に会津地方）を中心とした東北地方の南部では「おれがな／おれのがな」²¹（わたしの（もの））のように用いる準体助詞【がな】が存在する。ポルトガル語では人称代名詞については所有代名詞“meu / minha”（私の）、“seu / sua”（あなた（あなたたち）の、彼・彼女（彼ら・彼女たち）の（主に書き言葉））（地域によっては“teu / tua”（君の）もある）、“nosso / nossa”（私たちの）という人称ごとあるいは数ごとに異なる語を用いる。あるいは三人称代名詞については前置詞“de”と代名詞“ele(s)”の縮合形“dele(s)”（彼（彼ら）の、話し言葉）、同じく前置詞“de”と代名詞“ela(s)”の縮合形“dela(s)”（彼女（彼女たち）の、話し言葉）が用いられ、また固有名詞や普通名詞の場合も「de+名詞」の形式をとる。このようにポルトガル語においては誰の物かで表現が異なる。一方【がな】は人称や数、あるいは代名詞・固有名詞・普通名詞の区別なく誰の場合でも「人物+がな」と下接できる。

【きどころね（きどこね）】〔寝るつもりがないのに（服を着たまま）寝てしまうこと〕…東北地方の広い範囲では、寝衣に着替えずにうたた寝をしてしまうことを【きどころね】と表現する。標準語にも対応する表現が見当たらないが、ポルトガル語にはそれに対応する適切な語がないので、訳は“acabar dormindo (de roupa mesmo) mesmo sem a intenção de dormir”（寝るつもりがないのに（服のまま）寝てしまうこと）と、長い説明文になった。

【きゃっぱりする（きゃっぱりをとる、かわっぺありする、かつぱをとる）】〔靴の中に水が入る、川に落ちる〕…主に北東北で用いられる【きゃっぱりする】は、川に落ちることや、水たまりなどを踏んで靴の中に水が入ってしまうことを指す。標準語にもポルトガル語にも適切な語がなく、訳としては“entrar água dentro do sapato”（靴の中に水が入る）、“cair no rio”（川に落ちる）と説明的にならざるを得なかった。

²¹ 「おれがな」「おれのがな」はいずれも用いられるが、「おれのがな」の場合の「の」は準体助詞ではなく連体助詞であると考えられる（福嶋 2017: 65）。

【けっぱる】〔頑張る〕…東北方言には標準語《頑張る》に当たる【けっぱる】という語があり、例えば津軽方言では相手に「けっぱれ」（頑張れ）と言え、言われた相手は「けっぱらー」（頑張るぞ）と言える。しかし、ポルトガル語ではこれに対応する語がない。ポルトガル語では相手にかける言葉として「頑張れ」に近い意味では、幸運を祈る際には“Boa sorte!”（幸運を）、元気がない相手を励ます際には“Ânimo!”（元気を出して）、奮起させる際には“Vamos!”（さあ行こう）など、その場面によって用いる表現が異なる。また、これらの表現を言われたら“Obrigado/obrigada.”（ありがとう）で返す。なお、方言集のポルトガル語訳としてはそれらを総合した意味合いで“dar o seu melhor”（その人の最善を外に出す）と説明したが、普段使う表現というわけではない。

【しなっこい（しなっけ、すなこえ）】〔しなやか、食べ物がなかなか噛み切りにくい感じ〕…東北方言には弾力性がある様子、特に弾力性のために噛み切りにくい食品などの様子を指す語として【しなっこい】がある。これに対応するポルトガル語として「しなやか」という意味を訳せば“ser elástico”（弾力性のある）になるのだが、この語は食べ物にはあまり使わない。そのため、“sensação de uma comida difícil de mastigar”（食べ物が噛みにくい感じ）という説明を付け加えた。

【ジャス】〔ジャージ〕…主に宮城県で用いられる【ジャス】は、ジャージー生地を用いた上下セットの運動着のことで、学生などがよく用いる。ポルトガル語には“jérsei”という語があるが、これはジャージー生地を指すものであり、日本のような上下揃った運動着の形態は指さない。そこで訳は“roupa de jérsei”（ジャージー生地の服）とより具体的に示したが、それでもジャージー生地ですでできた服全般を指してしまうので、【ジャス】の示すそれを的確には示せなかった。

【ながまる】〔横になる、足を伸ばして休む〕、【ねまる】〔（床や地面に）座る、休む〕…主に北東北で用いられる【ながまる】は、〔横になる〕や〔足を伸ばして休む〕という意味を持つ。同じく主に北東北で用いられる【ねまる】も類似する表現ではあるが、こちらは〔（床や地面に）座る〕と〔休む〕の意味であり、【ながまる】と【ねまる】ではその体勢が異なる。

【ながまる】の〔横になる〕の訳としては“deitar-se”（横になる、「横にする」の再帰動詞）で表現できたが、〔足を伸ばして休む〕に関しては適切な語がなく、“esticar as pernas e descansar”（足を伸ばして休む）と説明的になった。【ねまる】については〔休む〕の意味は“descansar”で示すことができたが、〔（床や地面に）座る〕については“sentar”（座る）だけでは座る場所が限定されないため、“sentar (no chão)”（地面・床に座る）と補足した。なお、ブラジルでは通常は椅子に座る。

【はなだんぼ】〔鼻にティッシュをつめること〕…主に福島県では、鼻血や鼻水が出た際にティッシュをねじって「こより」を作り、鼻の穴に詰める行為を【はなだんぼ】と言う。ブラジルでは鼻にティッシュを詰める行為をあまりしないので、該当する語がない。そのため、訳は“limpar o nariz com um lenço”（鼻をティッシュできれいにすること）となった。実際に検索エンジンで“nariz lenço”（鼻 ティッシュ）とポルトガル語で画像検索すると、鼻にティッシュを詰めている画像は1、2件あったもののそれ以外はなかった。一方、同じように「鼻 ティッシュ」と日本語で画像検索をすると、出てきた画像のほぼ全てが鼻にティッシュを詰めている画像であった。

【まぜる】【かでる】〔仲間に入れる〕…主に南東北で用いられる【まぜる】及び主に北東北で用いられる【かでる】はいずれも〔仲間に入れる〕意味で、子供が遊びのグループに他の子供を入れる場合や、集団でどこか飲みに行ったり旅行に行ったりする際に他の人も加える場合などに用いられる。特に、そのグループに加わりたい人物が「おいどごも かでれ。」（わたしも仲間に入れて。）（秋田方言）のように依頼する際によく使用される。ポルトガル語訳とし

ては該当する語がなく“*incluir alguém no seu grupo*”（自分のグループに人を入れる）としたが、この表現は普段の会話ではあまり用いられない。【まぜる】を用いた例文では「これから飲みに行こう。」と話している集団に対し第三者が「あー おらも まぜてくろー。」（あー俺も仲間に入れてよー。）と依頼する場面なのだが、そのポルトガル語訳としては先の“*incluir alguém no seu grupo*”を用いず、許可を示す使役動詞“*deixar*”を用いた“*Ah, deixe-me ir com vocês também.*”（あー、あなたたちと一緒に私も行かせて。）にした。

【やばつい（やばち）】〔湿って気持ちが悪い、（秋田）手などが汚れる、（伊達）よろしくない、まずい〕…福島県を除いた広い範囲で用いられる【やばつい】は、地域による意味の違いはいくつかあるものの、その代表的な意味として〔湿って気持ちが悪い〕というものがある。具体的には、雨に濡れた時、上から冷たい水滴が垂れてきた時、生乾きのシャツを着た時など、熱くはない水分による不快感を表明する場合に用いられ、湿っていても「蒸し暑い」場合にはあまり用いられない。ポルトガル語においては「湿気で気持ち悪い」と限定的な語はなく、湿気で気持ち悪かったとしても言うのは“*estar incomodado*”（気持ち悪い）のみ。また、秋田方言で用いられる〔手などが汚れる〕という意味は、“*sujar*”（汚れる）とした。伊達方言で用いられる〔よろしくない、まずい〕は“*não ser bom*”（よくない）、“*ser ruim*”（悪い）とした。

13.4. 意味論以外の問題点

ポルトガル語においても、前章までの他の言語と同様に、意味論のみが問題となるわけではない。本章では、東北方言とポルトガル語の対照研究において明らかになった意味論以外の問題について考察していく。

13.4.1. 発音規則

前章までの場合と同様にポルトガル語に関わる直接的な問題とは言えないが、ポルトガル語母語話者の方言学習を助けるものではある。ここに該当するのは前章までと同じ【～ちゃ】と【あるって】の2項目であり、ポルトガル語が直接関わるわけではないので、ここでは説明を省略する。

13.4.2. 語順

主に北東北で用いられる【～はんで（～はで）】や【～すけ（～す）】は原因・理由を示す標準語《～から》に相当する接続助詞である。ポルトガル語では“*portanto*”が該当する。これはやや書き言葉的ではあるが、使用する場合は後件に原因・理由を置き、後件の直前にのみ用いる。口語では“*como*”なども用いられるが、“*como*”の場合は文頭に置き、前件が原因・理由になる。ブラジル人としては“*porque*”もよく用いるという。これは“*portanto*”のように後件に原因・理由を置いて後件の前に“*porque*”を用いる。

東北方言（ここでは津軽方言）及びポルトガル語において、「砂糖がなくなってきたから、砂糖を買ってきて。」という文を例にすると、それぞれ以下のようなになる。

津軽方言

さどー なぐなってきた はんで、さどー かってきてけ。
 理由 依頼

ポルトガル語

Como o açúcar já está perto de acabar, compre açúcar.
 理由 依頼

Compre açúcar, portanto o açúcar já está perto de acabar.
 結果 依頼

Compre açúcar, porque o açúcar já está perto de acabar.
 結果 依頼

このように、それぞれ原因・理由を示す節に用いられるのは共通しているが、【～はんで】【～すけ】は結果(例文では依頼)を示す節の直前に置かれているのに対し、ポルトガル語の“como”、“portanto”、“porque”は“como”については前件と後件の順序が入れ替わるものの、いずれにしてもそれぞれ原因・理由を示す節の直前に置かれている(表22)。

表22. 【はんで】【すけ】及び“como”、“portant”、“porque”の位置関係

原因・理由	【はんで】 【すけ】	結果(依頼など)
como	原因・理由	結果(依頼など)
結果(依頼など)	portanto porque	原因・理由

つまり【すけ】【はんで】は“como”、“portant”、“porque”と同様の意味を持つものではあるが、位置関係も同様だと思ってしまうと、因果関係が逆になってしまう可能性がある。

13.4.3. テンス・アスペクト

【おたった】は主に青森県津軽地方で用いられる動詞で、標準語でいうと《疲れた》になる。【おたった】は現在形としては【おたる】になるのだが、【おたる】という形式よりもむしろ【おたった】のほうがよく使われる。ポルトガル語では“cansar-se”という動詞、あるいは“exausto”という形容詞を用いるが、テンス・アスペクトの制限は特にならない。

また、主に北東北で用いられる【どでんした(どでした)】は、標準語の《びっくりした》に当たるが、現在形【どでんする(どでする)】よりも【どでんした(どでした)】で用いられることが自然である。ポルトガル語の該当する表現は“assustar-se”(「驚かす」の再帰動詞)や“levar um susto”(驚きを受ける)であるが、これらもテンス・アスペクトに制限なく使える。

このように、東北方言とポルトガル語において、テンス・アスペクトの制限に違いがある場合も見られた。

13.4.4. 人称

【うすらかすらする（うらからする）】は主に福島県や岩手県などで用いられる表現で、標準語では《うろうろする》に近いのだが、完全には一致せず、〔周りに迷惑をかけないように気を配らないで、うろうろしたりもたもたしたりする〕というかなり限定的な意味合いを持つ。ポルトガル語の訳語として“vagar”や“vaguear”（目的もなく歩く）が相当するが、これらは一人称でも用いられ、人称に限定はない。しかし、【うすらかすらする（うらからする）】は前述の通りマイナスのイメージがあるためか、主語に一人称が使えない。

同様に、主に東北地方全域で用いられる【ちゃっちゃど（ちゃっちゃと、ちゃちゃど）】や、主に宮城県以北の太平洋側で用いられる【わらわら】はどちらも標準語でいう《さっさと》に当たる語である。用法としては主に発話相手が【ちゃっちゃど】【わらわら】の対象となり、「ちゃっちゃどせー」（さっさとしろ）や「わらわらどやれ」（さっさとやれ）のような命令、「ちゃっちゃどするべ」（さっさとしよう）といった勧誘、あるいは「ちゃっちゃどしねがらおぐれんだ」（さっさとしないから遅れるんだ）といった相手を責める場合などに用いられる。つまり、【ちゃっちゃど】や【わらわら】を用いる時の主語は二人称であるという場合が自然であり、「*私はちゃっちゃどする」のような場合は不自然である。ポルトガル語においては“imediatamente”（すぐに），“rápido”（早く）などの語が対応するが、前者は長いので後者がよく用いられる。“logo”（間もなく）も使われる。ポルトガル語の上記の語においては特に人称の制限はない。

また、主に津軽地方で用いられる【〜びょん（〜べお）】は標準語の《〜だろう》に相当する推量の助詞であるが、こちらは「あすゆぎふるびょん」（明日は雪が降るだろうね）のように主に三人称に用いられる。ポルトガル語では“provavelmente”という副詞もあるが、“talvez”のほうが一般的に用いられる。また、“achar que 〜”（〜と思う）という表現とほぼ同義で、言い換え可能である。これらは人称に制限がなく、一人称などにも用いられる。

このように、主語に立つことのできる人称に差異が見られる場合があった。

13.4.5. 表現の対象

主に福島県会津地方で用いられる【おんずくなし（おんじくなし）】は、〔ばか〕に近い意味で用いられる。ポルトガル語では“idiota”が該当する。これは〔愚かな行為をする人〕にも〔愚かなこと〕にも使える。しかし、【おんずくなし】は人や動物、あるいは機械などにのみ使用され、事には使用しない。

また、【ほろだぐ】は主に秋田県で用いられる表現で、〔払い落す〕意味である。ポルトガル語でこれに対応する表現は“espanar”なのだが、実は“espanar”はほこりを払う時に使えるものの、例文「まずゆきほろだげ。」（とりあえず雪を払い落とさない。）のように雪の場合に用いることができない。雪を払い落としたい場合は“tirar”（出す、取る、取り除く）という表現を用いることになる。また、砂の場合は“limpar”（きれいにする）を用いる。

このように、対象によって表現が違うということもある。

13.4.6. 言い回し

東北地方全域で用いられる【やっこい（やっけ、やけあ）】は、標準語で《柔らかい》に当たる語である、ポルトガル語では“mole”がこれに当たり、体、マット、果物、肉などにも使える。しかし、〔考え方などに柔軟性がある〕意味として【頭がやっこい】（標準語《頭が柔らかい》に相当）と言えるのだが、ポルトガル語では「頭が柔らかい」という表現はない。【じょっぱり】に当たる「頑固者」を指す語としては“cabeça dura”（かたい頭）と「かたい」を使用するのに対

し、その対義語は“cabeça aberta”（開かれた頭）という表現を用いる。つまり、ポルトガル語母語話者が【やっこい（やっけ、やけあ）】を“mole”と理解しても、「あたまやっこくしろ」（柔軟に考えなさい）と言われた際は何が言いたいのか理解しがたいという問題が起こる可能性がある。

このように、東北方言とポルトガル語で言い回しに関する違いが見られた。

13.5. まとめ

以上から、東北方言からポルトガル語への翻訳上の問題点を改めて細分化すると、「I 意味論的問題」には前述のように「I-a. 方言のほうがポルトガル語より意味範疇が広い」「I-b. 方言のほうがポルトガル語より意味範疇が狭い」「I-c. ポルトガル語に適切な語がなく説明的になる」の3つの場合が存在し、その他にも「II 意味論以外の問題」として「II-a. 発音規則」「II-b. 語順」「II-c. テンス・アスペクト」「II-d. 人称」「II-e. 表現の対象」「II-f. 言い回し」の6つの問題点が明らかになった。これらを表にまとめると、表23のようになる。

表23. ポルトガル語への翻訳上の問題点

I 意味 論的 問題	I-a. 方言のほうがポルトガル語より意味範疇が広い
	I-b. 方言のほうがポルトガル語より意味範疇が狭い
	I-c. ポルトガル語に適切な語がなく説明的になる
II 意 味 論 以 外 の 問 題	II-a. 発音規則
	II-b. 語順
	II-c. テンス・アスペクト
	II-d. 人称
	II-e. 表現の対象
	II-f. 言い回し

以上、本章では『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』を用いて、東北方言からポルトガル語への翻訳の際に見られる問題点について考察した。

東北地方には現在そこまで多くのポルトガル語母語話者がいるわけではないが、日本国内には2016年12月現在で180,923人のブラジル人が居住している。これは日本国内の外国人では5番目に多い数である。在日ブラジル人の多くは日系人として定住・永住している者が多く、近年では全国的に人手不足と言われる介護福祉士等の介護分野を目指すケースもあるため（堀 2009）、在日ブラジル人の他地域からの移動の可能性等も十分考えられる。本章の東北方言とポルトガル語

の対照研究が、現在の、そして将来のポルトガル語を母語とする東北地方の外国人住民の方言学習を考える際の参考になることを願う。

最後に、東北方言と英語・中国語・韓国語・インドネシア語・ポルトガル語の各言語との対照研究によって明らかとなった翻訳上の問題点について、まとめて表に示すと以下の表 24 のようになる。

表24. 諸言語への翻訳上の問題点

I 意 味 論 的 問 題	I-a.	方言のほうが翻訳言語より意味範疇が広い
	I-b.	方言のほうが翻訳言語より意味範疇が狭い
	I-c.	翻訳言語に適切な語がなく説明的になる
II 意 味 論 以 外 の 問 題	II-a.	発音規則
	II-b.	語順
	II-c.	テンス・アスペクト
	II-d.	人称
	II-e.	表現の対象
	II-f.	ムード
	II-g.	印象
	II-h.	敬意
	II-i.	言い回し

表から分かるように、「I 意味論的問題」には「I-a. 方言のほうが翻訳言語より意味範疇が広い」「I-b. 方言のほうが翻訳言語より意味範疇が狭い」「I-c. 翻訳言語に適切な語がなく説明的になる」の3つの場合が存在し、その他にも「II 意味論以外の問題」として「II-a. 発音規則」「II-b. 語順」「II-c. テンス・アスペクト」「II-d. 人称」「II-e. 表現の対象」「II-f. ムード」「II-g. 印象」「II-h. 敬意」「II-i. 言い回し」の9つの問題点が明らかになった。

東北方言と上記諸言語との対照研究は管見の限りではこれまで見られなかった。その意味では、今後の外国人住民と方言に関する研究について一定程度の寄与ができたと考える。

資料 11 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』掲載用対訳リスト（ポルトガル語）

	方言	意味	意味翻訳	例文	例文翻訳
1	～える	(環境や状況のために)～できる(「能力があつてできる」とは別)	(Para um ambiente ou situação) Poder (diferente de “ter capacidade de fazer”)	A: ねえ、市役所から手紙が来たけど、なんて書いてあるの？	Ei, chegou uma carta da prefeitura. O que tem escrito nela?
				B: うーん、へや くらくて よまえねな。(うーん、部屋が暗くて読めないな。)(津軽)	Hum... Não consigo ler porque o quarto está escuro.
2	～がね？(～がねか？)	～(して)かない？	Quer (fazer)?	A: あ、すみません、ちょっと話があるんですけど大丈夫ですか？	Com licença, gostaria de falar com você, tudo bem?
				B: あ、へば おらえさ よつてがねか？(あ、じゃあ私の家に寄っていかない？)(秋田)	Ah, então quer passar lá em casa?
3	～さる	つい・うっかり～する、自然に・勝手に～する、たまたま～する	Sem querer, naturalmente, sozinho, por acaso	A: 昨日、山田さんが私に会いに来てたらしいね。	Parece que o Yamada veio me ver ontem, né?
				B: ん、なの えのめ とおったずきに たまたま やず みらさつたや。(うん、君の家の前を通ったときに偶然彼を見かけたよ。)(津軽)	Sim, quando passei em frente a sua casa, encontrei-o por acaso.
4	～す(～し)	～です(丁寧な言い方)	Ser, estar (forma formal de falar)	A: こんにちはー。今日は寒いですね。	Olá. Hoje está frio, não é?
				B: んだなす。(そうですね。)(会津)	Sim, está.
5	～すけ(～す)	～(だ)から	Portanto	A: 例文なし	
				B:	
6	～つけ(ー)	～(な)んだ(相手に情報を与えるときに使う)	(Usado para dar informações ao interlocutor)	A: そういえば、隣の家の山田さん、引っ越したみたいなんですよ。	Falando nisso, parece que o Yamada da casa vizinha se mudou.
				B: あ、そっかー。さっき とおつたつけが、いえの まえ なんも なぐなつてでよー。(あ、そうかー。さっき通ったんだけど、家の前に何もなくなつてさ。)(会津)	Ah é? Passei por lá agora há pouco, e não tinha mais nada em frente da casa.

7	～っちゃ	「～れた」の省略形 (疲れた→つかっちゃ、 食われた→くわっちゃ)	Abreviação da terminação -reta (tsukareta → tsukatcha = cansei; kuwareta → kuwatcha = foi comido)	A:	あれ？ バッグどうしたの？	Ué? O que aconteceu com a sua bolsa?
				B:	あー、だれがに もってがっちゃ。 (あー、誰かに持っていかれちゃった。) (会津)	Ah, alguém a levou.
8	～はんで(～はで)	～(だ)から	Portanto	A:	これから買い物に行ってくるけど、何かほしいものある？	Vou fazer umas compras agora. Você quer algo?
				B:	そろそろ さどー なくなってきたはんで、さどー かってきてけ。 (そろそろ砂糖がなくなってきたから、砂糖を買ってきて。)(津軽)	Como o açúcar já está perto de acabar, compre açúcar.
9	～びよん(～べおん、～べお)	～だろうね	Talvez	A:	今夜はとても寒いね。	Esta noite está muito fria.
				B:	あす ゆぎ ふるびよん。 (明日は雪が降るだろうね。)(津軽)	Talvez neve amanhã.
10	～ら	～(て)いる、～(て)いた	Está, estava (usado com gerúndio)	A:	ちょっと外行きませんか？	Não quer sair um pouco?
				B:	あめ ふってらやー？ (雨が降ってるよ?)(秋田)	Está chovendo.
11	あさぐ	歩く	Caminhar	A:	(道路で)すみません、この近くにコンビニはありますか？	(Na rua) Com licença, tem alguma loja de conveniência por perto?
				B:	このみちば まっすぐ あさいだら あるや。 (この道をまっすぐ歩くとあるよ。)(津軽)	Se caminhar direto nessa rua, vai encontrar uma.
12	あじやらだ(あじやらになる)	みっともない、いい加減だ	Desagradável, desapropriado, irresponsável	A:	あの先生の教え方、どうですか？	Como é a forma de ensinar daquele professor?
				B:	あじやらだな。 (いいかげんだな。)(伊達)	Desapropriada.
13	あずましー	心地よい、気持ちいい	Agradável, prazeroso	A:	昨日温泉に行ったみたいだけど、どうだった？	Você foi às águas termais ontem, não foi? Como foi?
				B:	ああ、あずましたなー。 (ああ、気持ちよかったよー。)(津軽)	Ah, foi ótimo.

14	あめる	料理が腐る、【南】 (髪などが)べたべたする	A comida apodrecer, 【南】 (o cabelo) ficar pegajoso	A: おかず食べますか？	Não vai comer o prato principal?
				B: おやおや… これ あめでらや。 (おやおや…これ悪くなってるよ。)(秋田)	Oh não... isto está podre.
15	あるって	歩いて	A pé	A: すみません、駅まで行きたいんですけど…。	Com licença, como faz para ir até a estação?
				B: このみち まーっすぐ あるってぐど、 そのうち つぐがら。 (この道をまっすぐ歩いていくと、そのうち着くよ。)(会津)	Se você for direto por esta rua, chegará nela.
16	あんべわり	具合が悪い、病気だ、都合がよくない	Sentir-se mal, estar doente, não ser conveniente	A: あ、どうしたんですか？	Oh, o que houve?
				B: あんべわりー。 (具合が悪いなー。)(秋田)	Não estou me sentindo bem.
17	いいあんべ (いあんべ)	ちょうどいい、心地いい	Agradável, confortável	A: ちょっとマッサージしてあげますよ。	Vou lhe fazer uma massagem.
				B: んー どれどれ… あー いいあんべだな。 (んーどれどれ…あーいい感じだね(=ちょうどいいね。)(会津)	Hum... ah... que gostoso (=agradável).
18	いたましい(くだます)	もったいない	Que desperdício	A: もうこれ、いらないから捨てましょう。	Como não precisamos mais disso, vamos jogar fora.
				B: くだましー。 (もったいないなー。)(伊達)	Que desperdício.
19	うすらかすらする(うらからする)	ぶらぶらする、うろ うろする	Vagar, vaguear	A: あぶねがら うすらかすらしてんなず。 (危ないから(そこを)うろうろしてるんじゃないよ。)(会津)	Não é para ficar vagando (por aí) porque é perigoso.
				B: あ、ごめんなさい。	Ah, desculpa.
20	うだで	気持ちが悪い、【津】大変だ	Nojento, 【津】 complicado	A: さっきあそこに虫がいっぱいいましたね。	Agora há pouco, ali estava cheio de inseto, não era?
				B: あー、んだ、うだでがったなー。 (あー、そうだね、気持ち悪かったね。)(秋田)	Ah, sim. Muito nojento, não é?

21	うつつあし(うつつあし)	うるさい	Barulhento	A:	ねえねえ、ねえ、ちょっと話聞いてよ。	Ei, ei, escute-me!
				B:	うつつあしな、おめ あつちや いったる。 (うるさいな、お前あつちに行ってる。) (会津)	Não faça barulho e vá para lá.
22	うるかす(うるかす)	(米などの乾燥した物を)水につける、【仙・中・会】使用後の食器に水を張る、【秋】話を保留にする	Molhar (coisas secas como arroz), 【仙・中・会】 colocar água em louças depois de usadas, 【秋】 deixar a conversa em pausa	A:	一緒にごはん作りましょう。	Vamos fazer a comida juntos.
				B:	んでばー、こめ うるがしとくから。 (じゃあ、米を水につけておくから。)(伊達)	Então, vou colocar água no arroz.
23	えずい(いずい、えんつこい、えんつけあ、えんず)	目のごみがごろごろする、違和感がある、変な感じがする、居心地が悪い	Ter um cisco no olho, sentir algo diferente, sentir algo estranho, sentir-se incomodado	A:	その靴かっこいいですね。	Que sapato bonito esse.
				B:	でも いずいんだ。 (でもなんかしっくりこない(違和感がある)んだよ。)(伊達)	Mas tem algo nele que não me agrada (que me incomoda).
24	おがる	大きくなる	Crescer	A:	おじさん、お久しぶりです。	Tio, há quanto tempo!
				B:	あれ おめ、おがったねやー。 (おやお前、大きくなったなー。)(伊達)	Como você cresceu!
25	おしょうしな	ありがとう	Obrigado	A:	例文なし	
				B:		
26	おしよし(おしよし、おしよす)	はずかしい	Vergonhoso	A:	境さん(話し相手の名前)、この前、駅前で激しく転んでましたね。	Sr. Sakai (nome do interlocutor), outro dia lhe vi caindo feio em frente à estação.
				B:	あいづ おしよすかったやー。 (あれははずかしかったよー。)(伊達)	Fiquei com tanta vergonha daquilo.
27	おだつ	はしゃぐ、調子に乗る	Alegrar-se, ficar eufórico	A:	この前、高いお皿を割っちゃいましたねー。	Outro dia, quebrei um prato caro.
				B:	おだづがらだ。 (調子に乗るからだぞ。)(伊達)	É porque você é muito eufórico.

28	おたる	疲れる	Cansar-se	A:	昨日はマラソン大会に参加したんだってね。	Disseram que você participou da maratona ontem.
				B:	いやー、おだったや。 (いやー、疲れたよ。)(津軽)	Pois é, foi bem cansativo.
29	おちる(おじる、おずる)	降りる、下車する	Descer	A:	(バスの中で)すみません、図書館に行きたいんですけど…。	(Dentro do ônibus) Com licença, como faço para ir à biblioteca?
				B:	あー、つぎで おちっと いいわい。 (あー、次で降りるといいよ。)(会津)	Ah, é só descer na próxima.
30	おどげでね	楽ではない、大変だ	Não ser fácil, ser duro	A:	今度、このプロジェクトをやろうと思うんですよ。	Desta vez, estou pensando em fazer este projeto.
				B:	おどげでねーやー。 (大変だぞ。)(秋田)	Vai ser duro, viu?
31	おばんです	こんばんは	Boa noite	A:	あ、小林さん。	Ah, Sr. Kobayashi.
				B:	おばんです。 (こんばんは。)(秋田)	Boa noite.
32	おみよーにち(おみよーぬず)	おやすみなさい、さようなら、では明日	Boa noite, até logo, tchau	A:	例文なし	
				B:		
33	おんずくなし(おんじくなし)	臆病者、【会】ばか	Covarde, 【会】idiota	A:	いやー、昨日、寝坊しちやって、入学試験受けられなかったよ。	Ah, ontem acabei acordando tarde e não consegui prestar o exame de admissão.
				B:	おんずくなしー。 (ばかだなー。)(会津)	Como você é idiota.
34	がおった	疲れた、病気で弱る	Estar cansado, estar fraco porque está doente	A:	昨日山登りしたんですってね？	Disseram que você subiu uma montanha ontem.
				B:	いやー、がおった がおった。 (いやー、疲れた疲れた。)(秋田)	Pois é, estou muito cansado.

35	かせる ¹	かぶれる(植物、繊維、金属、薬品などで皮膚が赤くなったりかゆくなったりする)	Ter urticária (quando a pele fica vermelha ou coçando por causa de plantas, fibras, metais, medicamentos, etc.)	A:	ちよっと首のまわりがかゆいんですよー。	Meu pescoço está coçando.
				B:	あー、なんかに かせだみでだな。 (あー、なんかにかぶれたみたいだな。)(会津)	Ah, parece que você está com urticária por alguma coisa.
36	かせる ² (かへる)	食べさせる	Dar comida a alguém	A:	このごはん誰の?	De quem é esta comida?
				B:	子どもに かせんのしゃ。 (子どもに食べさせるんだよ。)(伊達)	Vou dá-la para a criança.
37	かちやくちやね	物事が進まずイライラする、ややこしい、散らかっている	Ficar irritado porque as coisas não andam, ficar impaciente, estar em desordem	A:	どう? 仕事は進んでる?	Como está? O trabalho está indo bem?
				B:	あー、まねや。かちやくちやね! (あー、全然だめだよ。イライラするー!)(津軽)	Ah, nada bem. Estou irritado com isso!
38	かちやペね	しっかりしていない、壊れやすい、軽率な	Não ser firme, fácil de quebrar, imprudente	A:	太郎って、体が大きくて丈夫そうだよね?	O Taro é grande e parece forte, não é?
				B:	んにや、かちやペね やつだや。 (いや、弱々しいやつだよ。)(津軽)	Não, ele é bem fraco.
39	がっこ	つけもの	Conserva em legumes	A:	今日のおかず、なんですか?	Qual o prato principal de hoje?
				B:	きょうの おかずは、おずげっこど がっこだけ。 (今日のおかずは、みそ汁とつけものだけ。)(秋田)	O prato principal de hoje é sopa de misô e conserva em legumes.
40	かでる	仲間に入れる	Incluir alguém no seu grupo	A:	「まぜる」の例文を参照	
				B:		
41	がな	(名詞・代名詞)のもの(私、あなた、あっち、山田さん、など)	De (substantivo, pronome) (mim, você, lá, Yamada, etc.)	A:	これ食べていいですか?	Posso comer isto?
				B:	あ、これ おれがな。 (あ、これは私の。)(会津)	Ah, isto é meu.

42	かばねやむ	なまける(仕事などやらないといけないことをしない)、サボる	Ter preguiça (não fazer o trabalho que tem que fazer), matar aula ou trabalho	A:	この仕事、全然終わりませんね。	Este trabalho não acaba nunca.
				B:	あいづ かばねやんで さっぱり すすまねんだ。 (あいつなまけて(=サボって)全然進まないんだ。)(伊達)	É porque ele fica com preguiça (não faz o que tem que fazer) e não avança nada,
43	かまりっこ	香り、におい	Cheiro, aroma	A:	ごはんできたよ。	A comida está pronta.
				B:	んー、いい かまりっこだな。 (んー、いいにおいだね。)(津軽)	Hum, que cheiro bom!
44	かめこ(かめっこ)	人見知りする(知らない人を見て恥ずかしい・いやだと思う)	Ficar com vergonha ou incomodado com pessoas que não conhece	A:	あーこの赤ちゃん、全然笑ってくれない。	Ah, este bebê não sorri para mim.
				B:	あー それ かめっこしてんだよ。 (あーその子は人見知りしてるんだよ。)(会津)	Ah, é que ele fica incomodado com estranhos.
45	かんじる	とても寒い	Muito frio	A:	おはようございます。	Bom dia.
				B:	あー きょう かんじるなー。 (あー今日はとても寒いねー。)(会津)	Ah, hoje está muito frio, não está?
46	かんつける (かんずける、かずける)	すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあって相手のいうことを聞かない)、人のせいにする	Ficar de mau humor, acanhar-se (sentir-se incomodado e não escutar o que o outro diz), culpar alguém	A:	あの子、さっきからずっと泣いてるよ。	Aquela criança está chorando o tempo todo.
				B:	ああ、かずけでらもんなー。 (ああ、すねてるもんなー。)(秋田)	Ah, ela está irritada.
47	きかねー(きかねあ、ちかねー)	気が強い(相手の言うことを聞かない、自分の意見を押し通す、負けず嫌い)	Ter espírito forte (não escutar o que os outros dizem, impor sua opinião, odiar perder)	A:	あの女の子、また男の子とけんかしてるよー。	Aquela menina está brigando de novo com um menino,
				B:	きかねがらなー。 (気が強いからなー。)(伊達)	É porque ela tem espírito forte.

48	きどころね(きどころね)	寝るつもりがないのに(服を着たまま)寝てしまう	Acabar dormindo (de roupa mesmo) mesmo sem a intenção de dormir	A:	昨日ものすごく酔っぱらってましたけど、あのあと大丈夫でしたか？	Ontem você ficou bastante bêbado. Teve algum problema depois daquilo?
				B:	あさ おぎだら、きどころねした。(朝起きたら、服を着たまま寝てた。(家に帰ったら、着替えないで外で着た服のままで寝てしまった)) (会津)	Quando acordei de manhã, estava dormindo de roupa e tudo. (Dormi com a mesma roupa que estava quando saí sem trocá-la.)
49	きみ	とうもろこし	Milho	A:	このコロッケどうぞ。	Coma este croquete.
				B:	あ、きみ はいってら。(あ、とうもろこし入ってる。)(秋田)	Ah, tem milho dentro.
50	きやっぱりする(きやっぱりをとる、かわっぱりする、かわっぱをとる)	靴の中に水が入る、川に落ちる	Entrar água dentro do sapato, cair no rio	A:	あれ、足ぬれてますね。	Ué, seu pé está molhado, não está?
				B:	いやー、あそこで きやっぱりとってやー。(いやー、あそこで水たまりをふんで靴に水が入っちゃってさー。)(伊達)	Pois é, pisei numa poça d'água ali e entrou água no meu sapato.
51	け(けー)	食べなさい、ちょうだい、かゆい、【秋】来なさい	Coma, dê-me, coçar, 【秋】venha	A1:	おなかすいた。	Estou com fome.
				B:1	まんま け。(ごはん食べなさい。)(伊達)	Coma o arroz.
				A2:	呼びましたか？	Você me chamou?
				B2:	あー、こっちや け、こっちや け。(あー、こっちおいで、こっちおいで。)(秋田)	Ah, venha aqui, venha aqui.
52	けっぱる	頑張る	Dar o seu melhor	A:	明日は大事な試験があるんだよ。	Amanhã vou fazer uma prova muito importante.
				B:	けっぱれ！(頑張れ！)(津軽)	Dê o seu melhor!
53	けね	役に立たない	Ser inútil	A:	例文なし	
				B:		

54	けやぐ	友だち	Amigo	A:	へー、これが子どもの時の写真か。君の隣にいるのは誰？	Então esta é uma foto de quando era criança? Quem é este ao seu lado?
				B:	けやぐの たろうだや。 (友だちの太郎だよ。)(津軽)	É o meu amigo Taro.
55	こわい(こえー)	疲れた	Cansado	A:	今日ずっと仕事だったんですね。	Hoje você trabalhou direto, não foi?
				B:	こえー。 (疲れたー。)(秋田)	Pois é, estou cansado.
56	ごんぼほる	だだをこねる(わがママを言って言うことをきかない)	Fazer birra (dizer caprichos e não escutar o que dizem)	A:	このおもちゃがほしい！	Quero este brinquedo!
				B:	ごんぼほるな。 (わがママを言うんじゃない。)(秋田)	Não faça birra.
57	さすけねー	大丈夫だ	Sem problema	A:	おばあさん入院したんですって？	Disseram que sua vó foi internada?
				B:	あ、さすけねー。らいげづには たいいんだがら。 (あ、大丈夫だよ。来月には退院だから。)(会津)	Ah, sem problema. Ela receberá alta no próximo mês.
58	しなっこい(しなっけ、すなこえ)	しなやか、食べ物がなかなか噛み切りにくい感じ	Ser elástico, sensação de uma comida difícil de mastigar	A:	このドライフルーツ食べてみて。	Coma estas frutas secas.
				B:	んん、すなこえな。 (んん、なかなか噛み切れないよ。)(気仙)	Hum, não consigo mastigá-las direito.
59	しばれる(すばれる)	とても寒い	Muito frio	A:	「かんじる」の例文を参照	
				B:		
60	ジャス	ジャージ	Roupa de jérsei	A:	(ハイキングの前日)何か用意するものはありますか？	(Dia anterior à excursão) Tem alguma coisa para preparar?
				B:	ジャス もってけ。 (ジャージを持っていきな。)(伊達)	Leve uma roupa de jérsei.
61	しよし	はずかしい	Ter vergonha	A:	「おしよし」の例文を参照	
				B:		

62	じよっぱり(じよっぱる)	頑固者(自分の考えを変えない人)	Ser cabeça dura (pessoa que não muda de ideia)	A:	俺の考えは間違っていない！絶対に正しい！	Eu não estou errado! Estou certo com certeza!
				B:	じよっぱりだなー。 (頑固者だなー。)(津軽)	Você é tão cabeça dura.
63	すける	手伝う	Ajudar	A:	(大きな箱を持って)いやー、これ重いですね。	(Levando uma caixa grande) Ah, isto é pesado.
				B:	でば すけっかや。 (じゃあ手伝おうか。)(伊達)	Quer ajuda?
64	すっぱね(すっぱね、しっぱね)	泥はね(水たまりなどを人や車が通った時にかかる水)	Salpico de lama (água jogada em alguém quando um carro passa numa poça de lama)	A:	ズボンどうしたんですか？	O que houve com a sua calça?
				B:	あー すっぱね かがった。 (あー泥はねがかかった。)(秋田)	Ah, foi salpicada de lama.
65	ずねー	大きい	Grande	A:	りんご買ってきたよ。	Comprei maçã.
				B:	うわー、これ ずねーなー。 (うわー、これ大きいなー。)(会津)	Uau, esta é grande.
66	せつね(せつね、へずね)	つらい	Difícil, duro	A:	あのおばあちゃん、病気になったみたいですね。	Parece que aquela vovó ficou doente.
				B:	あー、へずねべなー。 (あー、つらいだろうなー。)(秋田)	Ah, deve ser difícil para ela.
67	ぞうさね(ぞさね、じよさね)	簡単だ、どうってことない	Simples, sem complicação	A:	いやー、本当にありがとうございました。	Ah, muito obrigado mesmo.
				B:	いや、こんなの ぞうさね。 (いや、こんなのどうってことないよ。)(会津)	Ah, isto não teve complicação nenhuma.
68	たがぐ(たんがく、たなぐ)	持つ、持ちあげる	Segurar, levantar	A:	何かお手伝いしましょうか？	Quer que eu ajude em algo?
				B:	あー、その いす たがいでけろ。 (あー、そのいす持って。)(伊達)	Ah, segure essa cadeira.
69	たごまる	(糸などが)たるむ、(服などが)一ヶ所に寄ってくしゃくしゃになる、【会】からまる	Afrouxar (fio, etc.), amarrotar em algum ponto (a roupa, etc.), 【会】 enroscar-se	A:	例文なし	
				B:		

70	たれかもの	なまけ者(仕事などをしない人)	Preguiçoso (pessoa que não trabalha)	A: 例文なし B:	
71	たんげ	すごく、とても	Muito, bastante	A: このレストランの料理、どう？ B: ん、たんげ めな。 (うん、とてもおいしいね。)(津軽)	Que tal a comida deste restaurante? É muito boa.
72	だんだん	もうすぐ、そろそろ	Logo, daqui a pouco	A: (病院の待合室で)すみません、あの、私はもう名前呼ばれましたか？ B: いいや、だんだん よばれんべ。 (いいや、そろそろ呼ばれるでしょうね。)(会津)	(Na sala de espera do hospital) Com licença, meu nome já foi chamado? Não, deve ser chamado daqui a pouco.
73	たんぱら	短気(すぐ怒る人)	Impaciente (fácil de ficar com raiva)	A: あの人もまたけんかしてましたよ。 B: たんぱら だがらなー。 (短気だがらなー。)(秋田)	Ele brigou de novo. É porque ele não tem paciência.
74	ちゃっちゃど (ちゃっちゃと、 ちゃちゃど)	さっさと、早く	Imediatamente, rápido	A: これから準備するからちよつと待ってて。 B: ちゃっちゃど しろ。 (さっさとして。)(伊達)	Vou preparar agora, então espere um pouco. Faça rápido.
75	ちよす	いじる、さわる	Tocar	A: このお皿高そうですね。 B: あー、ちよすなよ。 (あー、触らないでよ。)(秋田)	Este prato parece caro, não é? Ah, não toque.
76	つつかけ	サンダル	Sandália	A: ちよつと出かけてきます。 B: あー、そこの つっかけ はいでげ。 (あー、そこのサンダルはいていきな。)(会津)	Vou dar uma saidinha. Ah, vá com essa sandália.
77	でかす	完成させる、終わらせる	Completar, terminar	A: この仕事、明日まででいいですか？ B: はやぐ でかせよ。 (早く終わらせてよ。)(伊達)	Este trabalho pode ser até amanhã? Termine logo.

78	とーきび(とーきみ、とーきみ、とーみぎ、とーみに)	とうもろこし	Milho	A:	おなかすいた。	Estou com fome.
				B:	んじゃあ、とーみぎ くうが? (じゃあ、とうもろこし食べる?)(会津)	Quer comer este milho?
79	どでんした(どでした)	びっくりした	Assustei-me	A:	昨日隣のうち火事だったんですって?	Teve um incêndio na casa ao lado.
				B:	どでしたやー。 (びっくりしたよー。)(秋田)	Levei um susto.
80	ながまる	横になる、足を伸ばして休む	Deitar-se, esticar as pernas e descansar	A:	あ一つかれたー。	Ah, estou cansado.
				B:	あ、そこさ ながまれ。 (あ、そこで(足を伸ばして)休みな。)(秋田)	Ah, (estique as pernas e) descanse aí.
81	なげる	捨てる	Jogar fora	A:	このお皿壊れちゃいましたね。	Este prato quebrou.
				B:	そいづ なげどげ。 (それ捨てといて。)(伊達)	Jogue isso fora.
82	なにをしたの(なんしたの、なじよすた)	どうしたの	O que houve?	A:	ちよつと手が痛いんですよ。	Minha mão está doendo.
				B:	なんしたのー? (どうしたのー?)(会津)	O que houve?
83	なんでかんで	どうしても	De qualquer forma	A:	もう夜遅いけど、まだ仕事してるの?	Já é tarde da noite e você ainda está trabalhando?
				B:	これ あしたまで なんでかんで やんなんねだ。 (これ明日までにどうしてもやらないといけないんだよ。)(会津)	É que tenho que terminar isto até amanhã de qualquer forma.
84	なんも	どうってことない、気にしないで、どういたしました(お礼を言われた時の返事)	Não foi nada, não se preocupe, de nada (resposta a um agradecimento)	A:	いやーこの間はどうもありがとうございました。	Ah, muito obrigado pelo outro dia.
				B:	やー、なんも なんも。 (いやー、どうってことないよ。)(秋田)	Ah, não foi nada.

85	にやにやす	お腹や胃に違和感がある、お腹や胃の調子が悪い	Sentir algo estranho na barriga ou estômago, sentir-se mal da barriga ou estômago	A:	なんだか体調悪そうだけど、どうしたの？	Você não parece bem, o que houve?
				B:	きながら いにやにやして…。 (昨日から胃の調子が悪くてね…。)(津軽)	Meu estômago está ruim desde ontem.
86	ねっぱす	のりやテープでつける	Colocar cola ou fita adesiva	A:	これ壊れちゃいましたね。	Isto se quebrou.
				B:	んまーぐ ねっぱしとげ。 (上手に(のりやテープで)付けておいて。)(会津)	Cole bem (com cola ou fita).
87	ねまる	(床や地面に)座る、休む	Sentar (no chão), descansar	A:	あ、おじゃまします。	Ah, com licença.
				B:	あ、そこさ まず ねまれ。 (あ、そこにまあ座って。)(秋田)	Ah, sente-se aí.
88	のぜる	のどにつまる、吐きそうになる(オエツとなる)	Engasgar, ter vontade de vomitar	A:	いやーこのもちおいしいですねー！	Ah, este bolinho de arroz está uma delícia.
				B:	あんまり いそいで くうど のぜっちまうぞ。 (あんまり急いで食べるとのどにつまっちゃうよ。)(会津)	Se comer com pressa, pode se engasgar.
89	はかいく	はかどる(順調に進む)	Progredir satisfatoriamente (avançar bem)	A:	あれ、今日帰り早いですね。	Ué, voltando para casa cedo hoje?
				B:	いやー、しごと はがいてやー。 (いやー、仕事はかどってね。)(伊達)	Pois é, o trabalho avançou rápido.
90	はかはか	どきどき、はらはら	Ficar com o coração acelerado	A:	見て、あんな高いところに人が立ってるよ！	Veja, tem uma pessoa em pé naquele lugar alto!
				B:	うわー、はかはかでやー！ (うわー、はらはらするー！)(秋田)	Uau, meu coração até acelerou!
91	はなだんぼ	鼻にティッシュをつめること	Limpar o nariz com um lenço	A:	鼻血が出ちゃったよ。	Está saindo sangue do meu nariz.
				B:	あー はなだんぼ しとげ。 (あー鼻にティッシュをつめておきな。)(会津)	Ah, limpe o nariz com o lenço.

92	ばんげ	晩、夜	Noite	A:	今度一緒に、ごはん食べましょうよ。	Vamos sair para comer juntos.
				B:	あー、あしたのばんげなんとだ？ (あー、明日の晩はどう？)(秋田)	Ah, que tal amanhã à noite?
93	ひとめわりー	みっともない(人が見たくないと思う様子、かっこわるい)、はずかしい	Vergonhoso (algo que ninguém quer ver, feio)	A:	見て、この服かっこいいでしょう？	Olhe esta roupa, bonita, não é?
				B:	なんだ それ、ひとめわりーなー。 (なんだそれ、かっこわるいなー。)(会津)	O que é isso?! Que coisa feia!
94	ひまだれ(ひまだれかける、ひまだれする)	時間がかかること、時間をつぶすこと、時間の無駄	Demorar, passar o tempo, desperdício de tempo	A:	昨日ずっと待ってたのに、友達が来なかったんだよ。	Ontem esperei o tempo todo, mas meu amigo não veio.
				B:	そいづは ひまだれだったねー。 (それは時間の無駄だったねー。)(伊達)	Que desperdício de tempo.
95	ひゃっこい(ひゃっけ、ひゃけあ、しゃっこい、しゃっけ、しゃけあ)	冷たい	Gelado	A:	お水どうぞ。	Tome água.
				B:	うわー、しゃっけな これ。 (うわー、冷たいなこれ。)(会津)	Uau, que gelada!
96	ぶすくれる(ぶじくれる)	すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあって相手のいうことを聞かない)	Ficar de mau humor, acanhar-se (sentir-se incomodado e não escutar o que o outro diz)	A:	たろう、ちょっと こっち きてみ。	Taro, venha aqui.
				B:	ふん！知らないよ！	Hã? Não quero saber.
				A:	なに ぶすぐっちなー。 (なんですねてるの。)(会津)	Por que está de mau humor?
97	ぺあっこ(ぺっこ)	少し(副詞)	Pouco (advérbio)	A:	例文なし	
				B:		
98	へば(せば、んだば)	では、じゃあね(別れのあいさつ)	Tchau	A:	今日はどうもありがとうございました。	Obrigado por hoje.
				B:	へば まんずな。 (じゃあまたね。)(秋田)	Tchau.

99	ほろぐ(ほろく、ほろぐ)	払い落とす、【仙・中・会】(財布などを)落としてなくす	Espanar, 【仙・中・会】 Derrubar (a carteira, etc.) e perder	A: どうしたんですか？	O que aconteceu?
				B: なんか さいふ どっかに ほろったみでだな。 (なんだか財布をどこかに落としてなくしちゃったみたいだな。)(会津)	Parece que eu derrubei a carteira em algum lugar e perdi.
100	ほろだぐ	払い落とす	Espanar	A: ただいま。外、雪すごかったよ。	Cheguei. Está nevando muito lá fora.
				B: まず ゆき ほろだけ。 (とりあえず雪を払い落とさない。)(秋田)	Primeiro, tire a neve de cima de você.
101	まぜる	仲間に入れる	Incluir alguém no seu grupo	A: これからみんなで飲みに行こう。	Vamos sair para beber agora.
				B: (話し相手とは別の人が)あー おれもまぜでくろー。 (あー、俺のことも仲間に入れてー。)(会津)	(Outra pessoa além do interlocutor) Ah, deixe-me ir com vocês também.
102	までーに	丁寧に	Cuidadosamente, delicadamente	A: 食器洗い終わったよ。	Acabei de lavar os pratos.
				B: ん、まんだ よごれちゅーなあ。までーに あられ。 (ん、まだ汚れてるなあ。丁寧に洗ってよ。)(津軽)	Ainda estão sujos. Lave-os com mais cuidado.
103	まね	だめだ、いけない、(～しないと)いけない	Não poder, ter que fazer	A: あれ、どこか出かけるの？	Ué, você vai sair para algum lugar?
				B: んにゃー、こいがら びよーいんさ いがねばまねんだね。 (いやー、これから病院にいかないといけないんだよ。)(津軽)	Pois é, tenho que ir ao hospital agora.
104	みったぐね(みたぐね、みたぐねあ)	みっともない(人が見たくないと思う様子、かっこわるい)、にくたらしい(≡腹立たしい、頭に來る、ムカムカする)	Vergonhoso (algo que ninguém quer ver, feio), odioso (≡ algo que dá raiva, que deixa irritado)	A: ちょっと出かけてきます。	Vou dar uma saída.
				B: そんな みったぐねー かっこ すんな。 (そんなみっともない格好しないで。)(伊達)	Não vista algo tão feio assim.

105	むつける(むずける)	すねる、いじける、ふてくされる(いやな気持ちがあって相手のいうことを聞かない)	Ficar de mau humor, acanhar-se (sentir-se incomodado e não escutar o que o outro diz)	A:	えー、この前約束したのに、明日だめなの？！	O quê? Mesmo tendo prometido outro dia, amanhã não vai poder?
				B:	そう むつけるな まず。 (そうすねないでよ、まあまあ。)(秋田)	Não fique irritado, calma.
106	むったり	一心に(一つのこと)にひたすら集中している様子)	Devotadamente (ficar totalmente concentrado em um coisa)	A:	あの人本読んでますね。	Aquela pessoa está lendo um livro.
				B:	ああ、さっきから むったり ほんよんでるな。 (ああ、さっきからひたすら集中して本を読んでもるね。)(秋田)	Ah, já está há um tempo lendo o livro totalmente concentrada.
107	めぐせ(みぐせ)	みっともない、はずかしい	Vergonhoso	A:	あのおじいさん、いつもパンツで歩いているよ。	Aquele senhor sempre caminha de cueca.
				B:	めぐせーよなー。 (みっともないな。)(伊達)	Que vergonhoso.
108	めぐい(めんこい、めんけ、めげー)	かわいい	Bonitinho	A:	これが私の子どもの写真です。	Esta é a foto do meu filho.
				B:	あー、めんこいねー！ (あー、かわいいねー！)(伊達)	Ah, que bonitinho!
109	やっこい(やっけ、やけあ)	柔らかい	Mole	A:	「んめ」の例文を参照	
				B:		
110	やっちゃかね(やっちゃげね)	役に立たない	Ser inútil	A:	この携帯、買ったばかりなのに、すぐ壊れちゃったよ。	Comprei o celular há pouco tempo e já quebrou.
				B:	そら やっちゃがねなー。 (それは役立たずだなー。)(会津)	Que inútil.
111	やばつい(やばち)	湿って気持ちが悪い、【秋】手などが汚れる、【伊】よろしくない、まずい	Sentir-se incomodado com a umidade, 【秋】sujar a mão, etc., 【伊】não ser bom, ser ruim	A:	(食べ物を食べていて)あ、て やばつくなつた。 (あ、手が汚れちゃった。)(秋田)	(Comendo algo) Ah, minha mão sujou.
				B:	あ、ティッシュをどうぞ。	Ah, tome um lenço.
112	やむ(やめる)	病気になる、痛む、具合が悪くなる	Ficar doente, sentir-se mal	A:	最近あのおばあさん見ないですね。	Ultimamente não tenho visto aquela senhora.
				B:	やんでらんでねーかー？ (病気なんじゃないの？)(秋田)	Será que não está doente?

113	やんだおら(やんたおら、おらやんだ)	嫌だ(【会】では女性が使うことが多い)	Não (em 【会】 é usado muito por mulheres)	A:	ちょっとお金貸してくれませんか？	Pode me emprestar dinheiro?
				B:	おらやんだ。 (俺はいやだよ。)(伊達)	Não posso.
114	わらすっこ	子ども	Criança	A:	これ、うちの家族の写真です。	Esta é a foto da minha família.
				B:	あーりゃ、かわいい わらすっこだごど。 (あーら、かわいい子どもだなー。)(伊達)	Ah, que criança bonitinha!
115	わらはんど(わらしやんだ)	子どもたち	Crianças	A:	これが私の家族の写真です。	Esta é a foto da minha família.
				B:	めごい わらはんどだな。 (かわいい子どもたちだね。)(津軽)	Que crianças lindas.
116	わらわら	急いで、早く	Com pressa, rápido	A:	すみません、もうちょっと待ってくれますか？	Desculpe, pode esperar um pouco mais?
				B:	までね、わらわらど やれ。 (待てない、急いでやりなさい。)(伊達)	Não posso esperar, faça logo.
117	わんつか(わんずか)	少し、ちょっと(副詞)	Pouco (advérbio)	A:	あの、写真撮ってくれませんか？	Pode tirar uma foto para mim?
				B:	わずか みぎさ よってけれ。 (少し右に寄ってください。)(秋田)	Vá um pouco para a direita.
118	んだ	はい、うん、そうだ	Sim	A:	あ、齋藤さんですか？	Ah, Sr. Saito?
				B:	んだ。 (はい。)(会津)	Sim.
119	んだから(だから)	そうだよ、そうでしょう(同意)(※原因・理由を表すわけではない)	Isso (concordando), exatamente (*não significa que expressa um motivo ou razão)	A:	あの人とってもいい人だね。	Aquela pessoa é legal, não é?
				B:	んだがらー。 (そうでしょう。)(秋田)	Exatamente.
120	んにゃ(んでねあ)	いや	Não	A:	このプリント、今日使いますか？	Vai usar esta impressão hoje?
				B:	んでね、あした つかうんだ。 (いや、明日使うんだよ。)(伊達)	Não, vou usá-la amanhã.

121	んめ(んめあ、め)	おいしい	Gostoso	A:	このお肉どうですか？	Que tal esta carne?
				B:	あ、やっけて んめごど。 (あ、やわらかくておいしいなー。)(秋田)	Ah, é mole e deliciosa.

第4部 終論

第14章 おわりに

第14章 おわりに

14.1. 結論

以上、本研究では、東北地方の外国人住民の方言理解に資することを旨とし、彼らの言語環境としての言語景観、彼らとともに生活する日本人住民の方言使用、そして彼ら自身の現時点における方言理解、これらを調査し、その上で方言理解支援ツールを作成した。また、外国人住民の母語の中から英語・中国語・韓国語・インドネシア語・ポルトガル語について、東北方言との直接的な対照研究を行った。以下、各章ごとに整理して結論を述べる。

第1章では、本研究における方言区分、何が方言問題となりうるのか、方言使用と方言理解、そして用語の定義などを記し、本研究の目的及び調査の流れを述べた。

第2章では、先行研究を他地方出身者と方言に関するもの、及び外国人住民と方言に関するものに分け、その中で東北地方以外のもので東北地方のもので区別し、それぞれについて見たのち、本研究との違いを示したうえで、本研究の位置付けを述べた。

第3章では、言語景観を通して、外国人の言語環境について考えた。ここでは、方言景観は仮名表記のものが多いため外国人住民にとっては読みやすいこと、方言景観がみられない地域では実際に方言をあまり耳にしなかったり方言理解の問題としてあまり表面化していなかったりしたということを示した。また、方言景観の多い福島県会津地方において、大河ドラマによる方言景観の増加は一時的なものであること、観光方言として南会津方言域でも会津方言が用いられたり復興方言として会津方言域で福島県共通語が用いられたりしていること、会津方言の方言景観における尊敬命令形は“-aNsjō”系がほとんどを占めていることなどが明らかとなった。

第4章では、日本人住民の方言使用調査について記し、現在の東北地方の日本人住民がどのような方言をどのような地域において使用しているのかを浮き彫りにした。また、東北地方全体で用いられているものであっても意味拡張や意味推移という現象によって方言の地域差が起こっていることについても見ることもできた。さらに、外国人住民に対しても同様の調査をしたことで、日本人が「使う」「聞く」としたものを外国人も実際に聞いていることを確認することができた。

第5章では、第4章の結果を踏まえて、外国人住民の方言理解調査を行い、東北地方の外国人住民が、現時点においてどれほどの方言を理解しているのか、あるいは知らない場合でも推測で理解できる場合にはどのようなパターンがあるのかなどについて明らかにした。その結果、知っていた方言や間違えて覚えていた方言、方言だと気付いていなかったものが判明し、さらに推測で正答したものには a「標準語からの推測」、b「標準語から派生させた推測」、c「共起表現からの推測」、d「文脈からの推測」、e「パラ言語からの推測」が見られ、推測しても誤答する場合には、a'「標準語からの推測による誤答」、b'「既知の方言の活用

による誤答」、c'「文脈からの推測による誤答」、d'「分節の誤りによる誤答」、e'「聞き間違いによる誤答」などが見られた。また、項目によっては無視された可能性のあるものが存在した。

第6章では、『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』作成までの過程として、掲載語彙の選定に関する細かな基準や、小冊子版及びウェブサイト版における本方言集の特色について記した。

第7章では、『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』が設置・配布されている機関の紹介や方言集配布後の機関での利用やメディアの反応等について記したのち、実際に方言集を利用した日本人住民及び外国人住民からの様々な意見や感想について見た。

第8章では、東北方言を標準語や英語以外の言語でも紹介する有用性を述べたうえで、第9章以降で扱う「翻訳上の問題点」の所在について概説した。

第9章では、英語訳を作成した際の様々な翻訳上の問題点を明らかにした。「I 意味論的問題」には「I-a. 方言のほうが英語より意味範疇が広い」「I-b. 方言のほうが英語より意味範疇が狭い」「I-c. 英語に適切な語がなく説明的になる」の3つの場合が存在し、その他にも「II 意味論以外の問題」として「II-a. 発音規則」「II-b. 語順」「II-c. テンス・アスペクト」「II-d. 人称」「II-e. 表現の対象」「II-f. ムード」の6つの問題点が明らかになった。

第10章では、中国語訳を作成した際の様々な翻訳上の問題点を明らかにした。「I 意味論的問題」には「I-a. 方言のほうが中国語より意味範疇が広い」「I-b. 方言のほうが中国語より意味範疇が狭い」「I-c. 中国語に適切な語がなく説明的になる」の3つの場合が存在し、その他にも「II 意味論以外の問題」として「II-a. 発音規則」「II-b. 語順」「II-c. テンス・アスペクト」「II-d. 表現の対象」「II-e. 印象」「II-f. 敬意」の6つの問題点が明らかになった。

第11章では、韓国語訳を作成した際の様々な翻訳上の問題点を明らかにした。「I 意味論的問題」には「I-a. 方言のほうが韓国語より意味範疇が広い」「I-b. 方言のほうが韓国語より意味範疇が狭い」「I-c. 韓国語に適切な語がなく説明的になる」の3つの場合が存在し、その他にも「II 意味論以外の問題」として「II-a. 発音規則」「II-b. テンス・アスペクト」「II-c. 人称」「II-d. 表現の対象」「II-e. ムード」「II-f. 敬意」「II-g. 言い回し」の7つの問題点が明らかになった。

第12章では、インドネシア語訳を作成した際の様々な翻訳上の問題点を明らかにした。「I 意味論的問題」には「I-a. 方言のほうがインドネシア語より意味範疇が広い」「I-b. 方言のほうがインドネシア語より意味範疇が狭い」「I-c. インドネシア語に適切な語がなく説明的になる」の3つの場合が存在し、その他にも「II 意味論以外の問題」として「II-a. 発音規則」「II-b. 人称」「II-c. 表現の対象」の3つの問題点が明らかになった。

第13章では、ポルトガル語訳を作成した際の様々な翻訳上の問題点を明らかにした。「I 意味論的問題」には「I-a. 方言のほうがポルトガル語より意味範疇が広い」「I-b. 方言

のほうがポルトガル語より意味範疇が狭い」「I-c. ポルトガル語に適切な語がなく説明的になる」の3つの場合が存在し、その他にも「II 意味論以外の問題」として「II-a. 発音規則」「II-b. 語順」「II-c. テンス・アスペクト」「II-d. 人称」「II-e. 表現の対象」「II-f. 言い回し」の6つの問題点が明らかになった。

14.2. 本研究の意義

本研究は、東北地方各地の外国人住民がすぐ使える、一目でわかる、音声も聞ける、分かりやすい、「最低限の方言理解」に資する方言集を作成、東北地方各地の国際交流協会等に配布したため、様々な外国人住民、あるいは外国人住民に地元の文化として方言について教えようとする地域日本語教師の皆様の手に渡るようになっていく。

また、ウェブサイトも存在するため、インターネット環境さえあれば場所を選ばず使える。これらの方言学習環境を整えたことにより、外国人住民の方言理解に一定程度寄与したと考える。第7章でも詳しく記したが、実際に、東北地方の国際交流協会からの問い合わせや、多くの反応を頂いている。

さらに、東北方言と諸言語を直接対照することによって、様々な問題点を明らかにできたことも本研究の意義と考える。方言は標準語との対照があればいい、英語との対照があればいい、といった単純なものではなく、言語によって様々な問題点があり、また同じ分類の問題点であっても当てはまる語彙は言語によって異なるということを示すことができた。

本研究において、日本人住民及び外国人住民への調査手法から、方言理解支援ツール作成の過程及びツールの特色、そして東北方言と諸言語との直接的な対照研究による多言語訳の際の翻訳上の問題点などを示すことで、今後の他地域を含めた外国人住民への方言理解支援に関するテンプレートを示すことができたことは最も意義深い点である。

14.3. 課題と展望

本研究では課題も残っている。まず、第4章で扱った日本人の方言使用調査における南部方言のインフォーマントは岩手県のインフォーマントのみであったため、果たして青森県側でも同じと言っていいのか疑問が残る。それだけでなく、調査地域によってインフォーマント数が統一されていなかった。そのため、より実態に即した結果を出すためには、今後の追加調査及び調査人数の拡充などが必要であると考えられる。

また、作成した方言理解支援ツールについても、継続的な改定・増補などが必要である。地域別のツールなど、日本人住民や外国人住民の声を反映させたものに取り組む必要がある。さらに、在留外国人数の2016年12月現在の統計では、ベトナム人が第4番目の人数となった。留学生として多くやって来ていることについては第1章で述べたが、留学生のみならずEPAによる看護師や介護福祉士の候補者としての来日もインドネシアほどではないものの増加傾向にある。第7章でも述べたが、この点を考えると、ベトナム語の採用については最優先課題とし、また、その他の言語についても今後検討する必要があると考える。

参考文献

- 秋田県教育委員会編(2000)『秋田のことば』 無明舎出版
- 飯豊毅一(1964a)「福島県方言における対者尊敬表現について」『国語学』59 武蔵野書院
- (1964b)「南奥方言と関東方言との境界について—福島県を中心として—」日本方言研究会編(1964)
- 飯豊毅一、日野資純編(1982)『講座方言学4—北海道・東北地方の方言—』 国書刊行会
- 池上岑夫、金七紀男、高橋都彦、富野幹雄、武田千香編(2014)『現代ポルトガル語辞典(3訂版) 和ポ付』 白水社
- 池上嘉彦(1975)『意味論』 大修館書店
- 石井政昭(1995)『なぐなてんぐ山形弁』 山形弁保存会
- 井上史雄、大橋敦夫、田中宣廣、日高貢一郎、山下暁美(2003)『魅せる方言—地域語の底力—』 三省堂
- 今村かほる(2015)「医療・福祉と方言—応用方言学として—」日本方言研究会編『方言の研究』1 ひつじ書房
- 今村かほる編(2015)『「災害対応のための方言活用システムと方言ツールの開発」報告書』(今村かほる代表科研費報告書)
- 今村かほる、中島祥子(2015)「EPAによる外国人看護師・介護福祉士候補者の直面する方言の問題について」今村編(2015)
- 岩城裕之(2008)「富山県における体調を表す語彙の地域性—看護実習生へのアンケートと臨地調査にみる富山方言の「問題」—」日本方言研究会第87回研究発表会 発表原稿集
- 岩手日報社(2017)「東北の方言 海越えて」『岩手日報』(2017年12月31日付 21面)
- ウィラシンハ、ディリニ・ハサンティカ(2017)「日本語とシンハラの応答表現に関する対照言学的研究—6言語との比較を通じて—」平成28年度博士学位論文 首都大学東京
- 江端義夫、加藤正信、本堂寛編(1998)『最新ひと目でわかる全国方言一覧辞典』 学研
- 太田亨(2000)「日本語とポルトガル語の先行性アスペクトをめぐる考察」『日本語とポルトガル語(2): ブラジル人と日本人との接触場面』 国立国語研究所
- 荻野綱男(1995)「大阪方言話者の移住による方言受容」『関西方言の社会言語学』 徳川宗賢、真田信治編 世界思想社
- 加藤正信(1969)「東北方言概論」『言語生活』210 筑摩書房
- 菅野宏(1982)「福島県の方言」飯豊・日野編(1982)
- 儀保ルシーラ悦子(2014)「ブラジル・ポルトガル語のアスペクト・テンス体系—日本語のアスペクト・テンス体系との比較研究—」『ロマンス語研究』47 ロマンス語学会
- 久米田いさお(2007)『津軽の標準語』 モツケの会
- グロータース, W. A.、柴田武(1967)『誤訳—ほんやく文化論—』 三省堂
- 国立国語研究所編(1993)『日本語教育指導参考書20 方言と日本語教育』 大蔵省印刷局
- (1999)『方言文法全国地図 第4集—表現法編1—』 財務省印刷局
- (2006)『方言文法全国地図 第6集—表現法編3 (待遇) —』 財務省印刷局
- 児玉卯一郎(1974)『福島県方言辞典』 国書刊行会 (1935年に西澤書店から刊行されたものの再版)
- 後藤典子(2015)「医療・介護現場の方言を外国人はどう理解するか—他地域出身日本人と比較し

- て一』『日本語教育』161 日本語教育学会
- 後藤典子編(2012)『聞いてわかる 介護の山形ことば』 東北文教大学短期大学部
- 後藤典子、熊坂聡、三瓶紀子、澤恩嬉、齋藤美穂、山上龍子(2010)「介護保険施設利用者と留学生の会話の分析—山形地域語の理解を中心に—」『山形短期大学紀要』42
- こなん (ペンネーム) (2007)「江戸の町並み大内宿」<http://community.travel.yahoo.co.jp/mymemo/conan41/blog/13.html>
- 斎藤敬太(2015a)「ブラジル人集住地域のリングフランカー—群馬県大泉町と三重県伊賀市の比較—」『日本語研究』35 首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会
- (2015b)「東北地方の外国人住民向け方言教材の開発」『2015 CAJLE Annual Conference Proceedings』 CAJLE
- (2015c)「外国人住民の言語環境としての観光—ブラジル人集住地域の群馬県大泉町と三重県伊賀市の比較—」『第30回日本観光研究学会学術論文集』 日本観光研究学会
- (2016a)「震災後の方言景観に見る福島県会津方言の変容」『日本語研究』36 首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会
- (2016b)「日本語を母語としない人に役立つ『くらしの方言集』作成に向けた語彙・文法事項の使用実態調査」『第11回国際日本語教育・日本研究シンポジウム』 口頭発表予稿集 (香港公開大学、香港九龍、2016年11月)
- (2017)『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』 平成28年度 笹川科学研究助成により印刷
- (2018a)「外国人住民向け方言理解支援ツールに関する研究—『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』の作成とその評価—」『「多文化共生社会に向けての災害時コミュニケーションに関する総合的研究」報告書』 (津田智史代表科研費報告書)
- (2018b)「『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』作成に向けた語彙・文法項目の使用実態調査」『武蔵野大学教養教育リサーチセンター紀要 The Basis』8 武蔵野大学教養教育リサーチセンター紀要編集委員会
- 斎藤敬太、志喜屋カロリーナ(2014)「外国人集住地域の言語景観からみる多文化共生のあり方」多文化社会実践研究・全国フォーラム (第8回) 口頭発表原稿 (東京外国語大学、東京都府中市、2014年12月)
- (2015)「中南米系外国人集住地域の言語景観における伝達意図の阻害要因」『日本語研究』35 首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会
- 佐藤稔(1982)「秋田県の方言」飯豊・日野編(1982)
- (2000)「秋田のことば 概説」秋田県教育委員会編(2000)
- JTM研究会(1999)『こんにちは とくしま I—徳島でくらす外国人のための日本語教材—』 あわゆず企画
- 篠崎晃一、東京女子大学篠崎ゼミ(2011)「女子大生でも気づかない方言」http://www.web-nihongo.com/j_hougen/
- 社会福祉法人大阪ボランティア協会「多文化子育て支援ガイドブック」企画委員会編(2013)『多文化子育て支援ガイドブック 日本語で つたえる コツ～外国人保護者と子育て支援に関わる人とのより良いコミュニケーションのために～』 社会福祉法人大阪ボランティア協会
- 全国語学教育学会山口支部日本語教育部会(2002)『おいでませ山口 2—外国人のための初級日本語教材—2002 - 2003年版』 山口大学人文学部林伸一研究室
- 総務省(2016a)「統計表一覧」<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001161643>
- (2016b)「全国地方公共団体コード」<http://www.soumu.go.jp/denshijiti/code.html>

- 高木裕子、丸山敬介(2007)「日本語教育におけるバリエーション教材教育」『日本語教育』134 日本語教育学会
- 高殿良博(1985)「インドネシアにおける親族名称と親族呼称をめぐって—インドネシア語、アチェ語、バタック語およびミナンカバウ語の場合—」『アジア研究所紀要』12 亜細亜大学
- 竹田晃子(2012)『東北方言オノマトペ (擬音語・擬態語) 用例集—青森県・岩手県・宮城県・福島県—』 国立国語研究所
- 田中宣廣(2016)「方言の拡張活用と方言景観」井上史雄、木部暢子編『はじめて学ぶ方言学—ことばの多様性をとらえる 28 章—』 ミネルヴァ書房
- 東奥日報社(2017)「「じょっぱり」気質の美 多様な塗り技術脈々と／津軽塗り」
<http://realaomori.toonippo.co.jp/15031/>
- 中井精一(2011)「言語景観に見る地方都市の文化的虚弱性」中井精一、ダニエル・ロング編『世界の言語景観 日本の言語景観—景色のなかのことば—』 桂書房
- 日本学生支援機構(2017)「平成 28 年度外国人留学生在籍状況調査結果」http://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/2016/_icsFiles/afieldfile/2017/03/30/data16.pdf
- 日本方言研究会編(1964)『日本の方言区画』 東京堂
- 伴紀子(1985)「「生活語」の教育上の配慮」『日本語教育』56 日本語教育学会
- 半沢康(2003)「現代の方言」小林隆、篠崎晃一編『ガイドブック方言研究』 ひつじ書房
- 彦坂佳宜(2006)「準体助詞の全国分布とその成立経緯」『日本語の研究』2(4) 日本語学会
- 日高水穂(2011)『秋田県民は本当に〈ええふりこぎ〉か?』 無明舎出版
- 平山輝男、大島一郎、大野眞男、久野眞、久野マリ子、杉村孝夫、佐藤和之編(2003)『青森県のことば』 明治書院
- 平山輝男、大島一郎、大野眞男、久野眞、久野マリ子、杉村孝夫、齋藤孝滋編(2003)『岩手県のことば』 明治書院
- 福嶋秩子(2017)「方言分布の総合と比較から見る方言の地域差と変化」『方言の研究』4 日本方言研究会
- 福島リビング新聞社編(2015)『こころ伝わるふくしまの方言』 福島リビング新聞社
- 不二門千里(1988)「関西出身者の東京移住後の言語意識」『国文鶴見』23 鶴見大学日本文学会
- 堀永乃(2009)「「介護のための日本語教室」にみる多文化共生社会づくりへの取り組み—浜松市国際交流協会の実践から—」『日本語学』28-6 明治書院
- 本堂寛(1967)「岩手県方言の系統と区画について」『一関工業高等専門学校研究紀要』1
- (1982)「岩手県の方言」飯豊毅一・日野資純編『講座方言学 4—北海道・東北地方の方言—』 国書刊行会
- 宮森泰弘、山崎捷子、小野寺裕子、新城希子(2014)『残したい美しい会津弁 おあいなはんしょ』 歴史春秋出版
- 山形市国際交流協会編(2002)『生活講座のための「いっしょに歩もう山形」日本語版』 山形市国際交流協会
- 山形地域語研究会(2001)『山形ことばを学ぼう』 山形地域語研究会
- 山下暁美(2014)「命綱としての日本語—「災害時命綱カード」の提唱—」『応用言語学研究』16 明海大学大学院応用言語学研究科紀要編集委員会
- 吉里さち子・嵐洋子・大庭理恵子・大山浩美・甲斐朋子・田川恭識・馬場良二(2013)「「地域社会により順応するための方言教材」の開発—教材開発のプロセスとロールプレイ談話の結果を中心に—」『日本語教育方法研究会誌』20-2
- 読売新聞地方部(2002)『東北ことば』 中央公論社

- 龍川清・佐藤忠彦(1983)『会津方言辞典』 国書刊行会
- ロング, ダニエル(1989)「京阪方言に対する他地方出身者の意識と方言使用」『待兼山論叢 日本学篇』23 大阪大学文学部
- (1990)「大阪と京都で生活する他地方出身者の方言受容の違い」『国語学』162 日本語学会
- (1992)「日本語教育における「方言教育」の問題点」『日本語教育』76 日本語教育学会
- (1993)「擬似標準語と地方共通語」『大阪樟蔭女子大学論集』30 大阪樟蔭女子大学
- (2009)「南大東島ことばが作り上げる言語景観」中井精一、東和明、ダニエル・ロング編『南大東島の人と自然』 南方新社
- ロング, ダニエル、今村圭介(2012)「伊賀上野の多言語・多方言の言語景観」『日本語研究』32 首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会
- ロング, ダニエル、斎藤敬太(2016)「隣接する無敬語・敬語地帯の言語景観にみられる待遇表現の違い(福島市編)」『人文学報』512-7 首都大学東京人文科学研究科
- (2017)「隣接する無敬語・敬語地帯の言語景観にみられる待遇表現の違い(近畿編)」『人文学報』513-7 首都大学東京人文科学研究科
- Ferreira, Aurélio Buarque de Holanda (2010) *Dicionário Aurélio da língua portuguesa*. 5ª ed. Curitiba: Positivo.

本研究における既発表論文・学会発表との関連

第1章・第2章

- 1) 斎藤敬太 「東北地方の外国人住民向け方言教材の開発」 『2015 CAJLE Annual Conference Proceedings』 CAJLE pp.261-268 2015年 査読無し
- 2) 斎藤敬太 「東北地方の外国人住民向け方言教材の開発」 カナダ日本語教育振興会 (CAJLE)2015年度年次大会 Simon Fraser University Vancouver, Canada 2015年8月20日 審査有り
- 3) 斎藤敬太 「東北地方で暮らす外国人の方言問題解決を目指して」 第八回 首都大学東京・東京都立大学 日本語・日本語教育研究会 首都大学東京、東京都八王子市 2015年7月18日 審査有り

第3章

- 1) ロング, ダニエル, 斎藤敬太 「隣接する無敬語・敬語地帯の言語景観にみられる待遇表現の違い(近畿編)」 『人文学報』 首都大学東京人文科学研究科 513-7号 pp.33-44 2017年 査読無し
- 2) 斎藤敬太 「震災後の方言景観に見る福島県会津方言の変容」 『日本語研究』 首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会 36号 pp.27-42 2016年 査読有り
- 3) ロング, ダニエル, 斎藤敬太 「隣接する無敬語・敬語地帯の言語景観にみられる待遇表現の違い(福島市編)」 『人文学報』 首都大学東京人文科学研究科 512-7号 pp.75-93 2016年 査読無し
- 4) 斎藤敬太 「外国人住民の言語環境としての観光—ブラジル人集住地域の群馬県大泉町と三重県伊賀市の比較—」 『第30回日本観光研究学会学術論文集』 日本観光研究学会 pp.105-108 2015年 査読無し
- 5) 斎藤敬太 「ブラジル人集住地域のリングフランカー群馬県大泉町と三重県伊賀市の比較—」 『日本語研究』 首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会 35号 pp.43-57 2015年 査読有り
- 6) 斎藤敬太, 志喜屋カロリーナ 「中南米系外国人集住地域の言語景観における伝達意図の阻害要因」 『日本語研究』 首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会 35号 pp.113-123 2015年 査読有り
- 7) 斎藤敬太 「外国人住民の言語環境としての観光—ブラジル人集住地域の群馬県大泉町と三重県伊賀市の比較—」 第30回日本観光研究学会全国大会 高崎経済大学、群馬県高崎市 2015年11月29日 審査有り

第4章

- 1) 斎藤敬太 「『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』作成に向けた語彙・文法項目の使用実態調査」 『武蔵野大学教養教育リサーチセンター紀要 The Basis』 武蔵野大学教養教育リサーチセンター紀要編集委員会 Vol.8 pp.129-139 2018年 査読無し
- 2) 斎藤敬太 「日本語を母語としない人に役立つ『くらしの方言集』作成に向けた語彙・文法事項の使用実態調査」 第11回国際日本語教育・日本研究シンポジウム 香港公開大学 香港九龍 2016年11月19日 審査有り

第6章

- 1) 斎藤敬太 「東北地方の外国人住民の方言理解とその対応に関する実験的研究」 日本語学会2017年度春季大会 関西大学、大阪府吹田市 2017年5月14日 審査有り
- 2) 斎藤敬太 「『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』平成28年度笹川科学研究助成により印刷 pp.1-76 2017年
- 3) 岩手日報社 「東北の方言 海越えて」 『岩手日報』 2017年12月31日付 21面 筆者の作成した『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』に関する記事

第7章

- 1) 斎藤敬太 「外国人住民向け方言理解支援ツールに関する研究—『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』の作成とその評価—」 津田智史編『「多文化共生社会に向けての災害時コミュニケーションに関する総合的研究」研究成果報告書』（津田智史代表科研費報告書） 宮城教育大学 pp.72-85 2018年 査読無し

巻末資料

資料 12 方言調査ご協力のお願い

(方言使用調査の趣旨及び調査方法を記した配付プリント)

資料 13 謝礼の受け取りに関する署名

(方言使用調査・方言理解調査・翻訳作業共通)

資料 14 方言調査項目リスト

資料 15 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』

(HP 掲載用改訂版)

資料 16 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』

付属 CD デザイン

資料 17 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』

付属 CD トラックリスト

方言調査ご協力のお願い

このたび、東北地方で暮らす外国人住民が普段の生活の場面で聞くであろう方言を集め、まとめることを最終的な目的とした、方言の使用実態調査を実施しております。

そのため、現在、東北地方出身の方に「出身地でよく使う・聞く方言」、あるいは東北地方在住の方に「居住地でよく聞く方言」をお伺いしております。

誠に勝手なお願いで大変恐縮ですが、どうぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

本調査でみなさまにお願いしたいことは、以下の二つです。

- ① 「フェイスシート」にご記入頂くこと。
- ② 「方言リスト」にご記入頂くこと。

「フェイスシート」には、みなさまの性別、年齢、出身地などを記入して頂きます。

「方言リスト」には、リストにある方言とその標準語訳を見た上で、「判定」欄にその方言を使う場合は「○」、使わないが聞く場合は「△」を記入して頂き、聞いたこともない場合は空欄のまま空けておいて頂きます。また、その方言にいくつかの形式（発音の違いなど）が書かれている場合や、リストの方言は知らないが似たような意味で使われる他の方言がありましたら実際に使ったり聞いたりするものを「※使う／聞く語形」欄にご記入頂ければ幸いです。また、「意味がいくつか書いてあるがこの意味でしか使わない」など何か補足や気付いたことがあれば「コメント」欄にご記入ください。「聞いたことはないけど使っているはずだ」「分からないけど使っていると思う」など実際に使ったり聞いたりしてるわけではない場合も、「判定」欄は空欄にし、その旨を「コメント」欄にご記入ください。

記入が終わりましたら、謝礼として **QUO カード 1000 円分** を差し上げます。

○
ご記入頂く部分

※記入例

判定	表現	※使う／聞く語形	標準語	コメント
○	うるかす		水に浸ける	
○	えずい(いずい)	いずい	目のごみがごろごろする、違和感がある、居心地が悪い	目のごみの時だけ使う
	えつつに(いっつぬい)		とつくに	
△	おがる		植物が生長する、芽が出てきた	子どもの頃聞いた

お答え頂いた内容は、研究以外の目的では使用せず、個人情報決して公表することはありませんのでご安心ください。

突然のお願いで大変恐縮ですが、なにとぞご協力頂きますようお願い申し上げます。

首都大学東京大学院 人文科学研究科 日本語教育学教室 博士後期課程 2 年

齋藤 敬太

資料 13 謝礼の受け取りに関する署名（方言使用調査・方言理解調査・翻訳作業共通）

謝礼の受け取りに関する署名

私は、首都大学東京大学院の斎藤敬太が依頼した_____の謝礼として、
確かに QUO カード _____円分を受け取りました。

平成 年 月 日

本人ご署名： _____

連絡先： _____

※連絡先は住所でも電話番号でも構いません。

資料 14 方言調査項目リスト（※庄内方言・最上方言は方言集作成後に調査したため、採否等見出し語の決定に関わっていない）

方言使用調査のインフォーマント数: 青森…1(津軽1)、秋田…3(鹿角1、秋田2)、山形…6(庄内2、最上1、村山2、置賜1)、岩手…4(南部1、伊達2、気仙1)、宮城…5(仙台5)、福島…10(浜通り1、中通り1、会津8)⇒「使う」「聞く」いずれも1カウント

方言理解調査のインフォーマント数: 秋田2、伊達2、会津3(一部項目は2)⇒正答者数(第1段階正解に限らない)をカウント、「推」はそのうち推測による正答者数

採否: 採用…採A(日本人の使用度数が高い)、採B(外国人の理解度が高い)、採C(東北地方全体で広く用いられている)、採D(特定の地域で用いられている)、採E(急を要する際に用いられる可能性がある)、採F(その他の理由で採用したもの)

除外…否a(日本人の使用度数が低い)、否b(推測可能なもの)、否c(無視してもコミュニケーションが成立するもの)、否d(ジェスチャー・指差しなどで指示可能なもの)、否e(他の項目に比べ優先度が低いと判断したもの(日常生活の話題で出にくいものなど))、否f(その他の理由で採用を見送ったもの(紙幅の関係など))

233

No.	表現	標準語	方言使用調査														方言理解調査			採否			
			青森		秋田		山形			岩手			宮城		福島			コメント	秋田		伊達	会津	
			津軽	鹿角	秋田	庄内	最上	村山	置賜	南部	伊達	気仙	仙台	浜通り	中通り	会津							
1	～える(いる)(例: 読める、泳がえる)	状況として～できる(状況可能)	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	庄内「～いる」 最上「～いる」				採D
2	～がね?(例: 家さ寄ってがね?)	～かない?	1	1	2	2	1	2	1	1	2	1	2	1	1	8		鹿角・秋田・伊達・最上「～がねか?」も	0	0	1	採C	
3	～ぎゃ(例: ほんとにそだたぎゃ?)	～ですか	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		庄内「～だ」	2			否c	
4	～きゃ(例: んだっきゃ)	～ね	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0						否c	
5	～こ(例: 茶碗こ、ふきんこ)	あまり意味を持たない、指小辞	1	1	1	0	0	1	0	1	2	1	3	1	1	1			2	1		否c	
6	～ごじら(例: 皮ごじら食った)	～ごと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						否a	

7	～さる(例: 書かさる)	うっかり ～する (自発)	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	庄内「～さい る」		1		採D
8	～した(例: 見たべした)	～よね	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	2	1	1	8				3	否c
9	～す(例:ん だねあす、ん だなす)	～ね(丁 寧)	0	1	2	0	1	2	1	1	1	0	3	1	0	4	会津は「～し」 も(曖昧母音)			2	採C
10	～ず(例:早 ぐあべず)	～よ(強 意)	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	0	1			2(推1)		否c
11	～すけ(例: 雨降るすけ)	～から	0	1	1	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	南部「～す」庄 内「～さげ」				採D
12	～ちゃ(例: そえなごど ねえっちゃ、 んだべっち ゃ)	～よ	0	0	0	1	1	2	0	1	0	1	5	0	0	0	南部「～ちー」 も使う				否c
13	～つけ(一) (※思い出す 時の「つけ」 ではない) (例:昨日休 んだんだっ けー、「腹減 った」って言 ってたつけ)	～んだよ	0	1	0	2	1	2	0	1	0	1	2	1	1	2					採C 見出し語 は【～つ け】
14	～っちゃ (例:疲っち ゃ、蚊に食 わっちゃ)	～れた (ラ行下 一段過 去も受身 過去も)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	1	0	7			2(推1)		採A
15	～で(例:お がだで)	～ぜ	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	庄内「やってや ったぜ」が「や ってやったで」 になる				否c

16	～でよー	～でさ	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0	3	1	1	2	庄内「～でやー」			2(推1)	否 c
17	～なはん (例:きれいだなはん)	～ね	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	南部「～なはん」「～なは」は併用				否 c
18	～はー(例:帰れはー)	～よ	0	1	1	0	1	2	1	0	0	1	3	1	1	1					否 c
19	～はんで (例:雨降るはんで)	～から	1	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	南部「～はで」庄内「～あんで」				採 D
20	～びよん (例:雨降るびよん)	～んじやない	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	南部「～べおん、～べお」庄内「～あんね」				採 D
21	～ら(例:雨降ってら)	～よ	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	2		2			採 C
22	～らせる(～らへる)(例:食べらせる)	～させる	1	1	2	2	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	秋田「～らへる」	「かへる」で質問			否 f
23	あいず	あれ	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	3	0	0	1			0		否 d
24	あがっせ	お入りなさい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4				2(推1)	否 e
25	あがらっしゃい	お入りなさい	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	1	1	0	1			1	「あがっせ」で質問	否 e
26	あがらっしゃえ	お入りなさい	0	0	1	1	0	0	1	0	2	0	2	1	0	2	中通りは「あがってけー」、会津は「あがらっしゃえ」「あがっせ」、庄内「あがらへ」		「あがらっしゃい」で質問	「あがっせ」で質問	否 e
27	あがらっせん	お入りなさい	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	最上「あがらっせ」、「ごちそうを食べなさい」という意味にも使う				否 e

28	あぎた	顎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					否 d	
29	あぐど(あくど)	かかと	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	2			1(推1)	否 d	
30	あさぐ	歩く	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	庄内「えぶ」				採 D
31	あずましー	心地よい	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0					採 D
32	あのよーなー	あのね、あのさ	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	庄内「あのやー」				否 c
33	あめる	腐る	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0		0	1		採 E
34	あやー	あらあ(女性語)	0	0	1	1	1	0	0	1	2	1	2	1	0	1	庄内「ばやー」			2	否 c
35	あるって(例:駅まであるってく)	歩いて	0	0	0	1	1	2	1	0	2	1	3	1	1	7	庄内「ありて、えんで」		2	3(推1)	採 A,B
36	あんじやら(あじやら)	みっともない	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0			0		採 D 見出し語は【あじやらだ】
37	あんべわり	具合が悪い、病気だ	1	1	2	2	1	2	1	1	2	0	3	0	1	5	南部は機械にも使える	2(推1)	0	2	採 A,C,E
38	いいあんべ(いあんべ)	ちょうどいい、心地いい	1	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	最上「心地いい」という意味では使わない			1(推1)	否 f
39	いきなり(例:いきなりうまい!)	とても	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0					否 a
40	いたましい(いだます)	もったいない	1	1	2	2	0	2	1	1	2	1	3	0	0	7	庄内「いだまし」	1	0	2(推1)	採 C 見出し語は【いだまし】

41	うがえ	多い	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0					否 f
42	うすらかすらする	ぶらぶらする、うろうろする	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6				1(推1)	探 A	
43	うだで(例:うだでぐなった)	気持ちが悪い	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1			探 D	
44	うつつあし(うつつやし)	うるさい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8	浜通りは「うつつやし」			2(推2)	探 A	
45	うらからする	ぶらぶらする、うろうろする	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	猫や鳥などにもよく使う				「うすらかすらする」に統合	
46	うるかす	水に浸ける	1	1	2	2	1	2	1	1	2	1	4	0	1	8		0	1	2	探 A,B,C
47	えがらもがら(えっからもっから)	よろよろ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	南「えっからもっから」				否 a	
48	(いずい、えんつこい、えんつけあ、えんず)	目のごみがごろごろする、違和感がある、居心地が悪い	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4	0	0	0			0		探 A,D,E 見出し語は【いずい】
49	えっつに(いっつぬい)	とっくに	0	0	2	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	南「えっつぬ」庄内「いっつのとっくに」	1(推1)			否 b
50	えづめ	ゆりかご(藁などで編んだもの)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					否 a	
51	えんつこ	ゆりかご	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	会津は「えづっこ」				否 a

52	おが	たくさん	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	庄内「えっぺ」				否 a
53	おがる	生長する	1	0	1	0	1	2	1	1	2	0	4	0	0	0		2(推1)	1		採 A,C
54	おごご	漬物	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	1	0	0			0		否 e
55	おざる	おいでになる	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		2(推1)			否 e
56	おしょうしな	ありがとう	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0					採 D
57	おじよかしえる(おどがす)	脅す、起こす	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	鹿角と南部で起こすの意味				否 f
58	おしよし(おしよし、おしよすえ)	はずかしい	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	5	1	0	1			0		採 A
59	おずげ	味噌汁	0	1	2	0	1	1	0	0	2	1	1	1	0	1		0		0	否 e
60	おだつ(例:おだつなよ)	はしゃぐ、調子に乗る	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	5	1	0	0			0		採 A
61	おたった	疲れた	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					採 D
62	おちる(例:電車をおちる)	降りる、下車する	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	0	0	5			1(推1)	1(推1)	採 A
63	おつけある	倒れる、ひっくりかえる、転ぶ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0					否 f
64	おっぴさん	曾祖父	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0					否 e
65	おであもず	お金、代金	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0					否 f
66	おど	お父さん、おじ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		1			否 e

		さん、赤ちゃん																				
67	おどげ	顎	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		0		0	否 d
68	おどげでね	楽ではない	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	5	0	0	0			2(推1)	0		採 A
69	おぼんです	こんばんは	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	5	1	1	7	南部「おぼんでがんす」、他「おぼんでございます」など		2	2	2	採 A,B,C
70	おへあれんせ	お入りなさい	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0						否 e
71	おぼっこ	赤ちゃん	1	0	0	0	1	2	1	0	2	0	3	1	0	0	最上「おぼご」			0		否 f
72	おみよーにち(おみよーぬず)	おやすみなさい、さようなら、では明日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0						採 D
73	おんずくなし	臆病者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	鹿角は「おんじくなし」会津に「おんづくね」も(形容詞)				0	採 A
74	おんである	おいでになる	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0						否 e
75	かー	いやはや	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1						否 c
76	がおった	疲れた、病気で衰える、困る	0	0	1	1	1	2	1	0	2	1	4	0	0	2			2(推1)	1(推1)	1(推1)	採 C,E
77	かせる(かへる)	食べさせる	1	0	1	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	秋田「かへる」		2	1		採 D 見出し語は【かせる】 ²

78	かせる(例: うるしにかせ た)	かぶれ る	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7			0	採D 見出し語 は【かせる】
79	かちやくちや ね	物事が 先に進ま ずイライ ラする、 散らかっ ている	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0				採D	
80	かちやぺね	軽率な	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	庄内「かちよぺ ね」			採D		
81	がっこ	漬物	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		2		採D		
82	がっぱり	たくさん	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0				否 f		
83	かっぱをとる	川に落ち る、靴の 中に水が 入る	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		「きやっぱ りをとる」 に統合		
84	かでる	仲間に 入れる	1	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0		2(推2)		採D		
85	がな(例:お れのがな)	もの	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	7		3(推2)	採A,D		
86	かばねやむ	なまけ る、ずる をする	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	4	0	0	0		0	採D		
87	かまりっこ	香り	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0				採D		
88	かめこ(かめ っこ)	人見知り する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8		0	採A 見出し語 は【かめ っこする】		
89	がりがり、ぐ わりぐわり	むりやり	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	庄内「わりわ り」	2(推1)		否 b		

90	かんかち (例:かんかちした)	やけど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0					否 f
91	かんじる	寒い	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6				1(推1)	採 A,D,E
92	かんつける (かんずける、かずける)	すねる、いじける	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	会津に「責任 転嫁する」も1 人、最上に「~ にかこつける」 という意味で 聞いたとのこと	0		1(推1)	採 D 見出し語 は【かず ける】
93	きかねー(きかねあ)	気が強い	1	1	2	2	1	2	1	1	2	1	3	1	0	8		2	1	1	採 A,C	
94	きさん	君	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0					否 e	
95	きどころね	うたたね	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0			0		「きどころ ね」に統 合	
96	きどころね	うたたね、服を着たまま寝る	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	2	0	0	4			「きどころ ね」で 質問	0	採 A	
97	きびちよ(きびしよ)	急須	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1				1(推1)	否 a	
98	きみ	とうもろこし	1	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	庄内「きび」	1	1		採 D	
99	きめっこ(きめっこする)	すねる、いじける	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1				「かめ こ」で質 問	否 a	
100	きやきやす る	お腹に違和感がある	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0					否 f	
101	きやっぱりする(きやっぱりをとる)	川に落ちる	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	南部「かわっ ぺありする」		0		採 D 見出し語 は【きやっ	

																					ぱりをとる】
102	ぎりぎり	むりやり	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	4	0	0	0			2(推1)		否 b
103	け	食べ、くれ、来い、かゆい	1	1	2	2	1	2	0	1	2	0	1	1	1	2	最上「食べ」の意味のみ	食 2 来 2 痒 2	食 0		探 A,C
104	げつつ(けつつ)	尻	0	0	1	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	最上・庄内・南部・伊達は「けつつ」	2	1		否 d
105	けっぱる	頑張る	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3	1	1	0					探 A
106	けね	役に立たない	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0					否 f
107	けやぐ	友達	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					探 D
108	こすい	けち	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3	1	0	0					否 e
109	こちよびてあ	くすぐりたい	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	庄内「こちよびて、こちよびて」最上「こちよびてえ」				否 e
110	この(例:なんだこの!)	腹立たしい相手などに放つ語尾的な要素	1	1	1	2	0	1	1	0	2	0	3	1	0	5		2	2	2	否 e
111	ごろじる	ご覧になる	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0					否 e
112	こわい(こえー、こうえー)	疲れた	0	1	2	2	1	2	1	1	2	1	2	1	1	8		0	1	1(推1)	探 A,C,E 見出し語は【こえー】
113	こんじける(こじける)	すねる、いじける	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	庄内「こじえる」				否 f

114	ごんぼほる	だだをこねる	1	1	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	探D
115	ざかあし	うるさい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0				否 f
116	さすけねー	大丈夫	0	0	0	2	1	2	1	0	0	0	0	0	1	8			3	探A,D 見出し語は【さすけね】
117	さぶろ	スコップ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0				否 e
118	さま	障子	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0				否 e
119	ざんぞ	陰口	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	古いことば			否 e
120	しえんち	トイレ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				否 a
121	しじゃかぶ	ひざ	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0				否 d
122	ししゃます	扱いに困る	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0				否 f
123	しっちゃげる	破れる	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	1				否 f
124	しっぱね	泥はね	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		「すっぱね」で質問		「すっぱね」に統合
125	しなっこい(しなっけ)	しなやか	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	2	1	0	0				探D
126	しばれる(すばれる)	寒い	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0				否 f
127	じゃける	すねる、いじける	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	秋田方言辞典にはない			否 a
128	じゃじゃじゃ	あれまあ、いやはや(驚いたとき)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0				否 e

129	ジャス	ジャージ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0			0		採 A,D
130	しゃっこい (ひゃっこい、しゃっこえ、ひゃっこえ)	冷たい	1	1	2	1	1	2	1	0	2	1	4	1	0	7	南部は「しゃけあ、ひやけあ」、庄内「はっこい」、最上は「ひゃっこい」	2	0	1	採 A,B,C 見出し語は【ひゃっこい】
131	しゃりむり	むりやり	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0					否 b	
132	じゃんぼ	髪	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					否 d	
133	じゅつぷがする	あきあきする	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			否 e	
134	じよさね	簡単だ、どうってことない	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0		1(推 1)			「ぞうさね」に統合	
135	しよし	みっともない、はずかしい	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	庄内「しよす」	1(推 1)			採 A	
136	しよすいがあらね	ずうずうしい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					否 a	
137	じよっぱり	頑固者	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0					採 D	
138	すける	手伝う	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3	0	0			0		採 D	
139	ずごねる	だだをこねる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0					否 a	
140	ずだらながい	長い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1					否 a	
141	すっかげる	からかう、(水などを)ひっかける	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0				1	否 e	
142	ずっこい(ずっけえ)	ずるい	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1			2(推 2)	1(推 1)	否 b,e	

143	すっぱね	泥はね	1	0	2	1	1	0	1	1	1	1	3	1	0	5	庄内「つっぱね」	0	0	0	採 A,C
144	ずっぱり	たくさん	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0					否 f
145	ずっぺあ	ずるい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1					否 a
146	ずなえー(ずねー)	大きい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6			1(推 1)		採 A,D 見出し語は【ずねー】
147	すなこえ (例:すなこくてかんなえ)	歯切れが悪い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0					「しなっこい」に統合
148	すねから	脛	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0					否 d
149	ずらっこい	ずるい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0					否 a,e
150	ずるっぺ	ずるい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0					否 e
151	せっこぎ	骨惜しみ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0					否 e
152	せつねー(へずね、せじね、しえずなえ)	つらい	1	0	2	1	1	1	1	1	2	0	2	1	1	8	浜通り「うるさい」の意味でも使う	1	1(推 1)	1	採 A,C 見出し語は【せつね】
153	せな(へな)	長男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1(推 1)			否 a,e
154	ぞうさね	簡単だ、どうってことない	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	4	0	0	7	南部は「ぞさね」			0	採 A,C
155	そうすれば (例:そうすればさようなら)	では	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0					否 f
156	そざす	破く	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0					否 f

157	そばえる	甘える	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0					否 e
158	そべっこする	甘える	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2				0	否 e
159	たがぐ(たんがく)(例:それたがってけ)	持つ、持ちあげる	0	0	1	2	1	1	1	1	2	1	5	0	1	8		「たなぐ」で質問	2(推2)	0	採 A,C
160	たごまる	(糸などが)たるむ、(服などが)一ヶ所に寄ってくしゃくしゃになる	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	2	0	1	6	会津に「布などを均等に畳む」も、最上「衣服のかたより」のみに使う				採 A,D
161	たごむ	(糸などを)たぐる、まとめる、(糸などが)たるむ	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2	0	1	6		1(推1)			否 f
162	たっぺ(たんぺ)	唾	0	1	2	0	0	0	1	1	1	1	2	0	0	0	秋田は「たんぺ」、南部は「たぺ」	0			否 e
163	たなぐ	持つ、持ちあげる	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0		0			「たがぐ」に統合
164	たまし	幽霊	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0					否 e
165	たれかもの	なまけ者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0					採 D
166	たんげ	すごく	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					採 D
167	だんこ	尻	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					否 d

168	だんだん (例:だんだんバス来るぞ)	もうじき、そろそろ	0	1	0	2	0	1	0	0	0	1	3	0	0	8	庄内は「だんだん」より「だんだい」			3(推2)	採A
169	たんばら	気が短い	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0		1(推1)			採A
170	ちがかった	間違えた、違っていた	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1	1	8					否f
171	ちやつちやど (ちやちやど)	さっさと	1	1	2	2	1	2	1	1	1	0	3	1	0	3		2(推1)	1		採A,C,E
172	ちよす	いじる、さわる	1	1	2	2	1	2	0	1	2	1	4	0	0	0		1(推1)	1		採A,C
173	つっかけ	サンダル	0	0	2	1	1	2	1	0	2	1	5	1	1	4		1(推1)	0	0	採A,C
174	つらっぱずけねー	ずうずうしい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					否e
175	つらましねー	見ていられない、かわいそうだ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1(推1)			否a
176	つらんつけねー(つらつけね)	ずうずうしい	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	全地域「つらつけね」				否e
177	でかす	完成させる	1	1	2	2	0	1	1	1	2	1	5	0	0	2	庄内「でがす」	2	1(推1)	0	採A,B,C
178	てしよずらすえ	干渉されてうるさい	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0					否e
179	でな	額	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1				1(推1)	否d
180	でび	額	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	最上「でんび」				否d
181	てまだれ	時間がかかること	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0					否a

182	でんぐる	転ぶ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0					否 f
183	とーきび	とうもろこし	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0		1			「とーみぎ」に統合
184	とーぎみ	とうもろこし	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0					「とーみぎ」に統合	
185	とーみぎ	とうもろこし	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	5			0		採 A	
186	とーみに	とうもろこし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2				「とーみぎ」で質問	「とーみぎ」に統合	
187	とじえね	さびしい	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1(推 1)				否 a,b,e	
188	どじよなし	臆病者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0					否 f	
189	とぜんだ(とぜんこた)	さびしい	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0					否 e	
190	とつくりげある	ひっくりかえる	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1				否 e	
191	とつと(とーと)	鳥、鶏(幼児語)	0	1	1	0	1	0	0	1	2	0	1	0	0	2	南部は「とーと」	2(推 1)		0	否 e	
192	どでんした(どでした)	びっくりした	0	1	2	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0		0			採 D 見出し語は【どでした】	
193	ととこ(ととつこ)	鳥、鶏(幼児語)	0	1	0	1	1	2	1	1	1	1	2	0	0	0	南部は「とーとこ」				否 e	
194	どぶで	ずるい、ずうずうしい	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1(推 1)				否 e	
195	とろっぺつ	いつも	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					否 a	

196	どんず	尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1					否 a
197	ながまる	倒れる、横になる	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		2			採 D
198	なげる	捨てる	1	1	2	2	1	2	0	1	2	1	4	1	1	7	庄内「うだる」	2	2	2(推1)	採 A,B,C
199	なじき	額	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		「なずき」で質問			否 d
200	なずき(ななずき)	額	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		0			否 d
201	なにしたの(なんしたの)	どうしたの	1	1	0	1	1	1	1	1	2	1	5	1	1	8	南部は「なじよすた」、庄内「なしたな?」、最上「なんしたの」(会津でも)と「なんしたな」		1(推1)	3(推1)	採 A,C
202	なんでかんで	どうしても	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	3	1	0	6				2(推2)	採 A
203	なんも	気にするな、どういたしまして	1	1	2	1	1	0	0	0	1	0	4	1	0	1		2		3(推2)	採 A,C
204	にしゃ	お前	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	8				0	否 e
205	にやにやする	腹部に違和感がある	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					採 D,E
206	ねっぱす(例:のりでねっぱしとけ)	のりなどでつける	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4	1	0	5			0	0	採 A
207	ねっぱる	のりなどでつける	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0					否 f

208	ねまる	座る、休む	1	1	2	1	0	0	0	1	2	1	3	0	0	0		2(推1)			探A
209	のこのこ	セミの幼虫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0					否e	
210	のさばる	甘える	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0		0			否e	
211	のぜる	喉に物が入って吐きそうになる(オエツとなる)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7			0	探A,D,E	
212	のたばる(ぬたばる)(例:何のたばってんだ?)	倒れる、横になる	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	2	0	0	3	2(推1)		0	否f	
213	のぶであ	ずうずうしい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					否a	
214	ばが	ものもらい	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	2			0		否a	
215	はかいく(例:仕事はかいかねー)	はかどる	1	1	1	2	0	1	1	1	2	1	4	0	0	6	庄内「はがいく」	0	1(推1)	探A,C	
216	はかはか(例:はかはかする)	どきどき	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	5	0	1	1	1			探A,C,E	
217	はだす	始める	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0					否f	
218	ばっけ(ばっけあ)	ふきのとう	0	1	2	2	1	0	0	1	2	1	4	0	0	0	庄内・最上「ばんけ」	1		否e	
219	ばっこ	少し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0					否a	
220	ばっこ(ばっこ)	末っ子	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0				否e	

221	ばっち	末っ子	0	0	2	0	1	0	1	0	1	1	2	0	1	3		0		1(推1)	否 e
222	ばっつ	末っ子	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	2				「ばっち」で質問	否 e
223	はなだんぼ	鼻にティッシュを詰めること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7				0	探 A,D,E
224	はめる(例:はめてける)	仲間に入れる	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0		1(推1)	0		否 f
225	ばんかた	夕方	1	1	0	2	1	2	1	1	1	1	3	1	0	6	庄内「ばんかた」			0	否 f
226	ばんげ	夜	1	1	2	2	1	2	1	1	0	0	2	0	0	7		1			探 A,C
227	ぴーちゃん	曾祖母	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0					否 e
228	ひざかぶ	ひざ	0	0	2	0	1	2	0	0	2	0	4	0	1	6		「ひじやかぶ」で質問	2(推2)	3(推3)	否 b
229	ひじやかぶ(ひんじやかぶ、ひんじやかぶ、へじやかぶ)	ひざ	1	0	2	0	0	1	0	1	2	1	2	0	0	1		2(推1)	「ひざかぶ」で質問	「ひざかぶ」で質問	否 b
230	ひすらこい	ずるい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0					否 a
231	ひてーこび	額	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	南部は「ひてあこび」				否 d
232	ひとめわりー	みっともない、はずかしい	0	1	2	0	0	0	1	1	2	0	4	0	0	4		0	0	3(推2)	探 A 見出し語は【ひとめわり】
233	ひまだれ(ひまだれかけ)	時間がかかること、時間	0	0	2	0	0	0	1	1	2	1	5	0	0	4		2(推1)	1(推1)	0	探 A

247	まぜる	仲間に入れる	0	1	2	1	1	1	1	0	1	1	5	1	0	7		2	2(推2)	2	採 A,B,C	
248	まで	けち	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0					否 e	
249	まで一に	丁寧	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	鹿角は「までっこに」				採 D	
250	まなぐ(まなく)	目	1	0	1	0	0	2	0	0	2	1	2	0	0	2		2	0	1(推1)	否 d	
251	まなご	目	0	0	2	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0		「まなぐ」で質問				否 d
252	まね	だめだ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					採 D	
253	みったぐね(みたぐね)	みっともない、はずかしい	1	1	2	0	1	2	1	1	2	0	5	1	1	7		2(推1)	2(推1)	1(推1)	採 A,C	
254	みんぱいくね	みっともない、はずかしい	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					否 f	
255	むがさり	婚礼	0	0	0	0	1	2	1	0	1	0	0	1	0	0					否 e	
256	むくれる	すねる、いじける	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	庄内「むぐれる」				否 f	
257	むずる(むじる)	曲がる	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	6				2(推1)	否 b	
258	むつける	すねる、いじける	0	0	2	1	1	0	1	1	2	1	5	1	0	1	庄内「むんつける」	1(推1)	1		採 A,C	
259	むったり	一心に	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		1(推1)			採 D	
260	むんじける	すねる、いじける	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					否 a	
261	め	うまい	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0					「んめ」に統合	
262	めぐせ(みぐせ)	みっともない、はずかしい	1	1	1	2	1	0	1	0	2	1	4	0	1	2			1	1(推1)	採 A,C	

263	めごい(めんこい、めんけ、めげー)	かわいい	1	1	2	2	1	2	1	1	2	1	4	1	1	8	庄内「めっこい」最上「めんごい」	2	2	2	採 A,B,C 見出し語は【めんごい】
264	めっこまんま	芯の残ったごはん	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			否 e
265	めっこめし	芯の残ったごはん	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	4	0	0	4			0	0	否 e
266	もごせあ	見てもらえない、かわいそうだ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0					否 e
267	もぞ	寝言	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		0			否 e
268	もぞっこい	くすぐったい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0					否 e
269	もちよけ	くすぐったい	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		0			否 e
270	もちよこちえ	くすぐったい	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					否 e
271	もっかえる(例: 稲杭もっかえた)	倒れる	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	最上「転げ落ちる」意味で人にも使える				否 e
272	もっこ	古い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1				0	否 a
273	ももた	太もも	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3	1	0	0			1(推1)		否 d
274	ももたぶ	太もも	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	1	0					否 d
275	やっこ	乞食	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			否 e
276	やっこい	柔らかい	1	1	2	2	1	2	1	1	1	1	3	1	1	7		0		1	採 A,C
277	やっちくちやねあ	乱雑だ	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	鹿角は「やっちやくちやねえ」、庄内・最				否 f

																	上「やちやくちやね」					
278	やっちやかね(やっちやげね)	役に立たない	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6		0		0	探 A	
279	やばつい	湿って気持ちが悪く、良くない	0	1	1	1	1	1	0	1	2	1	2	0	0	0	鹿角は「やばちねえ」、庄内・最上「やばち」	2(推 2)	1(推 1)		探 C	
280	やむ(やめる)(例:腰やんだ)	病気になる、痛む	1	1	2	2	1	0	0	1	1	1	3	1	0	5		2			探 A,B,C	
281	やんだおら(おらやんだ)	嫌だわ(主に女性語)	0	1	0	2	1	1	1	1	2	1	3	0	1	8	中通りは「やんだわー」女性のみ、南部は「やんだおら」		2(推 1)		探 A,C	
282	よで	末っ子	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					否 e	
283	よろた(よぼた)	太もも	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	南部は「よぼた」					否 d
284	よんま	夜	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	庄内「よんま」も使うし「ばんげ」も使う					否 f
285	ろくすっぽ	まともに、ろくに	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	2	1	0	4				1(推 1)	否 e	
286	わ	俺	1	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	庄内「自分」「お前」と両方の意味がある。「お前たち」と言う場合「わーがだ」と使う、「わー」も言う					否 e
287	わい	おやまあ	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0					否 e	

288	わがらない (わがんない) (例: 足痛くてわが んね)	駄目だ、 良くない	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	4	0	1	0	南部は「わが ね」で「わがら ない」は理解 できない意味		1		否 f
289	わっぱが	割り当て 分	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					否 a
290	わにる	人見知り する	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0					否 f
291	わらすっこ	子供	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1		0		探 D	
292	わらはんど (わらしゃん だ)	子供たち (複数)	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	南部は「わらし ゃんだ」				探 D
293	わらわら	急いで	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	5	0	0	0		1(推 1)		探 A,E	
294	わんづか(わ ずか)	ほんの 少し	1	1	1	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	秋田は「わず か」、庄内「わ んづが」	1			探 D
295	んだ	うん、そ うだ	1	1	2	2	1	2	1	1	2	1	5	1	1	7		2	2	3	探 A,B,C
296	んだから(だ から) (例:「この前 言ってた店、 おいしかった !」「だから ー!」)	そうだ よ、そう でしょう (同意)	0	1	2	2	0	1	0	1	2	1	3	1	1	6	南部は「が」に アクセント、女 性に多い、庄 内「んだがら」	2	2	2(推 1)	探 A,B,C
297	んだす	そうで す、そう だよ	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	庄内「んで す」、「んだの ー」	2			否 f
298	んだなっしゃ ー	そうです ね	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	庄内「んだな やー」「んだぜ のー」		0		否 f
299	んだば	では、別 れの挨拶にも	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	庄内「んだば」 「せば」両方同 じ意味で使う		0		「へば」に 統合

300	んだらば	では	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	別れには使わない			2(推1)	否 a
301	んでね(そでねあ)	いや、いえ	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0			2		否 f
302	んにや(んでねあ)	いや	1	1	1	0	0	1	0	1	1	0	3	0	0	1				2		探 C
303	んみや	お前	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0						否 e
304	んめ(んめあ、うめ)	うまい	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	中通りは「うめ」	2	2	2		探 A,B,C

とうほくちほう がいこくじんじゅうみん
東北地方の外国人住民のための
ほうげんしゅう
くらしの方言集

Tohoku Dialect Dictionary
for Foreign Residents

东北地区外国人居民的
生活方言集

도호쿠 지방의 외국인 주민을 위한
생활 방언집

Coleção de Dialetos da Vida Diária
para estrangeiros residentes da região de Tohoku no Japão

Kumpulan dialek bahasa sehari-hari
untuk orang asing daerah Tohoku



しゅとだいがくとうきょうだいがくいん じんぶんかがくけんきゅうか にほんごきょういくがくきょうしつ
首都大学 東京大学院 人文科学研究科 日本語教育学教室

(Department of Japanese Language Education, Tokyo Metropolitan University)

さいとう けいた
斎藤 敬太

(SAITO, Keita)

はじめに

とうほくちほう げんざい にん ねん がつ がいこくじん
東北地方には現在50,212人（2016年6月）の外国人がく
らしています。これは、2011年の東日本大震災の前にくらし
ていた外国人の数よりも多いです。日本国籍に帰化した人も合わ
せると、もっと多くなります。また、これから今までより多くの
外国人が日本、そして東北地方にやって来ると予想されます。

とうほくちほう にほんご きょうかしょ べんきょう
そしてこの東北地方では、日本語の教科書では勉強しない
とうほくちほう にほんご とうほくちほう ほうげん とうほくべん はな
「東北地方の日本語」（東北地方の方言／東北弁）が話されて
います。日本人と話をすると、方言を聞くことがあるかもしれま
せん。

ほうげんしゅう とうほくちほう がいこくじん
この「くらしの方言集」では、東北地方でくらす外国人のみ
なさんが、ふだんの生活で聞きそうな方言を集めました。方言の
いみ ほうげん つか ぶん れいぶん か おお
意味、そして方言を使った文（例文）が書いてあります。多くの
ぶん き
文は、CD で聞くことができます。また、ホームページ

（<http://saitokeita.web.fc2.com/hougenshu/>）には例文の
えいご ちゅうごくご かんこくご ご ご ほんやく
英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・インドネシア語の翻訳が
あります。また、この方言集に書けなかった方言も、ホームペー
ジで書いていく予定です。

Why a dialect booklet?

As of June 2016 about 50 thousand foreign residents make their home in the Tohoku region. This is more than lived in the area prior to the disastrous 2011 Eastern Japan earthquake, and this number does not even include those non-native speakers of Japanese who have become Japanese citizens. We imagine that more foreigners will come to Tohoku in the future. The region is also home to the Tohoku dialect (Tohoku-ben or hougen) which differs from the Standard Japanese foreigners learn. You are likely to hear this dialect when you speak to natives of the region.

This booklet is a collection of dialect words foreign residents of Tohoku are likely to encounter in everyday life. In addition to the meanings, it includes example sentences using the words. Many of these sentences can be heard on the companion CD.

On the website (<http://saitokeita.web.fc2.com/hougenshu/>) you will find translations into English, Chinese, Korean, Portuguese and Indonesian. We plan to update the website with other dialect words not included in the book.

前言

东北地区现居住外国人达到 50212 人（2016 年 6 月统计），比 2011 年东日本大地震之前外国人数大大增加，加上已经入籍日本的人就更多了。今后，可以想象会有更多的外国人来日本东北地区。

而且，东北地区的语言是在日语教科书上学不到的“东北地区日语”（东北方言/东北语），与日本人交流的时候，可能有时会听到方言。

本《生活方言集》收录了生活在东北地区的外国人平时生活中可能听到的方言，并附有方言的意思和使用方言的例句，大部分例句在 CD 中可以听到原文，并且网页（<http://saitokeita.web.fc2.com/hougenshu/>）上附有例文的英语版·中文版·葡萄牙语版·印尼语版的翻译。另外，此方言集上没有出现的方言，以后将陆续登载在主页上。

소개

도호쿠(東北) 지방에는 현재 50,212 명 (2016 년 6 월)의 외국인이 살고 있습니다. 현재는 2011 년 동일본 대지진 전에 살던 외국인의 수보다 많습니다. 일본 국적으로 귀화한 사람까지 합치면 더 많아집니다. 또한 앞으로 지금까지보다 더 많은 외국인이 일본 도호쿠 지방에 올 것으로 예상됩니다.

그리고 도호쿠 지방에서는 일본어 교과서에서는 배우지 않는 「도호쿠 지방의 일본어」(도호쿠 지방의 방언/도호쿠 사투리)가 사용되고 있습니다. 이 지역에서 일본인과 이야기를 하다 보면 사투리를 손쉽게 들을 수 있을지도 모릅니다.

본「생활 방언집」은 도호쿠 지방에 사는 외국인 여러분이 일상 생활에서 들을 것 같은 방언을 모았습니다. 방언의 의미, 그리고 방언을 사용한 문장 (예문)이 적혀 있습니다. 대부분의 문장은 CD 로도 들을 수 있습니다. 또한 홈페이지 (<http://saitokeita.web.fc2.com/hougenshu/>)에는 일본어 예문의 영어 · 중국어 · 한국어 · 포르투갈어 · 인도네시아어 대역이 수록되어 있습니다. 또한 이번에 본 방언집에 수록하지 못한 방언에 대해서는 금후 홈페이지에 게재해 나갈 예정입니다.

Prefácio

Atualmente existem cerca de 50.212 (junho de 2016) estrangeiros na região de Tohoku (nordeste do Japão). Este número é maior que o número da época anterior ao grande terremoto de 2011. Se somarmos a este número os estrangeiros naturalizados, este número é ainda maior. Além disso, estima-se que mais estrangeiros venham ao Japão e também à região de Tohoku no futuro.

Na região de Tohoku, é falado o "japonês da região de Tohoku" (dialeto de Tohoku) que não é estudado em livros didáticos de japonês. Caso converse com um japonês, pode ser que escute-o falando o dialeto.

Reunimos nesta "Coleção de Dialetos da Vida Diária" os dialetos que os estrangeiros residentes na região de Tohoku podem escutar na vida diária. Estão escritos os significados e exemplos de frases utilizando os dialetos. Muitas frases podem ser escutadas no CD. Além disso, as traduções das frases em inglês, chinês, coreano, português e língua indonésia podem ser checadas no site <<http://saitokeita.web.fc2.com/hougenshu/>>. Outros dialetos que não estão nesta coleção também serão acrescentados no site posteriormente.

Pendahuluan

Berdasarkan data bulan Juni tahun 2016, orang asing yang tinggal di daerah Tohoku saat ini berjumlah 50.212 orang. Jumlah ini lebih banyak dibandingkan dengan jumlah orang asing yang sudah tinggal menetap sebelum terjadinya bencana gempa besar di Jepang Timur pada tahun 2011. Jika digabungkan dengan jumlah orang asing yang sudah di naturalisasi menjadi penduduk berkewarganegaraan Jepang, jumlah orang asing di Tohoku sekarang ini jumlahnya lebih banyak. Selain itu, kedepannya diprediksi semakin banyak orang asing yang datang ke Jepang terutama ke daerah Tohoku.

Di daerah Tohoku, belum tersedia buku pelajaran bahasa Jepang yang membahas tentang [Bahasa Jepang daerah Tohoku (Dialek daerah Tohoku/Bahasa daerah Tohoku)]. Pada saat berbicara dengan orang Jepang, ada kemungkinan akan mendengar mereka berbicara dengan dialek daerahnya.

[Kumpulan dialek bahasa sehari-hari] ini, merupakan kumpulan dialek sehari-hari yang biasanya akan didengar oleh semua orang asing yang tinggal di daerah Tohoku. Di dalam buku ini terdapat arti dialek dan contoh kalimat yang menggunakan dialek tersebut. Seluruh kalimat yang terdapat dalam buku ini bisa didengarkan di CD. Selain itu, seluruh kalimat yang telah diterjemahkan ke dalam berbagai bahasa seperti Bahasa Inggris, Bahasa Cina, Bahasa Portugal, dan Bahasa Indonesia, dapat dilihat di website (<http://saitokeita.web.fc2.com/hougenshu/>). Selain itu, Kumpulan dialek lainnya yang tidak terdapat dalam buku ini akan kami muat di dalam website.

つかいかた

◎見出し語 (この方言集で探す単語)

- 方言は、全てひらがなで書かれています。
- 方言は、あいうえお順に並んでいます。
- 方言は、地域によって発音や単語が少し違うことがあります。そのときは、
【 】の中に書いてある方言のとなりに同じ意味のものを () で書いてあります。

◎意味

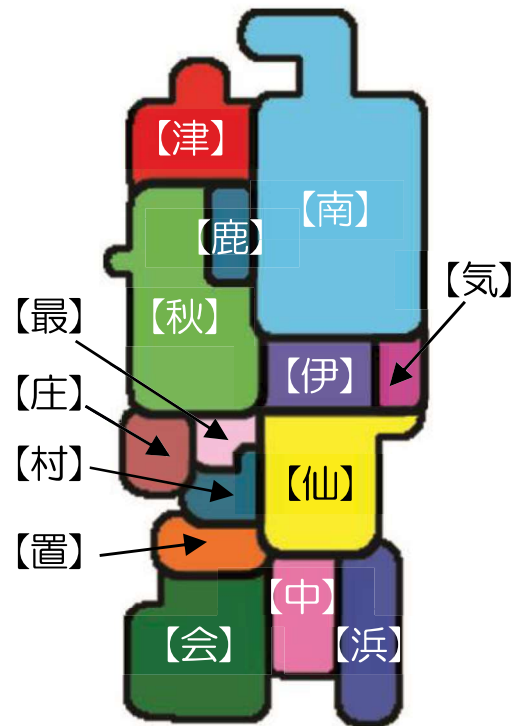
- 方言の意味は、日本語 (JP)、英語 (EN)、中国語 (CN)、韓国語 (KO)、ポルトガル語 (PT)、インドネシア語 (ID) の順番に書いてあります。
- この方言集では、東北地方を方言の種類から大きく次のように分けています。

あおもりけん つがるほうげん あおもりけんせいぶ
青森県…【津】津軽方言 (青森県西部)、
【南】南部方言 (青森県東部)

あきたけん あきたほうげん かづのほうげん
秋田県…【秋】秋田方言、【鹿】鹿角方言
(秋田県北東部)

やまがたけん むらやまほうげん やまがたけんちゅうぶ
山形県…【村】村山方言 (山形県中部)、
【置】置賜方言 (山形県南部)

(※【最】最上方言 (山形県
北部)・【庄】庄内方言 (山形県
西部)も分けたほうがいいですが、
この方言集では入れることが
できませんでした)



いわてけん なんぶほうげん いわてけんちゅうぶ ほくぶ あおもりけん なんぶほうげん おな
岩手県…【南】南部方言 (岩手県中部～北部、青森県の南部方言と同じ)、
【伊】伊達方言 (岩手県南部)、【気】気仙方言 (岩手県南東部)

みやぎけん せんだいほうげん
宮城県…【仙】仙台方言

ふくしまけん あいづほうげん ふくしまけんせいぶ なかどお ほうげん ふくしまけんちゅうぶ
福島県…【会】会津方言(福島県西部)、【中】中通り方言(福島県中部)、
はまどお ほうげん ふくしまけんとうぶ
【浜】浜通り方言(福島県東部)

いみ まえ きごう か
意味の前に【津】や【会】のような記号が書いてありますが、そ
れは【津】は「津軽方言で使われる意味」、【会】は「会津方言で使われ
る意味」ということを表しています。

◎地図

ちす みだ ご ほうげん とうほくちほう ちいき つか あらわ
・地図は、見出し語の方言が東北地方のどの地域で使われているかを表して
います。色が塗ってあるところが使われている地域です。

◎例文

みだ ご ほうげん つか みじか かいわ れいぶん か ほうげん ぶん
・見出し語の方言を使った短い会話の例文が書いてあります。方言の文は
太字で全部ひらがなで書かれています。意味が文のあとに日本語で書いてあり
ます。英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・インドネシア語の意味を見た
い人は、ホームページ (<http://saitokeita.web.fc2.com/hougenshu/>) を見
てください。

◎CD

れいぶん おお ほうげんしゅう き みだ
・例文の多くは、方言集についているCDで聞くことができます。見出し
語の隣にあるCDマークの番号が、CDを聞くときの番号です。

How to use this booklet

◎Headwords (the dialect words explained)

- Headwords are all written in hiragana.
- They are arranged in the kana order.
- The pronunciation of some dialect words differs from one area to another. Alternative pronunciations are given in parentheses after the headword.

◎Meanings

- The translations of the dialect words are given in the order Standard Japanese (JP), English (EN), Chinese (CN), Korean (KO), Portuguese (PT) and Indonesian (ID).
- In this booklet the dialects of Tohoku are divided into the following.

Aomori Prefecture: 【津】 Tsugaru dialect (western Aomori), 【南】 Nambu dialect (eastern Aomori).

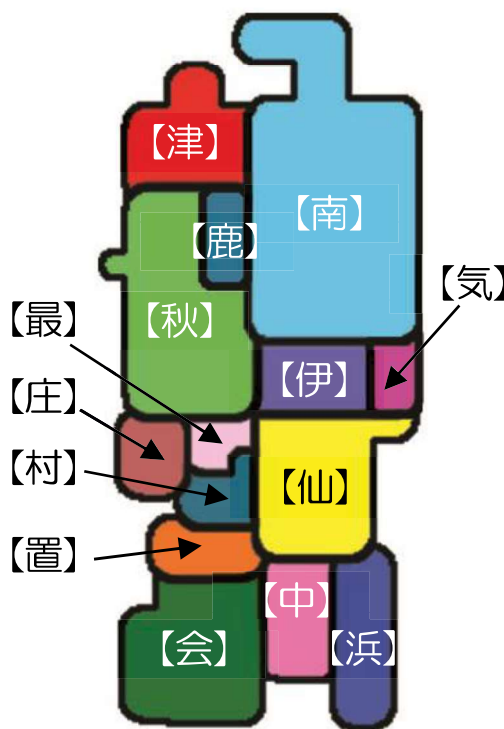
Akita Prefecture: 【秋】 Akita dialect, 【鹿】 Kazuno dialect (northeastern Akita).

Yamagata Prefecture: 【村】 Murayama dialect (central Yamagata), 【置】 Okitama dialect (southern Yamagata). There are also 【最】 the Mogami dialect of northern Yamagata and 【庄】 the Shōnai dialect of western Yamagata, but this collection does not contain terms specific to that dialect.

Iwate Prefecture: 【南】 Nambu dialect (central and northern Iwate), 【伊】 Date dialect (southern Iwate), 【気】 Kesen dialect (southeastern Iwate).

Miyagi Prefecture: 【仙】 Sendai dialect.

Fukushima Prefecture: 【会】 Aizu dialect (western Fukushima), 【中】 Nakadōri dialect (central Fukushima), 【浜】 Hamadōri Dialect (eastern Fukushima)



Before the meanings you will find the kanji (Chinese characters) listed above to explain cases in which the meaning differs among dialects.

◎Maps

- The areas shaded on the maps indicate the region where the word is used.

◎Example sentences

- Headwords contain a short dialogue demonstrating how the word is used in conversation, with the key dialect word emphasized in **bold hiragana**. The dialogues are translated into Standard Japanese. English, Chinese, Korean, Portuguese and Indonesian translations can be found on the website. (<http://saitokeita.web.fc2.com/hougenshu/>)

◎CD

- Many of the example dialogues can be heard on the companion CD. The numbers indicated by the CD mark beside the headword tell correspond to the CD track numbers.

使用方法

◎词语词条（方言集中可查找的单词）

- 方言全部用假名书写。
- 方言按照日语あいえうお的顺序排列
- 方言根据地域发音和单词会有少许不同，这种情况下【】中的方言旁的（）里表示相同意思的词语。

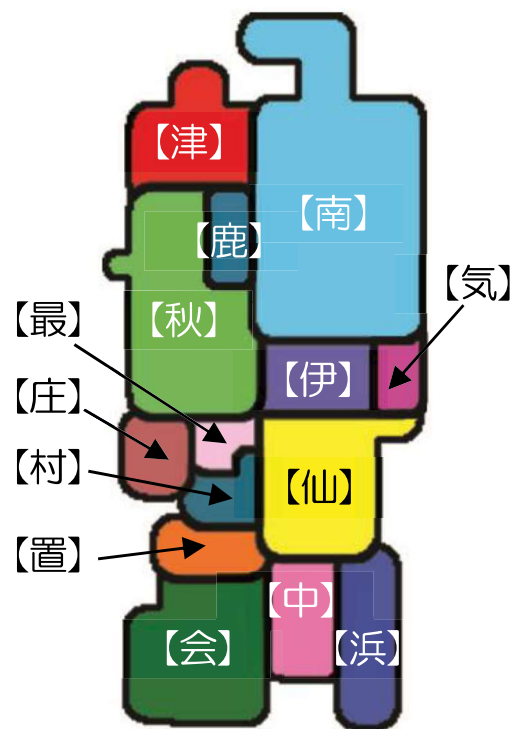
◎意思

- 方言的意思按照日语（JP）、英语（EN）、汉语（CN）、韩语（KO）、葡萄牙语（PT）、印尼语（ID）的顺序编排。
- 本册方言集将东北地区按照方言种类大致分为以下几类：

青森县... 【津】津轻方言（青森县西部），
【南】南部方言（青森县东部）

秋田县... 【秋】秋田方言，【鹿】鹿角方言
（秋田县东北部）

山形县... 【村】村山方言（山形县中部），



【置】置賜方言(山形县南部) (*【最】最上方言(山形县北部)与【庄】庄内方言(山形县西部)本也应该区分为好,但本方言集中不列入)

岩手县...【南】南部方言(岩手县中部~北部;与青森县南部方言相同),【伊】伊达方言(岩手县南部),【気】气仙方言(岩手县东南部)

宫城县...【仙】仙台方言

福岛县...【会】会津方言(福岛县西部),【中】中通方言(福岛县中部),【浜】滨通方言(福岛县东部)

意思之前带有【津】、【会】等标记的,【津】是指“津轻方言中的意思”,【会】表示“在会津方言中的意思”。

◎地图

- 地图表示的是词条词语在东北地区哪个区域使用,颜色填充的地方代表使用的区域。

◎例句

- 使用词条词语的较短的会话例句。方言部分用假名并加黑表示。意思写在例句之后。想看英语·汉语、韩语、葡萄牙语、印尼语的话,参照网页(<http://saitokeita.web.fc2.com/hougenshu/>)

◎CD

- 大多数例句,都收录在附在方言集的CD中。词条词语旁附着CD符号的号码表示CD中的号码。

사용법

◎표제어 (본 방언집에서 찾을 단어)

- 방언은 모두 히라가나로 쓰여져 있습니다.
- 방언은 아이우에오순(가나다순)으로 정렬되어 있습니다.
- 방언은 지역에 따라 발음이나 단어가 약간 다를 수 있습니다. 그때는【 】안에 적혀 있는 방언 옆에 같은 의미의 단어를 ()에 써 두었습니다.

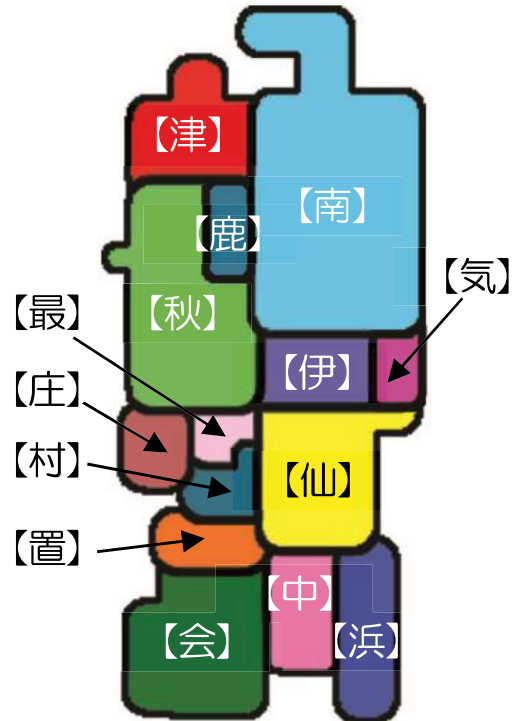
◎의미

- 방언의 의미는, 일본어 (JP), 영어 (EN), 중국어 (CN), 한국어 (KO), 포르투갈어 (PT), 인도네시아어 (ID)의 순서로 적혀 있습니다.
- 본 방언집에서는 도호쿠 지방을 방언의 종류에 따라 크게 다음과 같이 구분하고 있습니다.

아오모리현... 【津】쓰가루 방언
(아오모리현 서부),
【南】남부 방언
(아오모리 현 동부)

아키타현... 【秋】아키타 방언,
【鹿】가즈노 방언 (아키타현 북동부)

야마가타현... 【村】무라야마 방언
(야마가타현 중부),
【置】오키타마 방언
(야마가타현 남부)
※ 【最】모가미 방언(야마가타현



북부)과 【庄】 쇼나이 방언(야마가타현 서부)도 나누는
것이 좋지만 본 방언집에서는 넣을 수가 없었습니다)

이와테현... 【南】 남부 방언 (이와테현 중부 ~ 북부, 아오모리 현의 남부
방언과 동일) , 【伊】 다테 방언 (이와테현 남부),
【氣】 게센방언 (이와테현 남동부)

미야기현... 【仙】 센다이 방언

후쿠시마현... 【会】 아이즈 방언 (후쿠시마현 서부), 【中】 나카도리 방언
(후쿠시마현 중부) , 【浜】 하마도리 방언 (후쿠시마현
동부)

의미 앞에 【津】 이나 【会】 같은 기호가 쓰여 있는데 그 경우
【津】 은「쓰가루 방언에서 사용되는 의미」, 【会】 는「아이즈 방언에서
사용되는 의미」라는 것을 나타내고 있습니다.

◎지도

- 지도는 표제어 방언을 도호쿠 지방의 어느 지역에서 쓰였는지를 나타내고 있습니다. 색이 칠해져 있는 곳이 사용되고 있는 지역입니다.

◎예문

- 표제어의 방언을 사용한 짧은 대화의 예문이 적혀져 있습니다. 방언 문장은 굵은 글씨로 전부 히라가나로 쓰여져 있습니다. 의미는 문장 뒤에 일본어로 쓰여져 있습니다. 영어·중국어·한국어·포르투갈어·인도네시아어의 의미를 보려면 홈 페이지 (<http://saitokeita.web.fc2.com/hougenshu/>) 를 참조해 주세요.

◎CD

- 예문의 대부분은 방언집에 붙어있는 CD 에서 들을 수 있습니다. 표제어의 옆에 있는 CD 마크의 번호가 CD 를 들을 때의 번호입니다.

Modo de usar

◎Verbetes (palavras a serem procuradas nesta coleção)

- Todos os dialetos estão escritos em hiragana;
- Os dialetos estão na ordem alfabética japonesa (a, i, u, e, o...);
- Os dialetos podem variar um pouco na pronúncia e nas palavras de acordo com a região. Nestes casos, estão escritos os mesmos significados entre parênteses ao lado dos dialetos escritos dentro de colchetes.

◎Significado

- O significado dos dialetos estão escritos na ordem: japonês (JP), inglês (EN), chinês (CN), coreano (KO), português (PT) e língua indonésia (ID);
- Nesta coleção de dialetos, os tipos de dialetos da região de Tohoku foram divididos de maneira geral da seguinte forma:

Aomori: 【津】 Dialeto de Tsugaru (oeste da província de Aomori), 【南】 Dialeto de Nambu (leste da província de Aomori)

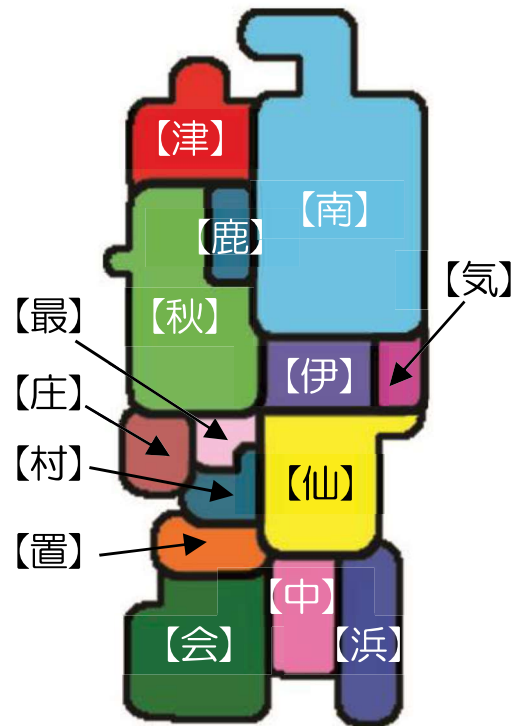
Akita: 【秋】 Dialeto de Akita, 【鹿】 Dialeto de Kazuno (nordeste da província de Akita)

Yamagata: 【村】 Dialeto de Murayama (central da província de Yamagata), 【置】 Dialeto de Okitama (sul da província de Yamagata) (*Seria melhor criar categorias para 【最】 o dialeto de Mogami, da região norte da província de Yamagata, e 【庄】 o dialeto de Shonai, da região oeste da província de Yamagata, mas não conseguimos fazê-los nesta coleção.)

Iwate: 【南】 Dialeto de Nambu (entre a região central e norte da província de Iwate, igual ao dialeto de Nambu da província de Aomori), 【伊】 Dialeto de Date (sul da província de Iwate, 【気】 dialeto de Kesen (sudeste da província de Iwate)

Miyagi: 【仙】 Dialeto de Sendai

Fukushima: 【会】 Dialeto de Aizu (oeste da província de Fukushima), 【中】 Dialeto de Nakadoori (região central da província de Fukushima), 【浜】 Dialeto de Hamadoori (leste da província de Fukushima)



Antes dos significados estão escritos ideogramas como 【津】 e 【会】. Eles expressam os significados dos dialetos nos locais. Por exemplo: 【津】 expressa o significado no dialeto de Tsugaru, 【会】 expressa o significado no dialeto de Aizu.

◎Mapa

- O mapa expressa em qual região de Tohoku os verbetes dos dialetos são usados. A parte colorida é a região que são usados.

◎Exemplos

- Estão escritos exemplos de frases de diálogos curtos com os dialetos. A parte referente ao dialeto está escrita em negrito. O significado está escrito em japonês depois das frases. Quem desejar ver os significados em inglês, chinês, coreano, português e língua indonésia, deve acessar o site: <<http://saitokeita.web.fc2.com/hougenshu/>>

◎CD

- Muitos exemplos podem ser escutados no CD que vai junto com esta coleção. O número na marca do CD ao lado dos verbetes indica a faixa para escutá-los no CD.

Cara penggunaan

◎Entri Data (Kata yang akan dicari dalam kumpulan buku dialek ini)

- Seluruh dialek ditulis dengan hiragana.
- Seluruh dialek diurutkan berdasarkan A,I,U,E,O.
- Terdapat sedikit perbedaan pada kata dan pelafalan dialek berdasarkan daerah. Oleh karena itu, jika terdapat tanda seperti ini 【 】 dialek yang ditulis di dalam tanda kurung tersebut memiliki arti yang sama dengan kata yang di tandai dengan tanda seperti ini ().

◎Arti

- Arti dari dialek ditulis secara berurutan ditandai dengan Bahasa Jepang (JP), Bahasa Inggris (EN), Bahasa Cina (CN), Bahasa Portugal (PT), dan Bahasa Indonesia (ID).
- Kumpulan dialek ini sebagian besar berasal dari berbagai tempat di daerah Tohoku. Berikut ini tanda-tanda yang menunjukkan asal daerah dialek yang terdapat dalam buku.

Prefektur Aomori... 【津】 Dialek Tsugaru (Bagian Barat Prefektur Aomori), 【南】 Dialek Nambu (Bagian Timur Prefektur Aomori)

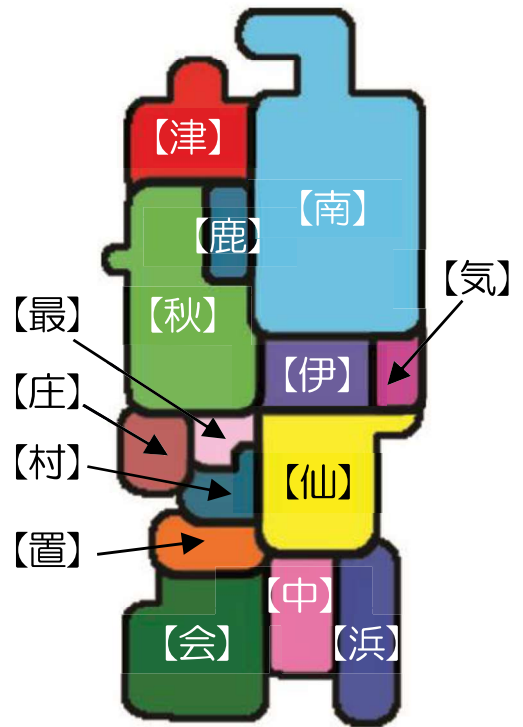
Prefektur Akita... 【秋】 Dialek Akita, 【鹿】 Dialek Kazuno (Bagian Timur Laut Prefektur Akita)

Prefektur Yamagata... 【村】 Dialek Murayama (Bagian Tengah Prefektur Yamagata), 【置】 Dialek Okitama (Bagian Selatan Prefektur Yamagata) (*Untuk 【最】 Dialek Mogami (Bagian Utara Prefektur Yamagata) dan 【庄】 Dialek Shounai (Bagian Barat Prefektur Yamagata) juga merupakan daerah pembagian dialek, tetapi dalam buku kumpulan dialek ini tidak dapat dimasukkan.

Prefektur Iwate... 【南】 Dialek Nambu (Bagian Tengah- Bagian Utara Iwate, sama dengan dialek Nambu di Prefektur Aomori), 【伊】 Dialek Date (Bagian Selatan Prefektur Iwate), 【気】 Dialek Kesen (Bagian Tenggara Prefektur Iwate)

Prefektur Miyagi... 【仙】 Dialek Sendai

Prefektur Fukushima... 【会】 Dialek Aizu (Bagian Barat Fukushima), 【中】 Dialek Nakadoori (Bagian Tengah Fukushima, 【浜】 Dialek Hamadoori (Bagian Timur Fukushima)



Tanda 【津】 dan tanda 【会】 seperti ini yang terdapat pada bagian sebelum arti kata merupakan arti dari kata yang berasal dari daerah tersebut. Misalnya tanda 【津】 ini berarti (arti kata tersebut digunakan di dialek Tsugaru), dan tanda 【会】 ini berarti (arti kata tersebut digunakan di dialek Aizu).

◎Peta

•Peta menunjukkan Daerah mana saja yang menggunakan dialek daerah Tohoku seperti yang dituliskan di Entri Data. Peta yang diwarnai menunjukkan daerah yang menggunakan dialek tersebut.

◎Contoh Kalimat

•Contoh kalimat-kalimat dialek yang terdapat di Entri Data menggunakan kalimat pendek dan kalimat percakapan sehari-hari. Kalimat dialek seluruhnya ditulis dengan hiragana huruf tebal. Selanjutnya untuk arti kalimat dialek-dialek tersebut ditulis dengan bahasa Jepang. Untuk yang ingin mengetahui terjemahan arti-arti kalimat dalam Bahasa Inggris, Bahasa Cina, Bahasa Korea, Bahasa Portugal, dan Bahasa Indonesia, dapat dilihat di website (<http://saitokeita.web.fc2.com/hougenshu/>).

◎CD

•Semua contoh kalimat kumpulan dialek dapat didengarkan di CD. Tanda nomor CD yang terdapat di sebelah Entri Data merupakan nomor track CD.

1 【あさぐ】

JP: ^{ある}歩く

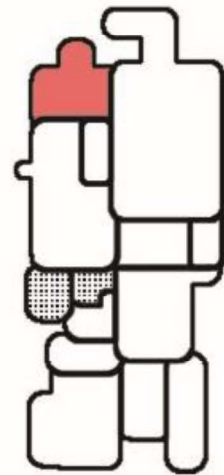
EN: Walk

CN: 走路

KO: 걷다

PT: Caminhar

ID: Berjalan



例【津】A「(道路で) すみません、この^{ちか}近くにコンビニはありますか？」
B「この^{みち}みちば まっすぐ あさいだら あるや。」
(この道^{みち}をまっすぐ^{ある}歩くとあるよ。)

2 【あじゃらだ】 (あじゃらになる)

JP: みっともない、いい^{かげん}加減だ

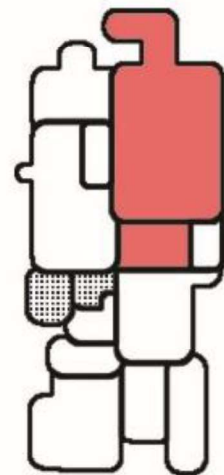
EN: Shameful, irresponsible

CN: 不像样；随便

KO: 꼴불견, 적당히 하다(허술하다)

PT: Desagradável, desapropriado, irresponsável

ID: Tidak pantas, Berlaku seenaknya



例【伊】A「あの^{せんせい}先生の^{おし}教え方、^{かた}どうですか？」
B「あじゃらだな。」
(いい^{かげん}加減だな。)

3 【あずましー】

JP: ^{こころ}心地よい、^{きもち}気持ちいい

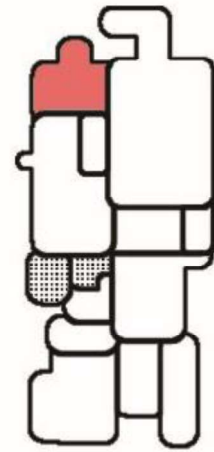
EN: Pleasant, comfortable

CN: 心情舒畅；心情好

KO: 편안하다, 기분 좋다

PT: Agradável, prazeroso

ID: Nyaman, perasaan yang nyaman



例【津】A「昨日温泉きのうおんせんに行ったいみたいだけど、どうだった？」
B「ああ、あずましたなー。」
(ああ、^{きもち}気持ちよかったよー。)

4 【あめる】

JP: ^{りょうり}料理が^{くさ}腐る、【南】(^{かみ}髪などが)べたべたする

EN: Food goes bad, spoil, 【南】(hair etc.) become greasy

CN: 饭菜坏了；【南】(头发等)黏糊糊

KO: 요리가 부패하다, 【南】(머리 등) 끈적
끈적하다

PT: A comida apodrecer, 【南】(o cabelo) ficar pegajoso

ID: Makanan yang basi, 【南】(Rambut dan lainnya) lengket

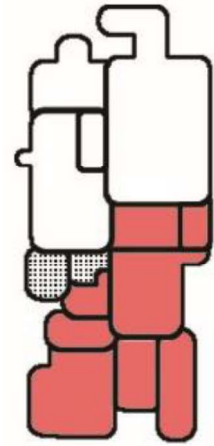


例【秋】A「おかずた食べますか？」
B「おやおや… これ あめでらや。」
(おやおや…これわる悪くなっているよ。)



5 【あるって】

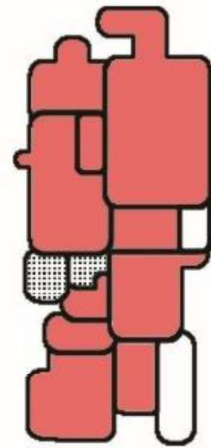
JP: ^{ある}歩いて
EN: Walking
CN: 走着
KO: 걸어
PT: A pé
ID: Berjalan



例【会】A「すみません、^{えき}駅まで行きたいんですけど…。」
B「この^{みち}道 まっすぐ あるってくと、そのうち ^つつくがら。」
(この^{みち}道をまっすぐ^{ある}歩いていくと、そのうち^つ着くよ。)

6 【あんべわり】

JP: ^{ぐあい}具合が^{わる}悪い、^{びょうき}病気だ、^{つごう}都合がよくない
EN: Feel bad, sick, be inconvenient
CN: 不舒服；生病；不方便
KO: 상태가 나쁜, 병이다, 사정이 좋지 않다
PT: Sentir-se mal, estar doente, não ser conveniente
ID: Tidak merasa enak badan, Sakit, Keadaanya tidak baik



例【秋】A「あ、どうしたんですか？」
B「あんべわりー。」
(^{ぐあい}具合が^{わる}悪いなー。)

7 【いずい】 (えずい、えんつこい、えんつけあ、えんず)

JP: 違和感^{いわかん}がある、変^{へん}な感^{かん}じがする、居心地^{いごち}が悪い、目^めのごみがごろごろする

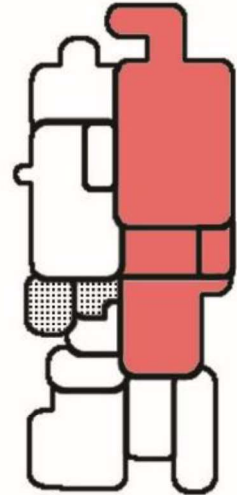
EN: Feel strange, be uncomfortable, have something in one's eye

CN: 感觉不舒服；心情不好；眼睛里进了东西磨得慌

KO: 위화감이 들다, 이상한 느낌이 들다, 거북하다, 눈에 든 티가 떼굴떼굴하다

PT: Sentir algo diferente, sentir algo estranho, sentir-se incomodado, ter um cisco no olho

ID: Ada perasaan tidak nyaman, ada perasaan yang aneh, ada perasaan tidak nyaman (merasa bukan pada tempatnya), ada sesuatu yang mengganjal (menghalangi) di mata



例【伊】A「その靴^{くつ}かっこいいですね。」

B「でも いずいんだ。」

(でもなんかしっくりこない (違和感^{いわかん}がある) だよ。)

8 【いだまし】 (いだます)

JP: もったいない

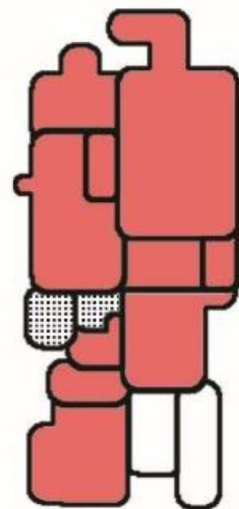
EN: Wasteful

CN: 浪费

KO: 아깝다

PT: Que desperdício

ID: Terlalu bagus



例【伊】A「もうこれ、いらないから捨て^すてましょう。」

B「いだましー。」

(もったいないなー。)

9 【うすらかすらする】 (【南】うらからする)

JP: ぶらぶらする、うろうろする

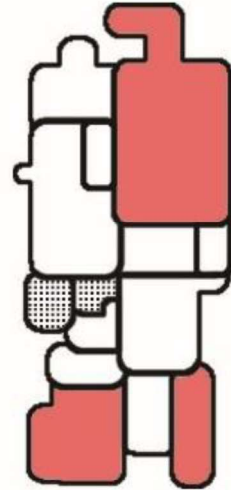
EN: Hang around, ramble, wander

CN: 溜溜达达 ; 转来转去

KO: 빈둥 거리는, 서성거리는

PT: Vagar, vaguear

ID: Bermain-main, berjalan-jalan keliling



例【会】A 「あぶねから うすらかすらすしてんなず。」

(^{あぶ}危ないから (そこを) うろうろしているんじゃないよ。)

B 「あ、ごめんなさい。」

10 【うだで】

JP: ^{きも}気持ち^{わる}が悪い、【津】^{たいへん}大変だ

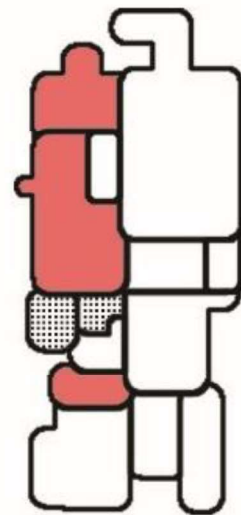
EN: Disgusting, nasty, unpleasant, 【津】 a lot of trouble, tough

CN: 恶心 ; 【津】糟糕

KO: 기분이 나쁜 【津】 힘들다

PT: Nojento, 【津】 complicado

ID: Rasa tidak nyaman, 【津】 merasa kesulitan



例【秋】A 「さっきあそこに^{むし}虫がいっぱいいましたね。」

B 「あー、^{んだ}んだ、うだでがったなー。」

(あー、そうだね、^{きも}気持ち^{わる}悪かったね。)

11 【うつつあし】 (うっちゃし)

JP: うるさい

EN: Nuisance, noisy, bothersome

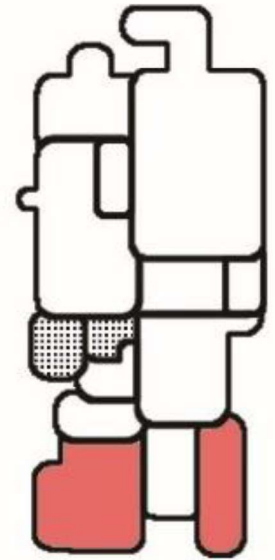
CN: 吵闹

KO: 시끄러운

PT: Barulhento

ID: Berisik

例【会】A「ねえねえ、ねえ、ちょっと^{はなし}話^き聞いてよ。」
B「うつつあしな、おめ あ^まっ^ちゃ い^いってる。」
(うるさいな、お前あ^まっ^ちに行^いってる。)



【うらからする】 ⇒ うすらかする

12 【うるかす】 (うるがす)

JP: (米などの^{かんそ}乾燥^した物^を) 水^みにつける、【仙・会・中】
使^{つか}ったあとの食^{しょ}器^きに水^みを入^いれる、【秋】^{はなし}話^{ほり}を^{りゅう}保留^に
する (決^きめないでそのままにしておく)

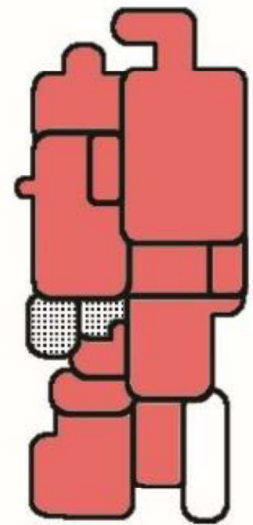
EN: Soak in water (as with rice, etc), 【仙・会・中】soak dishes, 【秋】
put some topic on hold

CN: (米等干燥物) 泡上水; 【仙・会・中】使用后的食具用
水泡; 【秋】保留谈话

KO: (쌀 등 건조시킨 것을) 물에 담그다, 【仙・会・
中】사용 후 식기에 물을 적시다, 【秋】이야기를
보류하다

PT: Molhar (coisas secas como arroz), 【仙・会・中】colocar água em louças depois de usadas,
【秋】deixar a conversa em pausa

ID: (Beras dan lainnya, sesuatu yang telah dikeringkan) Dimasukkan kedalam air 【仙・会・
中】Peralatan makan yang telah digunakan dimasukan ke air (membersihkan), 【秋】
Menunda pembicaraan





例【伊】A「一緒にごはん作りましょう。」
 B「んではー、こめ うるがしとくから。」
 (じゃあ、こめ みずを水につけておくよ。)

【えずい】⇒いずい

13 【～える】

JP: (環境や状況のために)～できる(「能力があつてできる」とは別)

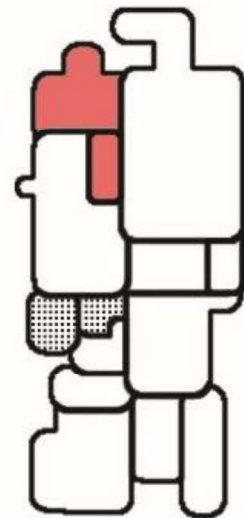
EN: Possible, "can" but possible because of environment rather than ability

CN: (依据环境和状况)能够~ (“有能力做某事”是另一种表达)

KO:(환경이나 상황 때문에)~ 할 수 있다 (「능력이 있어 할 수 있는」과는 별도)

PT: (Para um ambiente ou situação) poder (diferente de "ter capacidade de fazer")

ID: Bisa (untuk menunjukkan suatu keadaan dan lingkungan) (bukan untuk menunjukkan karena kita memiliki kemampuan)

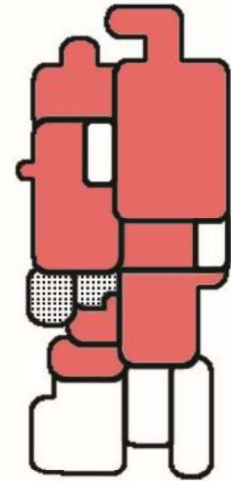


例【津】A「ねえ、市役所から手紙が来たけど、なんて書いてあるの？」
 B「うーん、へや くらくて よまえねな。」
 (うーん、へやがくらくてよめないな。)

【えんつけあ、えんず】⇒いずい

14 【おがる】

JP: ^{おお}大きくなる
EN: Get bigger
CN: 变大、长大
KO: 커지다
PT: Crescer
ID: Menjadi besar

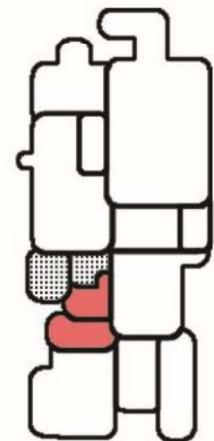


例【伊】A「おじさん、お^{ひさ}久しぶりです。」
B「あれ おめ、おがったねやー。」
(おやお^{まえ}前、^{おお}大きくなったなー。)



【おしょうしな】

JP: ありがとう
EN: Thank you
CN: 谢谢
KO: 고마워
PT: Obrigado
ID: Terima kasih



🎵 15 【おしよし】 (おしょうし、おしよす)

JP: はずかしい

EN: Embarrassed

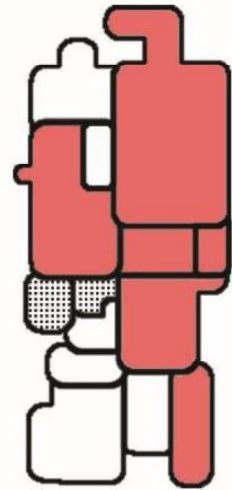
CN: 丢人、害羞

KO: 창피하다

PT: Vergonhoso

ID: Malu

例【伊】A「境^{さかい}さん(話し相手^{はな あいて}の名前^{なまえ})、この前^{まえ}、駅前^{えきまえ}で
激^{はげ}しく転^{ころ}んでましたね。」
B「あいつ おしよすかったやー。」
(あれははずかしかったよー。)



【おじる、おずる】 ⇒ おちる

🎵 16 【おだつ】

JP: はしゃぐ、調子^{ちょうし}に乗^のる

EN: Romp around, act silly

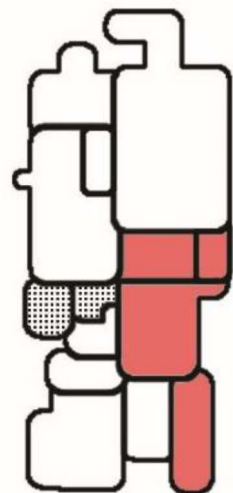
CN: 戏闹；情绪高涨

KO: 소란을 피우다, 갑죽거리다

PT: Alegrar-se, ficar eufórico

ID: Bermain-main, Terbawa suasana

例【伊】A「この前^{まえ}、高^{たか}いお皿^{さら}を割^わっちゃいましたねー。」
B「おだつがらだ。」
(調子^{ちょうし}に乗^のるからだぞ。)



17 【おたった】

JP: 疲れた

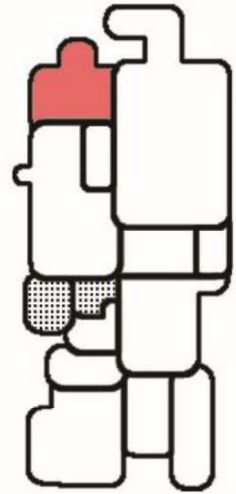
EN: Tired

CN: 疲惫、累

KO: 피곤하다

PT: Cansar-se

ID: Melelahkan



例【津】A「昨日はマラソン大会に参加したんだってね。」
B「いやー、おたったや。」
(いやー、疲れたよ。)

18 【おちる】 (おじる、おずる)

JP: 降りる、下車する

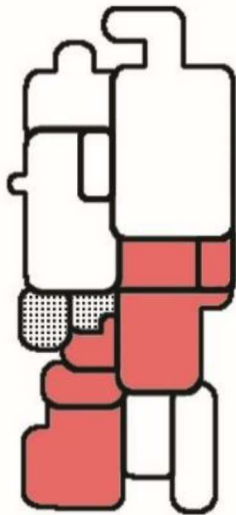
EN: Get off, deplane, dismount

CN: 下车

KO: 내리다, 하차하다

PT: Descer

ID: Turun, Menurunkan



例【会】A「(バスの中で) すみません、図書館に行きたいんですけど…。」
B「あー、つぎで おちっと いいわい。」
(あー、次で降りるといいよ。)



19 【おどげでね】

JP: ^{らく}楽ではない、^{たいへん}大変だ

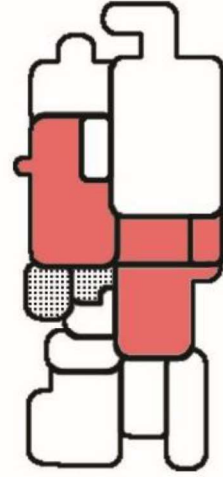
EN: Not easy, a lot of trouble, a lot of work

CN: 不轻松；费劲

KO: 쉽지는 않은, 힘들다

PT: Não ser fácil, ser duro

ID: Tidak menyenangkan, sulit (susah)



例【秋】A 「^{こんど}今度このプロジェクトを^{おも}やろうと思います。」

B 「おどげでねーやー。」

(^{たいへん}大変だよ。)

20 【おばんです】

JP: こんばんは

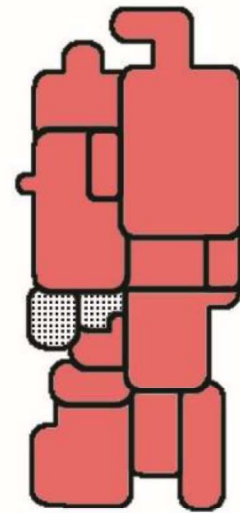
EN: Good evening

CN: 晚上好

KO: 안녕하세요 (야간 인사)

PT: Boa noite

ID: Selamat Malam



例【秋】A 「あ、^{こばやし}小林さん。」

B 「おばんです。」

(こんばんは。)

【おみよーにち】 (おみよーぬず)

JP: おやすみなさい、さようなら、では^{あした}明日

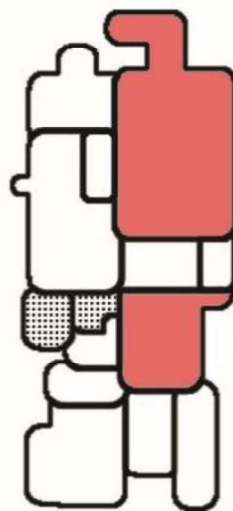
EN: Good night, goodbye, see you tomorrow

CN: 晚安 ; 再见 ; 明天见

KO: 안녕히 주무세요, 안녕히 계세요, 그럼 내일

PT: Boa noite, até logo, tchau

ID: Selamat tidur (istirahat), Selamat tinggal, Sampai besok



21 【おんずくなし】 (おんじくなし)

JP: ^{おくびょうもの}臆病者、【会】ばか

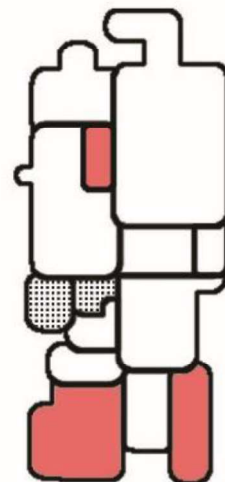
EN: Coward, 【会】 fool

CN: 胆小鬼 ; 【会】 傻瓜

KO: 겁쟁이, 【会】 바보

PT: Covarde, 【会】 idiota

ID: Pengecut, 【会】 Bodoh



例【会】A 「いやー、昨日、^{きのう}寝坊^{ねぼう}しちゃって、^{にゅうがくしけん}入学試験受けられなかったよ。」
B 「おんずくなしー。」
(ばかだなー。)

22 【がかった】

JP: 疲れた、病気で弱る

EN: Tired, weak from illness

CN: 疲惫；因为生病虚弱

KO: 지친, 질병에 약하다

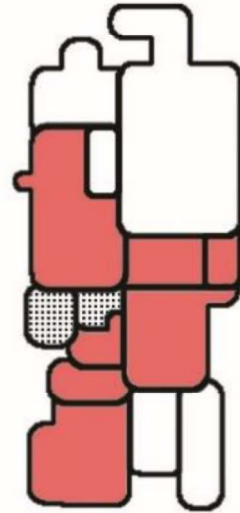
PT: Estar cansado, estar fraco porque está doente

ID: Lelah, lemah karena sakit

例【秋】A 「昨日山登りしたんですってね？」

B 「いやー、がかった がかった。」

(いやー、疲れた疲れた。)



23 【かずける】 (かんつける、かんずける)

JP: すねる、いじける、ふてくされる (いやな気持ち
があって相手のいうことを聞かない)、人のせいにする

EN: Sulky, timid, blame something on someone

CN: 撒泼；闹别扭；赌气(心情不好不听对方所说)；
怪罪别人

KO: 토라진다, 주눅이 들다, 불쾌하게 여겨
토라지다 (싫은 마음이 있어 상대의 말을
듣지 않는), 남의 탓으로 하다

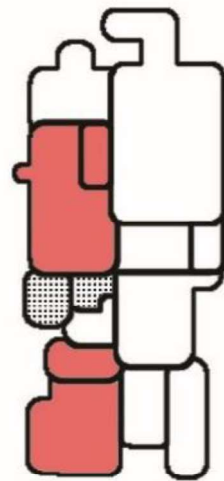
PT: Ficar de mau humor, acanhar-se (sentir-se incomodado e não escutar o que o outro diz),
culpar alguém

ID: Merajuk (Marah), Melawan, Menjadi marah (tidak bertanggung jawab) (ada perasaan
kesal atau tidak enak dengan lawan bicara, sehingga tidak mau mendengarkan perkataan
apapun dari lawan bicaranya), Menyalahkan orang lain.

例【秋】A 「あの子、さっきからずっと泣いてるよ。」

B 「ああ、かずけでらもんなー。」

(ああ、すねてるもんなー。)



24 【かせる】¹

JP: かぶれる (植物、繊維、金属、薬品などで皮膚が赤くなったりかゆくなったりする)

EN: Break out in a rash (skin gets red or itchy from plants, cloth, metals, chemicals, etc.)

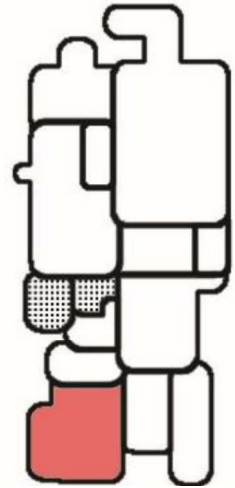
CN: 发炎

KO: 타다, 오르다, 염증이 생기다 (식물, 섬유, 금속, 약품 등으로 피부가 붉어지거나 가려워지거나 하다)

PT: Ter urticária (quando a pele fica vermelha ou coçando por causa de plantas, fibras, metais, medicamentos, etc.)

ID: Alergi, Iritasi (Kulit menjadi merah dan gatal karena tumbuhan, serat (kain), Logam, Obat dan lainnya)

例【会】A「ちょっと首のまわりがかゆいんですよねー。」
B「あー、なんかに かせだみでだな。」
(あー、なんかにかぶれたみたいだな。)



25 【かせる】² (【津・秋】かへる)

JP: 食べさせる

EN: Feed to someone, let/make someone eat something

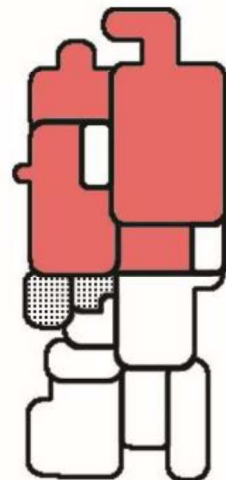
CN: 让吃

KO: 먹이다

PT: Dar comida a alguém

ID: Membuatkan makanan (memberi makanan)

例【伊】A「このごはん誰の？」
B「こどもに かせんのしゃ。」
(子どもに食べさせるんだよ。)



26 【かちゃくちゃね】

JP: 物^{もの}事^{ごと}が^{すす}進^{すす}まずイライラする、ややこしい、散^ちらかっている

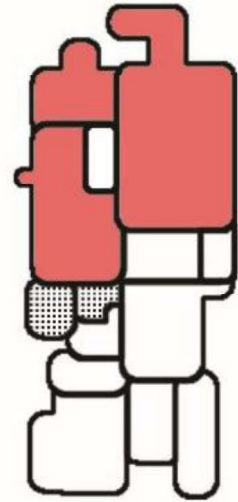
EN: Stressed out, irritable, confusing, scattered, (room is) untidy

CN: 事情进展不顺利焦急；麻烦；散乱

KO: 일이 진행되지 않고 초조하다, 까다롭다, 어수선하다

PT: Ficar irritado porque as coisas não andam, ficar impaciente, estar em desordem

ID: Frustrasi (ada rasa marah) karena ada hal yang tidak berjalan lancar (tidak maju-maju), membingungkan, berantakan



例【津】A「どう？仕事^{しごと}は進^{すす}んでる？」

B「あー、まねや。かちゃくちゃね！」

(あー、^{ぜんぜん}全然だめだよ。イライラする！)

27 【かちゃぺね】

JP: しっかりしていない、壊^{こわ}れやすい、軽^{けい}率^{そつ}な

EN: Unreliable, breakable, rash (person)

CN: 不结实；易坏；轻率

KO: 단단하지 않다, 깨지기 쉽다, 경솔한

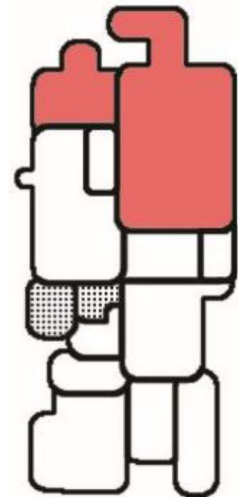
PT: Não ser firme, fácil de quebrar, imprudente

ID: Tidak baik, Mudah rusak atau pecah, hancur, Ceroboh

例【津】A「太郎^{たろう}って、体^{からだ}が^{おお}大きくて、丈夫^{じょうぶ}そうだよね？」

B「んにゃ、かちゃぺね やつだよ。」

(いや、^{よわよわ}弱々しいやつだよ。)



【がっこ】

JP: つけもの

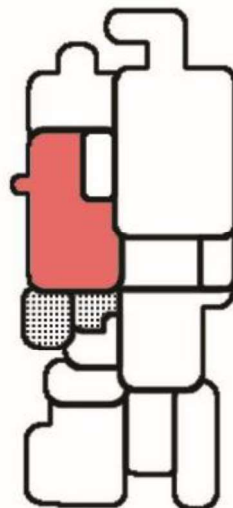
EN: Pickles, pickled vegetables

CN: 咸菜

KO: 절임, 김치

PT: Conserva em legumes

ID: Acar



例【秋】A「^{きょう}今日のおかず、なんですか？」

B「^{きょう}きょうのおかずは、おすげっこと がっこだけ。」

(^{きょう}今日のおかずは、みそ汁と^{しる}つけものだけ。)

【かっぱをとる】 ⇒ きゃっぱりをとる

【かでのる】

JP: (^{あそ}遊んだりする^{とき}時の) ^{なかま}仲間に入れる、^いグループに入る

EN: Include someone in one's group, include a child in a group of playmates

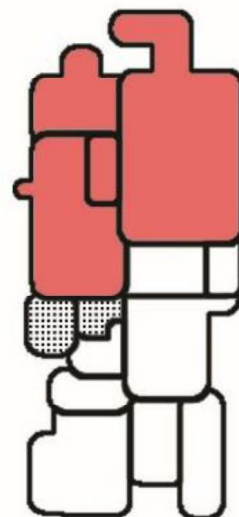
CN: 入伙

KO: 한 패에 넣다

PT: Incluir alguém no seu grupo

ID: Dijadikan teman (Diajak bergabung)

例 ⇒ 「まぜる」の^{れいぶん}例文



28 【がな】

JP: (^{わたし}私、あなた、あっち、^{やまだ}山田さん、など) のもの

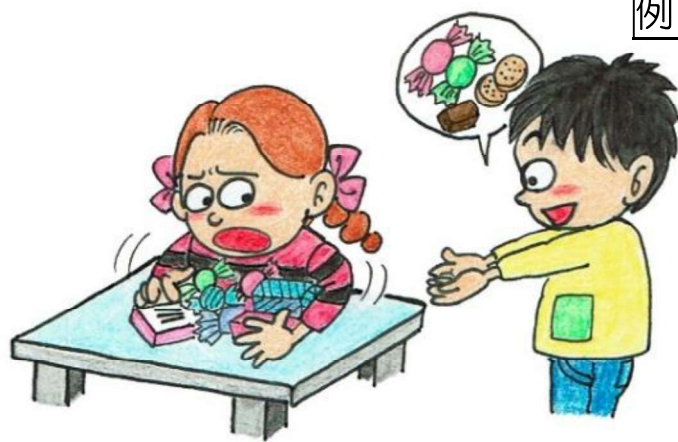
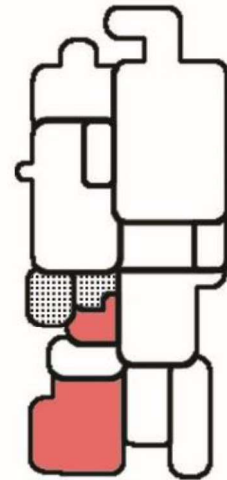
EN: Mine, yours, hers, his, theirs (possessive)

CN: (我 , 你 , 他 , 山田君等) 的物品

KO: (명사 · 대명사)의 것 (나, 당신, 저 사람, 야마다 씨 등)

PT: De (substantivo, pronome) (mim, você, lá, Yamada, etc.)

ID: (Kata Benda, Kata Ganti) (Saya, Kamu, Disana, Yamada dan lain-lain)



例【会】A「これ^た食べていいですか？」
B「あ、これ おれがな。」
(あ、これは^{わたし}私の。)

29 【～がね?】 (～がねか?)

JP: ~ (して) いかない?

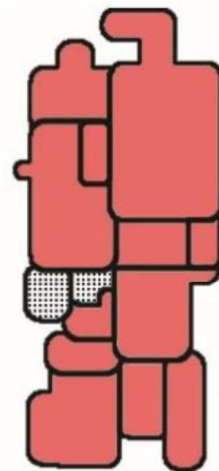
EN: Won't you?, used in invitations

CN: 不...吗?

KO: ~ (해) 하지 않을래(요)?

PT: Quer (fazer)?

ID: Bagaimana kalau, maukah (mau tidak kalau) ~?



例【秋】A「あ、すみません、ちょっと ^{はなし}話があるんですけど ^{だいじょうぶ}大丈夫ですか？」
B「あ、へば おらえさ よってがねか?」
(あ、じゃあ^{わたし}私^{いえ}の^よ家に寄っていかない?)

30 【かばねやむ】

JP: なまける (仕事などやらないといけないことをしない)、サボる

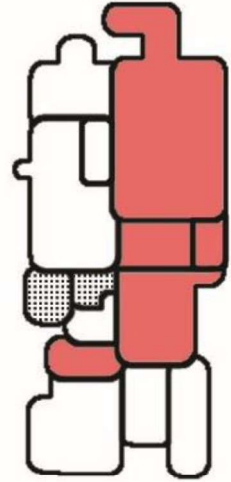
EN: Lazy, goofing off

CN: 偷懒 (工作等必须做的事情不做)

KO: 게으름 피우다 (일 등 하지 않으면 안되는 것을 하지 않다), 게으름 피우다

PT: Ter preguiça (não fazer o trabalho que tem que fazer), matar aula ou trabalho

ID: Bermalas-malasan (tidak melakukan pekerjaan yang seharusnya dilakukan), bolos



例【伊】A 「この仕事、^{しごと}全然^{ぜんぜんお}終わりませんね。」

B 「あいづ かばねやんで さっぱり すすまねんだ。」

(あいづなまけて (=サボって) ^{ぜんぜんすす}全然進まないんだ。)

【かまりっこ】

JP: ^{かお}香り、におい

EN: Smell, aroma

CN: 香气; 香味

KO: 향기, 냄새

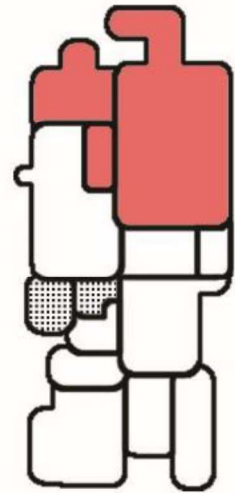
PT: Cheiro, aroma

ID: Bau (aroma, harum, tidak harum)

例【津】A 「ごはんできたよ。」

B 「んー、いい かまりっこだな。」

(んー、いいにおいだね。)



31 【かめっこする】 (かめこする)

JP: 人見知りする (知らない人を見て恥ずかしい・いやだと思^{おも}う)

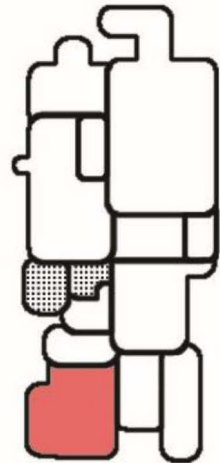
EN: Bashful, not outgoing

CN: 认生 (遇到不认识的人害羞)

KO: 낯가림하다 (모르는 사람을 보고 당황하다, 싫다고 생각하다)

PT: Ficar com vergonha ou incomodado com pessoas que não conhece

ID: Pemalu (orang yang selalu menghindar), (Kalau melihat orang yang tidak dikenal perasaannya malu • ada rasa tidak nyaman)



例【会】A「あーこの^{あか}赤ちゃん、^{ぜんぜん}全然笑ってくれない。」
 B「あー それ かめっこしてんだよ。」
 (あーその子は人見知りしてるんだよ。)



32 【かんじる】 (かんずる)

JP: とても^{さむ}寒い

EN: Extremely cold

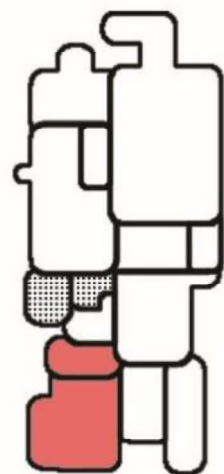
CN: 非常冷

KO: 매우 추운

PT: Muito frio

ID: Sangat dingin (Dingin Sekali)

例【会】A「おはようございます。」
 B「あー きょう かんじるな。」
 (あー今日はとても^{さむ}寒いねー。)



【かんずける、かんつける】⇒かずける

33 【きかねー】 (きかない、きかねあ、ちかねー)

JP: 気が強い (相手の言うことを聞かない、自分の意見を押し通す、負けず嫌い)

EN: Strong-willed, pig-headed

CN: 倔强 (不听对方所说, 坚持己见, 不服输)

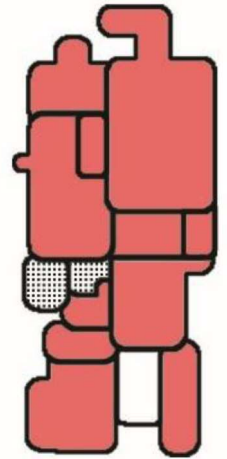
KO: 기가 세다 (상대의 말을 듣지 않다, 자신의 의견을 관철하다, 지기 싫어하다)

PT: Ter espírito forte (não escutar o que os outros dizem, impor sua opinião, odiar perder)

ID: Berani (orang yang kuat), (tidak mendengarkan perkataan orang lain, mengeluarkan pendapatnya sendiri, tidak suka mengalah (tidak suka kekalahan))

例【伊】A 「あの女の子、また男の子とけんかしてるよー。」

B 「きかねがらなー。
(気が強いからなー。)



34 【きどころね】 (きどこね)

JP: 寝るつもりがないのに (服を着たまま) 寝てしまう

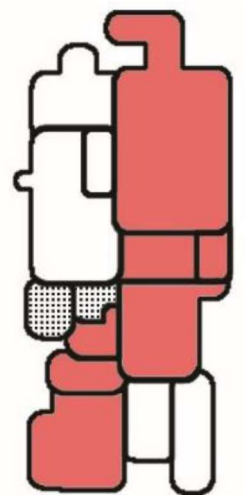
EN: To fall asleep in one's clothes

CN: 没打算睡觉 (穿着衣服) 睡着了

KO: 잘 생각이 없는데 (옷을 입은 채) 자 버린다

PT: Acabar dormindo (de roupa mesmo) mesmo sem a intenção de dormir

ID: Tanpa bermaksud tidur (tidur tanpa mengganti pakaian sebelumnya) tertidur



例【会】A「昨日ものすごく酔っぱらってましたけど、あのあと大丈夫でしたか？」

B「あさ おぎだら、きどごろねした。」

(朝起きたら、服を着たまま寝てた。(家に帰ったら、着替えしないで外で着た服のままで寝てしまった))



【きみ】

JP: とうもろこし

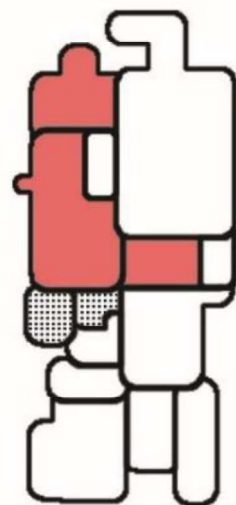
EN: Corn

CN: 玉米

KO: 옥수수

PT: Milho

ID: Jagung



例【秋】A「このコロッケどうぞ。」

B「あ、きみ はいってら。」

(あ、とうもろこしはい入ってる。)

35 【きゃっぱりをとる】

(きゃっぱりする、【南】かわっぺありする、【秋】かっぱをとる)

JP: 靴くつの中なかに水みずが入はいる、川かわに落おちる

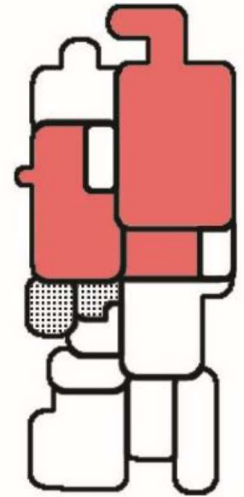
EN: Get water in one's shoes, fall in a river

CN: 鞋里进水; 落水

KO: 신발 속에 물이 들어가다

PT: Entrar água dentro do sapato, cair no rio

ID: Ada air yang masuk kedalam sepatu



例【伊】A「あれ、^{あし}足ぬれてますね。」

B「いやー、あそこで きゃっぱりとってやー。」

(いやー、あそこで水みずたまりをくつふんで靴みずに水はいが入はいっちゃってさー。)

36 【け】 (けー)

JP: 食たべなさい、ちょうだい、かゆい、【秋】来きなさい

EN: Eat! (imperative), please (give/do something to/for me), itchy, 【秋】 Come here!

CN: 请就餐; 给我; 瘙痒; 【秋】请过来

KO: 먹으십시오, 주세요, 가렵다, 【秋】 오십시오

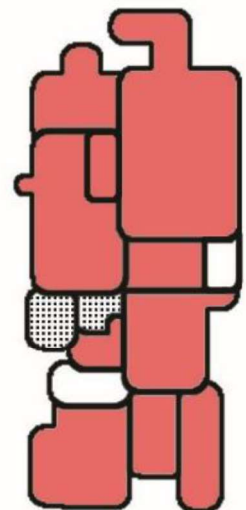
PT: Coma, dê-me, coçar, 【秋】 venha

ID: Makanlah (Ayo dimakan), Minta, Gatal, 【秋】 Kesini (Kesini datang)

例①【伊】A「おなかすいた。」

B「まんま け。」

(ごはん食たべなさい。)



例②【秋】A「呼びましたか？」

B「あー、こっちゃけ、こっちゃけ。」
(あー、こっちおいで、こっちおいで。)

【～っけ】 (～っけー)

JP: ~ (な) んだ (相手に情報を与えるときに使う)

EN: (Used when providing information to the listener)

CN: (告诉对方信息时使用)

KO: (상대에게 정보를 줄 때 사용)

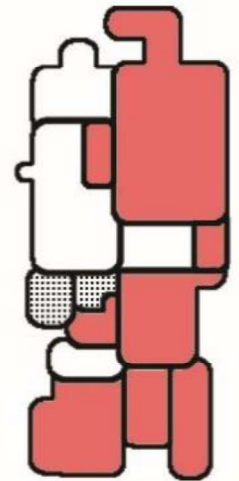
PT: (Usado para dar informações ao interlocutor)

ID: (Digunakan ketika memperoleh informasi dari lawan bicara)

例【会】A「そういえば、^{となり}隣の家の^{いえ}山田さん、^ひ引っ越し
^こたみたいなんですよ。」

B「あ、そっかー。さっき とおったっけが、
いえのまえ なんも なくなってでよー。」

(あ、そっかー。さっき通ったんだけど、家の前に何もなくなっていてさ。)



37 【けっぱる】

JP: がんばる

EN: Try hard, endeavor, give it one's best shot

CN: 加油

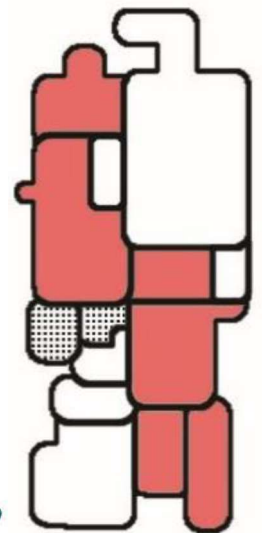
KO: 힘내다

PT: Dar o seu melhor

ID: Semangat

例【津】A「明日は大事な試験があるんだよ。」

B「けっぱれ！」
(がんばれ！)



38 【けやぐ】

JP: 友だち

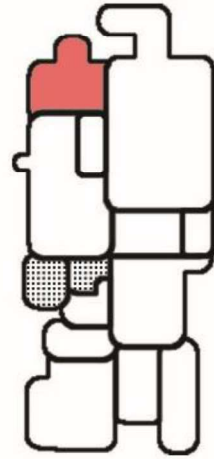
EN: Friend

CN: 朋友

KO: 친구

PT: Amigo

ID: Teman-teman



例【津】A「へー、これが子どもの時の写真か。君の隣にいるのは誰？」
B「けやぐの たろうだよ。」
(友だちの太郎だよ。)

39 【こえー】 (こわい)

JP: 疲れた

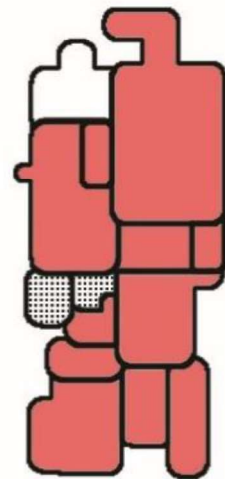
EN: Tired

CN: 筋疲力尽

KO: 피곤하다

PT: Cansado

ID: Cape, Melelahkan



例【秋】A「今日はずっと仕事だったんですか？」
B「こえー。」
(疲れたー。)

40 【**ごんぼほる**】

JP: だだをこねる (わがママをい言いっていうことをきかない)

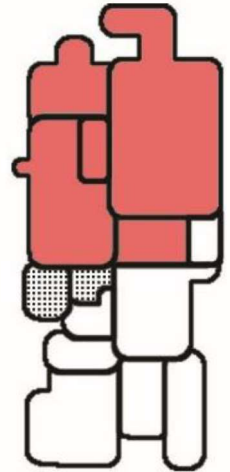
EN: Whine, pout, say selfish things

CN: 缠磨人 (说任性的话, 不听话)

KO: 떼를 쓰다; 응석을 부리다 (양탈을 부려 말을 듣지 않는다)

PT: Fazer birra (dizer caprichos e não escutar o que dizem)

ID: Merengek (mengatakan yang seenaknya (sesuai yang dia inginkan) tanpa mendengarkan orang lain) Egois



例【秋】A 「このおもちゃがほしい！」

B 「ごんぼほるな。」

(わがママをい言いうんじゃない。)

41 【**さすけね**】

JP: だいじょうぶ 大丈夫だ

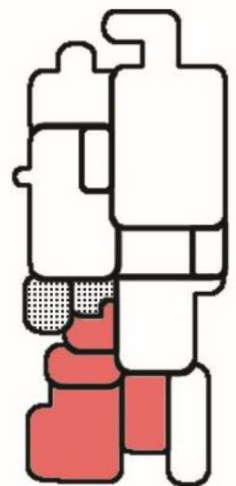
EN: Okay, alright

CN: 没问题 ; 没关系

KO: 괜찮다

PT: Sem problema

ID: Tidak apa-apa



例【会】A 「おばあさん入にゅういん院したんですって？」

B 「あ、さすけねー。らいげつには たいいんだから。」

(あ、だいじょうぶ大丈夫だよ。らいげつには たいいん退院だから。)

42 【～さる】

JP: つい・うっかり～する、^{しぜん}自然に・^{かって}勝手に～する、たまたま～する

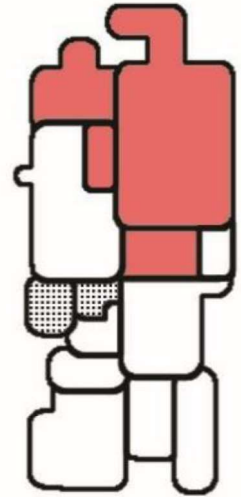
EN: By coincidence, by accident, just happened to

CN: 不小心做了某事, 自然地做了某事, 偶尔做了某事

KO: 이내 깜빡 잊고 ~하는, 자연히 · 마음대로 ~하는, 우연히 ~하는

PT: Sem querer, naturalmente, sozinho, por acaso

ID: Hanya, melakukan hal yang sembarangan, secara natural, dengan seenaknya, kebetulan



例【津】A 「^{きのう}昨日、^{やまだ}山田さんが^{わたし}私に^あ会いに^き来てたらしいね。」

B 「ん、なの えのめ とおたずきに たまたま やづ
みらさったや。」

(うん、^{きみ}君の^{いえ}家の^{まえ}前を^{とお}通ったときに^{ぐうぜんかれ}偶然^み彼を見かけたよ。)

【しっぱね】 ⇒ すっぱね

【しなっこい】 (しなっけ、すなこえ)

JP: しなやか、^た食べ物^{もの}が^ななかなか^かかみ^き切りに^{かん}くい感じ

EN: Sinewy, hard to chew

CN: 柔软; 食物嚼不断的的感觉

KO: 부드럽다, 음식이 좀처럼 씹어 자르기 어려운
느낌

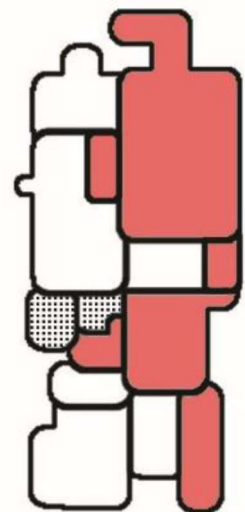
PT: Ser elástico, sensação de uma comida difícil de mastigar

ID: Fleksibel (elastis) kenyal, makanannya susah dikunyah

例【気】A 「このドライフルーツ^た食べてみて。」

B 「んん、すなこえな。」

(んん、なかなかかみ^き切れないよ。)



【ジャス】

JP: ジャージ (スポーツの時に着る服)

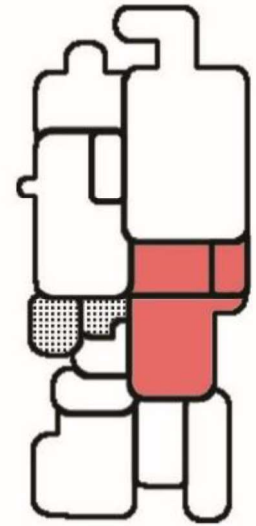
EN: Sweatshirt, (top of) jogging suit

CN: 运动服

KO: 추리닝

PT: Roupa de jérsei

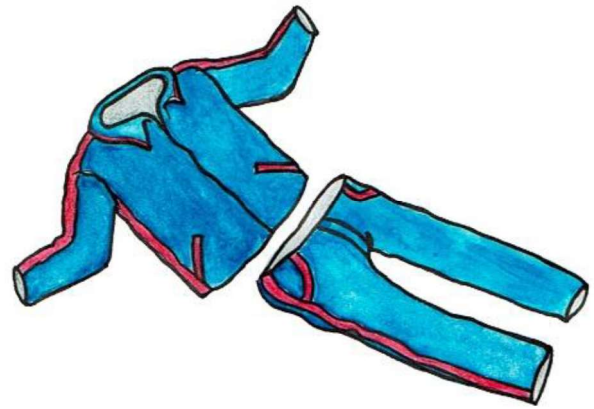
ID: Pakaian olah raga



例【伊】A「(ハイキングの前の日) 何か用意するものはありますか？」

B「ジャス もってけ。」

(ジャージを持っていきな。)



【しゃっこい、しゃっけ】

⇒ひゃっこい

【じょさね】 ⇒ぞうさね

【しょし】

JP: はずかしい

EN: Embarrassed

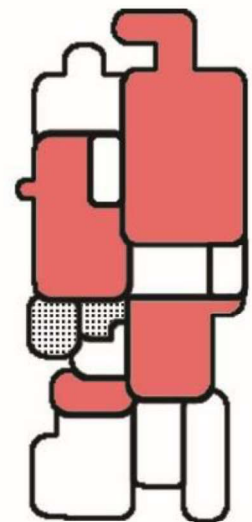
CN: 害羞

KO: 부끄럽다

PT: Ter vergonha

ID: Malu

例 ⇒「おしょし」の例文



43 【じょっぱり】 (じょっぱり)

JP: 頑固者 (自分の考えを変えない人)

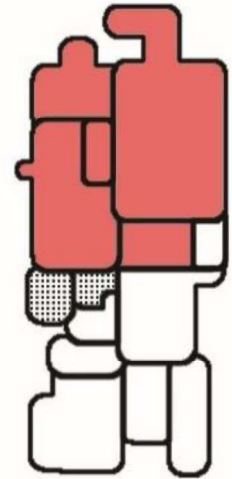
EN: Stubborn, hard-headed

CN: 顽固不化的人 (不改变自己想法的人)

KO: 완고한 사람(자신의 생각을 바꾸지 않는 사람)

PT: Ser cabeça dura (pessoa que não muda de ideia)

ID: Keras kepala (Orang yang tidak mau merubah cara berpikirnya)



例【津】A 「俺の考えは間違っていない！絶対に正しい！」
 B 「じょっぱりだなー。」
 (頑固者だなー。)

44 【～す】 (～し)

JP: ～です (ていねいな言い方)

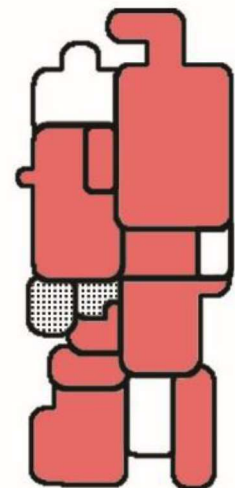
EN: Polite/formal expression

CN: 是 (尊敬的说法)

KO: ~입니다 (정중한 표현)

PT: Ser, estar (forma formal de falar)

ID: Pola kalimat ~Desu merupakan (Cara bicara yang sopan)



例【会】A 「こんにちはー。今日は寒いですね。」
 B 「んだなす。」
 (そうですね。)

【～すけ】 (～す)

JP: ～ (だ) から

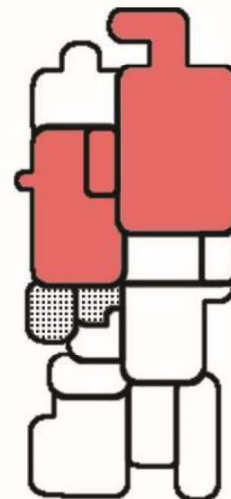
EN: Because

CN: 因为...

KO: ~ (다)니까

PT: Portanto

ID: Karena～



45 【すける】

JP: ^{てつだ}手伝う

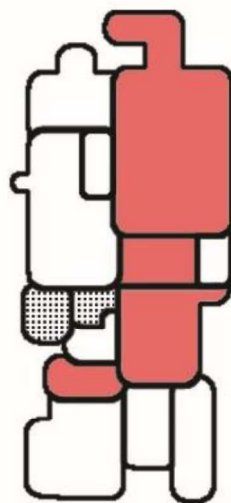
EN: Help, lend a hand

CN: 帮忙

KO: 돕다

PT: Ajudar

ID: Membantu



例【伊】A「^{おお}大きな^{はこ}箱^もを持って) いやー、これ^{おも}重いですね。」

B「では すけっかや。」

(じゃあ^{てつだ}手伝おうか。)

46 【すっぱね】 (すばね、しっぱね)

JP: 泥はね (水たまりなどを人が車^{ひとくるま}が通った時^{とおとき}にかか^{みす}る水)

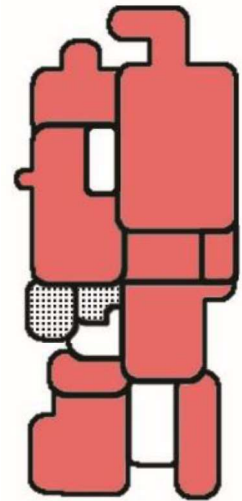
EN: Splashing mud

CN: 溅上泥巴 (车辆通过水坑时溅到水)

KO: 진흙탕물 (웅덩이 등을 사람이나 차가 지나갈 때 튀기는 물)

PT: Salpico de lama (água jogada em alguém quando um carro passa numa poça de lama)

ID: Cipratan lumpur (Cipratan air dan lainnya yang mengenai orang ketika mobil sedang lewat)



例【秋】A「ズボンどうしたんですか？」
B「あー すっぱね かがった。」
(あー泥^{どろ}がはねた。)

47 【ずねー】

JP: 大きい^{おお}

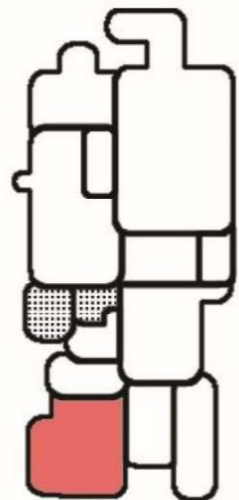
EN: Big

CN: 大

KO: 크다

PT: Grande

ID: Besar



例【会】A「りんご^か買ってきたよ。」
B「うわー、これ ずねー なー。」
(うわー、これ^{おお}大きいなー。)

48 【せつね】 (せずね、へずね)

JP: つらい

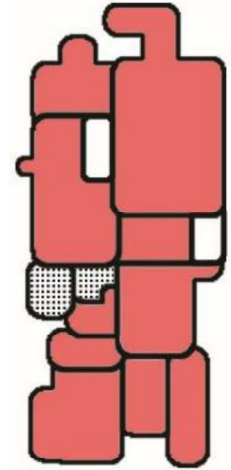
EN: Hard, difficult to handle

CN: 痛苦

KO: 힘들다

PT: Difícil, duro

ID: Sulit, susah (Keadaan)



例【秋】A「あのおばあちゃん、^{びょうき}病気になるみたいですね。」
B「あー、へずねべなー。」
(あー、つらいだろうなー。)

【せば】 ⇒へば

49 【ぞうさね】 (ぞさね、【秋】じよさね)

JP: かんたんだ、どうってことない

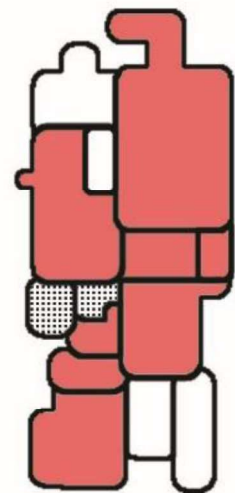
EN: Simple, not much, not a big deal

CN: 简单 ; 没什么问题

KO: 간단하다, 별 거 아니다

PT: Simples, sem complicação

ID: Mudah, Bukan apa-apa



例【会】A「いやー、^{ほんとう}本当にありがとうございました。」
B「いや、こんなのぞうさね。」
(いや、こんなのどうってことないよ。)

50 【たがぐ】 (たながく、【津・秋】 たなぐ)

JP: 持つ、持ちあげる

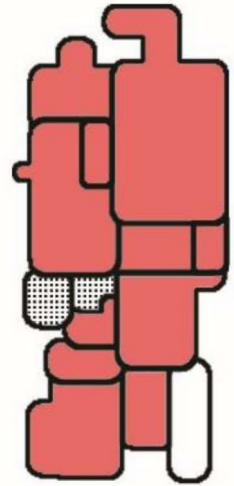
EN: Carry, pick up

CN: 拿着, 拿起

KO: 들다, 들어 올리다

PT: Segurar, levantar

ID: Membawa, membawakan



例【伊】A 「何かお手伝いしましょうか？」
B 「あー、そのいす たがいでける。」
(あー、そのいす持って。)



【だから】 ⇒ んだから

【たごまる】

JP: (服などが) 一か所に寄ってくしゃくしゃになる、から
まる、(糸などが) たるむ

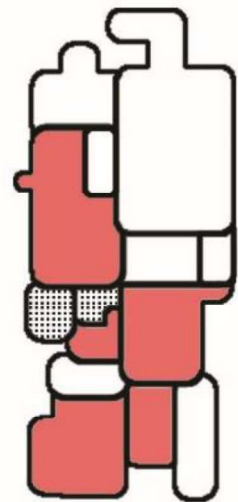
EN: Get baggy, tangled up, slack off, sag

CN: (衣服等) 堆在一起起皱; 缠绕; (线等) 松

KO: (옷 등이) 한곳에 모여 꾸깃꾸깃하다, 얽히다, (실 등이)
접히다

PT: Amarrotar em algum ponto (a roupa, etc.), enroscar-se, afrouxar
(fio, etc.)

ID: (Pakaian dan lain-lain) menjadi kusut pada satu tempat,
membelitkan, (benang dan lain-lain) mengendurkan



【たなぐ】 ⇒ たがぐ

【たれかもの】

JP: なまけ者 (仕事などをしない人)

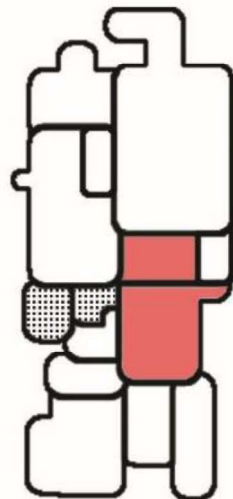
EN: Lazy, slacker

CN: 懒汉 (不工作的人)

KO: 게으름뱅이 (일 등을 하지 않는 사람)

PT: Preguiçoso (pessoa que não trabalha)

ID: Orang yang malas (orang yang tidak melakukan pekerjaan apapun)



51 【たんげ】

JP: すごく、とても

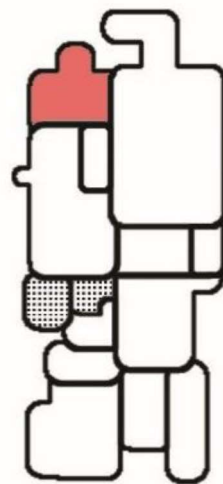
EN: Extremely, very

CN: 非常 ; 很

KO: 아주, 매우

PT: Muito, bastante

ID: Luar biasa, sangat



例【津】A 「このレストランの料理、どう？」

B 「ん、たんげ めな。」

(うん、とてもおいしいね。)

52 【だんだん】

JP: もうすぐ、そろそろ

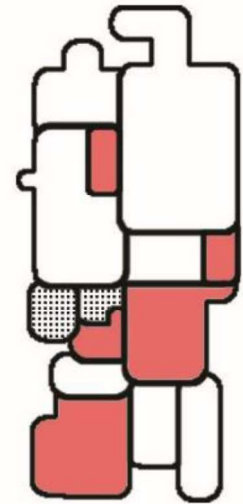
EN: Soon, in a while, before long

CN: 马上 ; 就要

KO: 이내, 곧

PT: Logo, daqui a pouco

ID: Sebentar lagi, segera



例【会】A「(病院^{びょういん}の待合室^{まちあいしつ}で) すみません、あの、^{わたし}私は
もう名前^{なまえ}呼ばれましたか？」
B「いや、だんだん よばれんべ。」
(いや、そろそろ呼ばれるでしょうね。)

【たんぱら】

JP: 短気^{たんき} (すぐ怒^{おこ}る人^{ひと})

EN: Short-tempered

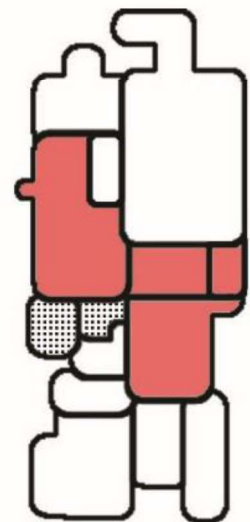
CN: 急性子 (易怒的人)

KO: 급한 성질 (이내 화내는 사람)

PT: Impaciente (fácil de ficar com raiva)

ID: Tidak sabar (Mudah marah)

例【秋】A「あの人^{ひと}またけんかしてましたよ。」
B「たんぱら だからなー。」
(短気^{たんき}だからなー。)



【ちかねー】 ⇒ きかねー

53 【～っちゃ】

JP: 「～れた」 (例: 疲^{れい}れた→つか^{つか}っちゃ、食^くわれた→くわ^くっちゃ)

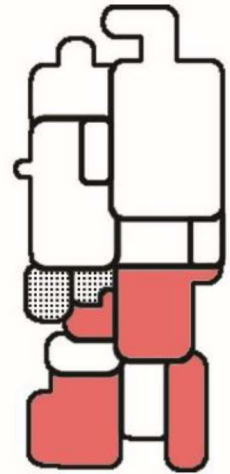
EN: -reta in passive and other verbs (tsukareta → tsukatcha: tired, kuwareta → kuwatcha = eaten)

CN: 「…れた」 (例: つかれた→つか^{つか}っちゃ (累了), くわれた→くわ^くっちゃ (被吃了))

KO: 「～れた」 (つかれた→つか^{つか}っちゃ 지쳐버린, くわれた→くわ^くっちゃ 먹어 버린)

PT: -reta (tsukareta → tsukatcha = cansei; kuwareta → kuwatcha = foi comido)

ID: Pola kata yang menggunakan bentuk (～reta) menjadi (～cha) Contoh : tsukareta → tsukatcha, kuwareta→kuwatcha



例【会】A 「あれ? (持^もっていた) バッグ (がないけど) どうしたの?」

B 「あー、だれ^{だれ}かに も^もってが^もっちゃ。」

(あー、誰^{だれ}かに持^もっていかれたよ (持^もっていかれちゃったよ)。)

54 【ちゃっちゃど】

JP: さっさと、早^{はや}く

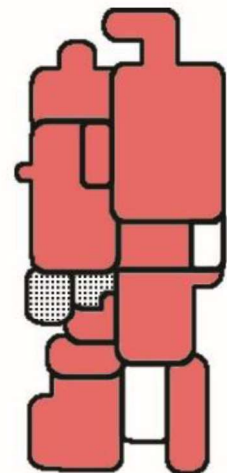
EN: Quickly, hurry up

CN: 加速 ; 快点

KO: 빨랑빨랑, 빨리

PT: Imediatamente, rápido

ID: Gesit (lakukan dengan gesit), cepat



例【伊】A 「これから準^{じゅん}備するからちよっと待^まってて。」

B 「ちゃっちゃど しろ。」

(さっさとして (早^{はや}くして)。)

55 【ちよす】

JP: いじる、さわる

EN: Touch, mess with

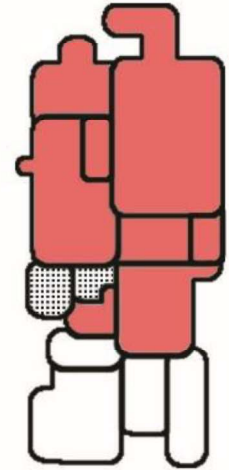
CN: 捣弄 ; 碰触

KO: 주무르다, 만지다

PT: Tocar

ID: Menyentuh, memegang

例【秋】A「このお皿さらたか高そうですね。」
B「あー、ちよすなよ。」
(あー、さわらないでよ。)



56 【つっかけ】

JP: サンドル

EN: Sandals

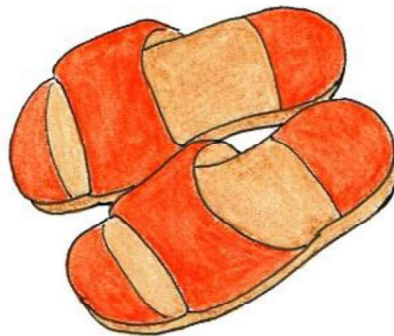
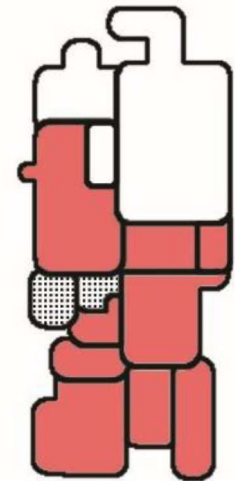
CN: 凉鞋

KO: 샌들

PT: Sandália

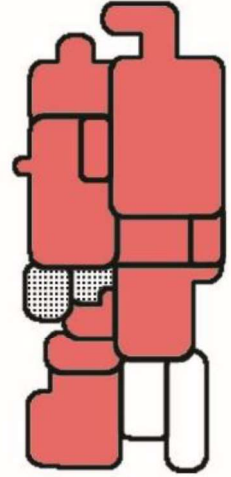
ID: Sandal

例【会】A「ちょっと出でかけてきます。」
B「あー、そのつっかけはいでげ。」
(あー、そのサンダルはいていきな。)



57 【でかす】

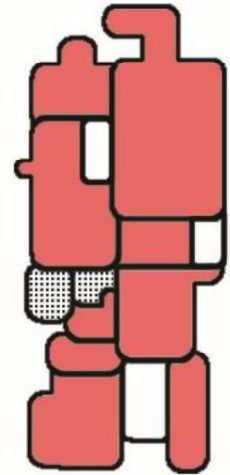
JP: 完成かんせいさせる、終わおらせる
EN: Complete something, finish a job
CN: 完成 ; 完工
KO: 완성시키다, 끝내다
PT: Completar, terminar
ID: Selesaikan



例【伊】A「この仕事しごと、明日あしたまででいいですか？」
B「はやく でかせよ。」
(はやく おわらせてよ。)

【とーみぎ】 (とーきみ、とーぎみ、とーきび、とーみに)

JP: とうもろこし
EN: Corn
CN: 玉米
KO: 옥수수
PT: Milho
ID: Jagung



例【会】A「おなかすいた。」
B「んじゃあ、とーみぎ くうが？」
(じゃあ、とうもろこした食べる?)

58 【どでした】

JP: びっくりした

EN: Surprised

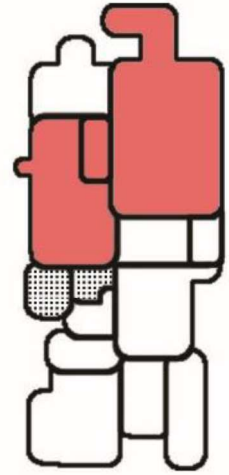
CN: 吃惊

KO: 놀래다

PT: Assustei-me

ID: Kaget

例【秋】A「昨日^{きのう}隣^{となり}のうち^{うち}火事^{かじ}だったんですって？」
B「どでしたやー。」
(びっくりしたよー。)



59 【ながまる】

JP: 横^{よこ}になる、足^{あし}を伸^のばして休^{やす}む

EN: Lay down, stretch ones' legs and relax

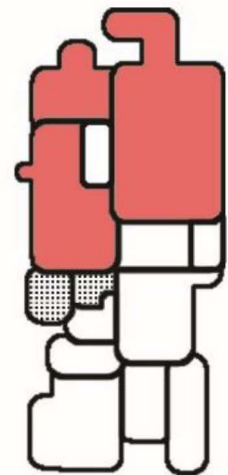
CN: 躺下；伸开脚休息

KO: 눕다, 다리를 뻗고 쉬다

PT: Deitar-se, esticar as pernas e descansar

ID: Membaringkan, istirahatkan dan rentangkan kaki

例【秋】A「あー^{つか}疲^{つか}れたー。」
B「あ、そこさ ながまれ。」
(あ、そこで(足^{あし}を伸^のばして)休^{やす}みな。)



60 【なげる】

JP: 捨てる

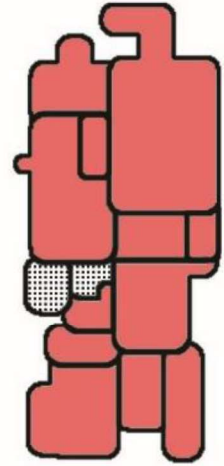
EN: Throw away

CN: 扔 (掉)

KO: 버리다

PT: Jogar fora

ID: Membuang



例【伊】 A 「このお皿壊れちゃいましたね。」
B 「そいつ なげどげ。」
(それ捨てるおいて。)

61 【なにしたの】 (なんしたの、【南】なじよすた)

JP: どうしたの

EN: What happened?

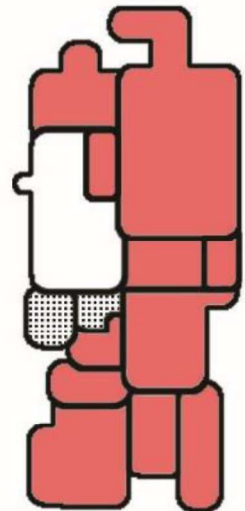
CN: 怎么了

KO: 무슨 일이니

PT: O que houve?

ID: Kenapa?

例【会】 A 「ちょっと手が痛いんですよ。」
B 「なにしたのー?」
(どうしたのー?)



62 【**なんでも**】

JP: どうしても

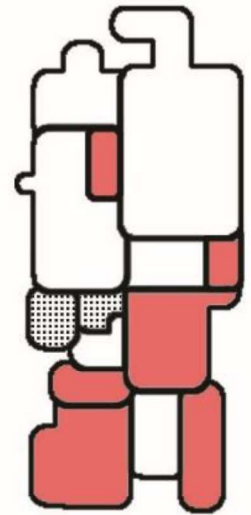
EN: No matter what

CN: 无论如何

KO: 아무리 해도, 무슨 일이 있어도, 어떻게든

PT: De qualquer forma

ID: Bagaimanapun (caranya)



例【会】A「もう夜遅いけど、まだ仕事してるの？」
B「これ あしたまで なんでも やんなんねだ。」
(これ明日までにどうしてもやらないといけないんだよ。)

63 【**なんも**】

JP: どうってことない、気にしないで、どういたしまして(お礼を言われた時の返事)

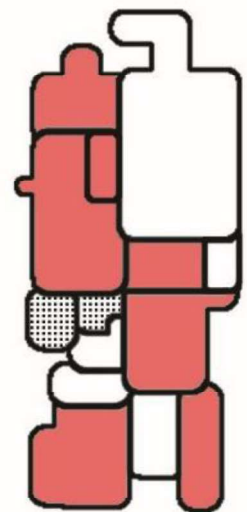
EN: Don't mention it, it was nothing

CN: 没什么问题；不介意；不客气(表达谢意时的回复)

KO: 아무렇지 않다, 신경 쓰지 말아, 천만에요 (인사를 했을 때의 답변)

PT: Não foi nada, não se preocupe, de nada (resposta a um agradecimento)

ID: Bukan apa-apa, jangan dipikirkan, sama-sama (jawaban ketika ada yang mengatakan rasa terima kasih)



例【秋】A「いやーこの間はどうもありがとうございました。」
B「やー、なんも なんも。」
(いやー、どうってことないよ。)

64 【にやにやする】

JP: お腹や胃に違和感がある、お腹や胃の調子が悪い

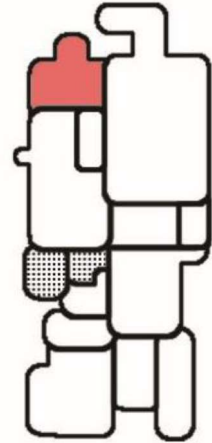
EN: Have an upset stomach, feel funny

CN: 胃肠不舒服；胃肠难受

KO: 배와 위에 위화감 있다, 배와 위 상태가 나쁘다

PT: Sentir algo estranho na barriga ou estômago, sentir-se mal da barriga ou estômago

ID: Ada rasa tidak nyaman pada perut dan lambung, keadaan tidak nyaman pada perut dan lambung



例【津】A 「なんだか体調悪そうだけど、どうしたの？」
 B 「きながら い にやにやして…。」
 (きのうから胃の調子が悪くてね…。)

65 【ねっぱす】

JP: のりやテープでつける

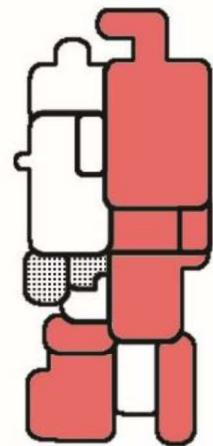
EN: Tape or glue something

CN: 用浆糊或胶带粘住

KO: 풀이나 테이프로 붙이다

PT: Colocar cola ou fita adesiva

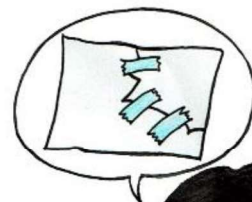
ID: Melekatkan (memakai) dengan lem atau plester (tape)



例【会】A 「これ壊れちゃいましたね。」

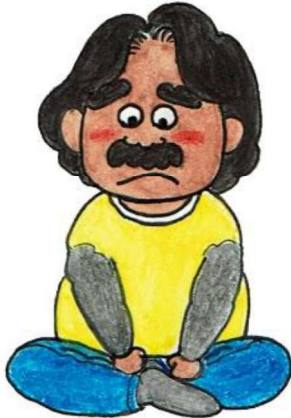
B 「んまーぐ ねっぱしとげ。」

(じょうず (上手に) (のりやテープで) つけておいて。)

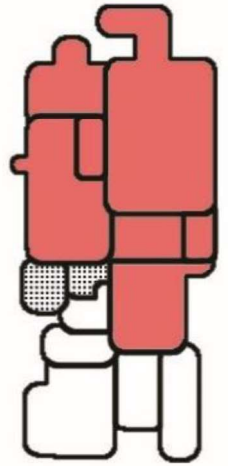


66 【ねまる】

JP: (床や地面に) 座る、休む
 EN: Sit or rest on the floor or ground
 CN: (地板、地面等) 坐; 休息
 KO: (바닥과 지면에) 앉다, 쉬다
 PT: Sentar (no chão), descansar
 ID: (Di lantai dan tanah) duduk, istirahat



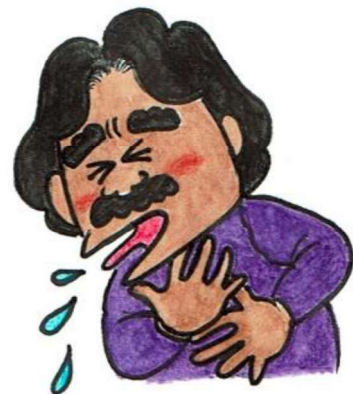
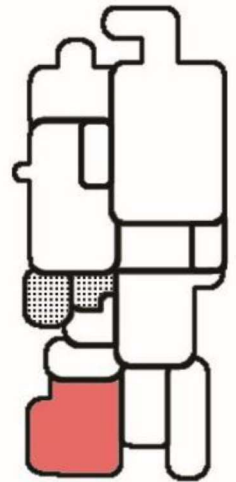
例【秋】A「あ、おじゃまします。」
 B「あ、そこさ まず ねまれ。」
 (あ、そこにまあ座って。)



67 【のぜる】

JP: のどにつまる、吐きそうになる (オエッとなる)
 EN: Choke on something, feel like you are going to throw up
 CN: 卡在嗓子里; 想吐 (恶心)
 KO: 목이 막히다, 토할것 같다 (웁 하다)
 PT: Engasgar, ter vontade de vomitar
 ID: Tersedak di tenggorokan, menjadi ingin muntah (mual)

例【会】A「いやーこのもちおいしいですねー！」
 B「あんまり いそ いで くうど のぜ ちまうぞ。」
 (あんまり急いで食べるとのどにつまっちゃうよ。)



68 【はかいく】

JP: はかどる (順調に進む、仕事などがよく進む)

EN: Get things accomplished

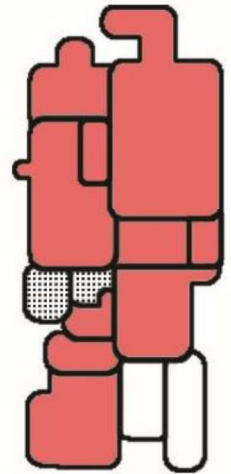
CN: 进展顺利 (进展顺利)

KO: 진척되다 (순조롭게 진행된다)

PT: Progredir satisfatoriamente (avançar bem)

ID: Membuat progres, cepat (Berjalan dengan lancar)

例【伊】A「あれ、きょうかえ はや 帰りが早いですね。」
 B「いやー、しごと はかいってやー。」
 (いやー、しごと はかどってね。)



69 【はかはか】

JP: ときどき、はらはら、心臓が早く動く感じ

EN: Nervous, scared

CN: 忐忑不安; 紧张

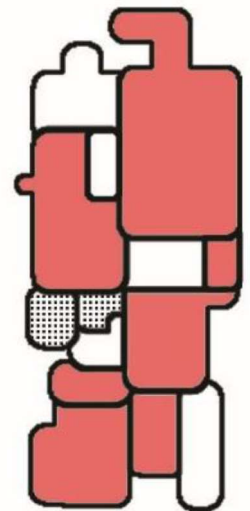
KO: 두근 두근, 조마조마

PT: Ficar com o coração acelerado

ID: Jantung berdetak kencang, Gugup (Deg-degan), gugup (ada rasa cemas)



例【秋】A「みて、あんなたかいところにひとがたってるよ！」
 B「うわー、はかはかでやー！」
 (うわー、はらはらするー！)



【はなだんぼ】

JP: ^{はな}鼻にティッシュをつめること

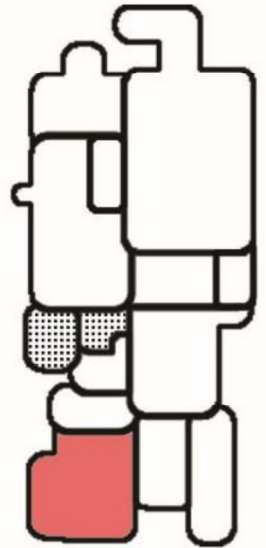
EN: Stick a tissue into your nostril

CN: 用纸堵住鼻子

KO: 코에 휴지를 끼우기

PT: Limpar o nariz com um lenço

ID: Memasukan tisu ke hidung



例【会】A「^{はなぢ}鼻血が出ちゃったよ。」
B「あー はなだんぼ しとげ。」
(あー^{はな}鼻にティッシュをつめておきな。)



70 【ばんげ】

JP: ^{ばん}晩、^{よる}夜

EN: Night, evening

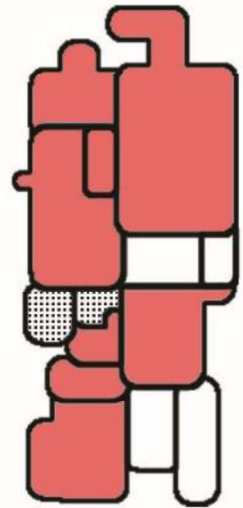
CN: 夜晚

KO: 저녁, 밤

PT: Noite

ID: Malam

例【秋】A「^{こんど}今度^{いっしょ}一緒に、^{ごはん}ごはん^た食べましょうよ。」
B「あー、あしたのばんげ なんとだ？」
(あー、^{あした}明日^{ばん}の晩はどう?)



71 【～はんで】 (【南】～はで)

JP: ～(だ) から

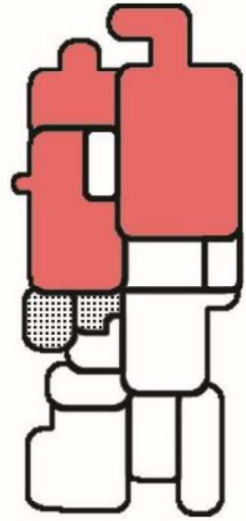
EN: Because, so

CN: 因为...

KO: ~(다)때문에, ~(다)으니까

PT: Portanto

ID: Karena ~



例【津】A「これから^か買^{もの}物に行ってくるけど、^{なに}何かほしいものある？」
B「そろそろ さどー なくなってきたはんで、 さどー かってきてけ。」
(そろそろ^{さとう}砂糖がなくなってきたから、^{さとう}砂糖^かを買ってきて。)

72 【ひとめわり】

JP: みっともない (人^{ひと}が見^みたくないと思^{おも}う様^{ようす}子、かっこわるい)、はずかしい

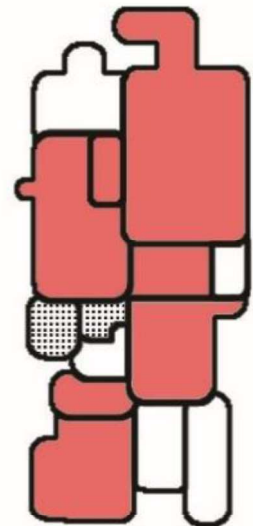
EN: Ugly, displeasing to the eye, embarrassing

CN: 难看 (不想让人看到的樣子、不好看) ; 难为情

KO: 꼴사나운 (사람이 보기 싫다고 생각하는 모습, 보기 나쁘다), 부끄럽다

PT: Vergonhoso (algo que ninguém quer ver, feio)

ID: Tidak pantas (Keadaan dimana berpikir orang-orang tidak mau melihatnya, tidak keren (jelek)), Malu



例【会】A「^み見て、この^{ふく}服かっこいいでしょう？」
B「なんだ それ、ひとめわりーなー。」
(なんだそれ、かっこわるいなー。)

73 【ひまだれ】 (ひまだれかける、ひまだれする)

JP: 時間がかかること、時間をつぶすこと、時間の無駄

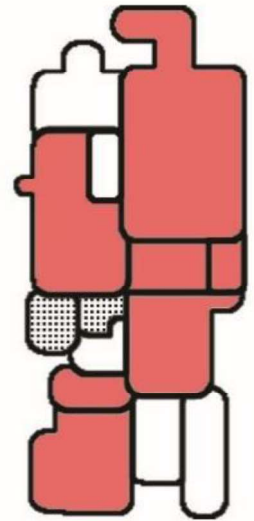
EN: Takes time, killing time, a waste of time

CN: 花费时间的事情；打发时间；浪费的时间

KO: 시간이 걸리는 것, 시간을 보내는 것, 시간 낭비

PT: Demorar, passar o tempo, desperdício de tempo

ID: Menghabiskan waktu, menghabiskan waktu, menyia-nyiakan waktu



例【伊】A「昨日ずーっと待ってたのに、^{ともだち}友達が来なかったんだよ。」
 B「そいづは ひまだれだったねー。」
 (それは^{じかん}時間の^{むだ}無駄だったねー。)

74 【ひゃっこい】

(ひゃっけ、ひやけあ、しゃっこい、しゃっけ、しゃけあ)

JP: (水などが) ^{つめ}冷たい

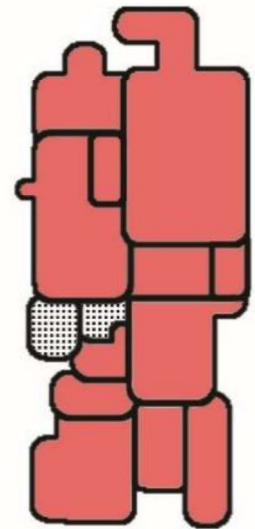
EN: Cold (water, etc., not for weather)

CN: (水等) 冷、凉

KO: (물 등) 차다, 차갑다

PT: Não ser firme, fácil de quebrar, imprudent

ID: (Air dan lainnya) dingin



例【会】A「お^{みず}水どうぞ。」
 B「うわー、しゃっけなこれ。」
 (うわー、^{つめ}冷たいなこれ。)

75 【～びよん】 (【南】～べおん、【南】～べお)

JP: ～だろうね

EN: Probably

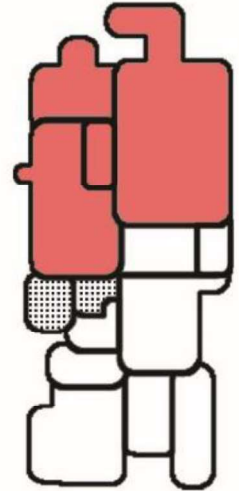
CN: 大概...吧

KO: ~것일거야, ~겠지

PT: Talvez

ID: Mungkin~

例【津】A「今夜はとても寒いね。」
B「あす ゆぎ ぶるびよん。」
(明日は雪が降るだろうね。)



76 【ぶすくれる】 (ぶじくれる)

JP: すねる、いじける、ふてくされる (いやな気持ちがあつて相手のいうことを聞かない)

EN: Sulk, pout

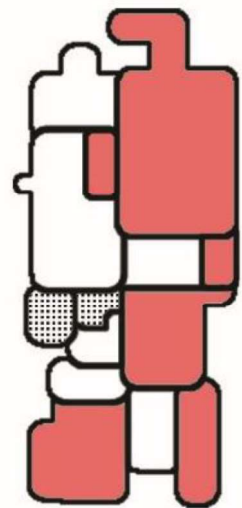
CN: 撒泼; 乖僻; 闹情绪 (厌烦而不听对方所说)

KO: 삐치다, 주눅 들다, 삐진다 (싫은 기분이 들어 상대의 말을 듣지 않음)

PT: Ficar de mau humor, acanhar-se (sentir-se incomodado e não escutar o que o outro diz)

ID: Merajuk (Marah), Melawan, Menjadi marah (tidak bertanggung jawab) (ada perasaan kesal atau tidak enak dengan lawan bicara, sehingga tidak mau mendengarkan perkataan apapun dari lawan bicaranya)

例【会】A「たろう、ちょっとこっち きてみ。」
B「ふん! 知らないよ!」
A「なに ぶすぐっちゃんだー。」
(なんですねてるの。)



【ぺっこ】 (ぺあっこ)

JP: 少し (副詞)

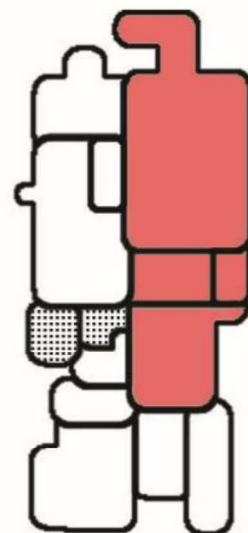
EN: A little bit

CN: 有点 (副词)

KO: 조금 (부사)

PT: Pouco (advérbio)

ID: Sedikit (Kata keterangan)



【～べおん、～べお】 ⇒～びよん

【へずね】 ⇒せつね

77 【へば】 (【南】せば、【伊】んだば)

JP: では、じゃあね (別れのあいさつ)

EN: See you later

CN: 再见 (分别时的寒暄语)

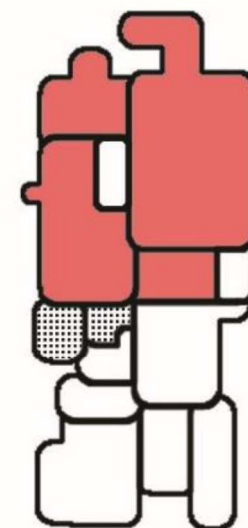
KO: 그럼 그럼 (작별 인사)

PT: Tchau

ID: Sampai jumpa lagi (ucapan ketika berpisah)

例【秋】A「今日はどうもありがとうございました。」

B「へば まんずな。」
(じゃあまたね。)



78 【ほろぐ】 (ほろく、ほるぐ、ほろう)

JP: ^{はら}払い^お落とす、【仙・会・中】(^{さいふ}財布などを)^お落としてなくす

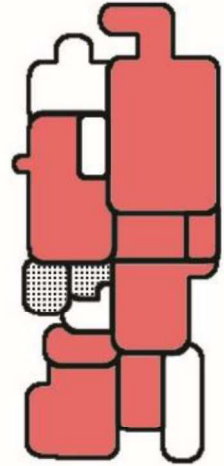
EN: Brush something away, 【仙・会・中】 drop/lose something

CN: 掸落; 【仙・会・中】(钱包等) 丢失

KO: 떨어내다, 【仙・会・中】(지갑 등을) 떨어뜨려 잃다

PT: Espanar, 【仙・会・中】 Derrubar (a carteira, etc.) e perder

ID: Membersihkan (menyikat) 【仙・会・中】(Dompet dan lainnya) menjatuhkan dan hilang



例【会】A「どうしたんですか？」

B「なんか ^{さいふ}さいふ ^おどっかに ほろったみでだな。」

(^{さいふ}なんだか財布をどこかに^お落としてなくしちゃったみたいだな。)

79 【ほろだぐ】

JP: ^{はら}払い^お落とす

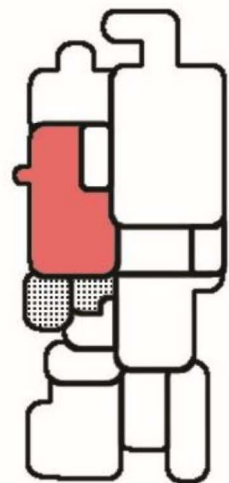
EN: Brush off

CN: 掸落

KO: 떨어내다

PT: Espanar

ID: Membersihkan (menyikat)



例【秋】A「ただいま。^{そと}外、^{ゆき}雪すごかったよ。」

B「まず ^{ゆき}ゆき ほろだげ。」

(^{ゆき}とりあえず雪を^{はら}払い^おとしなさい。)

80 【まぜる】

JP: ^{なかま} ^い 仲間に入れる

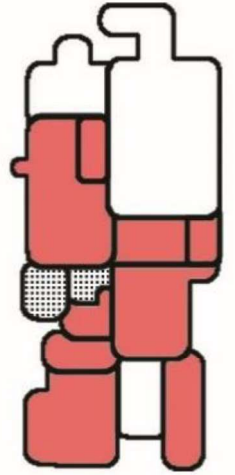
EN: Let someone into a group (as with playing children)

CN: 入伙

KO: 한 패에 넣다

PT: Incluir alguém no seu grupo

ID: Dijadikan teman (Diajak bergabung)



例【会】A「これからみんなで飲^のみに行こう。」

B「(話し^{はな}相手^{あいて}とは別^{べつ}の人^{ひと}が) あー おれも まぜでくろー。」

(あー俺^{おれ}も仲間^{なかま}に入れてよー。)



81 【までーに】 (【南・仙】までに、【鹿】までっこに)

JP: ていねいに

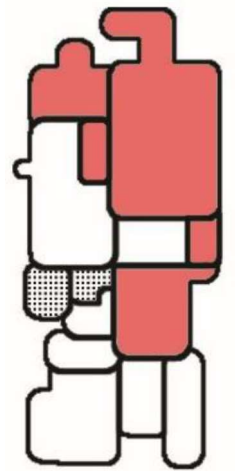
EN: Thoroughly, properly, completely

CN: 好好(地)

KO: 정중히, 정성스럽게

PT: Cuidadosamente, delicadamente

ID: Dengan benar



例【津】A「食器^{しょっき}洗^{あら}い終わ^おったよ。」

B「ん、まだ よごれちゅーなあ。 までーに あられ。」

(ん、まだ汚^{よご}れているなあ。ていねいに^{あら}洗^{あら}ってよ。)

82 【まね】

JP: だめだ、いけない、(～しないと) いけない

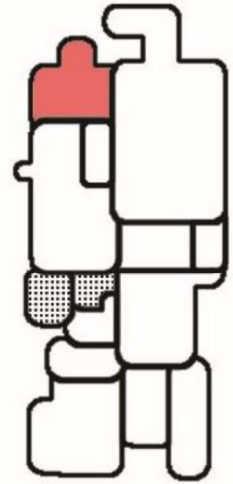
EN: Not good, must, have to do something

CN: 不可以; 不行; (不做) 不行

KO: 안 된다, 안 된다, (~ 하지 않으면)안 된다

PT: Não poder, ter que fazer

ID: Tidak boleh, Tidak bisa, harus



例【津】A 「あれ、どこか^で出かけるの？」

B 「んにゃー、こいから びょーいんさ いがねばまねんだね。」

(いやー、これから^{びょういん}病院^いに行かないといけないんだよ。)

【みぐせ】 ⇒ めぐせ

83 【みったぐね】 (みたぐね、みたぐねあ)

JP: みっともない(人^{ひと}が^み見^{おも}たくないと^{ようす}思う様子、かっこわるい)、
にくたらしい(≒腹^{はら}立^たたいしい、頭^{あたま}に^く来る、ムカムカする)

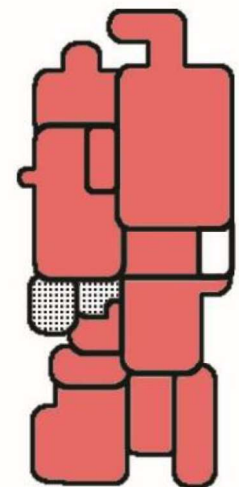
EN: A pitiful sight, unattractive, making one angry

CN: 难看(不想让人看到的樣子、不好看); 令人讨厌(≒惹人^惹人生^生气; 发怒; 生气)

KO: 꼴사나운 (사람이 보기 싫다고 생각 모습, 보기 나쁘다), 밉살스럽다 (≒ 분노, 화가 나다, 메스꺼린다)

PT: Vergonhoso (algo que ninguém quer ver, feio), odioso (≒ algo que dá raiva, que deixa irritado)

ID: Tidak pantas (Keadaan dimana berpikir orang-orang tidak mau melihatnya, tidak keren (jelek), Menyebalkan (≒ Marah (kecewa), Marah)



例【伊】A 「ちょっと出^でかけてきます。」

B 「そんな みったぐねー かっこ すんな。」

(そんなみっともない^{かっこう}格好^{かっこう}しないで。)

84 【むつける】 (むずける)

JP: すねる、いじける、ふてくされる (いやな^{きもち}気持ちがあつて^{あいて}相手のいうことを^き聞かない)

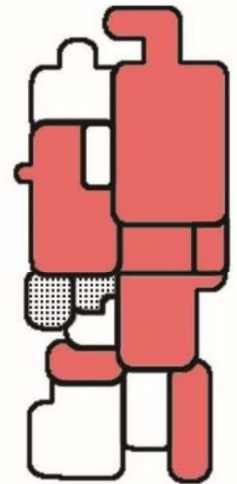
EN: Grumpy, in a bad mood

CN: 撒泼; 乖僻; 闹情绪 (厌烦而不听对方所说)

KO: 빼치다, 주눅 들다, 빠진다 (싫은 기분이 들어 상대의 말을 듣지 않음)

PT: Ficar de mau humor, acanhar-se (sentir-se incomodado e não escutar o que o outro diz)

ID: Merajuk (Marah), Melawan, Menjadi marah (tidak bertanggung jawab) (ada perasaan kesal atau tidak enak dengan lawan bicara, sehingga tidak mau mendengarkan perkataan apapun dari lawan bicaranya)



例【秋】A「えー、この^{まえやくそく}前約束したのに、^{あした}明日だめなの?!」
B「そう むつけるな まず。」
(そうすねないでよ、まあまあ。)

85 【むったり】

JP: 一心に (ずっと^{ひと}一つのことをして、^{しゅうちゅう}集中^{ようす}している様子)

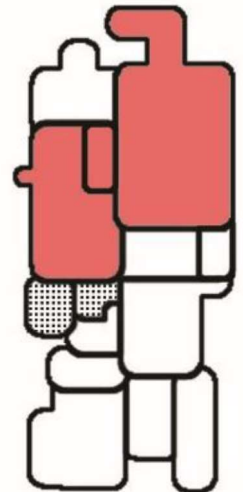
EN: Concentrate on one thing

CN: 专心 (集中做某事的样子)

KO: 일심 (한가지 일에 오로지 집중하고 있는 모습)

PT: Devotadamente (ficar totalmente concentrado em um coisa)

ID: Dari hati (keadaan dimana sungguh-sungguh (fokus) berkonsentrasi pada sesuatu hal)



例【秋】A「あの^{ひとほんよ}人本読んでますね。」
B「ああ、さっきから むったり ほん よんでるな。」
(ああ、さっきからずっと^{しゅうちゅう}集中して^{ほん}本を^よ読んでるね。)

【め】 ⇒ んめ

86 【めぐせ】 (みぐせ)

JP: みっともない、はずかしい

EN: Shameful, disgraceful

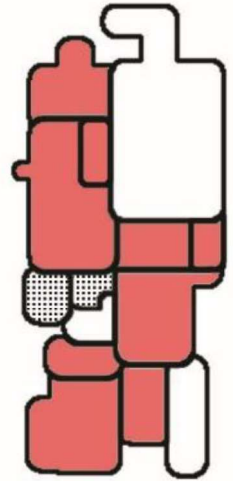
CN: 难看 ; 难为情

KO: 보기 흉하다, 부끄럽다

PT: Vergonhoso

ID: Tidak pantas, Malu

例【伊】A「あのおじいさん、いつもパンツで^{ある}歩いてるよ。」
B「めぐせーよなー。」
(みっともないよなー。)



87 【めんこい】 (【秋】めんけ、【津・会】めごい、【会】めげー)

JP: かわいい

EN: Cute

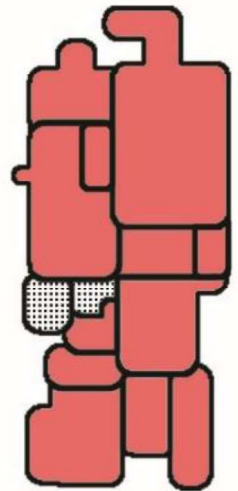
CN: 可爱

KO: 귀엽다

PT: Bonitinho

ID: Lucu

例【伊】A「これが^{わたし}私^この子ども^{しゃしん}の写眞です。」
B「あー、めんこいねー！」
(あー、かわいいねー！)



【やっこい】 (やっけ、やけあ)

JP: やわらかい

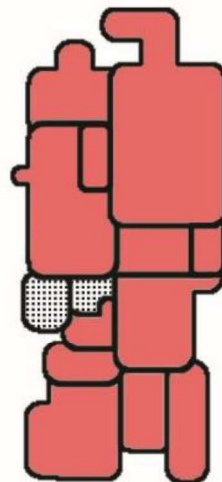
EN: Tender, soft

CN: 柔软、软

KO: 부드럽다

PT: Mole

ID: Lembut



例 ⇒ 「んめ」の例文^{れいぶん}

88 【やっちゃかね】 (【秋】 やっちゃげね)

JP: 役に立たない^{やく た}

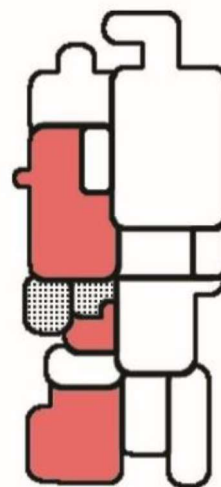
EN: Useless

CN: 不起作用

KO: 쓸모 없다

PT: Ser inútil

ID: Tidak berguna



例【会】A「この携帯^{けいたい}、買ったばかりなのに、すぐ壊れちゃったよ。」

B「そら やっちゃかねな。」

(それは役立たずだな。)

89 【やばつい】 (やばち)

JP: 湿^{しめ}って気持^{きも}ちが悪^{わる}い、【秋】手^てなどが汚^{よご}れる、【南】よろしくない、まずい

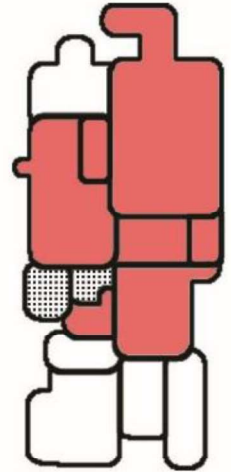
EN: Damp and uncomfortable, 【秋】 have dirty/sticky hands, 【南】 be no good

CN: 湿湿的不舒服；【秋】 手脏；【南】 不好；不顺利

KO: 습하고 기분이 나쁜, 【秋】 손 등이 얼룩이 생기다, 【南】 좋지 않다, 잘못되다

PT: Sentir-se incomodado com a umidade, 【秋】 sujar a mão, etc., 【南】 não ser bom, ser ruim

ID: Karena basah jadi tidak enak (perasaan, kondisi badan), 【秋】 Tangan dan lainnya menjadi kotor, 【南】 Tidak baik, Tidak enak



例【秋】A「(食^たべものを食^たべていて) あ、て やばつく なった。」
 (あ、手^てが汚^{よご}れちゃった。)
 B「あ、ティッシュをどうぞ。」

90 【やむ】 (やめる)

JP: 病^{びょうき}気になる、痛^{いた}む、具^ぐ合^{あい}が悪^{わる}くなる

EN: Sick, ill, under the weather

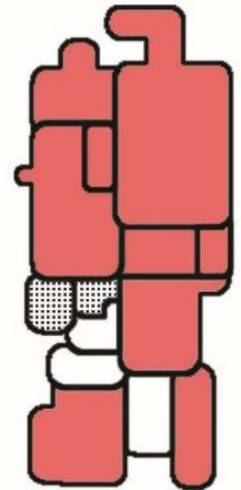
CN: 生病；难受；不舒服

KO: 병이 나다, 쓰시다, 아팠다

PT: Ficar doente, sentir-se mal

ID: Menjad sakit, sakit, Kondisi badan tidak baik

例【秋】A「最^{さい}近^{きん}あのおばあさん見^みないですね。」
 B「やんでらんでねーかー?」
 (病^{びょうき}気になっているんじゃない?)



91 【やんだおら】 (やんたおら、おらやんだ)

JP: 嫌だ (【会】では女性じょせいが使うつかことが多いおお)

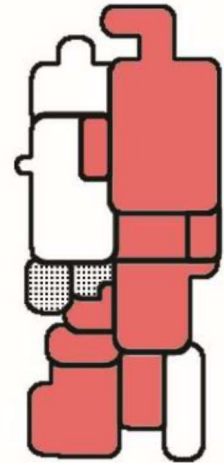
EN: No way! (displeasing) (【会】 used mostly by women)

CN: 讨厌 (在【会】女性使用的多)

KO: 싫다 (【会】에서는 여성이 사용하는 경우가 많다)

PT: Não (em 【会】 é usado muito por mulheres)

ID: Tidak mau (【会】 Kata ini banyak digunakan oleh wanita)



例【伊】A 「ちょっとおかね貸かしてくれませんかね？」

B 「おらやんだ。」
(いやだよ。)



92 【～ら】

JP: ～ (て) いる、～ (て) いた

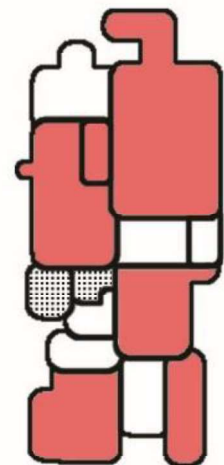
EN: -ing

CN: 在..., ...着

KO: ~있는, ~있었다

PT: Está, estava (usado com gerúndio)

ID: Sedang~, Sudah~



例【秋】A 「ちょっと外そと行きませんか？」

B 「あめ ぶってらやー？」
(あめがふっているよ?)

【わずか】 ⇒ わんつか

【わらすっこ】

JP: 子^こども

EN: Child

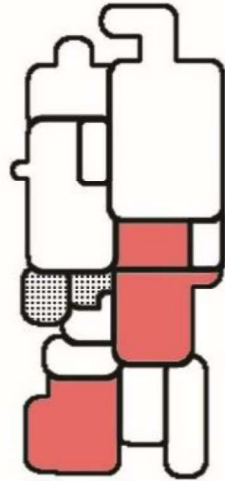
CN: 孩子

KO: 아이

PT: Criança

ID: Anak

例【伊】A「これ、うちの^{かぞく}家族の^{しゃしん}写真です。」
B「あーりゃ、かわいい わらすっこだごど。」
(あーら、かわいい子^こどもだなー。)



93 【わらはんど】 (【南】わらしゃんだ)

JP: 子^こどもたち

EN: Children (plural)

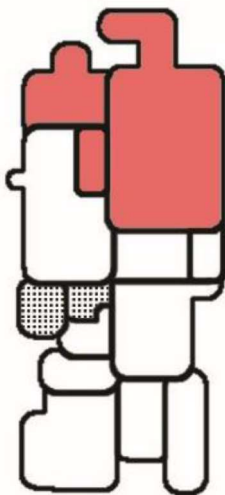
CN: 孩子们

KO: 아이들

PT: Crianças

ID: Anak-anak

例【津】A「これが^{わたし}私の^{かぞく}家族の^{しゃしん}写真です。」
B「めごい わらはんどだな。」
(かわいい子^こどもたちだね。)



94 【わらわら】

JP: ^{いそ}急いで、^{はや}早く

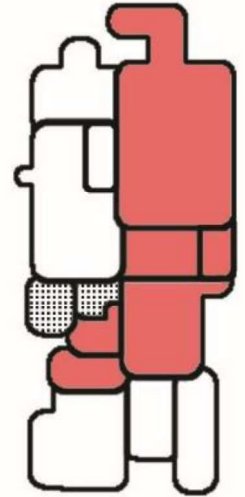
EN: Hurry, quickly

CN: 着急 ; 快点

KO: 서둘러, 빨리

PT: Com pressa, rápido

ID: Terburu-buru, Cepat



例【伊】A「すみません、もうちょっと^ま待ってくれますか？」
B「までね、わらわらど やれ。」
(^ま待てない、^{いそ}急いでやりなさい。)

95 【わんつか】 (【秋】わずか)

JP: ^{すこ}少し、^{ふくし}ちょっと (副詞)

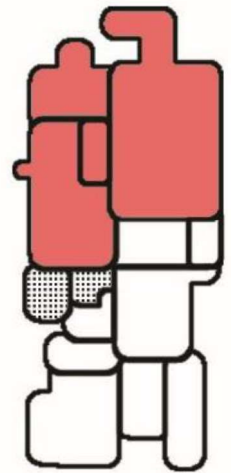
EN: A little bit

CN: 有点 ; 稍微 (副词)

KO: 조금, 잠시(부사)

PT: Pouco (advérbio)

ID: Sedikit, Sebentar (Kata Keterangan)



例【秋】A「あの、^{しゃしんと}写真撮ってませんか？」
B「わずか みぎさ よってけれ。」
(^{すこ}少し ^{みぎ}右に ^よ寄ってください。)

96 【んだ】

JP: はい、うん、そうだ

EN: Yes, that's right

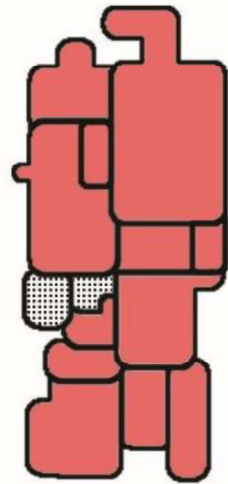
CN: 是的；嗯；这样啊

KO: 네, 응, 그래

PT: Sim

ID: Iya

例【会】A「あ、^{さいとう}齋藤さんですか？」
 B「んだ。」
 (はい。)



97 【んだから】 (だから)

JP: そうだよ、そうでしょう (^{どうい}同意) (*^{げんいん}原因・^{りゆう}理由を
^{あらわ}表す「~だから」「だから~」ではない)

EN: Yes, I agree

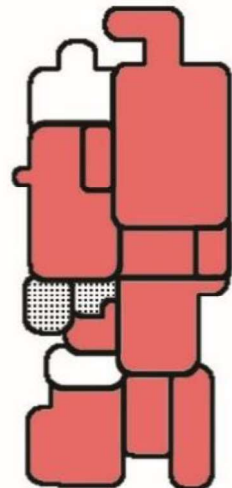
CN: 是这样；这样啊 (同意) (*不是表示原因理由)

KO: 그래, 그렇죠 (동의) (*원인·이유를 나타내는
 것은 아니다)

PT: Isso (concordando), exatamente (*não significa que
 expressa um motivo ou razão)

ID: Iya, iya seperti itu (Pendapat yang sama) (Tanpa
 menyebutkan penyebab dan alasan)

例【秋】A「あの^{ひと}人とってもいい^{ひと}人だね。」
 B「んだがらー。」
 (そうでしょう。)



【んだば】 ⇒へば

98 【んにゃ】 (【南】 んでねあ)

JP: いや

EN: No

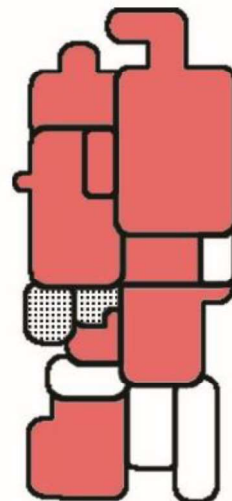
CN: 不

KO: 아니

PT: Não

ID: Tidak

例【津】A「山田さんですか？」
B「んにゃ、あべだ。」
(いや、阿部です。)



99 【んめ】 (【南】 んめあ、【津】 め)

JP: おいしい

EN: Delicious

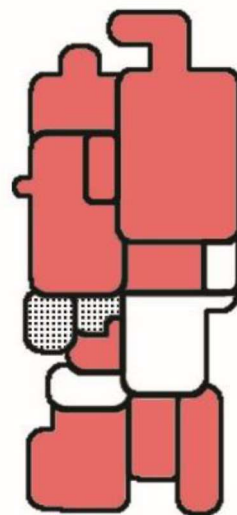
CN: 好吃

KO: 맛있다

PT: Gostoso

ID: Enak

例【秋】A「このお肉にくどうですか？」
B「あ、やっけて んめごと。」
(あ、やわらかくておいしいなー。)



とうほくちほう がいこくじんじゅうみん
東北地方の外国人住民のための
ほうげんしゅう
くらしの方言集

初 版：2017年2月

第4版：2017年10月

発行者：斎藤敬太

Email: saito.keita.socioling@gmail.com

URL: <http://saitokeita.web.fc2.com>

調査協力：公益財団法人 秋田県国際交流協会
金ヶ崎町国際交流協会
会津若松市国際交流協会

東北地方出身者・在住者のみなさま
東北地方の外国人住民のみなさま

例文作成・録音協力：【津軽方言】阿部貴人
【秋田方言】小林英眞
【伊達方言】境明宏
【会津方言】齋藤眞栄

翻訳協力：【英語】ダニエル・ロング (Daniel Long)
【中国語】張 銳 (张锐)
【韓国語】李 舜 炯 (이순형)
【ポルトガル語】ワヂソン・メロ (Wadison Melo)
【インドネシア語】ウラン・アリエス (Wulan Aries)

イラスト：斎藤えつこ

印刷・製本：プリントネット株式会社

この冊子は公益財団法人日本科学協会による平成28年度笹川科学研究助成を受けて作成されたものです。

This booklet was produced with a Sasakawa Scientific Research Grant in 2016 from the Japan Science Society.

本方言集由公益財団法人日本科学協会平成28年(2016年)笹川科学研究助成金資助完成。

이 책자는 공익 재단법인 일본과학협회의 2016년도 사사카와(笹川) 과학연구조성의 지원을 받아 작성된 것입니다.

Este livreto foi produzido com o Apoio à Pesquisa Científica Sasakawa do ano fiscal de 2016 da Associação Científica do Japão.

Buku ini dibuat oleh The Japan Science Society atas bantuan hibah Sasakawa Research Grant pada tahun 2016.



資料 17 『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』 付属 CD トラックリスト

No.	方言	スクリプト&標準語訳	
1	あさぐ	A:	(道路(どうろ)で)すみません、この近(ちか)くにコンビニはありますか？
		B:	このみちば まっすぐ あさいだら あるや。(この道(みち)をまっすぐ歩(ある)くとあるよ。)
2	あじやらだ(あじやらになる)	A:	あの先生(せんせい)の教(おし)え方(かた)、どうですか？
		B:	あじやらだな。(いいかげんだな。)
3	あずましー	A:	昨日(きのう)温泉(おんせん)に行(い)ったみたいだけど、どうだった？
		B:	ああ、あずましたなー。(ああ、気持(きも)ちよかったよー。)
4	あめる	A:	おかず食(た)べますか？
		B:	おやおや… これ あめでらや。(おやおや…これ悪(わる)くなってるよ。)
5	あるって	A:	すみません、駅(えき)まで行(い)きたいんですけど…。
		B:	このみち まっすぐ あるってぐど、そのうちつぐがら。(この道(みち)をまっすぐ歩(ある)いていくと、そのうち着(つ)くよ。)
6	あんべわり	A:	あ、どうしたんですか？
		B:	あんべわりー。(具合(ぐあい)が悪(わる)いなー。)
7	いずい(えずい、えんつこい、えんつけあ、えんず)	A:	その靴(くつ)かっこいいですね。
		B:	でも いずいんだ。(でもなんかしっくりこない(違和感(いわかん)がある)んだよ。)
8	いだまし(いだます)	A:	もうこれ、いらぬから捨(す)てましよう。
		B:	いだましー。(もったいないなー。)
9	うすらかすらする(うらからする)	A:	あぶねがら うすらかすらすしてんはず。(危(あぶ)ないから(そこを)うろろうしてるんじゃないよ。)
		B:	あ、ごめんなさい。

No.	方言	スクリプト&標準語訳	
10	うだで	A:	さっきあそこに虫(むし)がいっぱいいましたね。
		B:	あー、んだ、うだでがったなー。(あー、そうだね、気持ちもち悪(わる)かったね。)
11	うつつあし(うっちゃし)	A:	ねえねえ、ねえ、ちょっと話(はなし)聞(き)いてよ。
		B:	うつつあしな、おめ あっちゃ いてろ。(うるさいな、お前(まえ)あっちに行(い)ってろ。)
12	うるかす(うるがす)	A:	一緒(いっしょ)にごはん作(つく)りましょう。
		B:	んでばー、こめ うるがしとくから。(じゃあ、米(こめ)を水(みず)につけておくから。)
13	～える	A:	ねえ、市役所(しやくしょ)から手紙(てがみ)が来(き)たけど、なんて書(か)いてあるの？
		B:	うーん、へや くらくて よまえねな。(うーん、部屋(へや)が暗(くら)くて読(よ)めないな。)
14	おがる	A:	おじさん、お久(ひさ)しぶりです。
		B:	あれ おめ、おがったねやー。(おやお前(まえ)、大(おお)きくなったなー。)
15	おしよし(おしよし、おしよし)	A:	境(さかい)さん(話(はなし)相手(あいて)の名前(なまえ))、この前(まえ)、駅前(えきまえ)で激(はげ)しく転(ころ)んでましたね。
		B:	あいづ おしよすかったやー。(あれははずかしかったよー。)
16	おだつ	A:	この前(まえ)、高(たか)いお皿(さら)を割(わ)っちゃいましてねー。
		B:	おだづがらだ。(調子(ちょうし)に乗(の)るからだぞ。)
17	おたった	A:	昨日(きのう)はマラソン大会(たいかい)に参加(さんか)したんだってね。
		B:	いやー、おだったや。(いやー、疲(つか)れたよ。)
18	おちる(おじる、おずる)	A:	(バスの中(なか)で)すみません、図書館(としょかん)に行(い)きたいんですけど…。
		B:	あー、つぎで おちっと いいわい。(あー、次(つぎ)で降(お)りるといいよ。)

No.	方言	スクリプト&標準語訳	
19	おどげでね	A:	今度(こんど)、このプロジェクトをやろうと思(おも)うんですよ。
		B:	おどげでねーやー。(大変(たいへん)だぞ。)
20	おばんです	A:	あ、小林(こばやし)さん。
		B:	おばんです。(こんばんは。)
21	おんずくなし(おんじくなし)	A:	いやー、昨日(きのう)、寝坊(ねぼう)しちゃって、入学試験(にゅうがくしけん)受(う)けられなかったよ。
		B:	おんずくなしー。(ばかだなー。)
22	がおった	A:	昨日(きのう)山登(やまのぼり)したんですってね？
		B:	いやー、がおった がおった。(いやー、疲(つか)かれた疲(つか)れた。)
23	かずける	A:	あの子(こ)、さっきからずっと泣(な)いてるよ。
		B:	ああ、かずけでもんなー。(ああ、すねてるもんなー。)
24	かせる(1)	A:	ちょっと首(くび)のまわりがかゆいんですよー。
		B:	ああ、かずけでもんなー。(あー、なんかにかぶれたみたいだな。)
25	かせる(2)(かへる)	A:	このごはん誰(だれ)の？
		B:	こどもに かせんのしゃ。(子(こ)どもに食(た)べさせるんだよ。)
26	かちやくちやね	A:	どう？仕事(しごと)は進(すす)んでる？
		B:	あー、まねや。かちやくちやね！(あー、全然(ぜんぜん)だめだよ。イライラするー！)
27	かちやペね	A:	太郎(たろう)って、体(からだ)が大(おお)きくて丈夫(じょうぶ)そうだよな？
		B:	んにや、かちやペね やつだよ。(いや、弱々(よわよわ)しいやつだよ。)
28	がな	A:	これ食(た)べていいですか？
		B:	あ、これ おれがな。(あ、これは私(わたし)の。)

No.	方言	スクリプト&標準語訳	
29	～がね？(～がねか？)	A:	あ、すみません、ちょっと話(はなし)があるんですけど大丈夫(だいじょうぶ)ですか？
		B:	あ、へば おらえさ よってがねか？(あ、じゃあ私(わたし)の家(いえ)に寄(よ)っていかない？)
30	かばねやむ	A:	この仕事(しごと)、全然(ぜんぜん)終(お)わりませんね。
		B:	あいづ かばねやんで さっぱり すすまねんだ。(あいつなまけて(=サボって)全然(ぜんぜん)進(すす)まないんだ。)
31	かめっこする(かめこする)	A:	あーこの赤(あか)ちゃん、全然(ぜんぜん)笑(わら)ってくれない。
		B:	あー それ かめっこしてんだよ。(あーその子(こ)は人見知(ひとみし)りしてるんだよ。)
32	かんじる(かんずる)	A:	おはようございます。
		B:	あー きょう かんじるなー。(あー今日(きょう)はとても寒(さむ)いねー。)
33	きかねー(きかない、きかねあ、ちかねー)	A:	あの女(おんな)の子(こ)、また男(おとこ)の子(こ)とけんかしてるよー。
		B:	きかねがらなー。(気(き)が強(つよ)いからなー。)
34	きどころね(きどこね)	A:	昨日(きのう)ものすごく酔(よ)っぱらってましたけど、あのあと大丈夫(だいじょうぶ)でしたか？
		B:	あさ おぎだら、きどころねした。(朝(あさ)起(お)きたら、服(ふく)を着(き)たまま寝(ね)てた。(家(いえ)に帰(かえ)ったら、着替(きが)えないで外(そと)で着(き)た服(ふく)のままで寝(ね)てしまった))
35	きゃっぱりをとる(きゃっぱりする、かわっぺありする、かつぱをとる)	A:	あれ、足(あし)ぬれてますね。
		B:	いやー、あそこで きゃっぱりとってやー。(いやー、あそこで水(みず)たまりをふんで靴(くつ)に水(みず)が入(はい)っちゃってさー。)

No.	方言	スクリプト&標準語訳	
36	け(けー)	A1:	おなかすいた。
		B1:	まんま け。(ごはん食(た)べなさい。)
		A2:	呼(よ)びましたか？
		B2:	あー、こっちや け、こっちや け。(あー、こっちおいで、こっちおいで。)
37	けっぱる	A:	明日(あした)は大事(だいじ)な試験(しけん)があるんだよ。
		B:	けっぱれ！(頑張(がんば)れ！)
38	けやぐ	A:	へー、これが子(こ)どもの時(とき)の写真(しゃしん)か。君(きみ)の隣(となり)にいるのは誰(だれ)？
		B:	けやぐの たろうだや。(友(とも)だちの太郎(たろう)だよ。)
39	こえー(こわい)	A:	今日(きょう)ずっと仕事(しごと)だったんですね。
		B:	こえー。(疲(つか)れたー。)
40	ごんぼほる	A:	このおもちゃがほしい！
		B:	ごんぼほるな。(わがまを言(い)うんじゃない。)
41	さすけね	A:	おばあさん入院(にゅういん)したんですって？
		B:	あ、さすけねー。らいげづには たいいんだがら。(あ、大丈夫(だいじょうぶ)だよ。来月(らいげつ)には退院(たいいん)だから。)
42	~さる	A:	昨日(きのう)、山田(やまだ)さんが私(わたし)に会(あ)いに来(き)てたらしいね。
		B:	ん、なの えのめ とおったずきに たまたま やづ みらさったや。(うん、君(きみ)の家(いえ)の前(まえ)を通(とお)ったときに偶然(ぐうぜん)彼(かれ)を見(み)かけたよ。)
43	じよっぱり(じよっぱる)	A:	俺(おれ)の考(かん)がえは間違(まちが)ってない！絶対(ぜったい)に正(ただ)しい！
		B:	じよっぱりだなー。(頑固者(がんこもの)だなー。)

No.	方言	スクリプト&標準語訳	
44	～す(～し)	A:	こんにちはー。今日(きょう)は寒(さむ)いですね。
		B:	んだなす。(そうですね。)
45	すける	A:	(大(おお)きな箱(はこ)を持(も)って)いやー、これ重(おも)いですね。
		B:	でば すけっかや。(じゃあ手伝(てつだ)おうか。)
46	すっぱね(すぱね、しっぱね)	A:	ズボンどうしたんですか？
		B:	あー すっぱね かがった。(あー泥(どろ)はねがかかった。)
47	ずねー	A:	りんご買(か)ってきたよ。
		B:	うわー、これ ずねーなー。(うわー、これ大(おお)きいなー。)
48	せつね(せずね、へずね)	A:	あのおばあちゃん、病気(びょうき)になったみたいですね。
		B:	あー、へずねべなー。(あー、つらいだろうなー。)
49	ぞうさね(ぞさね、じよさね)	A:	いやー、本当(ほんとう)にありがとうございました。
		B:	いや、こんなの ぞうさね。(いや、こんなのどうってことないよ。)
50	たがぐ(たんがく、たなぐ)	A:	何(なに)かお手伝(てつだ)いしましょうか？
		B:	あー、その いす たがいでける。(あー、そのいす持(も)って。)
51	たんげ	A:	このレストランの料理(りょうり)、どう？
		B:	ん、たんげ めな。(うん、とてもおいしいね。)
52	だんだん	A:	(病院(びょういん)の待合室(まちあいしつ)で)すみません、あの、私(わたし)はもう名前(なまえ)呼(よ)ばれましたか？
		B:	いや、だんだん よばれんべ。(いや、そろそろ呼(よ)ばれるでしょうね。)

No.	方言	スクリプト&標準語訳	
53	~っちゃ	A:	あれ？バッグどうしたの？
		B:	あー、だれがに もってがっちゃ。(あー、誰(だれ)かに持(も)っていかれたよ(持(も)っていかれちゃったよ。)
54	ちゃっちゃど	A:	これから準備(じゅんび)するからちょっと待(ま)ってて。
		B:	ちゃっちゃど しろ。(さっさとして(早(はや)くして)。)
55	ちよす	A:	このお皿(さら)高(たか)そうですね。
		B:	あー、ちよすなよ。(あー、触(さわ)らないでよ。)
56	つつかけ	A:	ちょっと出(で)かけてきます。
		B:	あー、その つっかけ はいでげ。(あー、そのサンダルはいていきな。)
57	でかす	A:	この仕事(しごと)、明日(あした)まででいいですか？
		B:	はやぐ でかせよ。(早(はや)く終(お)わらせてよ。)
58	どでした	A:	昨日(きのう)隣(となり)のうち火事(かじ)だったんですって？
		B:	どでしたやー。(びっくりしたよー。)
59	ながまる	A:	あ一つかれたー。
		B:	あ、そこさ ながまれ。(あ、そこで(足(あし)を伸(の)ばして)休(やす)みな。)
60	なげる	A:	このお皿(さら)壊(こわ)れちゃいましたね。
		B:	そいづ なげどげ。(それ捨(す)てといて。)
61	なにしたの(なんしたの、なじよすた)	A:	ちょっと手(て)が痛(いた)いですよ。
		B:	なんしたのー？(どうしたのー？)
62	なんでかんで	A:	もう夜(よる)遅(おそ)いけど、まだ仕事(しごと)してるの？
		B:	これ あしたまで なんでかんで やんなんねだ。(これ明日(あした)までにどうしてもやらないといけないんだよ。)

No.	方言	スクリプト&標準語訳	
63	なんも	A:	いやーこの間(あいだ)はどうもありがとうございました。
		B:	やー、なんも なんも。(いやー、どうってことないよ。)
64	にやにやする	A:	なんだか体調(たいちょう)悪(わる)そうだけど、どうしたの？
		B:	きながら い にやにやして…。(昨日(きのう)から胃(い)の調子(ちょうし)が悪(わる)くてね…。)
65	ねっぱす	A:	これ壊(こわ)れちゃいましたね。
		B:	んまーぐ ねっぱしとげ。(上手(じょうず)に(のりやテープで)付(つ)けておいて。)
66	ねまる	A:	あ、おじゃまします。
		B:	あ、そこさ まず ねまれ。(あ、そこにまあ座(すわ)って。)
67	のぜる	A:	いやーこのもちおいしいですねー！
		B:	あんまり いそいで くだ のぜっちゃうぞ。(あんまり急(いそ)いで食(た)べるとのどにつまっちゃうよ。)
68	はかいく	A:	あれ、今日(きょう)帰(かえ)り早(はや)いですね。
		B:	いやー、しごと はがいてやー。(いやー、仕事(しごと)がはかどってね。)
69	はかはか	A:	見(み)て、あんな高(たか)いところに人(ひと)が立(た)ってるよ！
		B:	うわー、はかはかでやー！(うわー、はらはらするー！)
70	ばんげ	A:	今度(こんど)一緒(いっしょ)に、ごはん食(た)べましょうよ。
		B:	あー、あしたの ばんげ なんとだ？(あー、明日(あした)の晩(ばん)はどう？)

No.	方言	スクリプト&標準語訳	
71	～はんで(～はで)	A:	これから買(か)い物(もの)に行(い)ってくるけど、何(なに)かほしいものある？
		B:	そろそろ さどー なくなってきたはんで、さどー かってきてけ。(そろそろ砂糖(さとう)がなくなってきたから、砂糖(さとう)を買(か)ってきて。)
72	ひとめわり	A:	見(み)て、この服(ふく)かっこいいでしょう？
		B:	なんだ それ、ひとめわりーなー。(なんだそれ、かっこわるいなー。)
73	ひまだれ(ひまだれかける、ひまだれする)	A:	昨日(きのう)ずーっと待(ま)ってたのに、友達(ともだち)が来(こ)なかったんだよ。
		B:	そいづは ひまだれだったねー。(それは時間(じかん)の無駄(むだ)だったねー。)
74	ひゃっこい(ひゃっけ、ひやけあ、しゃっこい、しゃっけ、しゃけあ)	A:	お水(みず)どうぞ。
		B:	うわー、しゃっけな これ。(うわー、冷(つめ)たいなこれ。)
75	～びよん(～べおん、～べお)	A:	今夜(こんや)はとても寒(さむ)いね。
		B:	あす ゆぎ ふるびよん。(明日(あした)は雪(ゆき)が降(ふ)るだろうね。)
76	ぶすくれる(ぶじくれる)	A:	たろう、ちょっと こっち きてみ。
		B:	ふん！知らないよ！
		A:	なに ぶすぐっちんだー。(なんですねてるの。)
77	へば(せば、んだば)	A:	今日(きょう)はどうもありがとうございます。
		B:	へば まんずな。(じゃあまたね。)
78	ほろぐ(ほろく、ほるぐ、ほろう)	A:	どうしたんですか？
		B:	なんか さいふ どっかに ほろったみでだな。(なんだか財布(さいふ)をどこかに落(お)としてなくしちゃったみたいだな。)
79	ほろだぐ	A:	ただいま。外(そと)、雪(ゆき)すごかったよ。
		B:	まず ゆき ほろだげ。(とりあえず雪(ゆき)を払(はら)い落(お)としなさい。)

No.	方言	スクリプト&標準語訳	
80	まぜる	A:	これから飲(の)みに行(い)こう。
		B:	(話(はな)し相手(あいて)とは別(べつ)の人(ひと)が)あー おれも まぜでくろー。(あー、俺(おれ)のことも仲間(なかま)に入(い)れてー。)
81	までーに(までに、までっこに)	A:	食器(しょっき)洗(あら)い終(お)わったよ。
		B:	ん、まんだ よごれぢゅーなあ。までーに あられ。(ん、まだ汚(よご)れてるなあ。丁寧(ていねい)に洗(あら)ってよ。)
82	まね	A:	あれ、どこか出(で)かけるの？
		B:	んにゃー、こいがら びよーいんさ いがねばまねんだね。(いやー、これから病院(びょういん)にいかないといけないんだよ。)
83	みったぐね(みたぐね、みたぐねあ)	A:	ちょっと出(で)かけてきます。
		B:	そんな みったぐねー かつこ すんな。(そんな みっともない格好(かっこう)しないで。)
84	むつける(むずける)	A:	えー、この前(まえ)約束(やくそく)したのに、明日(あした)だめなの？！
		B:	そう むつけるな まず。(そうすねないでよ、まあまあ。)
85	むったり	A:	あの人(ひと)本(ほん)読(よ)んでますね。
		B:	ああ、さっきから むったり ほん よんでるな。(ああ、さっきからひたすら集中(しゅうちゅう)して本(ほん)を讀(よ)んでるね。)
86	めぐせ(みぐせ)	A:	あのおじいさん、いつもパンツで歩(ある)いてるよ。
		B:	めぐせーよなー。(みっともないな。)
87	めんこい(めんけ、めぐい、めげー)	A:	これが私(わたし)の子(こ)どもの写真(しゃしん)です。
		B:	あー、めんこいねー！(あー、かわいいねー！)
88	やっちゃかね(やっちゃげね)	A:	この携帯(けいたい)、買(か)ったばかりなのに、すぐ壊(こわ)れちゃったよ。
		B:	そら やっちゃがねなー。(それは役立(やくた)たずだなー。)

No.	方言	スクリプト&標準語訳	
89	やばつい(やばち)	A:	(食(た)べ物(もの)を食(た)べていて)あ、てやばつく なった。(あ、手(て)が汚(よご)れちゃった。)
		B:	あ、ティッシュをどうぞ。
90	やむ(やめる)	A:	最近(さいきん)あのおばあさん見(み)ないですね。
		B:	やんでらんでねーかー？(病(び)気(き)ななんじゃないの？)
91	やんだおら(やんたおら、おらやんだ)	A:	ちょっとお金(かね)貸(か)してくれませんかね？
		B:	おらやんだ。(俺(おれ)はいやだよ。)
92	～ら	A:	ちょっと外(そと)行(い)きませんか？
		B:	あめ ふってらやー？(雨(あめ)が降(ふ)ってるよ？)
93	わらはんど(わらしゃんだ)	A:	これが私(わたし)の家族(かぞく)の写(しゃ)真(しん)です。
		B:	めごい わらはんどだな。(か(か)わい(い)子(こ)ど(ども)た(た)ち(ち)だ(だ)ね。)
94	わらわら	A:	すみません、もうちょっと待(ま)ってくださいか？
		B:	までね、わらわらど やれ。(待(ま)てない、急(い)そ(い)でや(や)り(り)な(な)さい。)
95	わんつか(わずか)	A:	あの、写(しゃ)真(しん)撮(と)ってくださいませんか？
		B:	わずか みぎさ よってけれ。(少(す)こ(こ)し(し)右(みぎ)に寄(よ)ってください。)
96	んだ	A:	あ、齋(さい)藤(とう)さんですか？
		B:	んだ。(はい。)
97	んだから	A:	あの人(ひと)と(と)つ(つ)ても(も)い(い)い(い)人(ひと)だ(だ)ね。
		B:	んだがらー。(そ(そ)う(う)で(で)し(し)ょう。)
98	んにゃ(んでねあ)	A:	山(や)田(た)さん(さん)ですか？
		B:	んにゃ、あ(あ)べ(べ)だ(だ)。(い(い)や(や)、阿(あ)部(べ)です。)
99	んめ(んめあ、め)	A:	このお肉(にく)どう(どう)ですか？
		B:	あ、や(や)っ(っ)け(け)て(て) ん(ん)め(め)ご(ご)ど(ど)。(あ、や(や)わ(わ)ら(ら)か(か)くて(くて)お(お)い(い)しい(しい)な(な)ー。)

謝辞

この博士論文を書き上げるにあたり、大変多くの人々に支えられたので、ここに記しておく。

まずこの博士論文の主査であるダニエル・ロング先生。筆者は学部時代を明治大学で過ごしたため、博士前期課程から本学に入学したのだが、2012年、私が4年生の時に千葉大学で開催された変異理論研究会のあと、当時徳島大学の大学院生だった村田真実氏（現大阪大学講師）の紹介で初めてロング先生と会って話したことを今でも鮮明に憶えている。その後一緒に午後から同校で開催された日本語学会に参加し、学会中でありながら修士論文のテーマについて相談したことが懐かしい。当初のテーマは海外の日系人の日本語と在日外国人の日本語に関するようなものであったのだが、あまりはっきりとしたテーマではなく、またどちらかというと海外の日系人の方に興味が寄っていた。ロング先生は、修士論文にはちょっと広いテーマかな、と言ったあと、「日本にも日系人がたくさん住んでいるのは知ってる？」と切り出した。最初は何を言っているのかよく分からなかったが、そこで初めて日本国内に日系ブラジル人を始めとした多くの日系人が南米からやって来て定住していることを知った。これが修士論文のテーマ、そしてその後も続く筆者と南米出身者との交流につながるることとなる。

その後、入学前ながらロングゼミにお世話になり、ブラジル人集住地域の三重県伊賀市のゼミ合宿に誘って頂いた。ゼミ合宿は入学試験の合格発表3日後くらいで、もし試験に落ちたらどんな顔をして合宿に参加すればいいか、などと心配していたことが昨日のように思い出される。また、同じくブラジル人集住地域の群馬県大泉町にも入学前に2度連れて行って頂いた。この大泉町こそが、修士論文のメインフィールドとなり、博士論文でテーマが変わった後も毎年欠かさず足を運ぶ場所となった。そこでの外国人住民との出会いは、筆者にとって国内で初めて遭遇したコミュニティレベルの異文化体験であった。

以後筆者は修士論文の研究として国内各地のブラジル人集住地域に足を運ぶことになり、そして修士論文の研究を終えた後もブラジル人に限らず様々な外国人集住地域を訪れるようになった。訪れる度に、日本国内にはこんなにも多くの外国からやって来た人々が暮らしていることに驚かされ、はじめは言語に感心があったのが次第に人々そのものへ移っていった（もちろん言語への関心も変わっていない）。このような外国人住民との交流が、そしてフィールドワークで得た知見が、博士論文のテーマへと形作られていった。

ロング先生には国内外問わず様々な場所でのフィールドワークに同行させて頂き、インフォーマントの探し方から調査の仕方まで実体験を通して教えて頂いた。

そして、筆者は母子家庭であるため金銭面であまり余裕がないということを知ると、研究室でアルバイトとして雇ってくださるなど、研究だけでなく生活面でも支援して下さった。

そして、『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』では英語翻訳をして頂いた。A5判76ページにわたる冊子の英語訳は膨大な量であったが、忙しい合間を縫って全てやって頂き、無事に完成させることができた。大変ありがとうございました。

次に、副査である専修大学准教授の阿部貴人先生。阿部先生とは当時国立国語研究所客員教授であった井上史雄先生から依頼された作業のために国立国語研究所に通っていた際に知り合った。2014年の春だったと思う。そこで国立国語研究所の資料整理のアルバイトに誘って頂き、短期間ながら一緒に働かせて頂いた。第一回鶴岡調査を始めとした大変貴重な生データや当時使用した提示リストの絵などを段ボールに詰めて棚に置くという作業、そしてそれらを保管庫に運ぶ作業など、なかなか体験できない貴重な機会を頂くことができた。腰が痛いと言いながら段ボールを

運んでいた阿部先生を思い出す。

2014年秋には第4回鶴岡調査の発展的調査への調査員として誘って頂き、これもまた大変貴重な経験をさせて頂いた。鶴岡調査については2017年2月の新たな調査にも再び声をかけて頂き、その際には筆者の博士論文に関わる現地インフォーマントへの調査についても協力して頂いた。

そして何より、阿部先生には青森県津軽地方出身者として方言使用調査にご協力頂き、また『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』に掲載する方言の例文の作成、そして方言集付属のCDに収録する例文の録音まで、本研究には大変ご尽力頂いた。ありがとうございました。

そして、もう一人の副査である西郡仁朗先生。授業としては後期の火曜日5限を一度履修したのみだったが、何より筆者が本学の留学生ナビゲーターというアルバイトとして国際交流会館の一室で勤務していた当時、その部屋で西郡先生と当時本学で日本語を教えていた藤本かおる先生（現武蔵野大学准教授）がテレビ会議システムを利用した遠隔授業を実施していたことがよく記憶に残っている。筆者自身もその遠隔授業に参加することになったのだが、その時の藤本先生との出会いが後に筆者の武蔵野大学での非常勤講師としての勤務につながるようになることは当時知る由もなかった。西郡先生には博士論文の研究に興味を持って頂き、話を聞いて頂いたことが、副査をお願いするきっかけになった。一度、ひよんな事から西郡ゼミのクリスマスパーティーにお邪魔した際も暖かく迎え入れてくださり、楽しい時間を過ごせた。筆者にとっては最初で最後のロングゼミ以外のイベントという大変貴重な経験である。ありがとうございました。

先に出た東京外国語大学名誉教授の井上史雄先生にも感謝を述べたい。初めて井上先生と出会ったのは、ロング先生と初めて会ったのと同じ2012年春の日本語学会の時であった。ロング先生と千葉大学のキャンパス内を歩いていたら、ベンチに座っていたのが井上先生だった。ロング先生が井上先生に声をかけ、筆者を紹介してくださった。実は筆者が当時執筆中だった明治大学の卒業論文が方言意識に関する研究で、井上先生の方言イメージに関する研究を大分参考にさせて頂いていたので、目の前にいるのが井上先生だと知って大変驚いたのを昨日のこのように憶えている。その後、井上先生には長期にわたって種々のアルバイトのお仕事を頂き、生活面で大変助けて頂いた。当時井上先生が客員教授として勤めていた国立国語研究所に定期的に足を運ぶようになり、そこから筆者と国立国語研究所、またそこで知り合った数々の研究者との接点を持つことになった。そこには先の阿部先生や後述する津田智史先生など筆者の研究に協力して頂いた方もいる。また、井上先生に関わる科研費プロジェクトの研究協力者として誘ってくださることで研究面でも支えて頂き、修士論文や博士論文につながった。ありがとうございました。

富山大学教授の中井精一先生には、中井先生が研究代表者である科研費基盤研究(B)15H03204「無敬語地帯の地域特性と敬語行動—日本語敬語研究の再起動をめざして—」の研究協力者に選んで頂き、そのおかげで2015年10月及び2017年2月の福島県調査を実施することができた。本科研費の主なフィールドは近畿地方であるにもかかわらず、無敬語地帯つながりということで福島県中通り（及び隣接する敬語地帯の会津地方）での調査を快諾して下さった。この場を借りて改めて感謝したい。

また、宮城教育大学講師の津田智史先生には、津田先生が研究代表者である科研費基盤研究(C)15K02672「多文化共生社会に向けての災害時コミュニケーションに関する総合的研究」の研究協力者にしていただき、2016年2月に宮城県へ行く機会を与えて下さった。また、このプロジェクトに加わることで外国人住民の支援について、筆者のものとは異なった視点のものを教えて頂いた。ここに感謝の意を述べたい。

それから、ロング先生、西郡先生のみならず、首都大学東京の日本語教育学教室の教員である浅川哲也先生、奥野由紀子先生、神田明延先生、長谷川守寿先生、小口悠紀子先生、入学当初は

指導教員のメンバーでいらっしやった国際センターの小柳志津先生、そして昨年度まで在籍していらっしやった現埼玉大学人文社会科学研究所の劉志偉先生にも深謝したい。筆者の在学中、時には温かく、時には厳しく指導して頂いたことにより、博士論文の完成につなげることができた。本学に入学してから、筆者が日本語教育学教室事務室に行くと、よく話しかけてくださり、色々なアドバイスをしてくださった劉先生が懐かしい。劉先生がサバティカルであった期間中、助教代理をさせて頂いたが、その間には小口先生と様々な業務を行い、助教の忙しさについて身をもって知る良い機会となった。

また、ロングゼミのメンバーにも謝意を述べたい。毎週同じ時間に集まり、なんだかんだ5年経つとメンバーも入学当初とは変わってしまった（筆者入学時のメンバーで現メンバーに在籍しているのは現在モンゴルにいる渡辺真由子氏と後述の張鋭氏のみ）。諸先輩が論文を書き終えてゼミから去っていくのを5年間見てきたが、ついに自分の番になった。時が経つのは早い。博士前期課程を修了して去る者のほうが多いので、メンバーは頻繁に入れ替わっているが、入れ替わっても、みんな個性的というか、他のゼミのメンバーとはまた違った雰囲気を出し出す人が多いゼミだった。ある意味ゼミの雰囲気は何年いてもさほど変わらなかったともいえる。若輩者の筆者を色々と指導して下さった先輩や就職・他大学など新天地に旅立った元ゼミメンバー、頼りない筆者を温かく見守ってくれた同輩・後輩の現ゼミメンバー、全てのメンバーに感謝したい。

また、奥野ゼミのメンバーにも謝意を述べたい。不定期ではあったがDゼミは合同で実施し、ロングゼミとはまた違った観点からの質問や指摘を頂け、とても貴重な機会であった。特に志喜屋カロリーナ氏は、筆者のメインテーマの一つである在日南米人を主な対象とした研究を行っており、共同発表や共同執筆も行った。氏自身の経験や知見から、研究に様々な観点を提供してくれた。共同発表や共同執筆の多くの要素は氏の観点から生まれたものが少なくない。特に氏の貢献は筆者の修士論文において大きかったが、博士論文においても合同ゼミなどで指摘やアドバイスを頂いた。ありがとうございました。

本研究を行うにあたり、多くの方々のご支援・ご協力を頂いた。

まず、公益財団法人日本科学協会の皆様には、筆者の研究に対し多額の研究助成をして頂いた。正直なところ、この研究助成がなければ東北6県でのフィールドワークを、しかも複数回にわたってなど到底できなかった。ましてや『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』を作成・印刷することも筆者の経済力ではまず不可能であった。研究助成の採否結果が届いて、開封して採用と分かった時の興奮が今でも鮮明に蘇る。ここに改めて感謝の意を表する。

そして、当然ながら東北出身者・在住者、東北地方の外国人住民の皆様のご協力がなければこの博士論文は成り立たなかった。

岩手県奥州市の境明宏氏には、ご本人への方言使用調査のみならず、お父様である境榮吾氏への調査もさせて頂いた。また、金ケ崎町国際交流協会の菊地恵氏を紹介して頂いたことで、岩手県の外国人住民への方言理解調査が可能になった。さらに、方言理解調査で使用した伊達方言会話文の作成及び録音に協力して頂いた。長時間にわたる作業にもかかわらず、快く引き受けてくださった。その上、岩手県で実施した2016年8月・10月の2度の調査の間中は自宅に泊めて頂いた上に食事まで用意して頂くなど、大変お世話になった。岩手県の調査は境氏の協力なくしては語ることができない。改めて深謝する。

秋田県秋田市の小林英眞・久江夫妻には、秋田県調査において多大なるご協力を頂いた。2016年8月の秋田県調査の際に公益財団法人秋田県国際交流協会にて土谷志保氏からブラジル出身のお嫁さんがいる和菓子屋があるとの話を伺い、その足でアポイントメント無しでお店にお邪魔して事情を説明すると、自宅へ通して頂き、そのまま方言使用調査に協力して頂いた。夕方にお邪魔

して、終わるのが夕飯の時間になってしまったのが申し訳なかったが、とても有り難かった。また、2016年10月初旬の秋田県調査ではイオンモール秋田で開催された「あきた国際フェスティバル」に参加したのだが、そこでブラジルブースを少し手伝わせて頂き、終了後は夫妻宅まで送って頂き、英眞氏に外国人住民への方言理解調査で用いた秋田方言会話文の作成及び録音に協力して頂いた。その日で終わる予定だったのだが作業量が多く終わらず、翌日改めて時間を割いて頂くことになってしまったのだが、翌日は録音作業終了後に昼食として英眞氏手打ちのそばまで頂くことになった。また、2016年10月中旬の秋田県調査では小林夫妻への調査や作業はなかったが、夕食に誘って頂き、久江氏の手料理を頂いた。数多く迷惑をかけているにもかかわらずこのような温かい対応をして頂き、感謝の一言に尽きる。

筆者の伯父である福島県喜多方市の齋藤眞栄氏にも感謝の意を述べたい。仕事で忙しい中にもかかわらず、2016年8月と12月の福島県調査の期間中泊めて頂き、また食事も頂いた。8月の時には方言使用調査に、12月の時には会津方言会話文の作成及び録音に協力して頂いた。時間のかかる作業で、夜遅くまで協力して頂き恐縮だったが、そのおかげで外国人住民への方言理解調査が可能となった。

福島県調査では叔父・五十嵐光弘氏、叔母・はたえ氏にもお世話になった。2016年8月の福島県調査の際に、当日急に連絡したにもかかわらず、温かく迎え入れてくれ、方言使用調査に協力して頂いた。11月の際にはソースカツ丼や芋煮といった会津料理を振る舞って頂いた。光弘氏には会津地方の方言景観調査の際にいくつかの会津方言の表現について文法性判断もして頂いた。

従兄弟である福田真也・なつき夫妻、同じく齋藤陽介氏にも2016年8月の福島県調査では方言使用調査にご協力頂いた。なつき氏に関しては会津方言の言語景観に見られる表現の文法性判断にもご協力頂いた。小さい頃、祖父母宅で一緒に遊んでいた「なっちゃん」と「陽ちゃん」に、このような形で研究協力をして頂くことになるとは当時想像もしていなかった。

筆者は両親が福島県会津地方出身であるため、親戚のほとんどは会津若松市や喜多方市といった会津地方に暮らしている。筆者が会津方言に関して調査をしたのは明治大学の卒業論文が最初であった。アンケートに対し統計的手法を用いて分析する研究であったため、ある程度まとまった数の回答が必要であった。その時も家族や親戚、特に齋藤眞栄氏や五十嵐光弘氏、また福田なつき氏や齋藤陽介氏、そして父親である齋藤誠二氏にお願いし、職場等を通じて多くのアンケートを配布・回収までして頂いた。当時は謝礼も出せず完全にボランティアでやって頂き、大変迷惑をかけた。それにもかかわらず、懲りずに今回も再び調査に協力して頂き、ただただ頭が下がる思いである。

また、下記の国際交流協会の皆様のご協力のおかげで外国人住民の方言理解調査が実施できた。

岩手県では、境氏の紹介で金ケ崎町国際交流協会の菊地恵氏に調査協力を依頼させて頂いたが、趣旨を理解して頂き、協会が出店する金ケ崎町農業まつりにて外国人住民の皆様と話をすることができた。そのおかげで方言理解調査の協力者を得られ、後日実施することができた。

秋田県では、公益財団法人秋田県国際交流協会の土谷志保氏に調査協力を依頼させて頂き、国際交流員の方とお話する機会を頂いた。また、前述の小林英眞・久江夫妻のことを教えて頂き、結果としてこれが外国人住民の方のみならず方言使用調査及び方言音声録音に協力して下さる方まで教えて頂いたことになった。さらに、方言理解調査の実施場所も協会内の一室を貸して頂き、大変円滑に調査を進めることができた。

福島県では、2016年2月に一度会津若松市国際交流協会の皆様とお話をする機会があったものの、その際はまだ方言理解調査の話は決まっておらず、依頼もしていなかった。11月の福島県調査の際に当初予定していた協力者の調査参加が難しくなり、急遽会津若松市国際交流協会の鶴川

香氏に電話をさせて頂き、調査協力を依頼した。突然のことにもかかわらず、外国人住民の協力者を募ってくださり、調査日には協会内の一角を貸して頂き、最適な調査環境を得られた。

上記の調査協力をしてくださった国際交流協会に加え、以下の国際交流協会の皆様にも『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』の設置・配布にご協力頂いた。

公益財団法人山形県国際交流協会の岡部幸子氏には、筆者が2016年10月に同協会及び隣接する山形市国際交流協会を訪問した際に本研究についてお話しする機会があり、その際山形弁の方言集を頂く等お世話になった。筆者の方言集完成後は同協会にも設置・配布をして頂いた。

先行して金ケ崎町国際交流協会に配布していた方言集を見て、隣接する奥州市の日本語教師である藤波あずみ氏より方言集に関する問い合わせを頂き、そのおかげで奥州市国際交流協会にも方言集を設置・配布して頂いた。藤波氏には実際に方言集を利用した外国人住民及び地域日本語教師にアンケートの作成・実施までして頂いた。

公益財団法人山形県国際交流協会に配布させて頂いた方言集を見て、「ぜひ欲しい」との問い合わせを公益財団法人青森県国際交流協会の盛翔子氏がくださった。そのおかげで同協会にも設置・配布させて頂いた。盛氏からは外国人住民や地域日本語教師から得た詳細な評価を送って頂いた。

この他、公益財団法人岩手県国際交流協会に方言集配布のお願いについて問い合わせたところ、大山美和氏から返事を頂き、同協会に方言集を設置・配布して頂くことができた。

さらに、とあるフォーラムでお会いした公益財団法人仙台観光国際協会の菊池哲佳にも方言集配布をお願いしたところ、快諾して頂き、これにより方言集を東北6県全てに設置・配布できることになった。調査及び方言集設置・配布に協力してくださった上記の各機関の皆様には、改めて感謝の意を述べたい。

そして方言理解調査に協力してくださった外国人住民の皆様にも改めて感謝したい。本研究で作成した『東北地方の外国人住民のための「くらしの方言集」』はまさに彼らのための方言集である。彼らが普段聞いている方言はどんなものなのか、知っている方言はどんなものなのか。現在の、そしてこれからやって来る東北地方の外国人住民にとってどのような方言を理解しておけば便利なのか。そこが本研究の出発点であった。彼らへの調査の際、これまでの方言に関するエピソードを伺ったりもしたが、程度に違いはあるものの、方言にかかわったことのない方は一人もいなかった。日本人男性と結婚した方の場合には姑の発言が理解できずに違うことをしてしまった話や、小学校で教師をしている場合は子どもたちや同僚の地元出身の教師から方言を言われた話など、様々な場面で方言に触れるという現状も確認できた。やはり彼らの生の声を聞かなければ、机上の空論で終わってしまう。

また、方言集の翻訳に当たってくださった皆様のご協力があったおかげで、方言集を少しでも多くの外国人住民の皆様に分かりやすいものにすることができた。以下の皆様にも感謝したい。

首都大学東京の先輩に当たる張鋭氏には中国語の翻訳を担当して頂いた。氏は筆者が博士前期課程に入学した同時期に、研究生として来日し、翌年から博士後期課程に所属したので、先輩ではあるが首都大の入学時期では同期でもある。氏も同じように博士論文を執筆しており、博士論文提出年の一番忙しい時期に、その合間を縫って方言集の中国語翻訳及びインタビュー調査に協力して頂いた。

同じく首都大学東京の先輩であり、現在は韓国の慶北大学校に勤務している李舜炯氏には韓国語の翻訳を担当して頂いた。氏は筆者が博士前期課程に入学した年の秋から博士後期課程に所属し、学年としては先輩でありながら入学時期としては同期と言っても良い。氏の在学中は研究以外の面でも色々とお世話になったが、修了後も氏には仕事の合間を縫って多くの分量の翻訳作業をして頂き、また、別件で2度来日した際には時間を作って頂きインタビュー調査にも協力して

頂いた。氏の本研究における貢献はそれだけでない。筆者が日本人への方言使用調査を実施するにあたり、インフォーマントを募る必要があったのだが、氏が仙台市に居住していた当時の知り合いを紹介してくださり、数多くのインフォーマント、特に宮城県のインフォーマントを得た。実は、その中の一人が先の境氏であり、氏の本研究に対する直接的・間接的な貢献は大きい。

インドネシア教育大学の大学院生であるウラン・アリエス氏にはインドネシア語の翻訳を担当して頂いた。筆者がインドネシア語の翻訳担当者を探していた時、氏は昨年度首都大学東京に留学しており、筆者の後輩に紹介してもらい、翻訳を依頼するに至った。筆者との直接的な面識はなかったものの、「お力になれるかどうかわかりませんが、がんばります」と快諾してくださった。他言語の翻訳担当者とは事情が違ふこともあり、氏には翻訳作業を筆者がいるところでして頂いたが、長時間を要してしまってもかかわらず快く作業をしてくださった。当日終えられなかった項目についても後日しっかりと翻訳を終えメールにて送ってくださった。方言集に氏の名前を載せたい旨を伝えると、「そういうのは初めてです」と嬉しそうな表情を見せたのが記憶に新しい。その後帰国したが、電話によるインタビュー調査に快く協力してくださった。調査が当初の予定より大幅に長引いたにもかかわらず、最後まで調査に協力してくださった。

埼玉県庁に国際交流員として勤務するワヂソン・メロ氏にはポルトガル語の翻訳を担当して頂いた。氏と初めて出会ったのは、2015年春に千葉大学で開催された異文化間教育学会で筆者がポスター発表をした時であった。ブラジル人集住地域である群馬県大泉町と三重県伊賀市における言語景観に関する発表だったため、氏が「僕はブラジル人なんです」と筆者に話しかけ、その後しばらく話をし、名刺交換をした。当時、氏は政策研究大学院大学の院生だった。

その後しばらくして、筆者がブラジルで販売されているポルトガル語辞典が必要になり、集住地域のブラジル人の知り合いに聞いてみたりしたのだが、日本国内での入手が難しいことが分かった。そこで氏に連絡を取って見たところ、大学院を修了しブラジルに帰っており、それだけでなく埼玉県庁に勤務することになりそうなので近いうち再来日するかもしれないという話だった。さっそく辞典の件を相談したところ、ブラジルで購入して来日時に持ってくるかと快諾してくれた。

その後埼玉県庁での勤務が決定し、偶然にも氏の居住地が筆者宅から徒歩圏内であった（現在は転居）こともあり、その後定期的に会う関係となった。学会で一度会っただけだったが、ここまでの間柄になるとは当時思いもしなかった。氏は長年ブラジルの母校で日本語教師をしていたことや大学院で日本語教育プログラムを修了したことなどから日本語能力に長けており、これまでも様々なところでポルトガル語翻訳を依頼してきた。その信頼や実績から本研究の方言集のポルトガル語翻訳についても依頼するに至った。また、氏へのインタビュー調査については半日使ったにもかかわらず一度で終わらず、日を改めて二度目のインタビュー調査に協力して頂いた。

翻訳作業だけでなく、長時間のインタビュー調査にも予定を調整して協力して頂いた上記の皆様には深謝する。

ここに全員を挙げることはできないのだが、その他にも多くの人々の支援・協力があってこそ博士論文の完成につながった。いつも気にかけてくれ、話を聞いてくれ、博士論文の完成を最後まで見守ってくれ、信じてくれ、そして祈ってくれた皆様に感謝したい。

最後に、母に感謝したい。

いつも当たり前のようにそばにいて、いつも当たり前のように心配してくれて、いつも当たり前のように元気付けてくれる存在。生まれてからこれまで、たくさんの迷惑をかけ、ここまでできた。書けば書き尽くせないなので、あえて短く終えたい。

本当にお世話になりました。そしてこれからもよろしくお願いします。